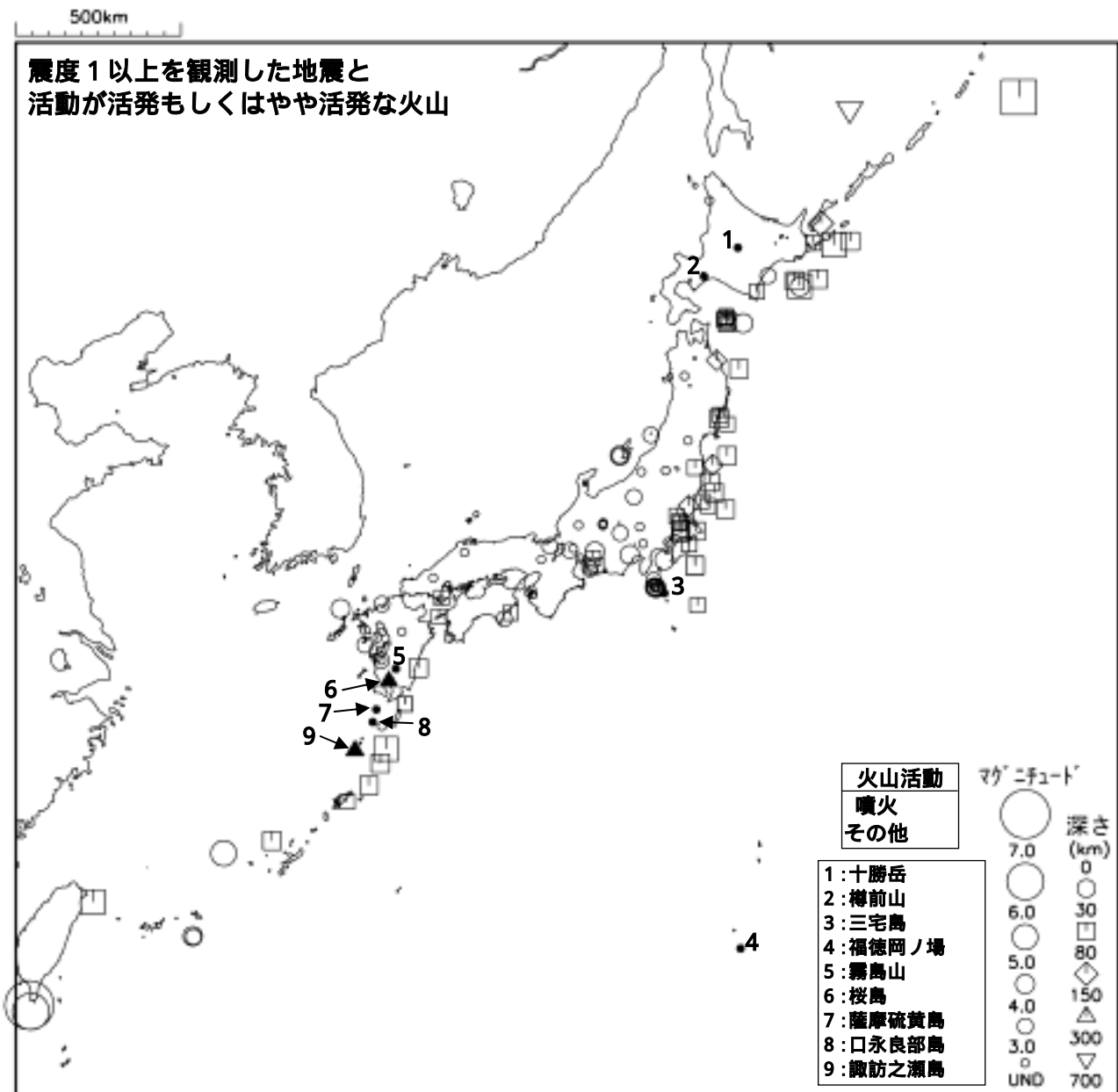


# 平成 18 年 12 月 地震・火山月報（防災編）

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

December 2006



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所\*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関\*\*から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注\*\*平成 18 年 12 月末現在：国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び横浜市。

### 本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

#### ・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

## 目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	20
日本の主な火山活動	26
世界の主な地震	35
世界の主な火山活動	36
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	37
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	53
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	54
正誤表	55
2006 年の地震・火山活動	57
付録	
1．気象庁震度階級関連解説表	108
2．震度観測点	109
3．震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表	113

# 日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	12 4 06 08	千葉県北東部	4.5	・ ・ ・ ・	3：千葉県 旭市南堀之内* など 2 県 14 地点	10
2	12 6 23 04	釧路沖	5.0	・ ・ ・ ・	3：北海道 釧路市黒金町*	6
3	12 8 04 10	千島列島東方	6.4	M ・ ・ ・	1：北海道 函館市新浜町* など 1 道 1 県 4 地点	5
4	12 11 00 28	奄美大島北東沖	5.7	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 南種子町中之上*	17
5	12 16 19 00	静岡県中部	4.0	・ ・ ・ ・	3：静岡県 静岡清水区庵原町*	11
6	12 19 18 33	愛知県西部	4.4	・ ・ ・ ・	3：岐阜県 恵那市上矢作町* など 3 県 25 地点	12
7	12 26 05 17	佐渡付近	4.9	・ ・ S ・	4：新潟県 佐渡市小木町* など 1 県 3 地点	13
8	12 26 21 26	台湾付近	6.9	M ・ ・ ・	1：沖縄県 竹富島波照間 など 1 県 4 地点	19
9	12 26 21 34	台湾付近	7.2	M ・ ・ ・	1：沖縄県 竹富島黒島 など 1 県 7 地点	19
10	12 31 02 49	新島・神津島近海	4.7	・ ・ S ・	4：東京都 新島村式根島	14
11	12 31 07 34	根室半島南東沖	5.0	・ ・ S ・	4：北海道 根室市根室市瑛瑠瑠* 根室市落石東*	7

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある \* 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。被害の報告は総務省消防庁による。

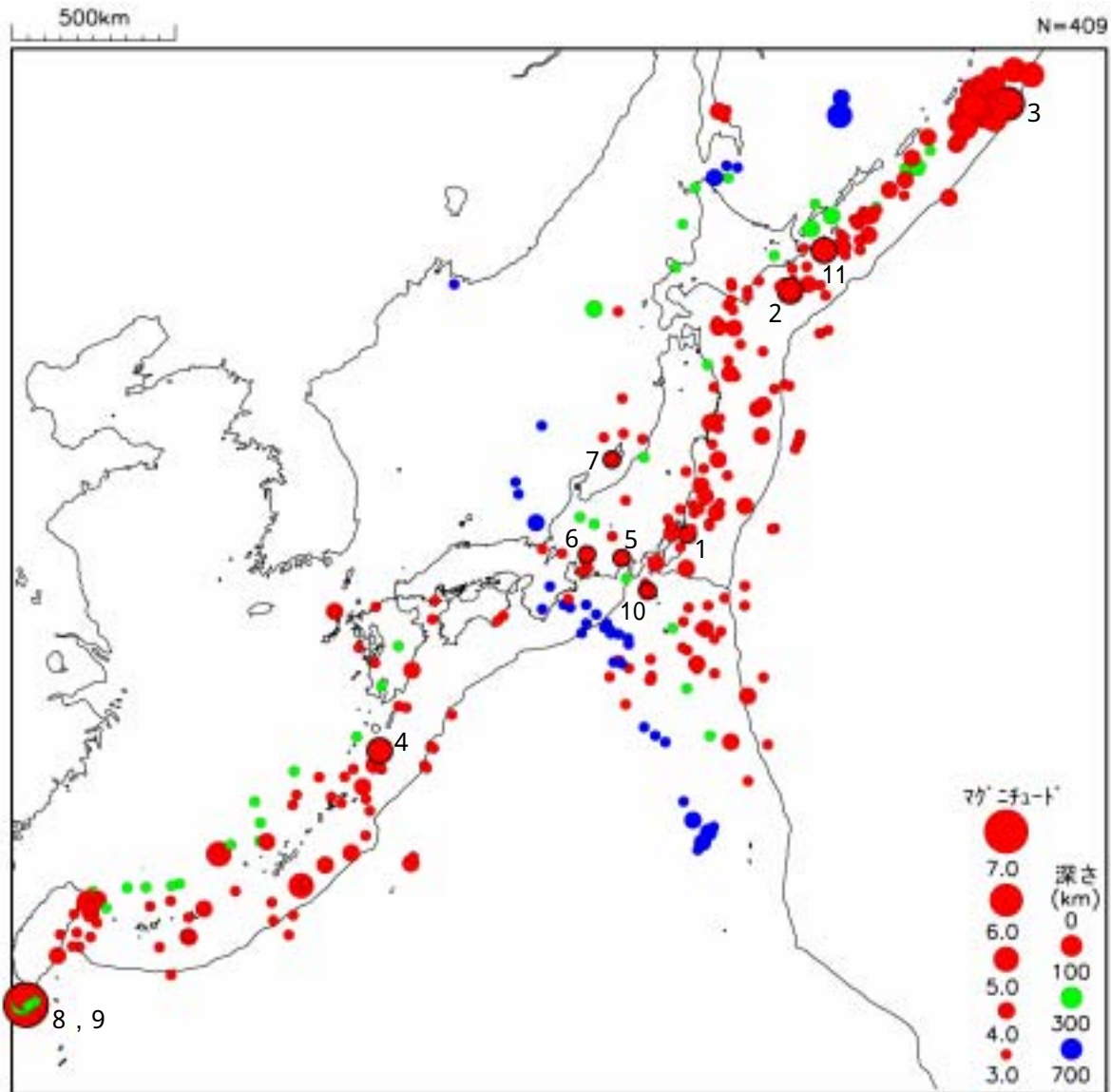
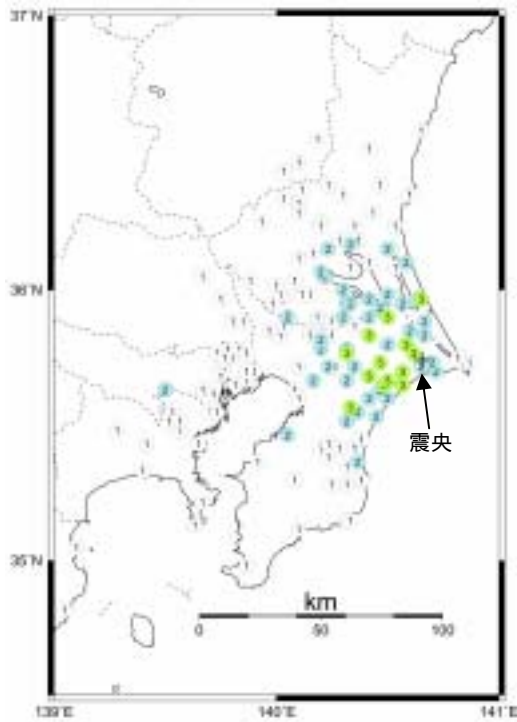


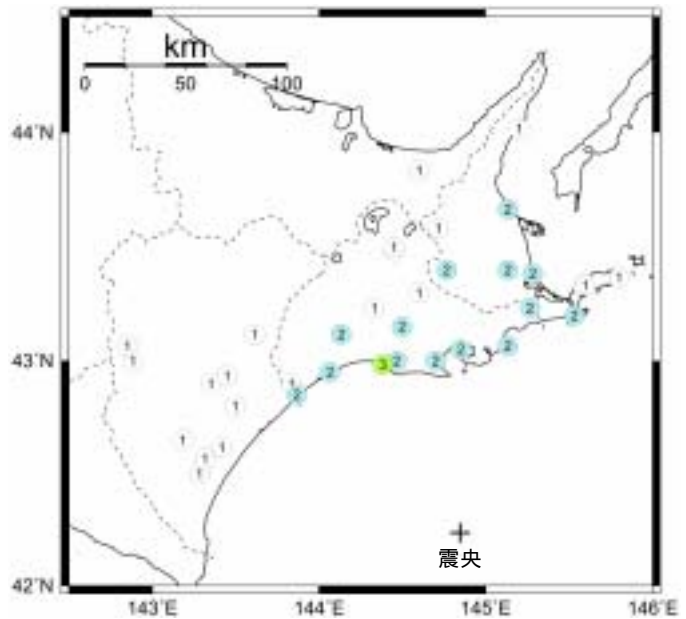
図 1 2006 年 12 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図  
( 図中の数字は表 1 の番号に対応する )

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

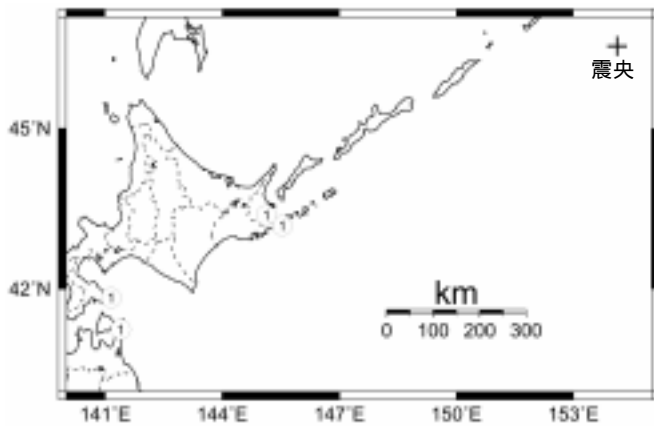
No. 1 : 12 / 4 06:08 千葉県北東部  
 (M4.5, 深さ 49km, 最大震度 3)



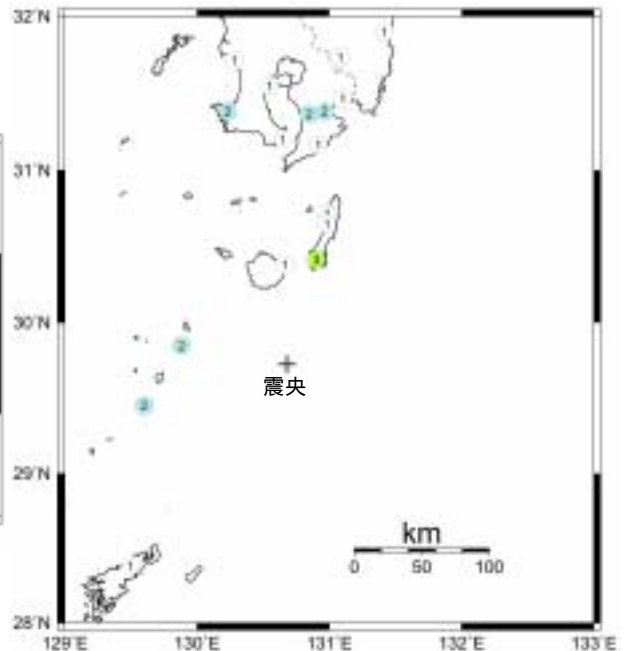
No. 2 : 12 / 6 23:04 釧路沖  
 (M5.0, 深さ 30km, 最大震度 3)



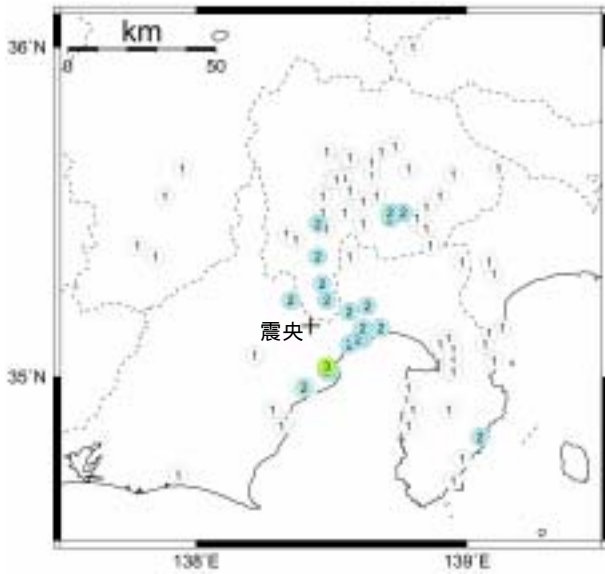
No. 3 : 12 / 8 04:10 千島列島東方  
 (M6.4, 深さ 30km, 最大震度 1)



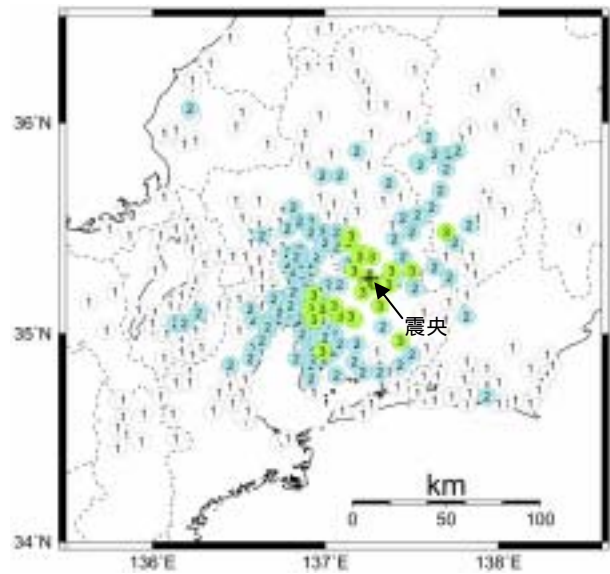
No. 4 : 12 / 11 00:28 奄美大島北東沖  
 (M5.7, 深さ 54km, 最大震度 3)



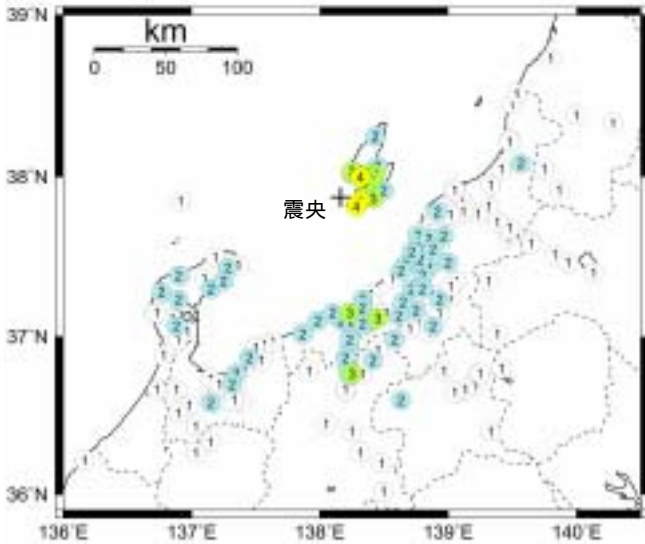
No. 5 : 12 / 16 19:00 静岡県中部  
(M4.0, 深さ 21km, 最大震度 3)



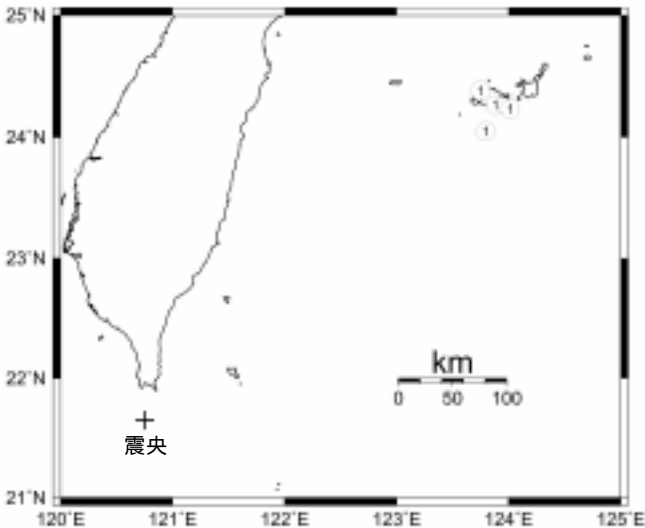
No. 6 : 12 / 19 18:33 愛知県西部  
(M4.4, 深さ 15km, 最大震度 3)



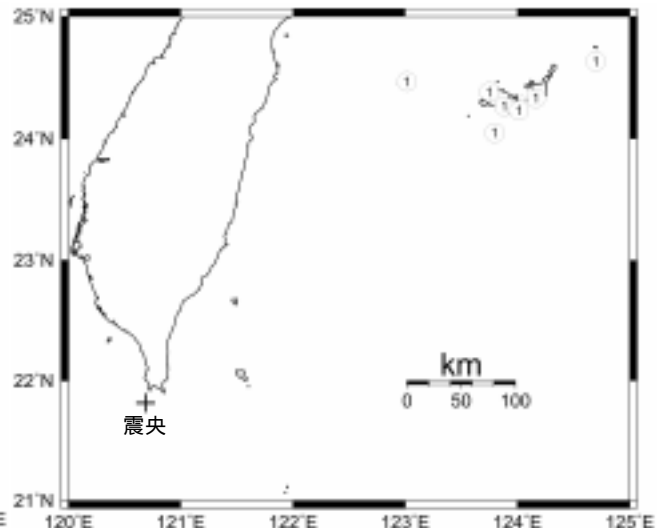
No. 7 : 12 / 26 05:17 佐渡付近  
(M4.9, 深さ 14km, 最大震度 4)



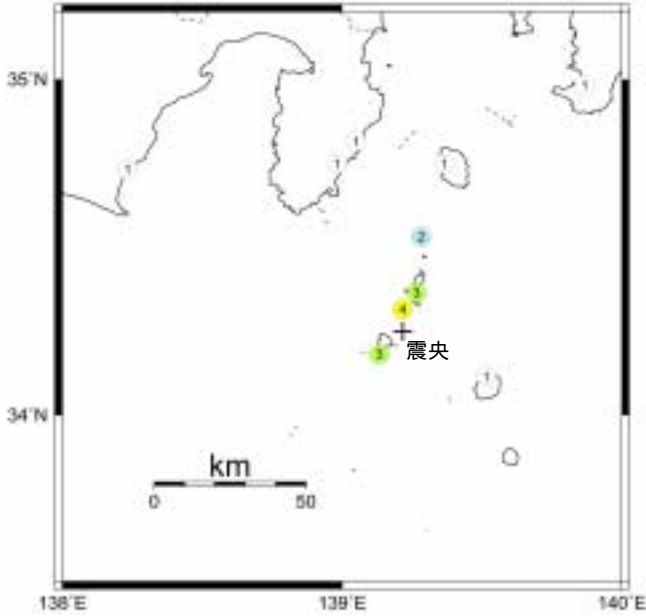
No. 8 : 12 / 26 21:26 台湾付近  
(M6.9, 深さ 0km, 最大震度 1)



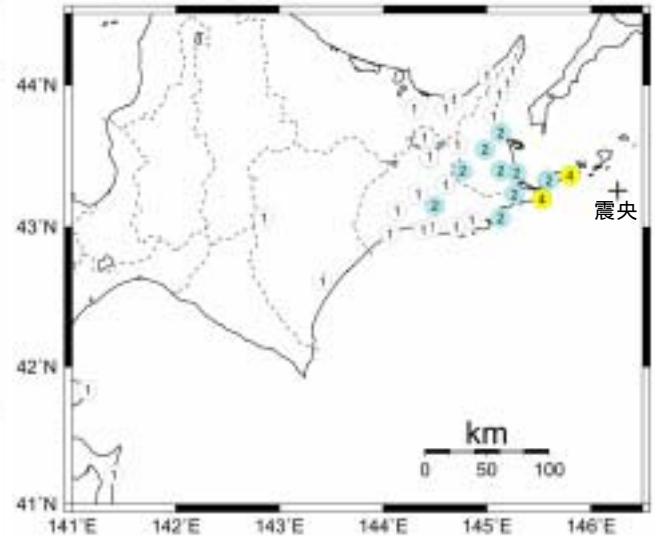
No. 9 : 12 / 26 21:34 台湾付近  
(M7.2, 深さ 0km, 最大震度 1)



No.10: 12 / 31 02:49 新島・神津島近海  
(M4.7, 深さ 12km, 最大震度 4)



No.11: 12 / 31 07:34 根室半島南東沖  
(M5.0, 深さ 46km, 最大震度 4)



## 北海道地方の地震活動

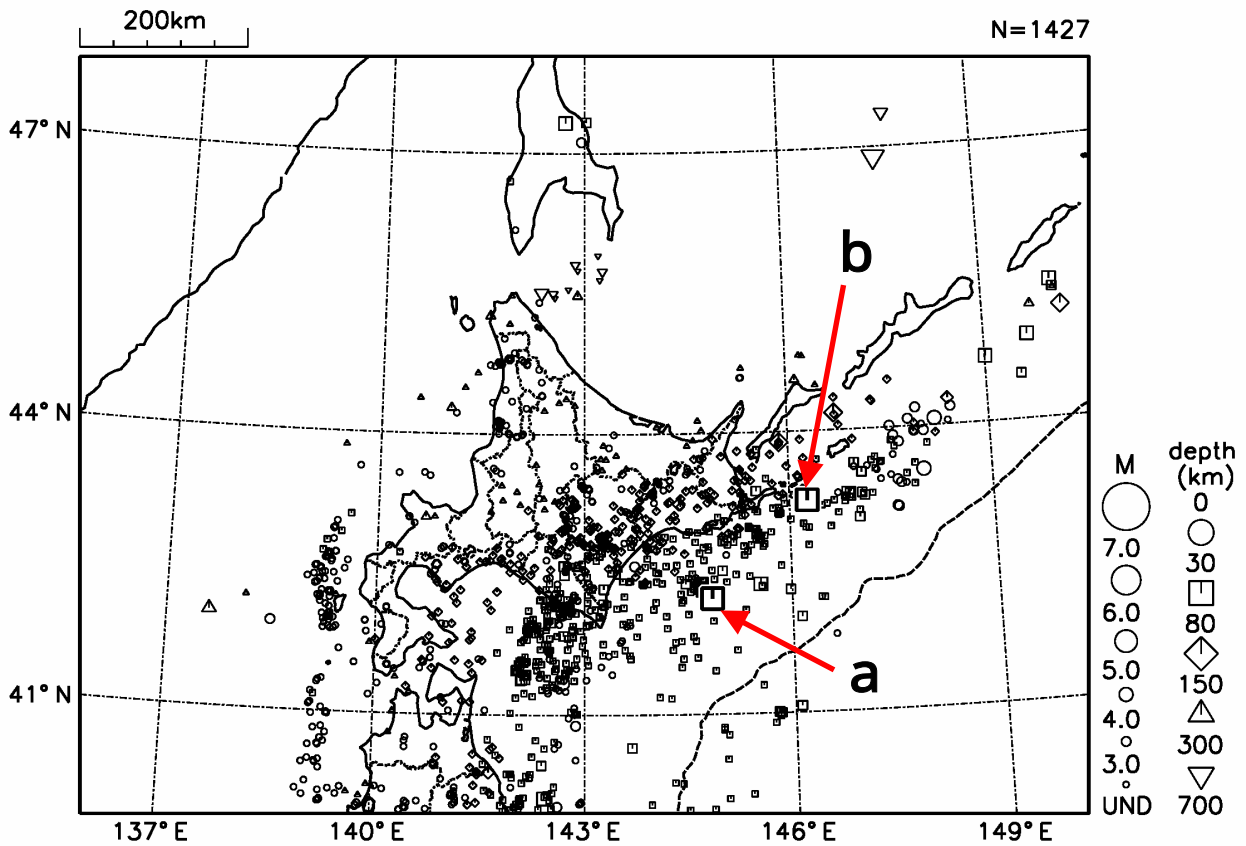


図3 北海道地方の震央分布図（2006年12月1日～12月31日）

### [概況]

12月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は18回（11月は23回）であった。12月中の主な活動は次のとおりである。

12月6日23時04分、釧路沖の深さ30kmでM5.0の地震（図3中のa）が発生し、北海道の釧路市で震度3を観測したほか、北海道で震度2～1を観測した（p6参照）。

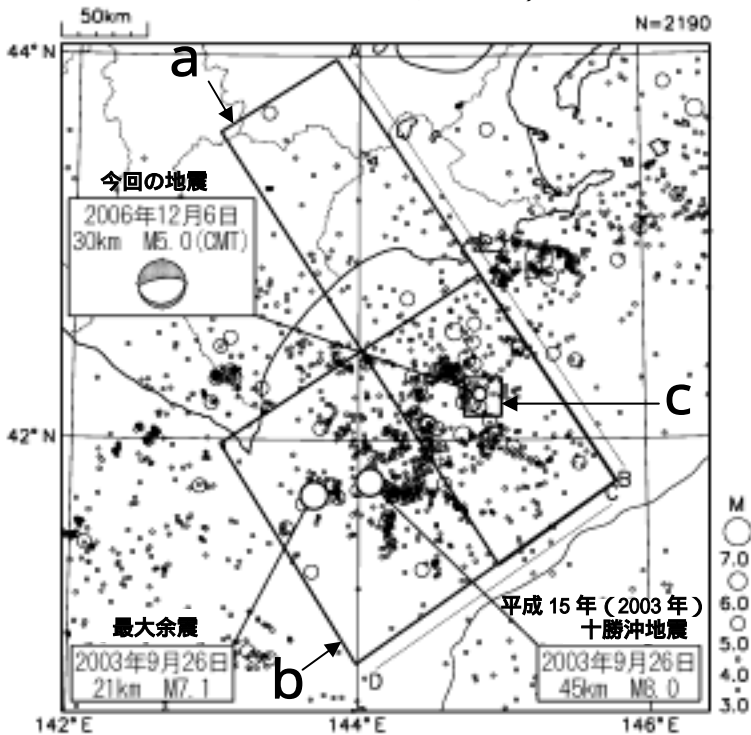
12月8日04時10分、千島列島東方の深さ30kmでM6.4の地震（図3の範囲外、p1の図1中の3、米国地質調査所(USGS)による表面波マグニチュードはM6.2）が発生し、北海道と青森県で震度1を観測した。

12月31日07時34分、根室半島南東沖の深さ46kmでM5.0の地震（図3中のb）が発生し、北海道の根室市で震度4を観測したほか、北海道から青森県の一部にかけて震度2～1を観測した（p7参照）。

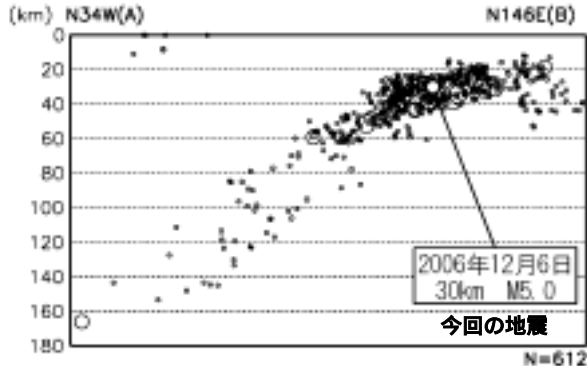


# 12月6日 釧路沖の地震

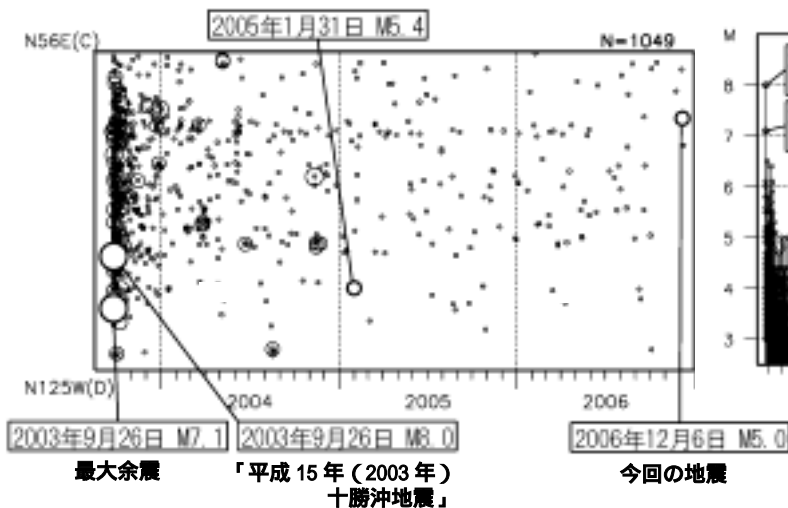
震央分布図  
(2003年9月26日～2006年12月31日  
深さ0～180km、M 3.0)



領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



領域 b 内の C - D 方向の時空間分布図

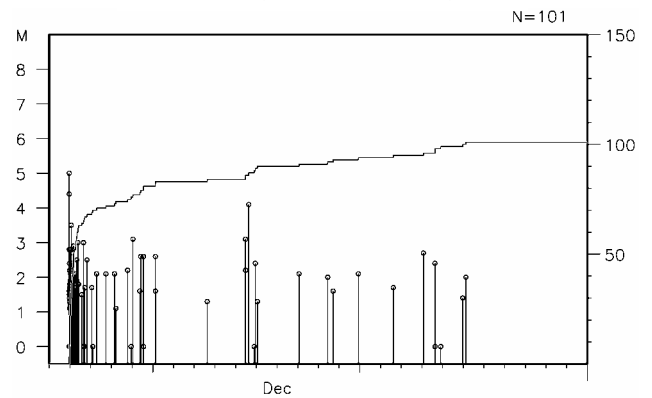


2006年12月6日23時04分、釧路沖の深さ30kmでM5.0(最大震度3)の地震が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ型である。

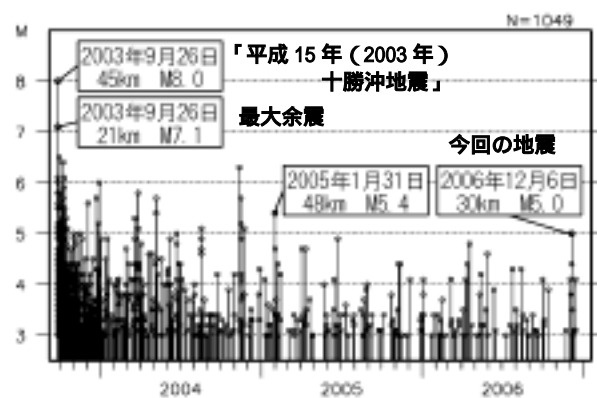
この地震の発生直後の23時07分にM4.4(最大震度1)の地震が発生するなど、ややまとまった地震活動がみられたが、12月末にはおさまった。

今回の地震は2003年9月26日に発生した「平成15年(2003年)十勝沖地震」の余震域内で発生したが、同地震の余震域内でM5.0以上の地震が発生したのは、2005年1月31日のM5.4の地震以来である。

領域 c 内の M - T 図及び回数積算図  
12月6日～31日、深さ0～40km、Mすべて

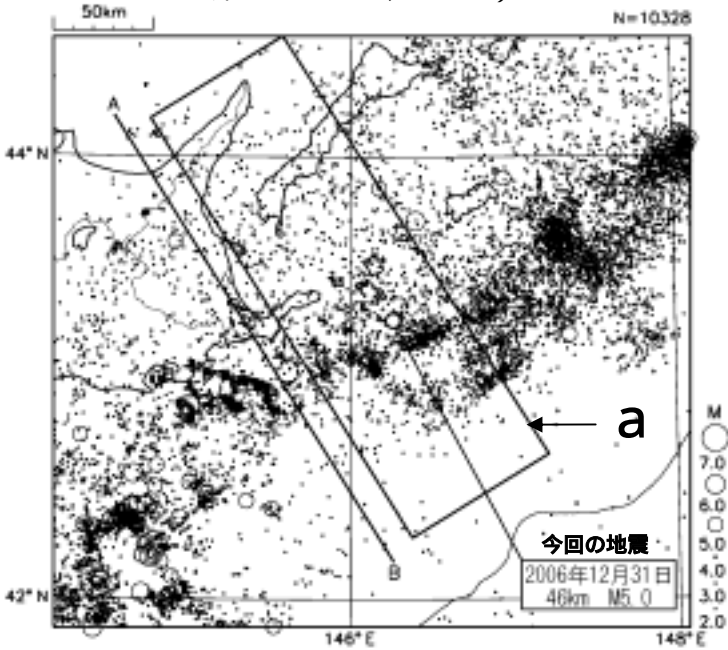


領域 b の M - T 図



# 12 月 31 日 根室半島南東沖の地震

震央分布図  
 (2001 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日  
 深さ 0 ~ 180km、M 2.0)



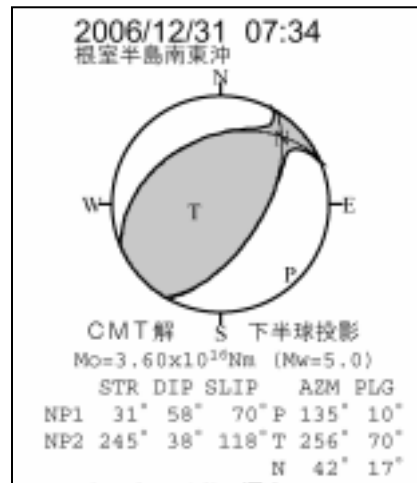
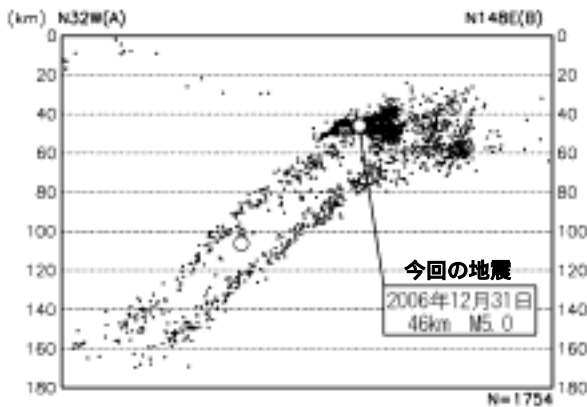
2006 年 12 月 31 日 07 時 34 分、根室半島南東沖の深さ 46km で M5.0 (最大震度 4) の地震が発生した。

この地震の発震機構 (CMT 解) は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

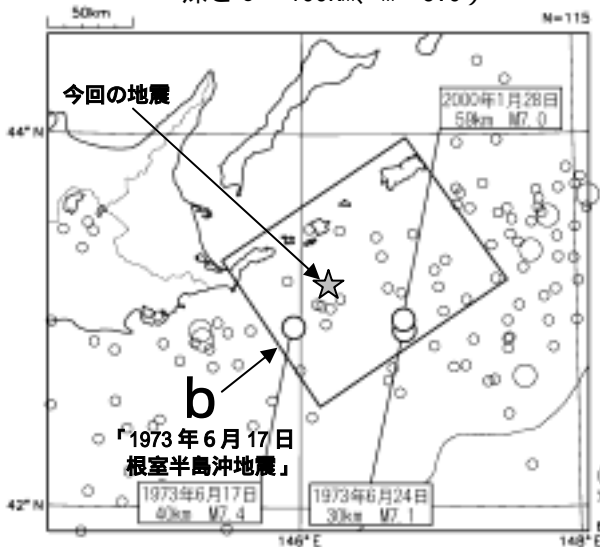
1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では、M6.0 以上の地震が度々発生している。最大のものは 1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震 (M7.4、最大震度 5) で、負傷者 28 名、住家全半壊 3 棟、一部破損 5,080 棟等の被害が発生している。また、この地震により津波が発生し、北海道から本州の太平洋沿岸やオホーツク海沿岸で津波を観測している。

今回の地震の発震機構 (CMT 解)

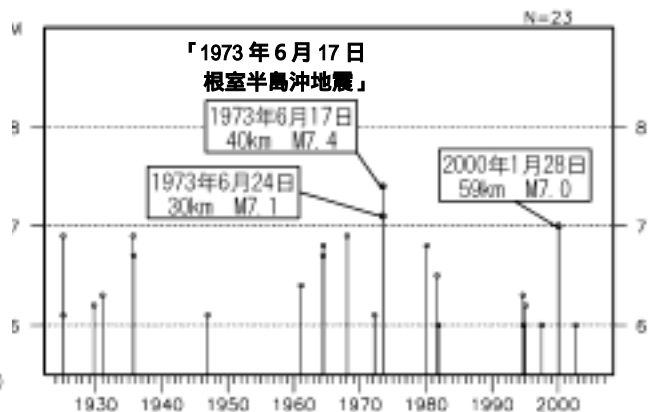
領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図  
 (1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日  
 深さ 0 ~ 100km、M 6.0)



領域 b 内の M - T 図



## 東北地方の地震活動

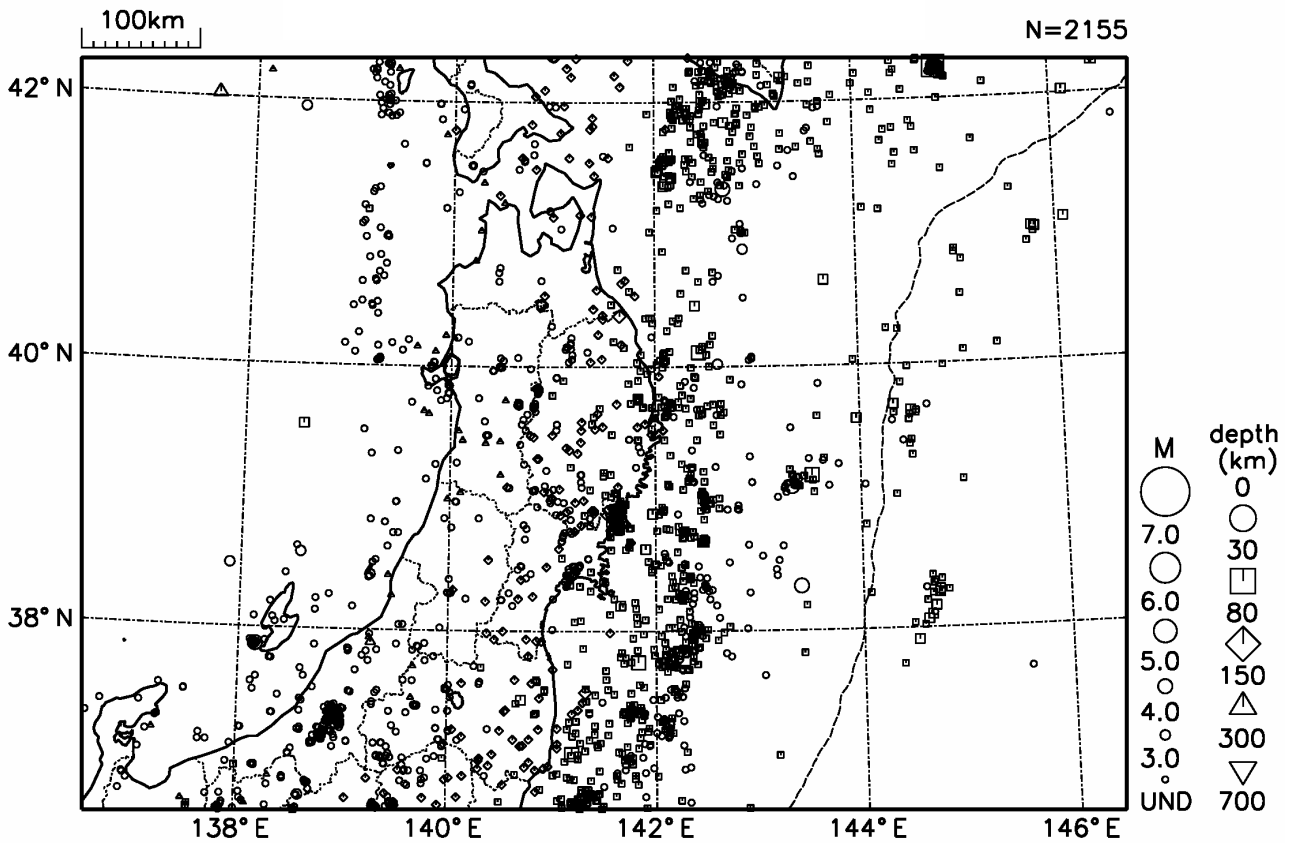


図4 東北地方の震央分布図（2006年12月1日～12月31日）

[ 概況 ]

12月に東北地方で震度1以上を観測した地震は32回（11月は32回）であった。  
12月中、特に目立った活動はなかった。

## 関東・中部地方の地震活動

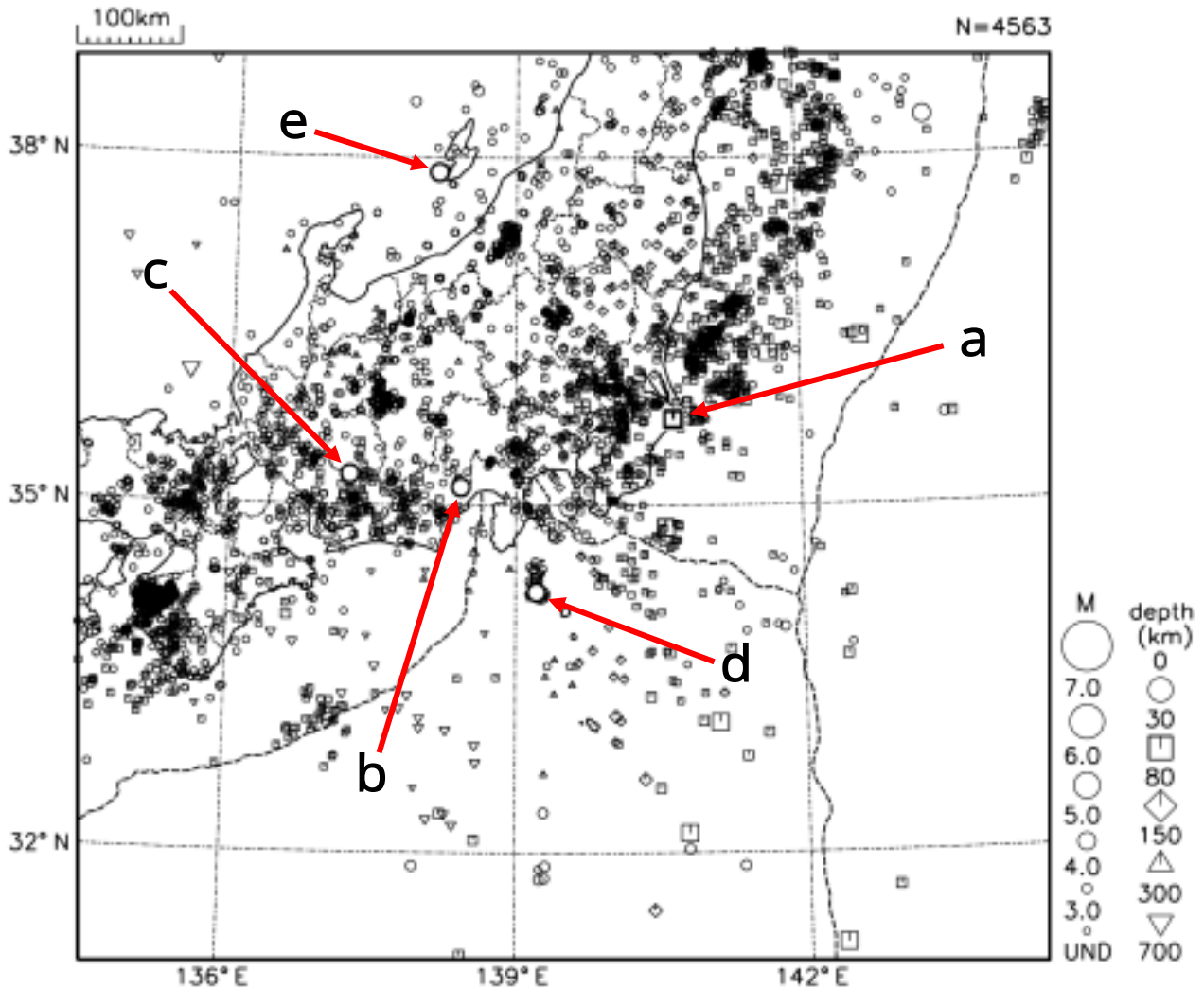


図5 関東・中部地方の震央分布図（2006年12月1日～12月31日）

### [ 概況 ]

12月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は76回（11月は53回）であった。12月中の主な活動は次のとおりである。

4日06時08分、千葉県北東部でM4.5の地震（図5中のa）があり、千葉県と茨城県で震度3を観測したほか、関東地方と静岡県で震度2～1を観測した（p10参照）。

16日19時00分、静岡県中部でM4.0の地震（図5中のb）があり、静岡県静岡市清水区で震度3を観測したほか、静岡県、山梨県、神奈川県、長野県、埼玉県で震度2～1を観測した（p11参照）。

19日18時33分、愛知県西部でM4.4の地震（図5中のc）があり、愛知県、岐阜県、長野県で震度3を観測したほか、東海、甲信越、北陸、近畿地方で震度2～1を観測した（p12参照）。

26日05時17分、佐渡付近でM4.9の地震（図5中のe）があり、新潟県佐渡市で震度4を観測したほか、新潟県を中心に東北地方南部から福井県にかけて震度3～1を観測した（p13参照）。

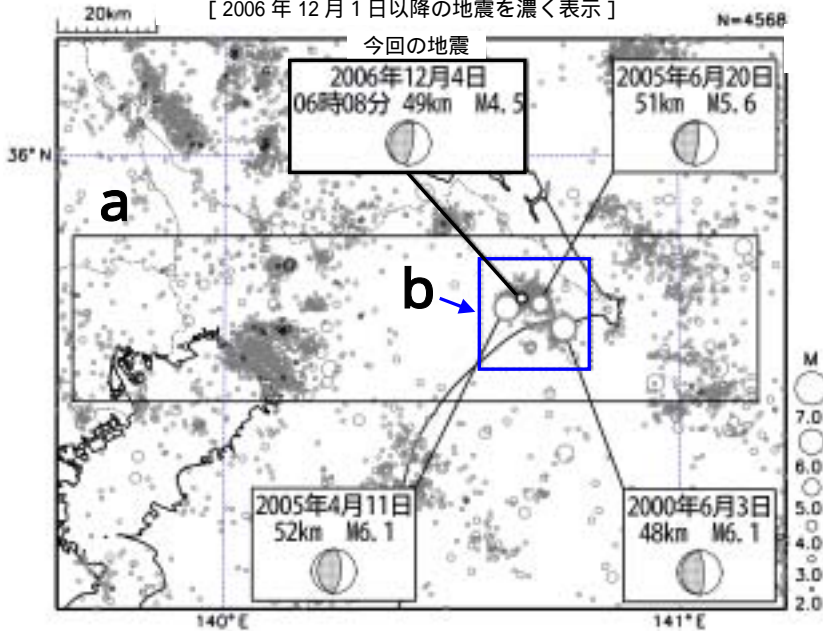
30日より新島・神津島近海で地震活動（図5中のd）が発生した。最大の地震は、31日02時49分に発生したM4.7の地震であり、東京都新島村で震度4を観測したほか、東京都の島嶼部、静岡県、千葉県で震度3～1を観測した。この地震の他にも、同海域では31日までに震度3を観測した地震が5回発生した（p14参照）。

# 12 月 4 日 千葉県北東部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日、  
深さ 0 ~ 100km、M 2.0)

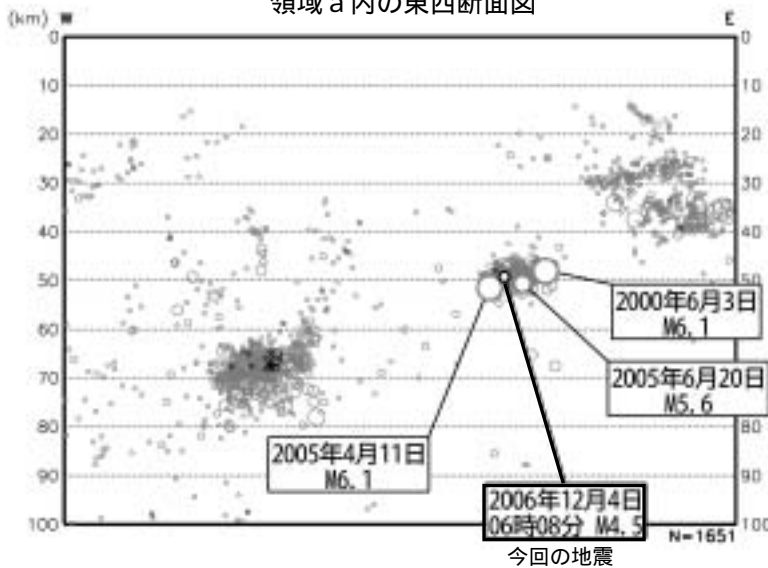
[2006 年 12 月 1 日以降の地震を濃く表示]



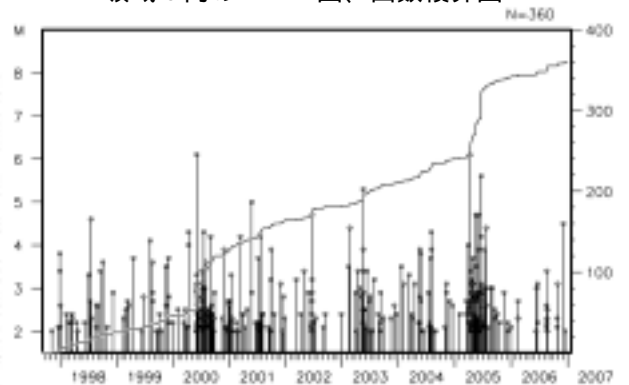
2006 年 12 月 4 日 06 時 08 分に千葉県北東部の深さ 49km で M4.5 (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。今回の地震の震源付近には地震活動が活発なクラスタがあり、最近では 2005 年 4 月 11 日に M6.1 (最大震度 5 強) の地震が発生している。

1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が 8 回観測されている。M7.0 以上の地震は観測されていない。

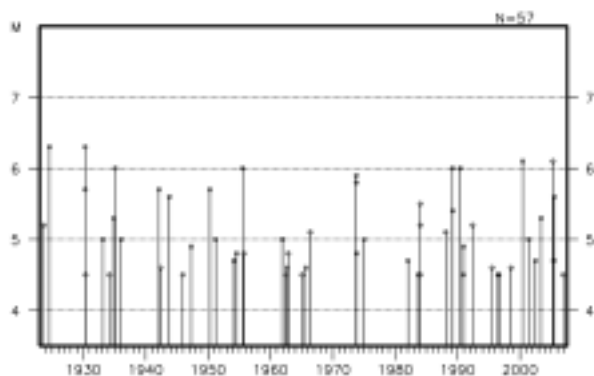
領域 a 内の東西断面図



領域 b 内の M - T 図、回数積算図

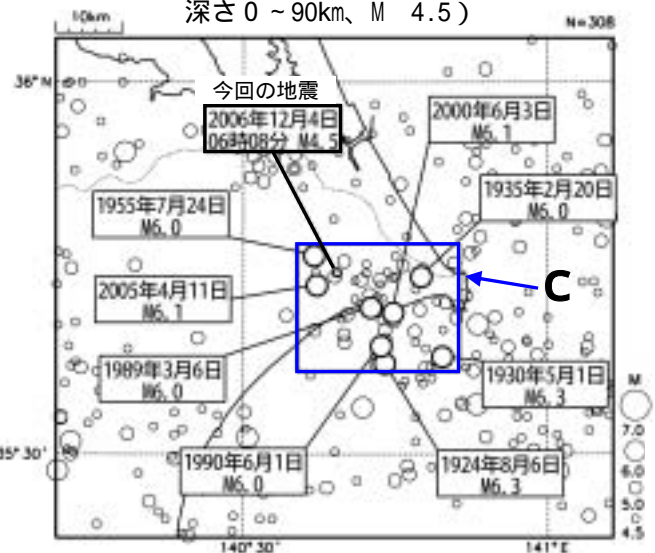


領域 c 内の M - T 図



震央分布図

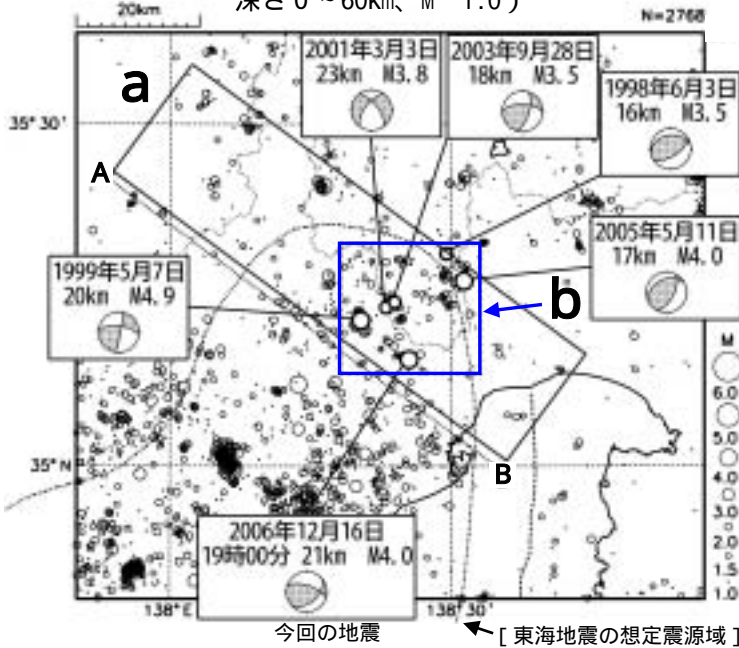
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日、  
深さ 0 ~ 90km、M 4.5)



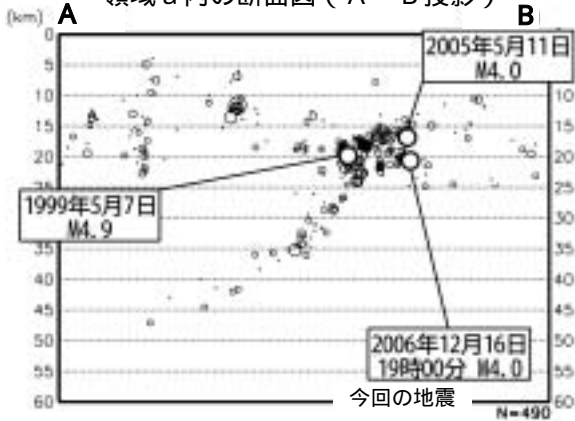
# 12月16日 静岡県中部の地震

震央分布図

（1997年10月1日～2006年12月31日、  
深さ0～60km、M 1.0）

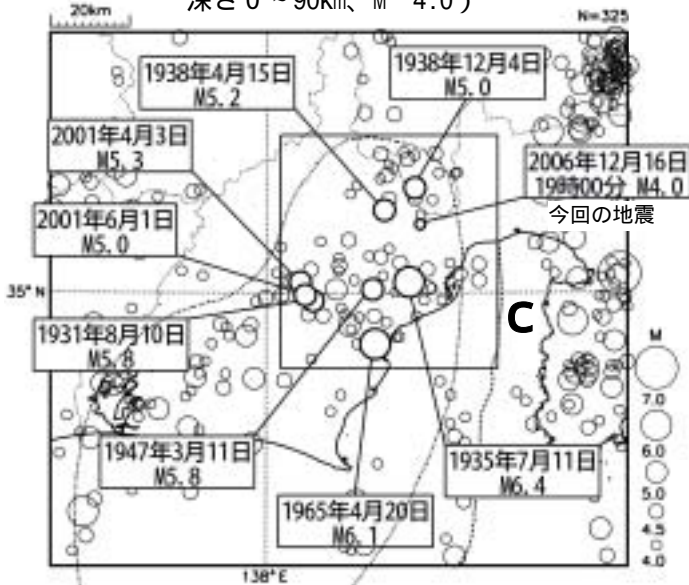


領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図

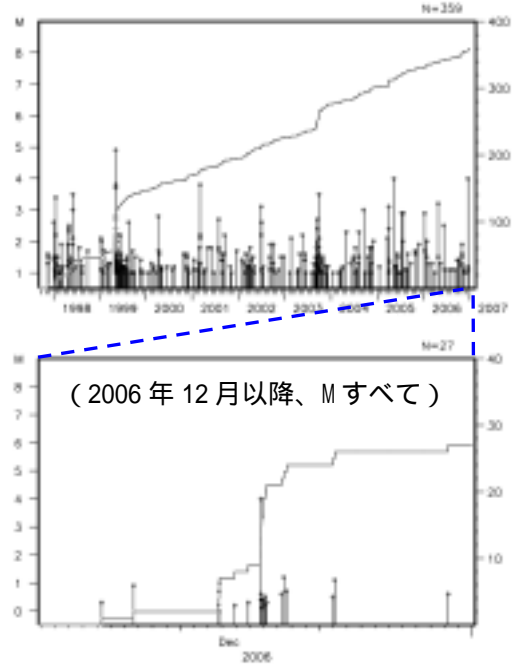
（1923年8月1日～2006年12月31日、  
深さ0～90km、M 4.0）



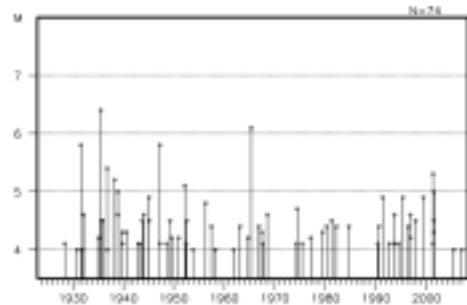
2006年12月16日に静岡県中部の深さ21kmでM4.0(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震と考えられる。余震は2日程度で収まった。今回の地震の震源の北西側では、1999年5月7日にM4.9(最大震度3)の地震が発生し、「東海地域の地震・地殻活動に関する情報(解説情報1号)」を発表している。

1923年8月以降、静岡県中部ではM4.0以上の地震が時々観測されている。M6.0以上の地震は、1935年7月11日にM6.4、1965年4月20日にM6.1の地震が発生しているが、1970年以後はそれ以前に比べ規模の大きな地震が少なく、M5.0以上の地震は2001年4月3日のM5.3(最大震度5強、「東海地域の地震・地殻活動に関する情報(解説情報3号)」を発表)と2001年6月1日のM5.0(最大震度3)の地震のみである。

領域 b 内の M - T 図、回数積算図

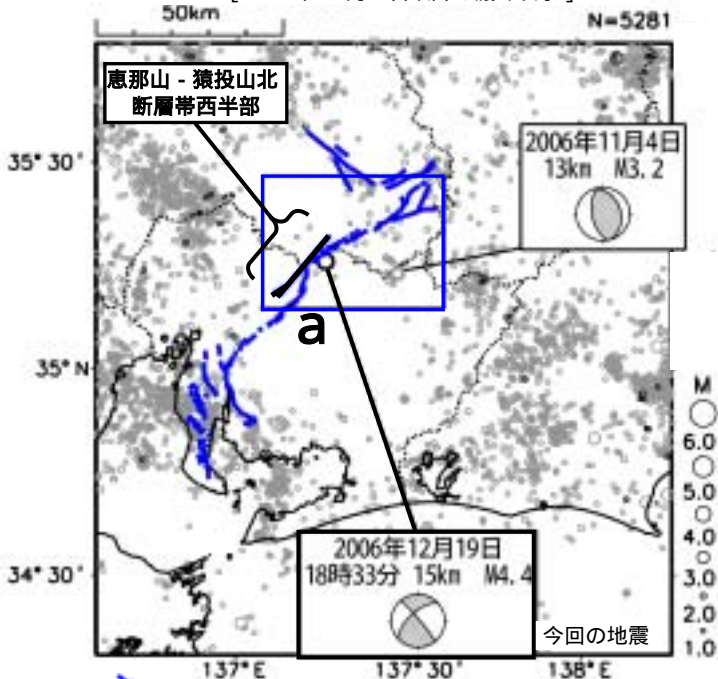


領域 c 内の M - T 図



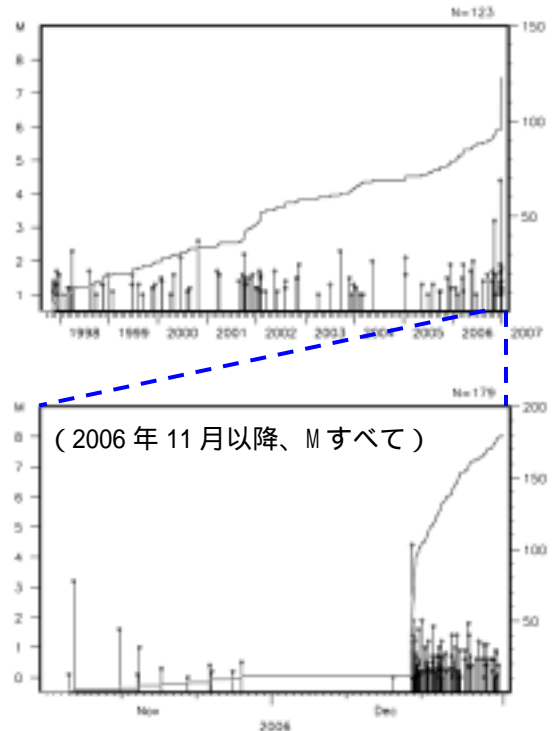
## 12 月 19 日 愛知県西部〔岐阜県美濃東部〕の地震

震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2006 年 12 月 31 日、  
 深さ 0～30km、M 1.0)  
 [2006 年 12 月 1 日以降を濃く表示]



：屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯  
 (地震調査委員会による)

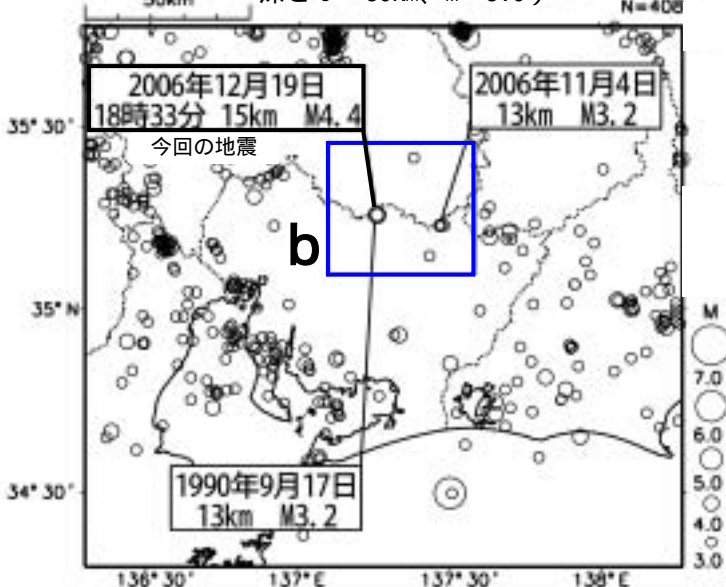
領域 a 内の M - T 図、回数積算図



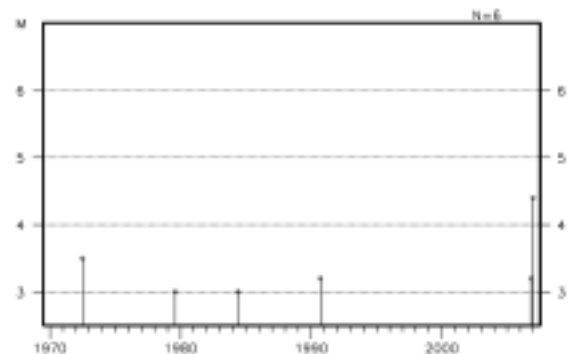
2006 年 12 月 19 日 18 時 33 分に愛知県西部〔岐阜県美濃東部〕の深さ 15km で M4.4 (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。地震発生直後の余震活動は比較的活発であったが、徐々に収まりつつある。今回の地震の震源近傍には、「屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯」が存在している。その一部である「恵那山 - 猿投山北断層帯西半部」は右横ずれ成分が主体とされており、今回の地震の発震機構と整合している。

1970 年以降、今回の地震の震央付近 (領域 b) の地震活動は低調であり、今回の地震 (M4.4) が最大規模となっている。

震央分布図  
 (1970 年 1 月 1 日～2006 年 12 月 31 日、  
 深さ 0～30km、M 3.0)



領域 b 内の M - T 図

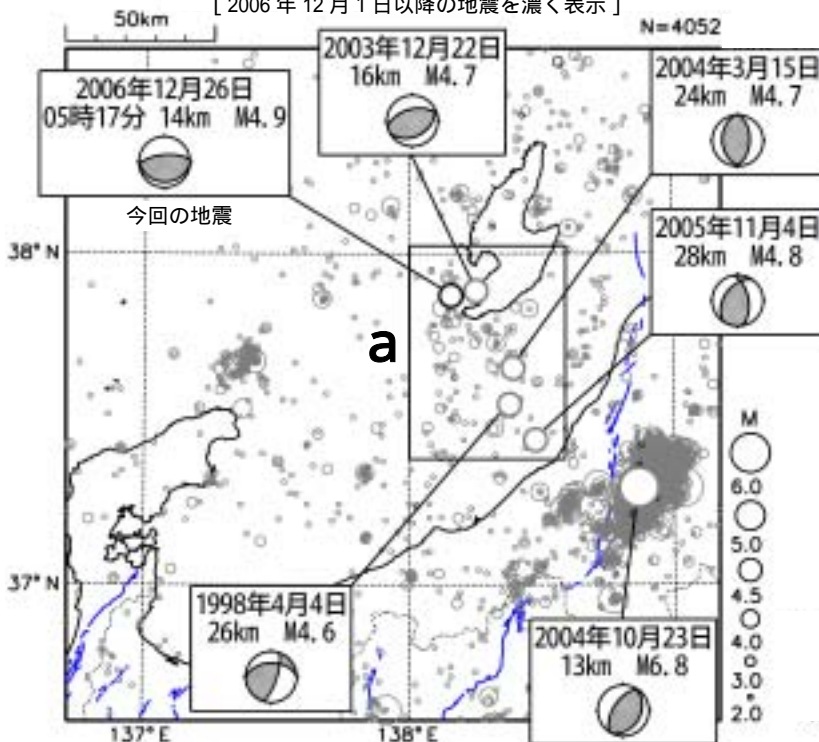


# 12 月 26 日 佐渡付近の地震

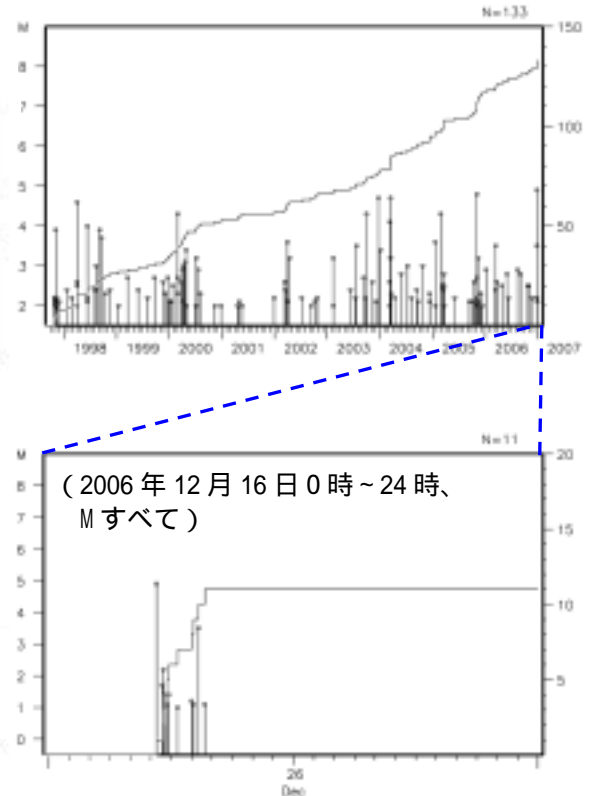
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日、  
深さ 0 ~ 40km、M 2.0)

[2006 年 12 月 1 日以降の地震を濃く表示]



領域 a 内の M - T 図、回数積算図

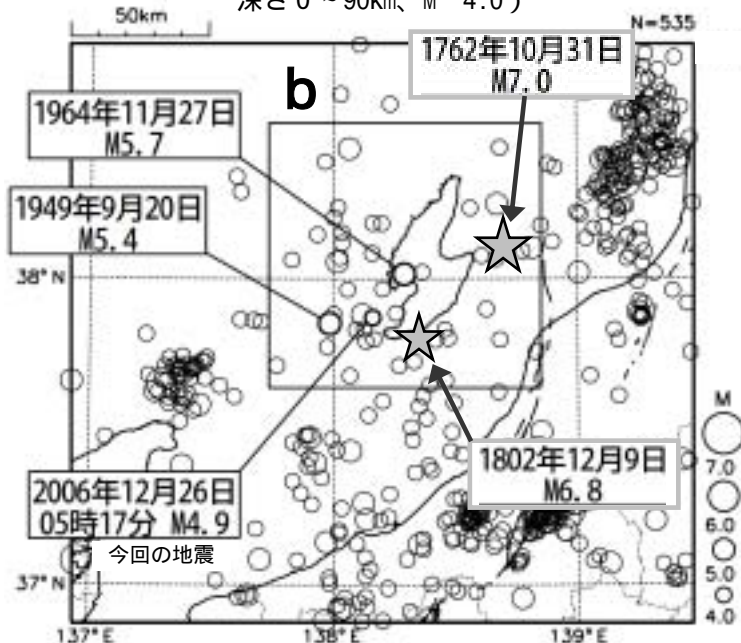


2006 年 12 月 26 日に佐渡付近の深さ 14km で M4.9 (最大震度 4) の地震が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。余震は数時間で収まった。今回の地震の震源付近では 2003 年 12 月 22 日に M4.7 (最大震度 4) の地震が発生するなど、M4.0 以上の地震が時々発生している。

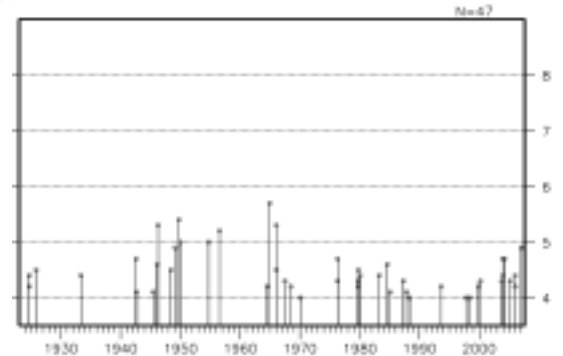
1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では 1964 年 11 月 27 日に発生した M5.7 (最大震度 4) の地震が最大である。なお、歴史記録によると、佐渡島付近では 1762 年 10 月 31 日に M7.0、1802 年 12 月 9 日に M6.8 の地震が知られている。

震央分布図

(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日、  
深さ 0 ~ 90km、M 4.0)



領域 b 内の M - T 図

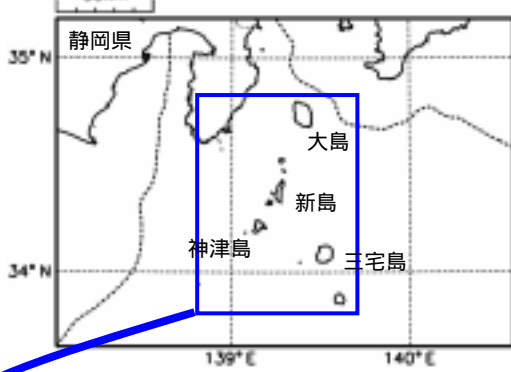


[ 印の震源は歴史記録などからの推定位置である。 ]

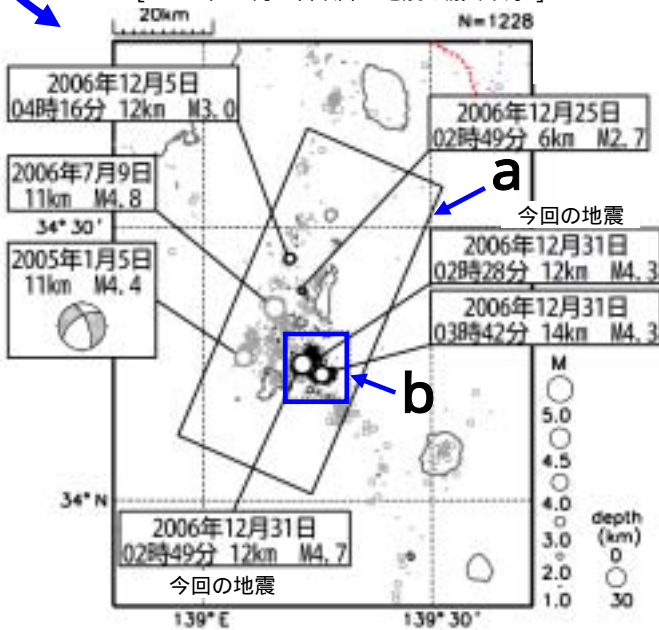


## 新島・神津島近海の地震活動

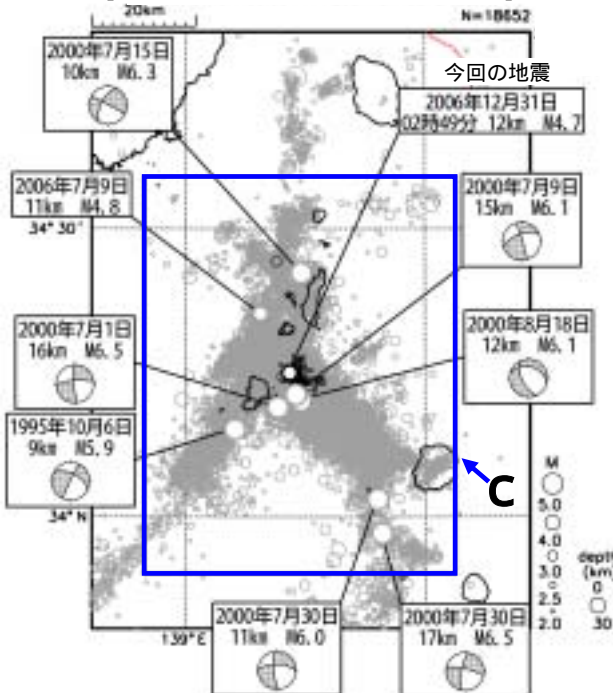
周辺図



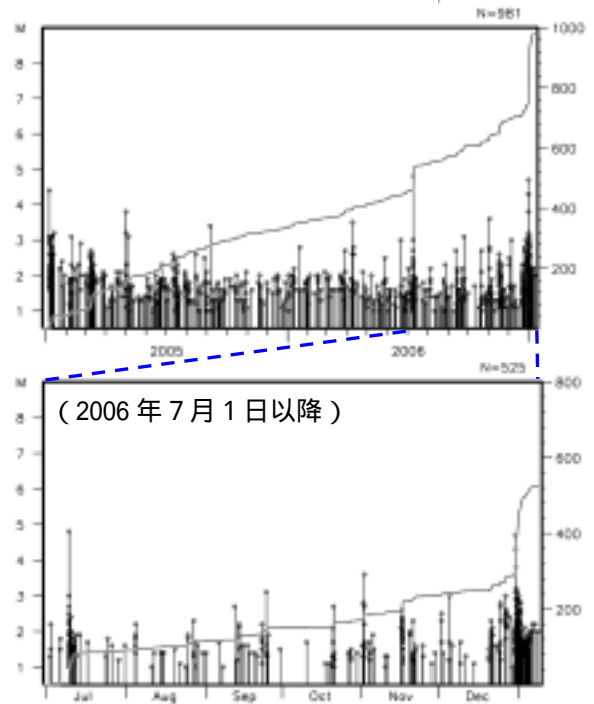
震央分布図（2005年1月～2007年1月8日、深さ0～30km、M 1.0）  
[2006年12月1日以降の地震を濃く表示]



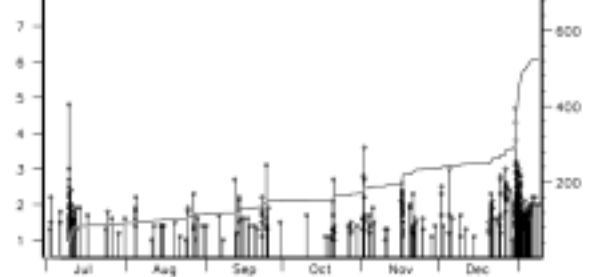
震央分布図（1990年1月～2007年1月8日、深さ0～30km、M 2.0）  
[2006年12月1日以降の地震を濃く表示]



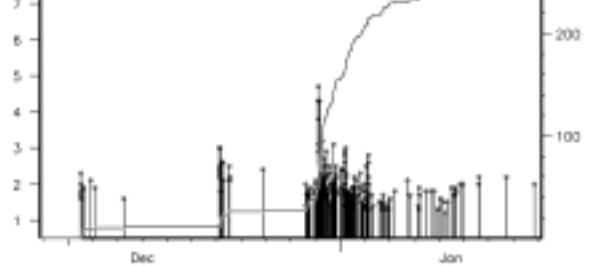
領域 a 内の M - T 図、回数積算図



(2006年7月1日以降)

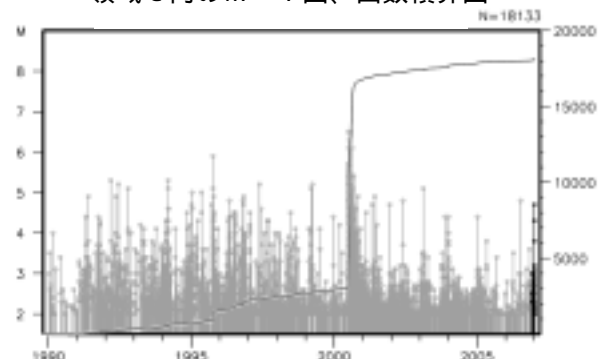


領域 b 内の M - T 図、回数積算図  
(2006年12月20日以降)



2006年12月30日より新島・神津島近海で地震活動が発生した。これまでの最大の地震は、12月31日02時49分に発生したM4.7（深さ12km、最大震度4）の地震であり、この地震に前後して31日02時28分にM4.3（最大震度3）、31日03時42分にM4.3（最大震度3）の地震が発生するなど、30日以降、震度3以上を観測した地震が6回発生している。活動は次第に収まってきている。今回の地震の震源付近では、12月21日より微小地震が間欠的に発生していた。

領域 c 内の M - T 図、回数積算図



## 近畿・中国・四国地方の地震活動

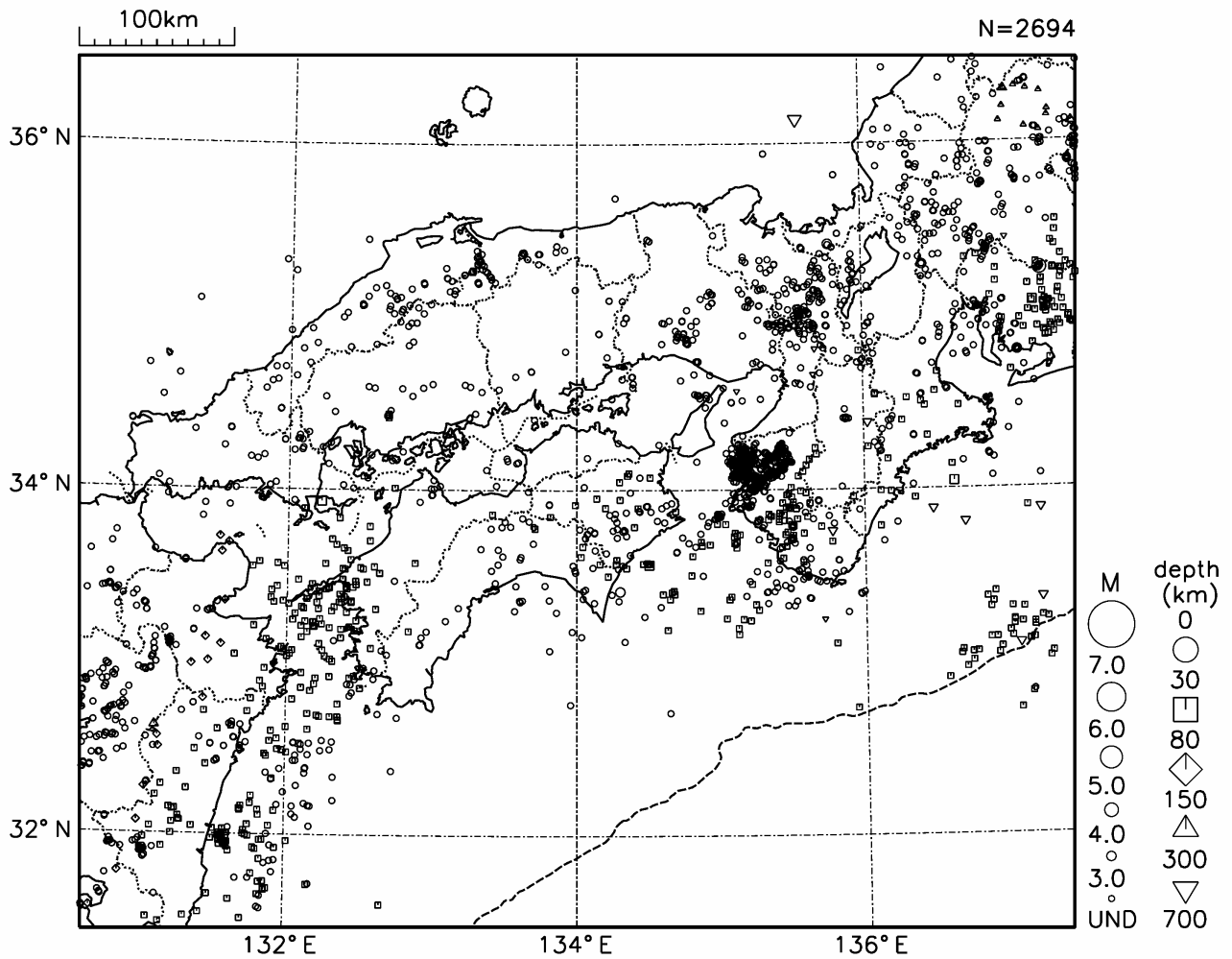


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2006年12月1日～12月31日）

### [ 概況 ]

12月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（11月は13回）であった。  
12月中、特に目立った活動はなかった。

## 九州地方の地震活動

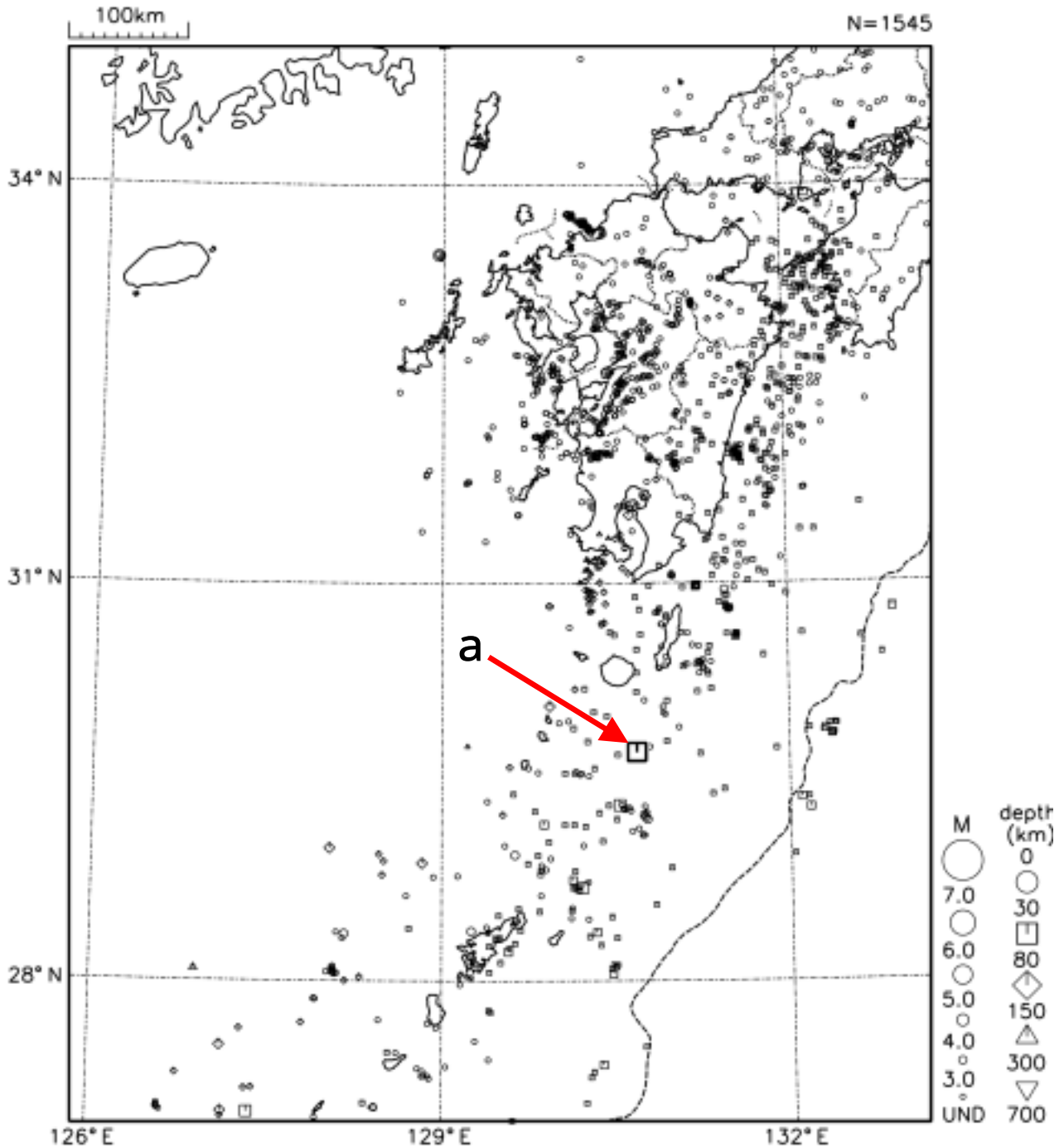


図7 九州地方の震央分布図（2006年12月1日～12月31日）

### [ 概況 ]

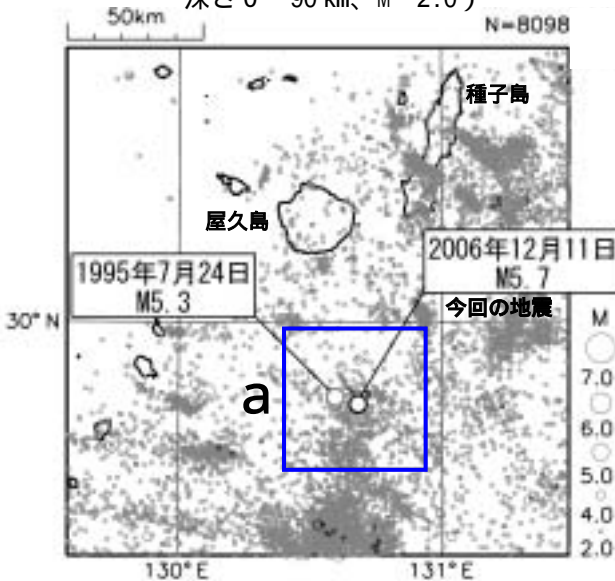
12月に九州地方で震度1以上を観測した地震は14回（11月は19回）であった。12月中の主な活動は次のとおりである。

11日00時28分、奄美大島北東沖でM5.7の地震（図7中のa）があり、鹿児島県南種子町で震度3を観測したほか、宮崎県、鹿児島県で震度2～1を観測した（p17参照）。

## 12 月 11 日 奄美大島北東沖の地震

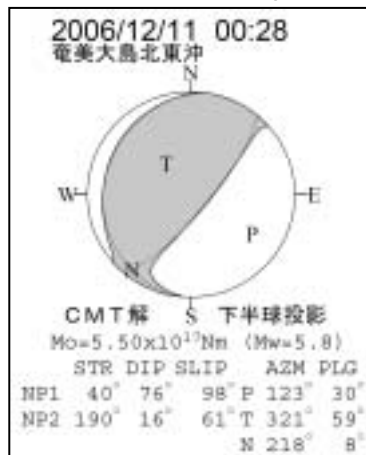
震央分布図

(1994 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日  
深さ 0 ~ 90 km、M 2.0)



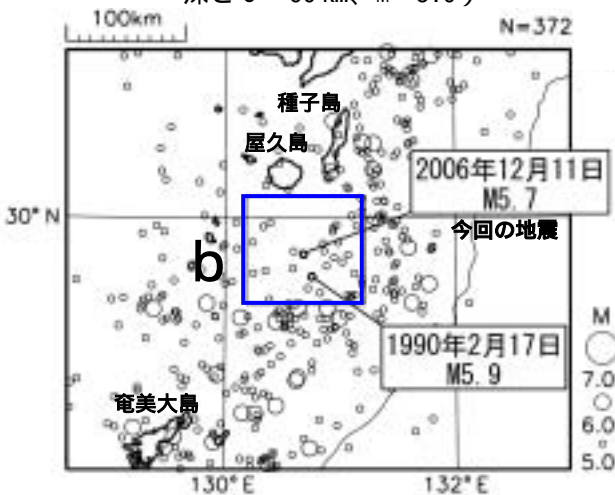
[2006 年 12 月地震を濃く表示している]

今回の地震の発震機構 (CMT 解)



震央分布図

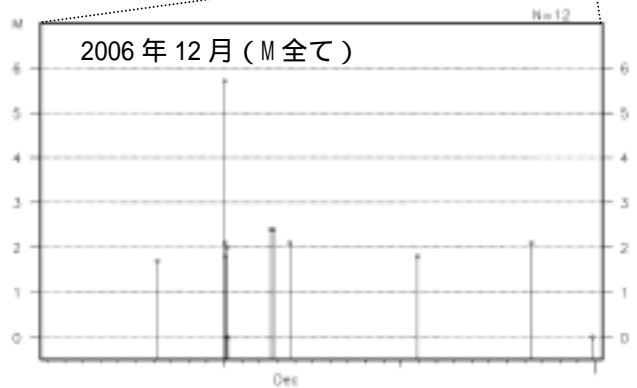
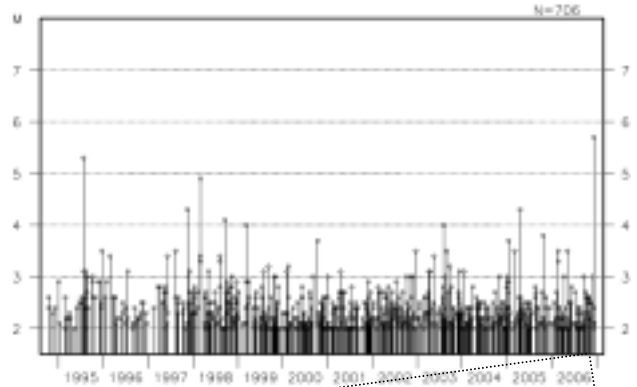
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 12 月 31 日  
深さ 0 ~ 90 km、M 5.0)



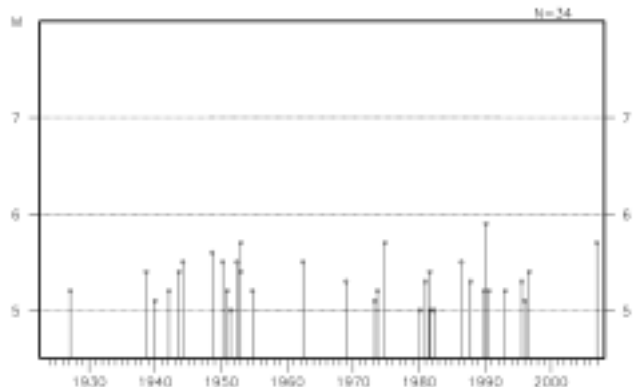
12 月 11 日 00 時 28 分に奄美大島北東沖で M5.7 の地震が発生し、最大震度 3 を観測した。発震機構 (CMT 解) は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ型であった。今回の地震の震央周辺 (領域 a) で M5.0 以上を超えた地震は、1995 年 7 月 24 日に発生した M5.3 (最大震度 2) の地震以来である。

また、1923 年 8 月以降の活動をみると、この地震の震央付近では、1990 年 2 月 17 日に発生した M5.9 (最大震度 3) の地震が最大で、M5.0 以上の地震は時々発生しているが、M6.0 以上の地震は発生していない。

領域 a 内の M - T 図



領域 b 内の M - T 図



## 沖縄地方の地震活動

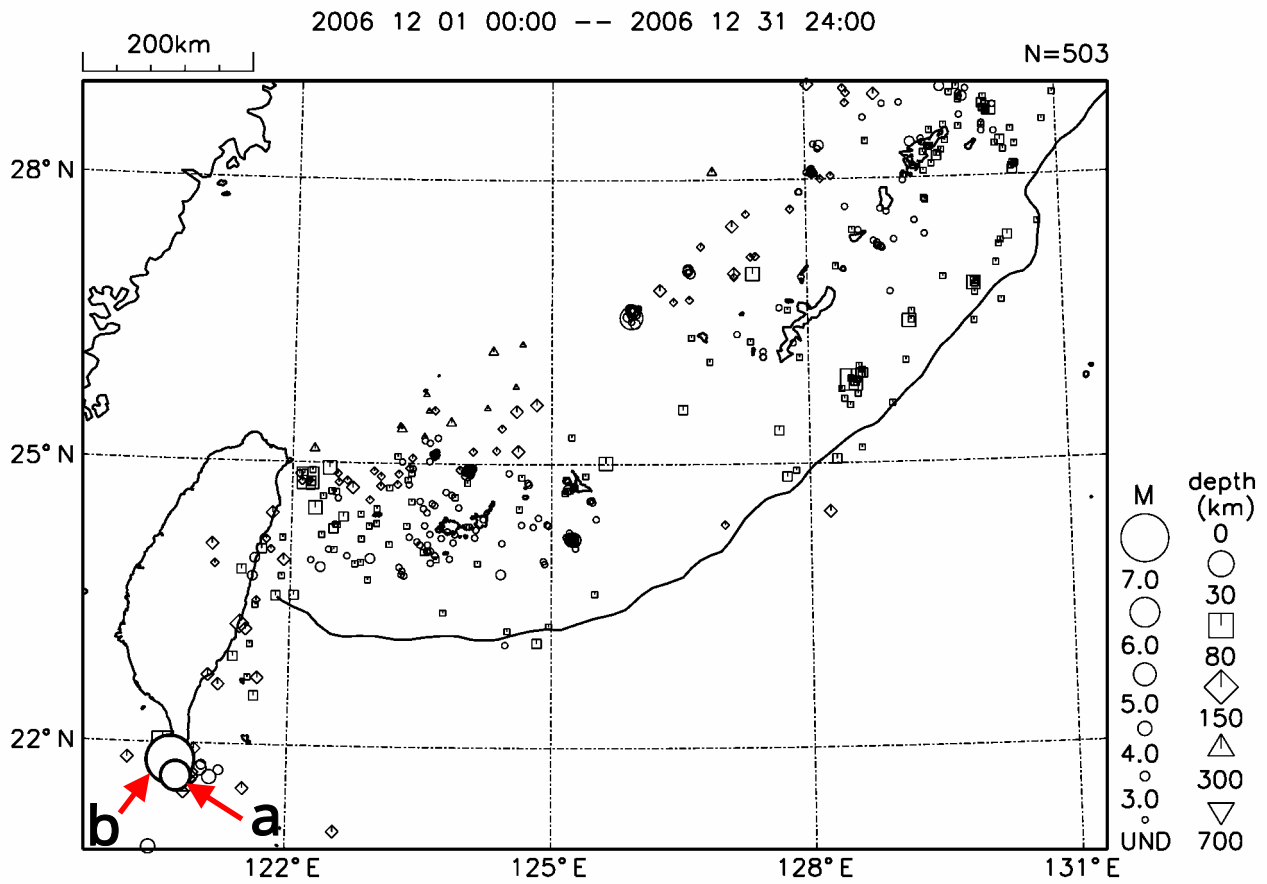


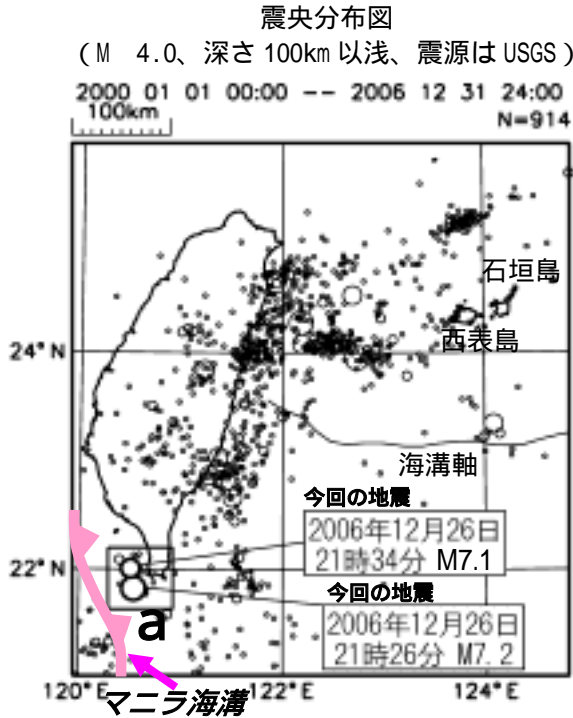
図 8 沖縄地方の震央分布図（2006 年 12 月 1 日～12 月 31 日）

### [ 概況 ]

12 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 7 回（11 月は 8 回）であった。  
12 月中の主な活動は次のとおりである。

26 日 21 時 26 分、21 時 34 分に台湾付近で M6.9、M7.2（米国地質調査所 (USGS) による表面波マグニチュードは M7.2、M7.1）の地震（図 8 中の a、b）があり、八重山諸島で震度 1 を観測した（p19 参照）。

# 12 月 26 日 台湾付近の地震



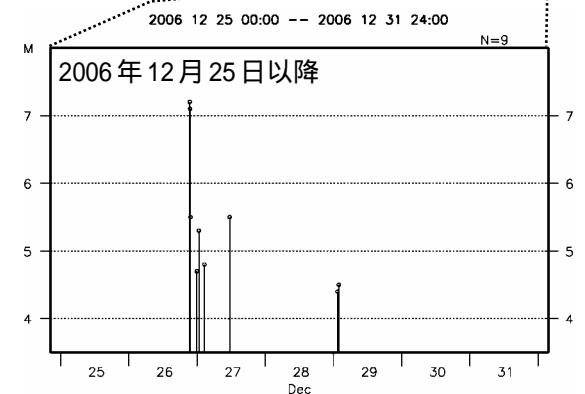
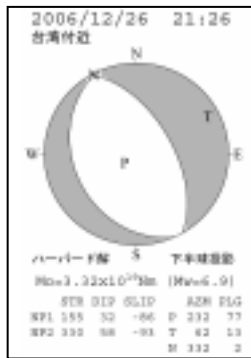
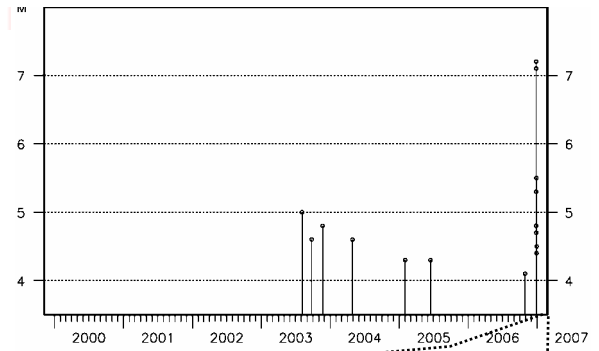
台湾付近で2006年12月26日21時26分にM7.2、同日21時34分にM7.1(共に米国地質調査所(USGS)による)の地震が発生した(領域a)。これらの地震により、八重山諸島で震度1を観測した。地震活動はその後減衰してきている。

今回の地震の発震機構(ハーバード大学によるCMT解)は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この付近はユーラシアプレートがマニラ海溝からフィリピン海プレートの下へ沈み込んでいるところで、今回の地震はユーラシアプレートの内部で発生したものと考えられる。

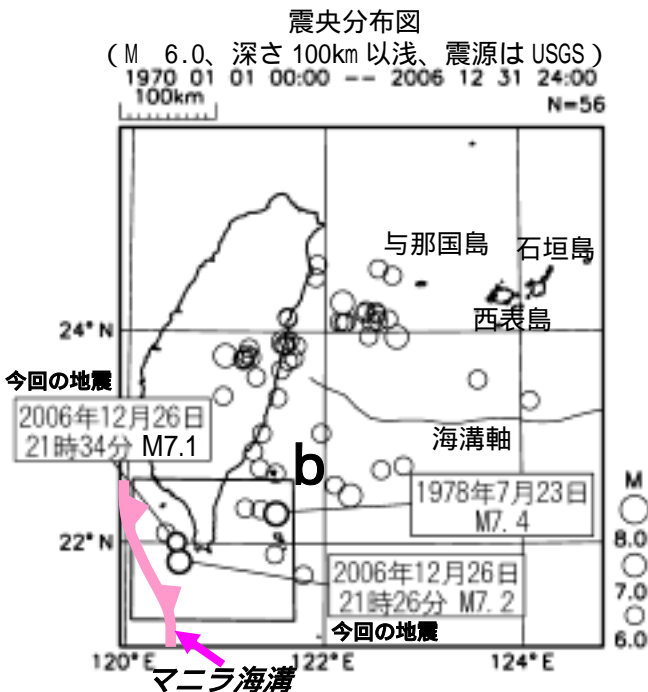
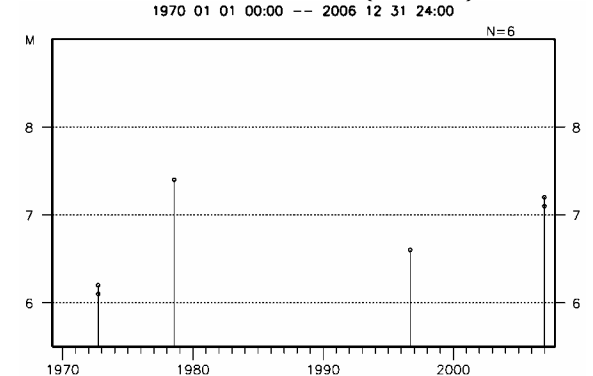
USGSによると、台湾の屏東県で死者1名以上、負傷者3名以上の被害があった(1月4日現在)。

1970年以降、今回の地震の震央付近(領域b)では、M6~7クラスの地震が時折発生している地域で、1978年7月23日のM7.4(USGS)の地震では石垣島で微弱な津波を観測している。

領域a内のM-T図(M 4.0)



領域b内のM-T図(M 6.0)



## 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

静岡県中部で M4.0（最大震度 3）の地震が発生した。  
 新島・神津島近海で M4.7（最大震度 4）の地震が発生した。

### [地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

12 月 25 日に気象庁において第 247 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図 2～5）

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。浜名湖東方から静岡県中部の直下では通常より活動レベルの低い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

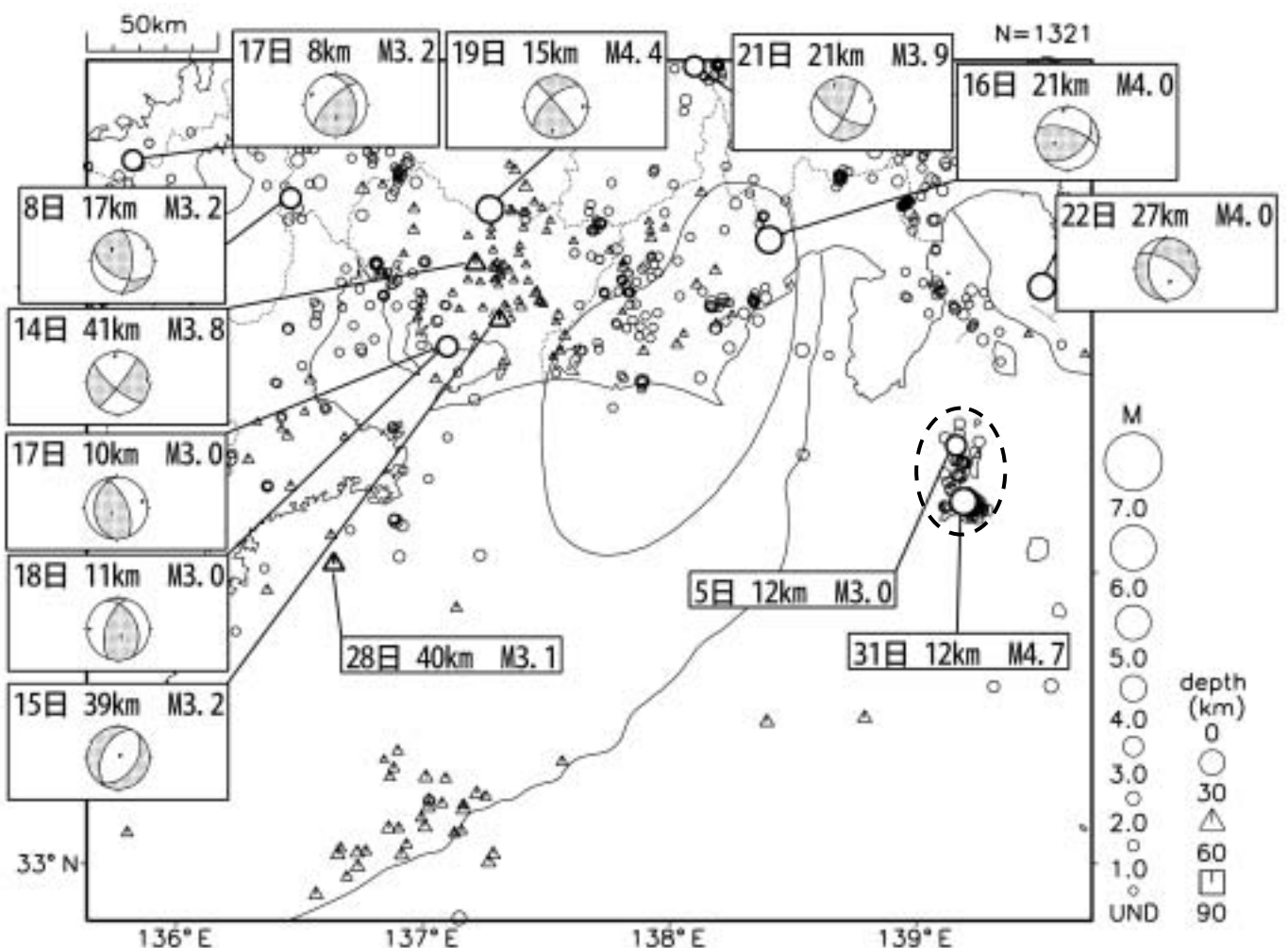


図 1 震央分布図（2006 年 12 月 1 日～31 日：深さ 90km 以浅、M すべて。M3.0 以上の地震（新島・神津島近海の 21 日以降の活動については最大のもののみ。東海道沖は M4.0 以上。）に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図は P 波初動による発震機構（下半球投影）。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

05 日 04 時 16 分、新島・神津島近海の深さ 12km で M3.0 の地震があり、最大震度 1 を観測した。その後地震活動は落ち着いたが、21 日からは再び断続的な活動が始まり、31 日 02 時 49 分には 21 日以降最大である M4.7 の地震が発生し、最大震度 4 を観測した。（p14 を参照）

08 日 19 時 55 分、岐阜県美濃中西部の深さ 17km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。発震機構は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ型で、陸域の地殻内の地震である。14 日 21 時 55 分、愛知県西部の深さ 41km で M3.8 の地震があり、最大震度 2 を観測した。

発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

15 日 23 時 43 分、愛知県東部の深さ 39km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

16 日 19 時 00 分、静岡県中部の深さ 21km で M4.0 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。（p11 を参照）

17 日 08 時 22 分、福井県嶺南の深さ 8 km で M3.2 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内の地震である。

17 日 23 時 45 分、愛知県西部の深さ 10km で M3.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内の地震である。なお、ほぼ 30 分後に同じ場所で同じ規模の地震が発生している（参照）。

18 日 00 時 17 分、愛知県西部の深さ 11km で M3.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。

発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内の地震である。

19 日 18 時 33 分、愛知県西部の深さ 15km で M4.4 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内の地震である。（p12 を参照）

21 日 10 時 51 分、長野県南部の深さ 21km で M3.9 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内の地震である。

22 日 13 時 48 分、伊豆大島近海の深さ 27km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は北東 - 南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

28 日 23 時 50 分、三重県南東沖の深さ 40km で M3.1 の地震があった。フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 2)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 2, 3)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 174 市町村(平成 18 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。



## 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2006年12月20日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	4	4	5	5	2	2	4	5
短期地震回数 (平均)	7 (6.34)	6 (5.90)	5 (4.49)	14 (12.63)	0 (2.38)	2 (5.91)	2 (3.53)	7 (6.11)
中期活動指数	5	4	6	3	1	0	1	4
中期地震回数 (平均)	23 (19.03)	17 (17.69)	18 (13.46)	34 (37.90)	1 (4.76)	3 (11.82)	2 (7.06)	11 (12.22)

\* Mしきい値:

M $\geq$ 1.1: 固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4: 駿河湾

\* クラスタ除去:

震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日: 固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日: 駿河湾

\* 対象期間:

短期: 30日間 (固着域、愛知県)、90日間 (浜名湖、駿河湾)

中期: 90日間 (固着域、愛知県)、180日間 (浜名湖、駿河湾)

\* 基準期間:

1997年—2001年 (5年間): 固着域、愛知県、1998年—2000年 (3年間): 浜名湖

1991年—2000年 (10年間): 駿河湾

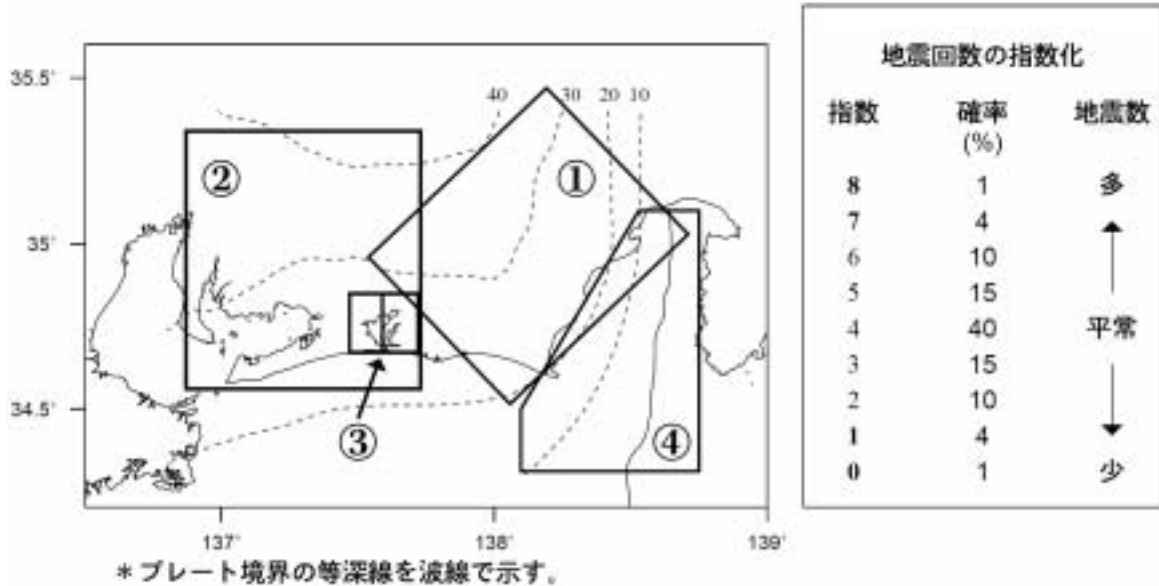


図2 東海地域の地震活動指数

浜名湖は、活動指数の低い状態が継続している。浜名湖東側の短期は平常（指数4）に戻ったが、揺らぎの可能性もある。それ以外の地域は、ほぼ平常の活動であった。

### 浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/1/1-2006/12/20 M ≥ 1.1 \* クラスタ除去したデータ

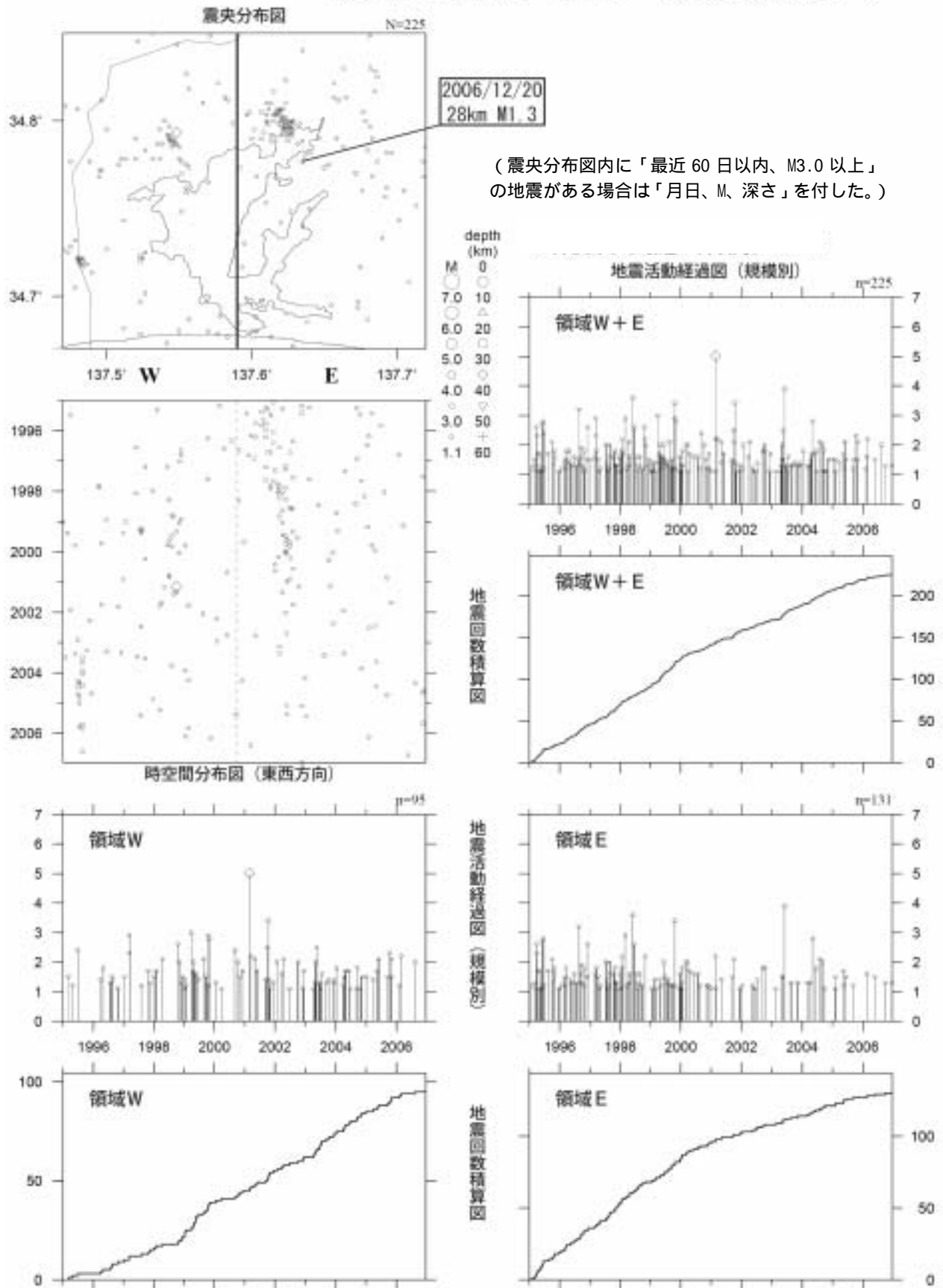


図3 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

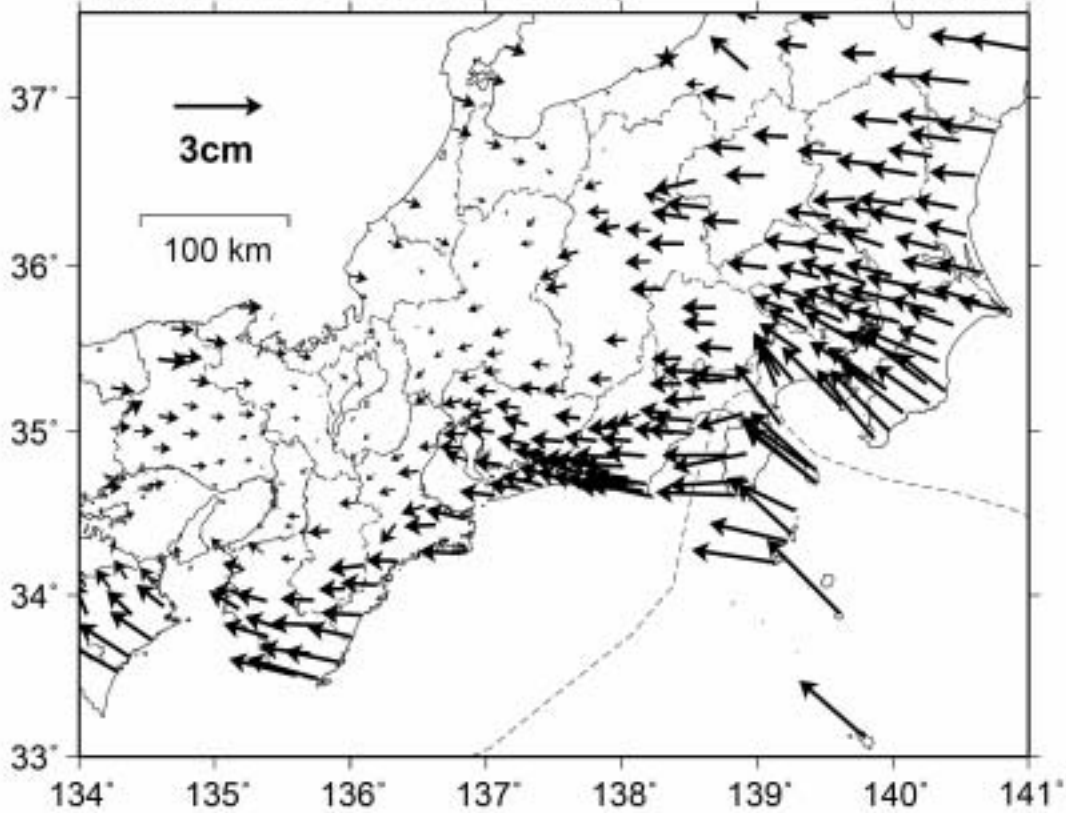
領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続している。その状況の中、12月20日にM1.3の地震が発生した。領域Wも最近では静かになっている。

## 東海地方の最近の地殻変動（水平変動） （2005年11月～2006年11月）

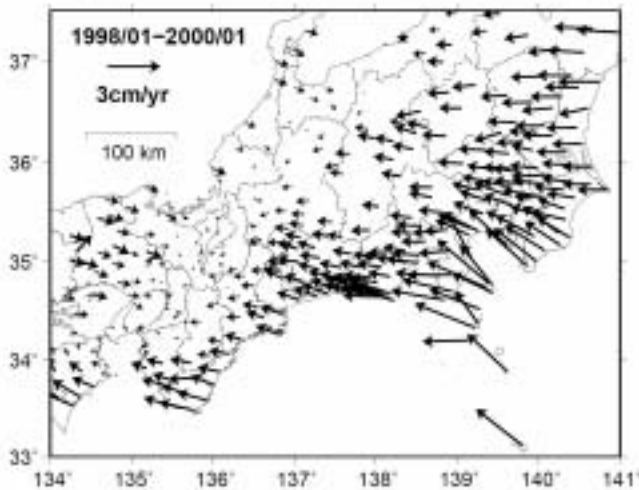
基準期間：2005/11/23 - 2005/12/2 [F2：最終解]

比較期間：2006/11/23 - 2006/12/2 [F2：最終解]

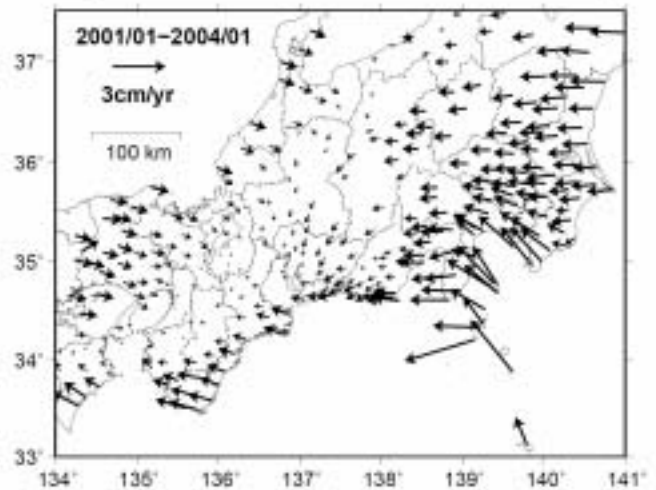
★固定局：大湊



スロースリップ開始以前の地殻変動速度  
（1998年1月～2000年1月）



スロースリップ進行期の地殻変動速度  
（2001年1月～2004年1月）



国土地理院資料

図4 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2006年11月23日～2006年12月2日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

## 2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）大潟固定

○平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。

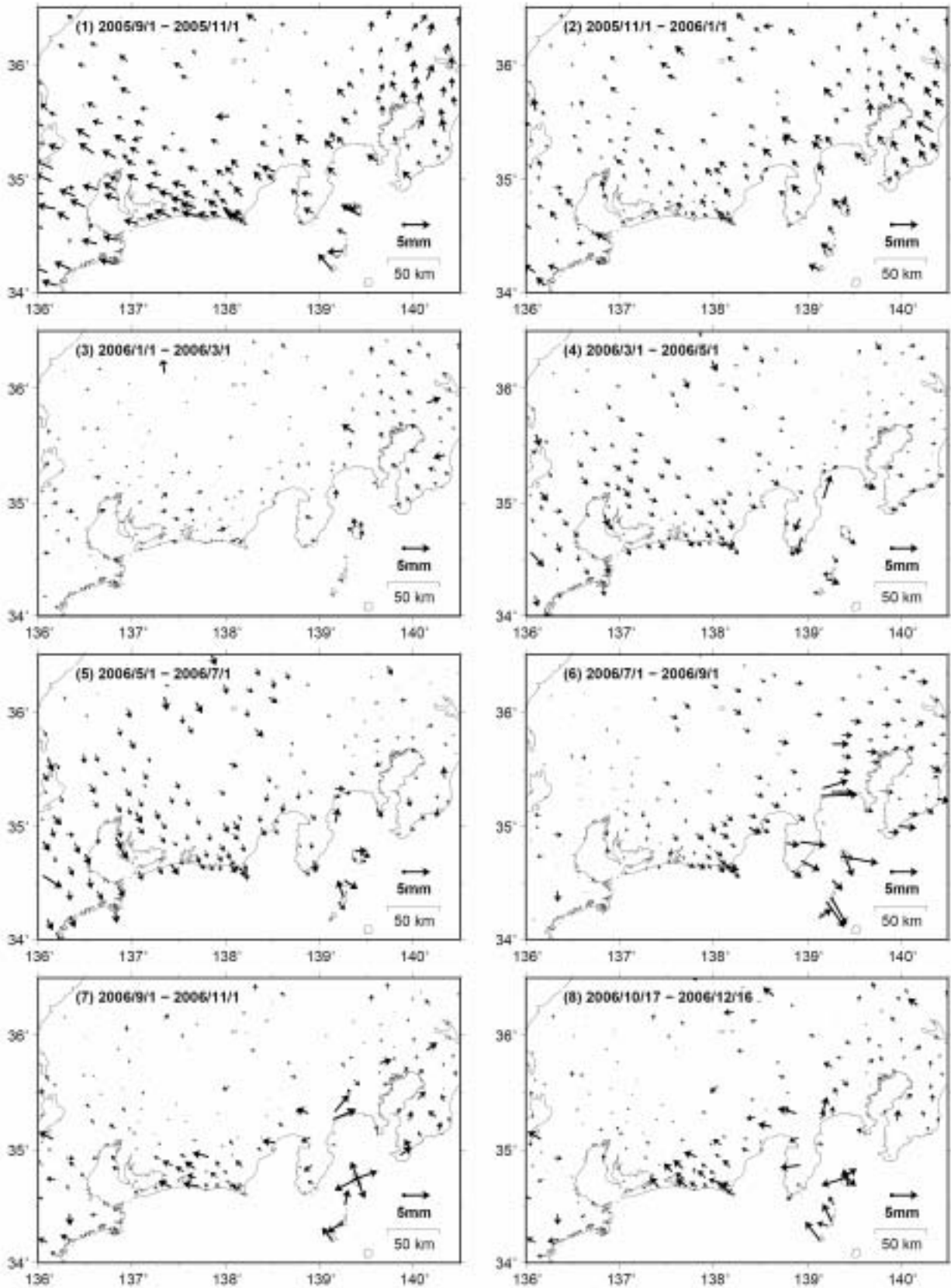


図5 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動（2005年9月～2006年12月16日）大潟固定

国土地理院資料

2006年1月には、変動が小さくなっている。最近の状況(8)は季節変動が現れているものであり、ゆっくり滑りによる地殻変動は発生していないと思われる。

# 日本の主な火山活動

平成 18 年（2006 年）12 月の主な火山活動は次のとおりである。

## 【噴火した火山】

桜 島 [ 比較的静穏な噴火活動（レベル 2 ）]

南岳山頂火口では小規模な噴火が時々発生した。

諏訪之瀬島 [ 活発な状況（レベル 3 ）]

20 日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。

## 【活発もしくはやや活発な状況の火山】

十勝岳 [ やや活発な状況 ]

62-2 火口では今年 1 月以降、噴煙活動及び火口温度の低下が見られるものの、依然として熱活動はやや活発な状態が続いている。

樽前山 [ やや活発な状況 ]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温の状態が続いていると推定される。

三宅島 [ やや活発な状況 ]

噴煙活動は活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

福徳岡ノ場 [ やや活発な状況 ]

11 日に変色水が確認された。

霧島山(新燃岳) [ やや活発な状況(レベル 2 )]

3 日に静穏な状況(レベル 1 )から引き上げ

3 日に火山性地震が多発し、火山活動がやや活発な状況となった。

薩摩硫黄島 [ やや活発な状況(レベル 2 )]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続いている。

口永良部島 [ やや活発な状況(レベル 2 )]

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

## 【静穏な状況であるが、観測データ等に变化のあった火山】

御嶽山 [ 静穏な状況 ]

29 日以降火山性地震が一時的に多発した。



図 1 解説を掲載した火山とその活動状況

### 注 1 レベル

本資料で示すレベルは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

### 注 2 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：活発もしくはやや活発な状況の火山
- ：その他記事を掲載した火山等の丸付き数字：レベル

## 各火山の活動解説

### 【北海道地方】

#### 雌阿寒岳 めあかんだげ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 十勝岳 とからだげ 【やや活発な状況】

62-2 火口では、2006 年 1 月以降、噴煙活動や火口温度に低下傾向がみられるものの、依然として熱活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 100～200m で経過した。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では火山活動によるとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

#### 樽前山 たるまえざん 【やや活発な状況】

山頂溶岩ドーム周辺の A 火口および B 噴気孔群では依然として高温状態が続いていると推定される。各火口の噴煙活動に特段の変化はみられず、噴煙高度は火口縁上 50～100m で推移した。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では、火山活動によるとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

#### 倶多楽 くつたら 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 有珠山 うすざん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 北海道駒ヶ岳 ほっかいどうこまがたけ 【静穏な状況】

GPS による地殻変動観測ではわずかな山体膨張が引き続き観測されている。また、昭和 4 年火口では、2003 年 9 月以降観測されている弱い噴気がしばしば認められている。地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 恵山 ゑざん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

### 【東北地方】

#### 岩手山 いわてざん 【静穏な状況】

11 日に行った上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、噴気や火口の状況に特段の変化はなかった。地震活動、噴煙活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 吾妻山 あづまやま 【静穏な状況（レベル 1）】

火山性地震の回数は 11 月に比べ減少したものの依然としてやや多い状態が続いている。噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 安達太良山 あだたらやま 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 磐梯山 ばんだいざん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

#### 那須岳 なすだげ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 草津白根山 くさつしらねざん 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 浅間山 あさまやま 【静穏な状況（レベル 1）】

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～200m で推移した。

20 日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は 1 日あたり 90～240t とやや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 新潟焼山 にいがたやま 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉観測局監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 御嶽山 おんたけざん 【静穏な状況】

12 月下旬から微小な火山性地震がやや増加し、29 日以降一時的に多発した。震源は山頂付近の浅い所と推定され、最大の地震は 30 日 15 時 33 分に発生したマグニチュード<sup>1)</sup> 1.3 であった。火山性微動は観測されなかった。

噴煙は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**白山** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴煙は認められず、火山活動は静穏に経過した。

**富士山** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

**伊豆東部火山群** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**伊豆大島** 【静穏な状況（レベル1）】

GPS および光波距離計による地殻変動観測では、マグマの注入によると考えられる長期的な山体の膨張傾向が継続している。

19 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺では、弱い噴気が認められる程度で、熱活動に特段の変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

**三宅島** 【やや活発な状況】  
噴煙活動は引き続き活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 200～300m で推移した。

4 日および 19 日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は 1 日あたり 1,400～2,800t で、依然として多量の火山ガスの放出が続いている。なお、三宅村の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

19 日に行った上空からの観測（東京消防庁の協力による）では、火口内の地形等に特に大きな変化はなく、火口内温度の最高は約 110 と依然として高温状態が続いていた。地磁気全磁力観測では山体内部の熱の状態には特に大きな変化はなかった。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。30 日に空振を伴う低周波地震<sup>3)</sup>が発生した。この地震発生時に噴煙の状況には特段の変化はなく、地震発生後に行った現地調査では降灰は確認されず、地殻変動など他の観測データにも特段の変化はなかった。低周波地震の発生後、火山性地震の回数は一時的に減少した。火山性微動は観測されなかった。

GPS による地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられ、引き続き火山ガスに対する警戒が必要である。

3) 三宅島では空振を伴う低周波地震が発生した場合には、火山灰噴出を伴うことがある。

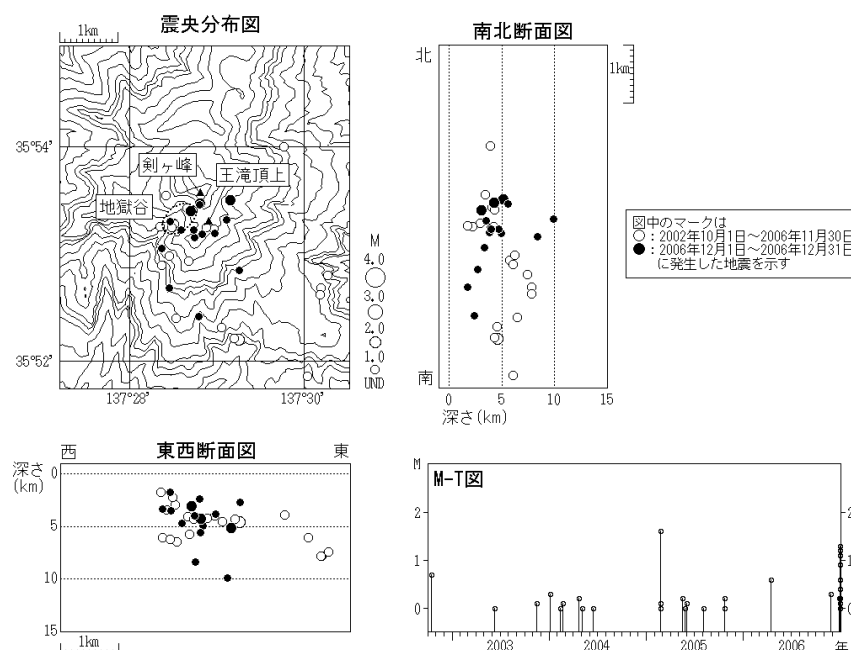


図 3 御嶽山 山頂付近の地震活動（2002 年 10 月 1 日～2006 年 12 月 31 日）  
12 月 29 日から山頂付近の浅いところを震源とする火山性地震が多発した。

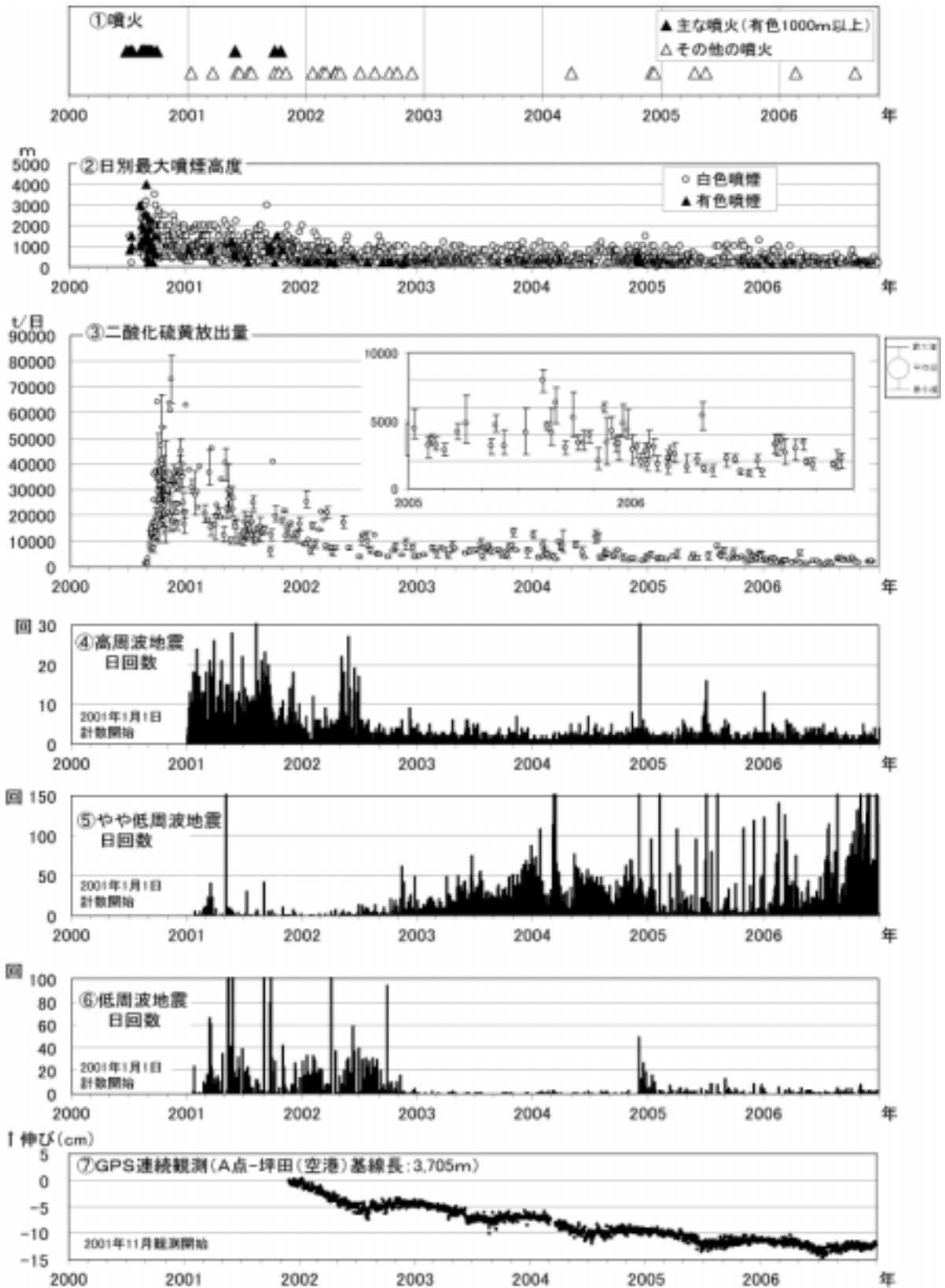


図2 三宅島 最近の火山活動の推移(2000年1月~2006年12月)

及び は、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。

、及び は、地震の種類別で計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載。



### 八丈島 <sup>はちじょうじま</sup> 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

### 福徳岡ノ場 <sup>ふくとくおか の ば</sup> 【やや活発な状況】

11 日に海上自衛隊が行った上空からの観測で、火山活動によるとみられる変色水が確認された。

## 【九州地方、南西諸島】

### 九重山 <sup>くじゅうざん</sup> 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 阿蘇山 <sup>あそざん</sup> 【静穏な状況（レベル 1）】

中岳第一火口の熱活動、噴煙活動及び地震活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気全磁力にも特段の変化はなかった。

中岳第一火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要である。

1 日及び 19 日に行った現地調査では、中岳第一火口から西南西約 6 km の南阿蘇村吉岡にある噴気地帯の噴気はやや強い状態が続いていた。今後も引き続き噴気活動に注意が必要である。

### 雲仙岳 <sup>うんぜんだけ</sup> 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 霧島山（新燃岳）<sup>きりしまやま しんもえだけ</sup> 【やや活発な状況（レベル 2）】 3 日に静穏な状況（レベル 1）から引き上げ

3 日に火山性地震が多発し、火山活動がやや活発な状態となったため、火山活動度レベルを 1（静穏な状況）から 2（やや活発な状況）に引き上げた。

その後、火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態で経過したが、14 日以降はやや少ない状態となった。火山性微動は観測されなかった。

5 日に行った現地調査では、噴気や火口の状況に特段の変化はなかった。

遠望カメラ（火口の南西約 7 km に設置）では、火口縁を超える噴気は観測されなかった。

地殻変動に火山活動によるとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状態であり、火口周辺では注意が必要である。

### 霧島山（御鉢）<sup>きりしまやま おはち</sup> 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に

経過した。

### 桜島 <sup>さくらじま</sup> 【比較的静穏な噴火活動（レベル 2）】

南岳山頂火口では小規模な噴火が時々発生した。昭和火口では、噴火は発生しなかったが、弱い噴気が時々観測された。

火山性地震や火山性微動はやや多い状態が続いており、振幅や火山性微動の継続時間がやや増大する傾向が認められている。地殻変動に特段の変化はなかった。

25 日に行った現地調査では、昭和火口周辺の熱活動に特段の変化はなかった。

桜島では噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

### 薩摩硫黄島 <sup>さつまいおうじま</sup> 【やや活発な状況（レベル 2）】

硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上 200～400m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

火山活動はやや活発な状態であり、火口周辺では注意が必要である。

### 口永良部島 <sup>くちのえらぶじま</sup> 【やや活発な状況（レベル 2）】

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

1 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、新岳火口内及びその周辺で引き続き熱活動の高まりが認められた。

GPS による地殻変動観測によれば、新岳火口付近の膨張傾向はやや鈍化した。

遠望カメラ（新岳<sup>しんだけ</sup>の北西約 4 km に設置）による観測では新岳火口周辺の噴気地帯で高さ 10m 程度の弱い噴気が時々認められた。

火山活動はやや活発な状態であり、火口周辺では注意が必要である。

### 諏訪之瀬島 <sup>すわのせじま</sup> 【活発な状況（レベル 3）】

20 日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、19 日に集落（御岳<sup>としま</sup>の南南西約 4 km）で降灰が認められた。

1 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、火口付近の状況に特段の変化はなかった。

噴火活動に伴い火山性連続微動が発生した。火山性地震は多い状態で経過した。

火山活動は活発な状態が続いており、御岳火口から半径 1～2 km 以内では注意が必要である。

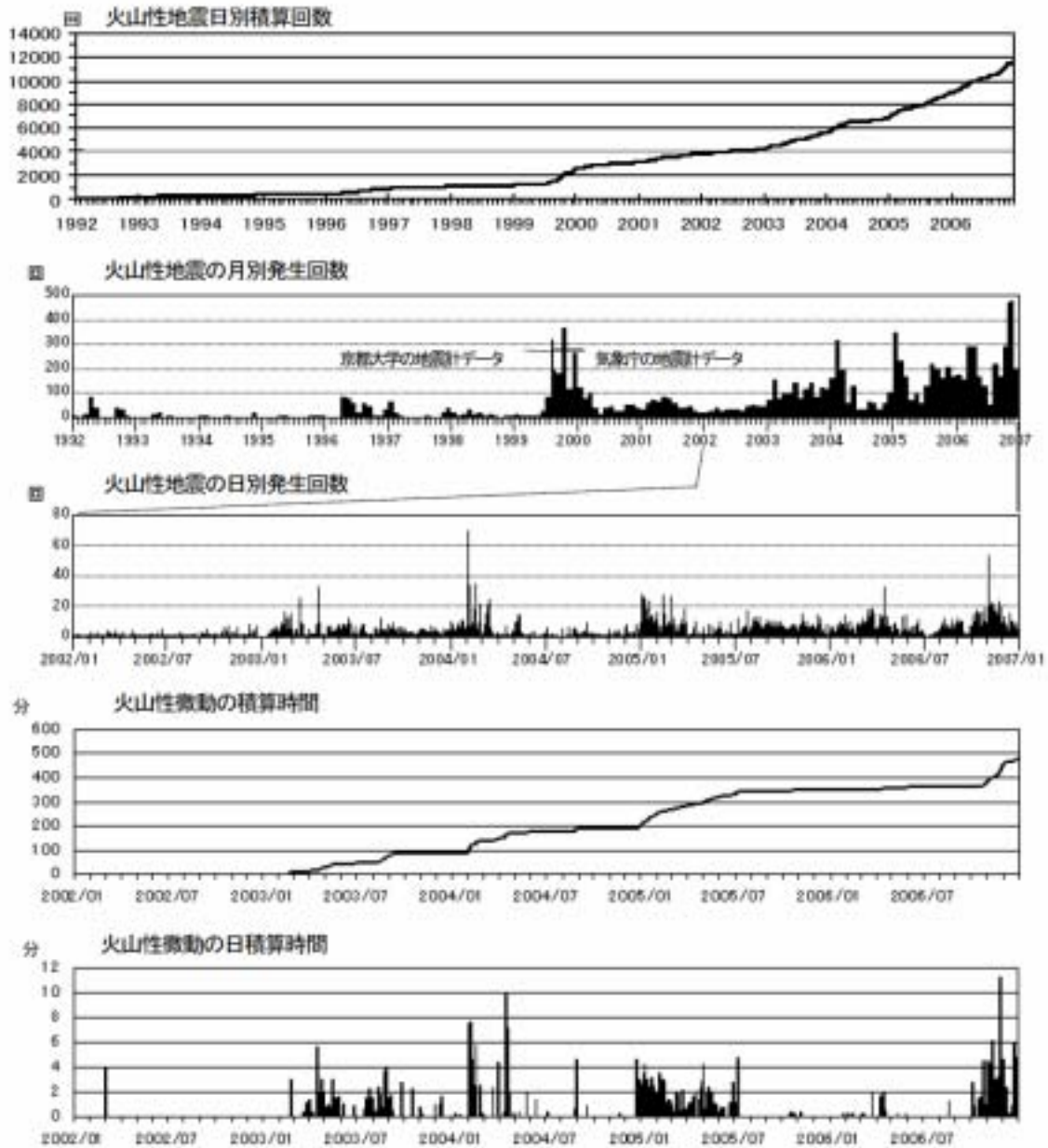


図 4 口永良部島 火山性地震及び火山性微動の発生状況

資料 1 2006 年 12 月の火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報 第 335～362 号 (1 日 1 回発表)	1 日～28 日 16:30	最近の火山活動評価、前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。11 日に行ったガス観測および 19 日に行った火口の観測結果。
霧島山	火山観測情報第 7 号	3 日 17:35	霧島山・新燃岳で、火山性地震が増加し、火山活動がやや活発になった。このため、火山活動度レベルを 1 から 2 に引き上げた。レベルは 2
	火山観測情報第 8 号	5 日 16:20	霧島山・新燃岳の現地調査の結果、噴気や火口の状況に特段の変化はなかった。火山性地震は少なくなっているものの 2 日以前に比べやや多い状態が続いている。レベルは 2

資料 2 過去 1 年間の火山活動の状況

火 山 名		平成18年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雌阿寒岳	活動												
十勝岳	活動												
樽前山	活動												
吾妻山	活動 レベル												
草津白根山	活動 レベル												
浅間山	活動 レベル												
伊豆大島	活動 レベル												
三宅島	活動												
福德岡ノ場	活動												
九重山	活動 レベル												
阿蘇山	活動 レベル												
雲仙岳	活動 レベル												
霧島山（新燃岳）	活動 レベル												
霧島山（御鉢）	活動 レベル												
桜島	活動 レベル												
薩摩硫黄島	活動 レベル												
口永良部島	活動 レベル												
諏訪之瀬島	活動 レベル												

活動状況(活動)

- : 噴火した火山
- : 活発もしくはやや活発な状況の火山

火山活動度レベル

- : 小規模な噴火が発生かその可能性  
(吾妻山、草津白根山、浅間山、雲仙岳では「小～中規模噴火が発生かその可能性」、桜島では「活発な火山活動」)
- : やや活発な火山活動  
(桜島では、「比較的静穏な噴火活動」)
- : 静穏な火山活動

全国の火山活動評価結果（12月31日現在）

最近の活動経過は、火山活動度レベル導入火山（ ）についてはレベル導入以降の、その他の火山（ ）については第 101 回火山噴火予知連絡会（平成 17 年 6 月 21 日開催）以降で最初に評価を明記した火山噴火予知連絡会開催日からの活動経過を示している。

	火山名	火山活動評価	
		12月31日現在	最近の活動経過
北海道地方	雌阿寒岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 18 年 2 月 18 日 やや活発 3 月 21 日 【噴火】活発 6 月 12 日 やや活発 8 月 25 日 静穏
	十勝岳	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	樽前山	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	倶多楽	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	有珠山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	北海道駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
東北地方	恵山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
	岩手山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	秋田駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	安達太良山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
関東・中部地方及び伊豆小笠原諸島	磐梯山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	那須岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	草津白根山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	浅間山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 7 月 20 日 静穏（レベル1） 7 月 31 日 やや活発（レベル2） 9 月 1 日 【噴火】活発（レベル3） 平成 17 年 6 月 21 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 9 月 22 日 静穏（レベル1）
	新潟焼山	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	焼岳	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	御嶽山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	白山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
	富士山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	箱根山	静穏な状況	平成 18 年 11 月 14 日 静穏
	伊豆東部火山群	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	伊豆大島	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	三宅島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	八丈島	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
福徳岡ノ場	やや活発な状況	平成 17 年 11 月 2 日 やや活発	

	火山名	火山活動評価	
		現在	最近の活動経過
九州地方・南西諸島	九重山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	阿蘇山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 1 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 2 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 17 年 4 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 5 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 1 月 20 日 静穏（レベル1） 3 月 24 日 やや活発（レベル2） 8 月 4 日 静穏（レベル1）
	雲仙岳	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	<b>霧島山 （新燃岳）</b>	<b>やや活発な状況（レベル2）</b>	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 5 月 22 日 静穏（レベル1） <b>平成 18 年 12 月 3 日 やや活発（レベル2）</b>
	（御鉢）	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 5 月 22 日 静穏（レベル1）
	桜島	比較的静穏な噴火活動 （レベル2）	平成 15 年 11 月 4 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2） 平成 18 年 6 月 12 日 【昭和火口から噴火】 活発（レベル3） 8 月 18 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2）
	薩摩硫黄島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	口永良部島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	諏訪之瀬島	活発な状況（レベル3）	平成 17 年 2 月 1 日 【噴火継続】 活発（レベル3）

（注）黒太字は平成 18 年 12 月に活動評価を変更した火山。

## 世界の主な地震

12月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

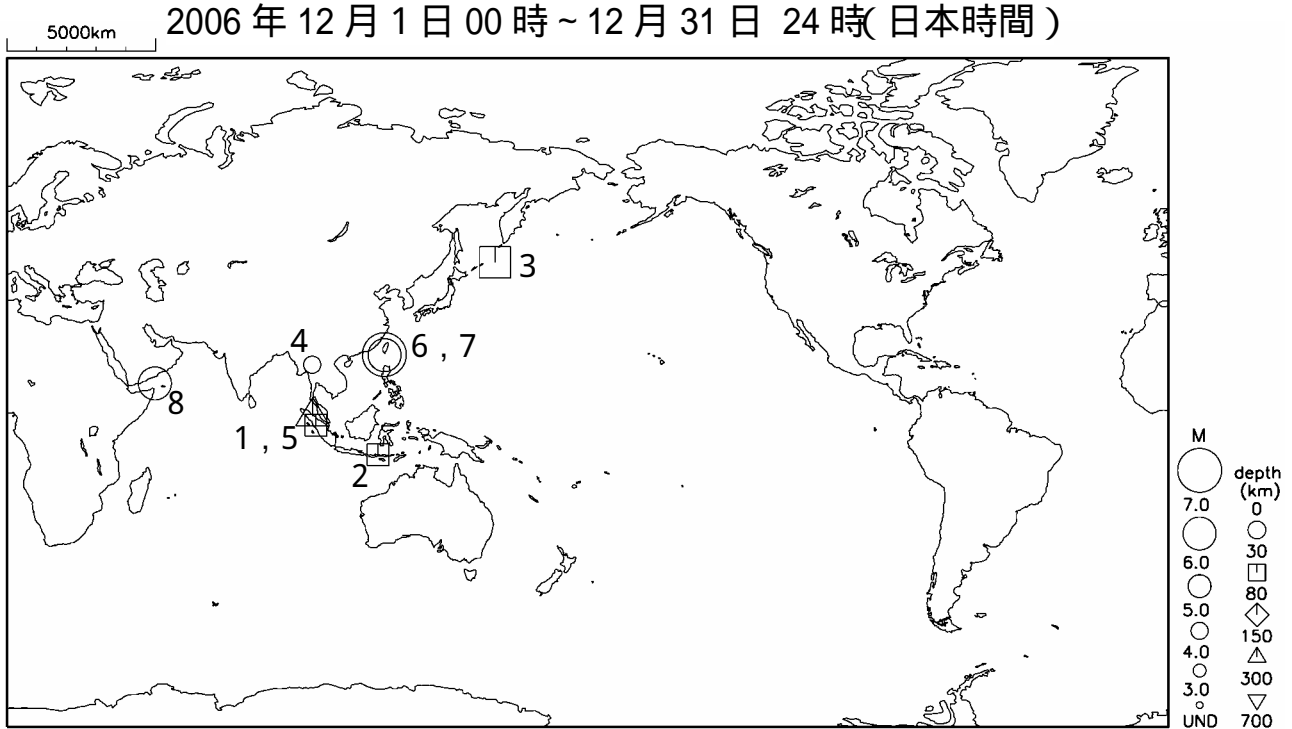


図1 2006年12月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布  
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

\* : 数字は、表1の番号に対応する。

\*\* : マグニチュードはmb(実体波マグニチュード)、Ms(表面波マグニチュード)のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 2006年12月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月日時分	緯度	経度	深さ(km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考(被害状況など)
1	12月01日12時58分	N 3° 23.3'	E 99° 04.2'	206	6.1		6.3	インドネシア、スマトラ北部	
2	12月01日23時01分	S 8° 14.1'	E118° 47.9'	40	5.9	5.8	6.2	インドネシア、スンバワ	死者1名、負傷者14名 住家損壊20棟以上
3	12月08日04時10分	N46° 28.8'	E154° 06.9'	30		(6.4)		千島列島東方	
4	12月13日02時02分	N18° 53.4'	E 98° 54.6'	11	4.7			タイ	建物被害5棟以上
5	12月18日06時39分	N 0° 38.2'	E100° 02.4'	30*	5.5	5.8		インドネシア、スマトラ北部	死者7名、負傷者100名 住家被害680棟以上
6	12月26日21時26分	N21° 38.9'	E120° 45.1'	0	6.4	(6.9)	7.1	台湾付近	NWPTA発表 死者1名以上、負傷者3名以上 建物被害
7	12月26日21時34分	N21° 48.9'	E120° 41.1'	0		(7.2)		台湾付近	NWPTA発表
8	12月30日17時30分	N13° 20.1'	E 51° 26.0'	10*	6.0	6.4	6.5	アデン湾東部	TWI発表

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2007年1月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁による。
- ・時分は震源時で日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・MwはUSGSのモーメントマグニチュードである。
- ・震源の深さに「\*」が付いているのは、USGSが推定した深さである。
- ・NWPTAは気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報であり、TWIは気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である(地震・火山月報(防災編)平成17年5月号参照)。

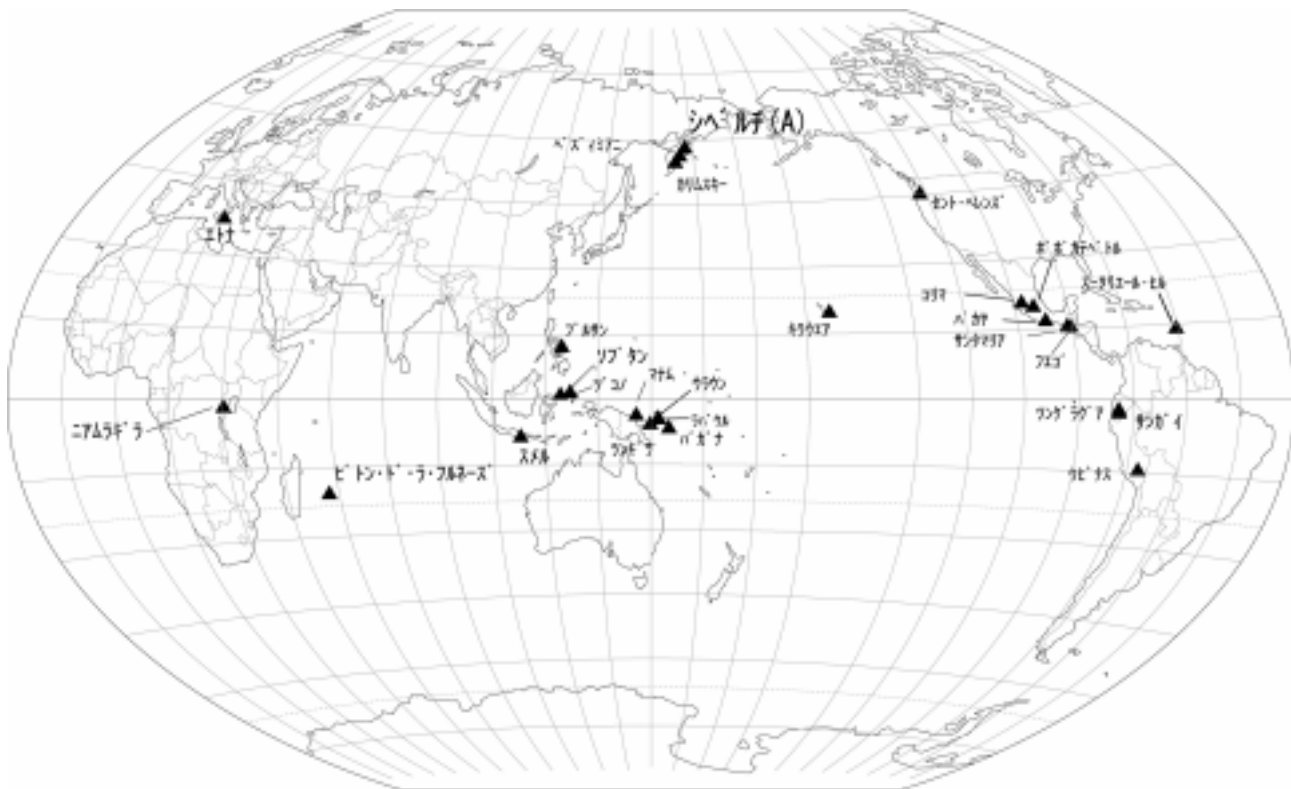
## 世界の主な火山活動

平成 18 年（2006 年）12 月に噴火の報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。  
このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

### シベルチ（カムチャッカ、ロシア）（図中A）

4 日 21:00 頃、シベルチ山で大きな地震が発生した。5 日には山頂の溶岩ドーム付近で噴火が発生し、噴煙高度は火口縁約 800m に達した。噴火に伴って火砕流が発生し、南西斜面を 3 ~ 5 km ま  
で流下した。噴火活動は次第に活発化し、8 日以降噴火が断続的に発生した。20 日、26 日の噴火で  
は、噴煙高度が火口縁上約 7000m に達した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



# 付表

## 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12 月号の付録 1 参照）を記す。なお、\* のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 25	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=0.7	37° 25.7' N	139° 42.7' E	4km	M: 2.5
2	1 05 32	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=1.1	37° 25.8' N	139° 42.2' E	5km	M: 2.1
3	1 20 33	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=1.2	37° 25.8' N	139° 42.8' E	4km	M: 2.6
4	2 03 21	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.6 1 神津島村役場*=0.8 神津島村金長=0.5	34° 14.2' N	139° 13.2' E	13km	M: 2.5
5	2 21 10	紀伊水道 徳島県 2 阿南市山口町*=2.2 那賀町和食*=2.2 美波町西の地*=1.7 那賀町延野*=1.5 1 那賀町上那賀*=1.4 美波町奥河内*=1.4 牟岐町中村*=1.2 那賀町横石=1.1 美馬市木屋平*=1.1 神山町神領*=1.1 海陽町久保*=1.1 徳島市大和町=0.8 阿南市富岡町=0.7 上勝町旭*=0.6 吉野川市鴨島町=0.5 和歌山県 1 日高川町土生*=0.6 高知県 1 室戸市室津*=0.9 東洋町生見*=0.9 高知田野町役場*=0.7	33° 34.0' N	134° 30.0' E	43km	M: 3.8
6	3 05 26	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又*=1.0 六ヶ所村尾駮=0.5	41° 28.3' N	142° 01.1' E	62km	M: 3.5
7	3 07 20	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市城辺福里=1.5 宮古島市下地*=1.5 1 宮古島市平良西仲宗根=1.0 宮古島市伊良部*=0.9 宮古島市平良西里*=0.7 宮古島市平良下里=0.6	24° 12.4' N	125° 13.9' E	24km	M: 4.9
8	3 09 00	四国沖 徳島県 2 海陽町久保*=2.4 海陽町大里*=1.5 海陽町奥浦*=1.5 牟岐町中村*=1.5 那賀町上那賀*=1.5 1 美馬市木屋平*=1.4 那賀町横石=1.2 美波町西の地*=1.0 那賀町木頭和無田*=1.0 那賀町和食*=0.8 上勝町旭*=0.7 阿南市山口町*=0.7 高知県 2 東洋町生見*=2.4 1 室戸市室津*=1.4 高知安田町安田*=1.0 室戸市室戸岬町=0.9 馬路村馬路*=0.7 安芸市矢ノ丸*=0.6 高知田野町役場*=0.5 安芸市西浜=0.5 和歌山県 1 日高川町土生*=0.5	33° 24.7' N	134° 18.0' E	17km	M: 3.9
9	3 11 54	埼玉県秩父地方 埼玉県 1 秩父市中津川*=1.0 山梨県 1 丹波山村丹波*=1.0	35° 54.8' N	138° 46.3' E	12km	M: 2.7
10	3 14 16	釧路沖 北海道 1 根室市厚床*=1.0 別海町常盤=0.5	42° 22.8' N	145° 32.7' E	35km	M: 4.3
11	3 18 12	福島県沖 福島県 2 川内村上川内早渡*=2.1 田村市都路町*=1.9 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 白河市新白河*=1.6 1 川内村上川内小山平*=1.4 田村市大越町*=1.3 檜葉町北田*=1.3 平田村永田*=1.3 田村市滝根町*=1.2 川内村下川内=1.2 小野町小野新町*=1.2 葛尾村落合閣下*=1.2 いわき市錦町*=1.1 いわき市平梅本*=1.1 大熊町下野上*=1.1 田村市常葉町*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 白河市郭内=1.0 玉川村小高*=0.9 富岡町本岡*=0.8 福島広野町下北迫苗代替*=0.8 二本松市針道*=0.8 浅川町浅川*=0.7 浪江町幾世橋=0.7 大熊町野上*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.6 白沢村糠沢*=0.6 小野町中通*=0.6 いわき市小名浜=0.6 郡山市開成*=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 川俣町五百田*=0.5 茨城県 1 常陸大宮市上村田*=0.5	37° 04.1' N	141° 11.5' E	51km	M: 4.0
12	3 22 54	釧路沖 北海道 1 釧路市黒金町*=1.0 釧路町別保*=0.7 釧路市幸町=0.5	42° 23.4' N	144° 41.2' E	39km	M: 4.1
13	3 22 56	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=1.2	37° 25.8' N	139° 42.3' E	5km	M: 2.2



地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
14	4 06 07	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 菊池市旭志 * =0.6	32° 57.3' N	130° 59.2' E	5km	M: 1.9
15	4 06 08	千葉県北東部 茨城県 3 茨城鹿嶋市鉢形=2.5 2 神栖市溝口 * =2.2 潮来市辻 * =2.1 稲敷市結佐 * =2.0 茨城鹿嶋市宮中 * =1.9 稲敷市役所 * =1.9 稲敷市江戸崎甲 * =1.8 土浦市大岩田=1.8 稲敷市柴崎 * =1.8 稲敷市須賀津 * =1.8 土浦市下高津 * =1.8 美浦村受領 * =1.8 行方市麻生 * =1.8 銚田市当間 * =1.7 かすみがうら市上土田 * =1.7 小美玉市上玉里 * =1.5 取手市寺田 * =1.5 銚田市汲上 * =1.5 1 小美玉市堅倉 * =1.4 土浦市藤沢 * =1.4 石岡市柿岡=1.4 つくば市小荳 * =1.4 かすみがうら市大和田 * =1.4 常総市水海道諏訪町 * =1.4 利根町布川=1.3 つくば市天王台 * =1.3 神栖市波崎 * =1.3 つくば市谷田部 * =1.3 常陸大宮市上村田 * =1.3 阿見町中央 * =1.3 筑西市舟生=1.2 取手市井野 * =1.2 守谷市大柏 * =1.2 行方市山田 * =1.2 銚田市造谷 * =1.2 小美玉市小川 * =1.2 つくばみらい市加藤 * =1.2 笠間市中央 * =1.1 石岡市八郷 * =1.1 ひたちなか市南神敷台 * =1.1 茨城河内町源清田 * =1.1 笠間市石井 * =1.1 桜川市岩瀬 * =1.1 桜川市真壁 * =1.1 行方市甲 * =1.0 つくばみらい市福田 * =1.0 銚田市銚田=1.0 石岡市石岡 * =1.0 坂東市岩井=0.9 茨城町小堤 * =0.9 筑西市門井 * =0.9 牛久市中央 * =0.9 桜川市羽田 * =0.9 龍ヶ崎寺後 * =0.9 水戸市金町=0.8 日立市助川小学校 * =0.7 千葉県 3 旭市南堀之内 * =3.0 成田市花崎町=3.0 横芝光町宮川 * =2.9 香取市佐原下川岸=2.9 芝山町小池 * =2.8 多古町多古=2.7 香取市役所 * =2.7 匝瑳市八日市場八 * =2.7 横芝光町横芝 * =2.7 匝瑳市今泉 * =2.7 東金市日吉台 * =2.6 香取市仁良 * =2.5 成田市松子 * =2.5 2 旭市二 * =2.4 九十九里町片貝 * =2.4 旭市高生 * =2.3 東金市東岩崎 * =2.3 山武市松尾町松尾 * =2.3 成田市役所 * =2.3 香取市佐原諏訪台 * =2.2 山武市殿台 * =2.2 東金市東新宿=2.2 山武市蓮沼八 * =2.1 香取市羽根川 * =2.1 成田市中台 * =2.1 富里市七栄 * =2.1 千葉佐倉市海隣寺町 * =1.9 八街市八街 * =1.9 千葉神崎町神崎本宿 * =1.8 東庄町笹川 * =1.8 四街道市鹿渡 * =1.7 大網白里町大網 * =1.7 本埜村笠神 * =1.7 香取市岩部 * =1.7 市原市姉崎 * =1.6 旭市萩園 * =1.6 千葉一宮町一宮=1.5 印旛村瀬戸 * =1.5 1 印西市大森 * =1.4 千葉栄町安食台 * =1.4 白子町関 * =1.3 千葉酒々井町中央台 * =1.3 木更津市貝淵 * =1.3 大多喜町大多喜 * =1.3 いすみ市国府台 * =1.3 千葉中央区中央港=1.2 成田市猿山 * =1.2 柏市旭町=1.2 銚子市若宮町 * =1.2 千葉美浜区稲毛海岸 * =1.1 八千代市大和田新田 * =1.1 我孫子市我孫子 * =1.1 銚子市川口町=1.1 君津市久留里市場 * =1.1 茂原市道表 * =1.1 睦沢町下之郷 * =1.1 いすみ市岬町長者 * =1.1 長南町長南 * =1.1 長生村本郷 * =1.0 柏市大島田 * =0.9 長柄町大津倉=0.9 長柄町桜谷 * =0.9 勝浦市新官 * =0.7 鴨川市横渚 * =0.7 勝浦市墨名=0.7 鴨川市八色=0.6 館山市長須賀=0.6 東京都 2 稲城市東長沼 * =2.0 1 東京大田区本羽田 * =1.0 東京北区赤羽南 * =0.9 東京荒川区東尾久 * =0.9 東京江戸川区中央=0.9 東京品川区平塚 * =0.8 東京江戸川区船堀 * =0.8 東京江戸川区鹿骨 * =0.8 東京千代田区大手町=0.8 東京足立区伊興 * =0.8 東京足立区神明南 * =0.8 東京葛飾区金町 * =0.8 東京文京区本郷 * =0.7 東京世田谷区三軒茶屋 * =0.7 東京北区西ヶ原 * =0.6 東京江東区枝川 * =0.6 東京足立区千住 * =0.6 東京大田区多摩川 * =0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 * =1.2 真岡市田町 * =0.7 益子町益子=0.6 埼玉県 1 春日部市谷原新田 * =0.9 吉川市吉川 * =0.8 久喜市下早見=0.6 越谷市越ヶ谷 * =0.5 神奈川県 1 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * =1.3 横浜都筑区池辺町 * =1.3 横浜緑区十日市場 * =1.2 横浜中区山手町=1.0 横浜緑区白山町 * =1.0 横浜青葉区市が尾町 * =0.9 三浦市城山町 * =0.8 綾瀬市深谷 * =0.6 清川村煤ヶ谷 * =0.6 横須賀市光の丘=0.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本 * =0.7 熱海市網代=0.5	35° 44.6' N	140° 39.2' E	49km	M: 4.5
16	4 12 38	千葉県北西部 神奈川県 1 横浜神奈川区白幡上町 * =0.8	35° 41.0' N	140° 07.7' E	68km	M: 3.3
17	5 02 54	伊予灘 愛媛県 1 八幡浜市保内町 * =0.8 西予市明浜町 * =0.8 西予市三瓶町 * =0.5	33° 25.0' N	132° 10.5' E	51km	M: 3.4
18	5 04 16	新島・神津島近海 東京都 静岡県 1 東京利島村=1.2 新島村式根島=1.2 新島村本村 * =1.1 1 東伊豆町奈良本 * =0.5	34° 26.5' N	139° 11.3' E	12km	M: 3.0
19	5 17 31	青森県東方沖 北海道 青森県 1 函館市新浜町 * =1.1 函館市泊町 * =0.6 1 東通村砂子又 * =0.8	41° 21.9' N	142° 05.2' E	56km	M: 3.6
20	5 23 34	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=1.1	37° 25.8' N	139° 42.0' E	4km	M: 2.0
21	6 01 41	千葉県北西部 栃木県 東京都 神奈川県 1 茂木町小井戸 * =0.5 1 東京江戸川区中央=0.5 1 横浜神奈川区白幡上町 * =1.2 横浜青葉区市が尾町 * =1.0	35° 41.4' N	140° 08.3' E	68km	M: 3.3
22	6 06 08	有明海 長崎県 1 雲仙市国見町=0.5	32° 55.2' N	130° 21.8' E	12km	M: 2.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
23	6 11 17	福井県嶺北 福井県 1 大野市川合 * =1.2 大野市朝日 * =0.7	35° 59.1' N	136° 43.1' E	8km	M: 2.6
24	6 17 16	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校 * =0.5	36° 32.8' N	140° 53.0' E	50km	M: 3.0
25	6 17 49	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又 * =0.6	41° 25.7' N	142° 10.0' E	58km	M: 3.6
26	6 18 19	長野県北部 群馬県 2 六合村小雨 * =2.1 草津町草津 * =1.5 1 六合村日影 * =0.9 長野原町長野原 * =0.6 長野県 1 山ノ内町消防署 * =0.9	36° 44.1' N	138° 36.2' E	3km	M: 3.0
27	6 23 04	釧路沖 北海道 3 釧路市黒金町 * =2.6 2 厚岸町真栄町 * =2.3 根室市厚床 * =2.2 根室市落石東 * =2.0 標茶町塘路 * =1.9 別海町常盤 * =1.9 別海町西春別 * =1.9 釧路町別保 * =1.9 釧路市音別町直別 * =1.9 釧路市幸町 * =1.8 浜中町霧多布 * =1.6 厚岸町尾幌 * =1.6 白糠町西 1 条 * =1.5 別海町本別海 * =1.5 標津町北 2 条 * =1.5 釧路市阿寒町中央 * =1.5 1 根室市瑠瑠瑁 * =1.4 十勝大樹町生花 * =1.3 標茶町川上 * =1.2 根室市牧の内 * =1.1 弟子屈町弟子屈 * =1.1 清里町羽衣町 * =1.0 新得町 2 条 * =0.9 鶴居村鶴居東 * =0.9 根室市弥栄 * =0.9 弟子屈町美里 * =0.9 十勝池田町西 1 条 * =0.9 中標津町養老牛 * =0.8 幕別町忠類錦町 * =0.6 本別町向陽町 * =0.6 更別村更別 * =0.6 幕別町本町 * =0.5 十勝大樹町東本通 * =0.5 豊頃町茂岩本町 * =0.5 羅臼町緑町 * =0.5 本別町北 2 丁目 * =0.5 十勝清水町南 4 条 * =0.5 釧路市音別町尺別 * =0.5	42° 14.2' N	144° 50.7' E	30km	M: 5.0
28	6 23 07	釧路沖 北海道 1 釧路市黒金町 * =0.9 根室市落石東 * =0.5	42° 13.7' N	144° 51.4' E	29km	M: 4.4
29	7 08 27	青森県東方沖 北海道 2 えり毛町えり毛岬 * =1.5 1 函館市泊町 * =1.2 函館市新浜町 * =0.9 浦河町潮見 * =0.9 様似町栄町 * =0.6 函館市日ノ浜町 * =0.5 青森県 1 東通村小田野沢 * =1.3 東通村砂子又 * =1.2 青森南部町平 * =1.1 野辺地町野辺地 * =1.0 五戸町古館 * =0.8 七戸町森ノ上 * =0.6 八戸市内丸 * =0.6 東北町塔ノ沢山 * =0.5 岩手県 1 二戸市浄法寺町 * =0.7 二戸市福岡 * =0.5	41° 20.5' N	142° 41.2' E	23km	M: 4.2
30	7 11 10	五島列島近海 長崎県 1 平戸市田平町 * =1.1 鹿町町下歌ヶ浦 * =1.0 長崎市長浦町 * =0.6	33° 28.4' N	128° 57.4' E	20km	M: 4.0
31	7 20 33	福岡県北西沖 福岡県 2 福岡西区玄界島 * =1.8 志摩町初 * =1.6 1 前原市前原西 * =1.3 宗像市東郷 * =1.2 新宮町緑ヶ浜 * =1.1 二丈町深江 * =1.0 福岡古賀市駅東 * =0.9 福津市津屋崎 * =0.8 福岡西区今宿 * =0.7 福岡中央区大濠 * =0.7 宗像市江口 * =0.7 宗像市大島 * =0.7 福岡中央区舞鶴 * =0.7 春日市原町 * =0.6 福岡東区東浜 * =0.6 宮若市福丸 * =0.5 佐賀県 1 唐津市西城内 * =1.0	33° 40.5' N	130° 17.4' E	12km	M: 3.4
32	8 04 10	千島列島東方 北海道 1 函館市新浜町 * =0.9 別海町常盤 * =0.6 根室市落石東 * =0.5 青森県 1 東通村小田野沢 * =0.6	46° 28.8' N	154° 06.9' E	30km F	M: 6.4
33	8 19 55	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 関ヶ原町関ヶ原 * =0.8 養老町高田 * =0.7 輪之内町四郷 * =0.6 滋賀県 1 滋賀日野町河原 * =0.8 東近江市市子川原町 * =0.7 東近江市上二俣町 * =0.5 多賀町多賀 * =0.5	35° 17.6' N	136° 25.7' E	17km	M: 3.2
34	9 09 59	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島 * =1.0	29° 19.4' N	130° 31.7' E	69km	M: 4.9
35	9 12 10	千葉県北西部 東京都 2 東京世田谷区三軒茶屋 * =1.6 1 東京港区南青山 * =1.4 東京荒川区東尾久 * =1.4 東京江戸川区中央 * =1.4 東京北区西ヶ原 * =1.2 東京文京区本郷 * =1.2 東京葛飾区立石 * =1.2 東京台東区千束 * =1.2 東京江戸川区鹿骨 * =1.2 東京渋谷区宇田川町 * =1.2 東京葛飾区金町 * =1.1 東京江戸川区船堀 * =1.1 東京墨田区吾妻橋 * =1.1 東京墨田区東向島 * =1.1 東京品川区北品川 * =1.1 東京品川区平塚 * =1.1 東京大田区本羽田 * =1.1 東京世田谷区中町 * =1.1 東京千代田区大手町 * =1.1 東京新宿区上落合 * =1.0 東京目黒区中央町 * =1.0 伊豆大島町岡田 * =1.0 東京中央区勝どき * =1.0 東京江東区枝川 * =1.0 東京足立区神明南 * =1.0 東京大田区多摩川 * =0.9 東京世田谷区世田谷 * =0.9 東京世田谷区成城 * =0.9 東京千代田区麹町 * =0.9 東京江東区東陽 * =0.9 武蔵野市吉祥寺東町 * =0.9 三鷹市野崎 * =0.9 東京荒川区荒川 * =0.9 町田市市中町 * =0.8 小金井市本町 * =0.8 東京杉並区桃井 * =0.8 東京江東区森下 * =0.8 東京北区赤羽南 * =0.8 東京練馬区光が丘 * =0.8 東京足立区千住 * =0.8 東京新宿区百人町 * =0.7 八王子市堀之内 * =0.7 東京足立区伊興 * =0.7 町田市役所 * =0.7 東京千代田区九段南 * =0.7 東大和市中央 * =0.7 東京品川区広町 * =0.7 東京練馬区東大泉 * =0.7 町田市忠生 * =0.6 東京江東区亀戸 * =0.6 狛江市和泉本町 * =0.6 武蔵村山市本町 * =0.5 立川市錦町 * =0.5	35° 48.4' N	140° 08.5' E	65km	M: 4.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
36	9 12 29	<p>東京大田区大森東 *0.5</p> <p>神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺 *1.8 川崎川崎区宮前町 *1.8 横浜神奈川区白幡上町 *1.6 横浜鶴見区馬場 *1.6 横浜緑区白山町 *1.5</p> <p>1 横浜中区山田町 *1.4 横浜青葉区市が尾町 *1.4 横浜西区浜松町 *1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町 *1.3 横浜港北区日吉本町 *1.3 横浜中区山手町 *1.3 川崎中原区小杉町 *1.3 横浜緑区十日市場 *1.2 横浜都筑区茅ヶ崎 *1.2 川崎川崎区中島 *1.2 横浜中区山吹町 *1.1 横浜港南区丸山台東部 *1.1 横浜瀬谷区三ツ境 *1.1 川崎中原区小杉陣屋=1.1 横浜南区別所 *1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町 *1.0 横浜戸塚区平戸町 *1.0 川崎幸区戸手本町 *1.0 三浦市城山町 *1.0 相模原市上溝 *1.0 横浜旭区今宿東町 *0.9 横浜旭区上白根町 *0.9 横浜瀬谷区中屋敷 *0.9 横浜磯子区洋光台 *0.9 横浜旭区大池町 *0.8 横浜青葉区榎が丘 *0.8 横浜鶴見区鶴見 *0.8 綾瀬市深谷 *0.8 川崎高津区下作延 *0.7 箱根町湯本 *0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 川崎多摩区登戸 *0.5 横須賀市光の丘=0.5 相模原市相原 *0.5 清川村煤ヶ谷 *0.5 横浜西区みなとみらい *0.5</p>				
		<p>茨城県 1 つくば市小笠 *1.1 坂東市岩井=1.1 つくば市谷田部 *1.1 鉾田市当間 *1.0 筑西市門井 *1.0 取手市寺田 *0.9 土浦市下高津 *0.8 桜川市真壁 *0.8 石岡市柿岡=0.8 常陸大宮市上村田 *0.8 つくばみらい市福田 *0.7 稲敷市江戸崎甲 *0.5 桜川市羽田 *0.5 小美玉市小川 *0.5</p>				
		<p>栃木県 1 茂木町小井戸 *1.1 栃木市旭町=0.8 宇都宮市明保野町=0.6 鹿沼市晃望台 *0.5 日光市中宮祠=0.5</p> <p>埼玉県 1 草加市高砂 *1.1 さいたま大宮区天沼町 *0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 久喜市下早見=0.8 春日部市金崎 *0.8 川口市中青木分室 *0.7 吉川市吉川 *0.6 春日部市谷原新田 *0.6 所沢市北有楽町 *0.6 越谷市越ヶ谷 *0.6 埼玉三芳町藤久保 *0.5</p> <p>千葉県 1 柏市旭町=1.0 木更津市貝淵 *1.0 木更津市役所 *0.9 市原市姉崎 *0.8 君津市久留里市場 *0.5</p> <p>山梨県 1 富士河口湖町船津=0.8</p> <p>静岡県 1 熱海市網代=1.0 東伊豆町奈良本 *0.8 熱海市泉 *0.6</p>				
		<p>千葉県北西部 35° 48.1' N 140° 08.4' E 66km M: 4.2</p>				
		<p>茨城県 2 坂東市岩井=1.8 鉾田市当間 *1.8 筑西市門井 *1.7 つくば市小笠 *1.7 つくば市谷田部 *1.5 取手市寺田 *1.5 つくばみらい市福田 *1.5 取手市井野 *1.5</p> <p>1 常陸大宮市上村田 *1.4 土浦市下高津 *1.4 石岡市柿岡=1.4 石岡市八郷 *1.4 坂東市馬立 *1.4 桜川市岩瀬 *1.4 桜川市真壁 *1.4 つくばみらい市加藤 *1.3 常陸大宮市野口 *1.3 小美玉市堅倉 *1.3 水戸市内原町 *1.2 牛久市中央 *1.2 美浦村受領 *1.2 守谷市大柏 *1.2 つくば市天王台 *1.1 笠間市石井 *1.0 小美玉市上玉里 *1.0 坂東市役所 *1.0 稲敷市江戸崎甲 *1.0 筑西市舟生=1.0 笠間市中央 *1.0 小美玉市小川 *1.0 常総市新石下 *1.0 かずみがうら市上土田 *0.9 土浦市大岩田=0.9 茨城町小堤 *0.9 常総市水海道諏訪町 *0.9 土浦市藤沢 *0.9 笠間市下郷 *0.9 阿見町中央 *0.9 桜川市羽田 *0.8 鉾田市鉾田=0.8 常陸大宮市山方 *0.8 茨城古河市仁連 *0.8 筑西市海老ヶ島 *0.8 かずみがうら市大和田 *0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 下妻市鬼怒 *0.8 坂東市山 *0.8 利根町布川=0.7 下妻市本城町 *0.7 水戸市金町=0.6</p>				
		<p>栃木県 2 栃木二宮町石島 *1.7 茂木町小井戸 *1.7</p> <p>1 日光市中宮祠=1.2 宇都宮市明保野町=1.2 栃木市旭町=1.2 鹿沼市晃望台 *1.2 益子町益子=1.1 市貝町市場 *1.1 壬生町通町 *1.1 下野市石橋 *1.0 下野市小金井 *1.0 大田原市湯津上 *0.9 真岡市田町 *0.9 佐野市高砂町 *0.8 鹿沼市今宮町 *0.8 上河内町中里 *0.8 日光市鬼怒川温泉大原 *0.8 鹿沼市口栗野 *0.7 足利市大正町 *0.7 日光市湯元 *0.7 足利市名草上町=0.7 西方町本城 *0.6 小山市神鳥谷 *0.6 日光市足尾町中才 *0.5 日光市中鉢石町 *0.5</p>				
		<p>埼玉県 2 宮代町笠原 *1.8 草加市高砂 *1.6</p> <p>1 久喜市下早見=1.4 春日部市金崎 *1.3 久喜市青葉 *1.2 春日部市谷原新田 *1.2 狭山市入間川 *1.2 吉川市吉川 *1.2 さいたま浦和区高砂=1.2 川口市中青木分室 *1.0 上尾市本町 *1.0 さいたま大宮区天沼町 *1.0 鳩ヶ谷市三ツ和 *0.9 桶川市泉 *0.9 さいたま岩槻区本町 *0.9 熊谷市大里 *0.9 越谷市越ヶ谷 *0.9 所沢市北有楽町 *0.8 戸田市上戸田 *0.8 川越市新宿町 *0.7 埼玉三芳町藤久保 *0.7 東松山市松葉町 *0.7 川島町平沼 *0.6</p>				
		<p>千葉県 2 柏市旭町=1.6</p> <p>1 流山市平和台 *1.4 木更津市貝淵 *1.4 浦安市猫実 *1.3 市川市八幡 *1.3 成田市花崎町=1.3 千葉佐倉市海隣寺町 *1.2 市原市姉崎 *1.1 鎌ヶ谷市初富 *1.1 木更津市役所 *1.1 富津市下飯野 *1.0 野田市鶴奉 *1.0 成田市中台 *1.0 印西市大森 *0.9 印旛村瀬戸 *0.9 船橋市湊町 *0.9 野田市東宝珠花 *0.9 習志野市鷺沼 *0.9 柏市大島田 *0.9 我孫子市我孫子 *0.9 八千代市大和田新田 *0.8 千葉中央区中央港=0.8 千葉美浜区稲毛海岸 *0.8 君津市久留里市場 *0.8 千葉栄町安食台 *0.7 東金市日吉台 *0.7 大多喜町大多喜 *0.7 南房総市富浦町青木 *0.7 長柄町大津倉=0.5 木更津市太田=0.5</p>				
		<p>東京都 2 東京荒川区東尾久 *1.8 東京台東区千束 *1.7 東京江戸川区中央=1.7 東京葛飾区金町 *1.6 東京文京区本郷 *1.6 東京墨田区東向島 *1.6 東京世田谷区三軒茶屋 *1.6 東京葛飾区立石 *1.6 東京千代田区大手町=1.5 東京北区西ヶ原 *1.5</p> <p>1 東京港区南青山 *1.4 東京墨田区吾妻橋 *1.4 東京江東区枝川 *1.4 東京品川区平塚 *1.4 東京大田区本羽田 *1.4 東京荒川区荒川 *1.4 東京足立区神明南 *1.4 東京江戸川区船堀 *1.4 東京江戸川区鹿骨 *1.4 三鷹市野崎 *1.4 東京世田谷区成城 *1.3 東京渋谷区宇田川町 *1.3 東京中央区勝どき *1.3 東京新宿区上落合 *1.3 東京江東区森下 *1.3 東京品川区北品川 *1.3 東京杉並区桃井 *1.2 東京北区赤羽南 *1.2 東京板橋区高島平 *1.2 東京足立区千住 *1.2 伊豆大島町岡田 *1.2 東京文京区大塚 *1.2 東京江東区東陽 *1.2 東京目黒区中央町 *1.2 東京板橋区相生町 *1.1 東京練馬区光が丘 *1.1 東京足立区伊興 *1.1 東京大田区多摩川 *1.1 小金井市本町 *1.1 東京千代田区九段南 *1.1 東京江東区亀戸 *1.1 東京世田谷区世田谷 *1.0 東京世田谷区中町 *1.0 東京千代田区麹町 *1.0 東京新宿区百人町 *1.0 八王子市堀之内 *1.0 武蔵野市吉祥寺東町 *1.0 町田市中町 *1.0 東京品川区広町 *1.0 国分寺市戸倉=1.0 東大和市中央 *1.0 東京杉並区高井戸 *0.9 東京中央区日本橋兜町 *0.9 東京港区白金 *0.9</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京練馬区東大泉 * = 0.9 町田市役所 * = 0.9 狛江市和泉本町 * = 0.9 町田市忠生 * = 0.8 武蔵村山市本町 * = 0.8 あきる野市伊奈 * = 0.8 立川市錦町 * = 0.7 日野市神明 * = 0.7 東京大田区大森東 * = 0.7 調布市小島町 * = 0.6 東京大田区蒲田 * = 0.6 東京中野区江古田 * = 0.6 小平市小川町 * = 0.6 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺 * = 1.8 川崎川崎区宮前町 * = 1.8 横浜神奈川区白幡上町 * = 1.7 横浜緑区白山町 * = 1.7 川崎中原区小杉町 * = 1.7 横浜西区浜松町 * = 1.6 横浜中区山田町 * = 1.6 横浜青葉区市が尾町 * = 1.6 横浜中区山手町 * = 1.5 川崎川崎区千鳥町 * = 1.5 1 横浜鶴見区馬場 * = 1.4 横浜中区山下町 * = 1.4 横浜港北区日吉本町 * = 1.4 横浜緑区十日市場 * = 1.4 横浜瀬谷区中屋敷 * = 1.4 川崎川崎区中島 * = 1.4 横浜中区山吹町 * = 1.3 横浜港南区丸山台東部 * = 1.3 横浜都筑区茅ヶ崎 * = 1.3 川崎幸区戸手本町 * = 1.3 三浦市城山町 * = 1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * = 1.2 横浜戸塚区平戸町 * = 1.2 横浜旭区今宿東町 * = 1.2 川崎中原区小杉陣屋 * = 1.2 相模原市上溝 * = 1.2 厚木市長谷 * = 1.2 横浜保土ヶ谷区神戸町 * = 1.1 横浜磯子区磯子 * = 1.1 横浜磯子区洋光台 * = 1.1 横浜青葉区榎が丘 * = 1.1 厚木市酒井 * = 1.1 厚木市飯山 * = 1.1 横浜南区別所 * = 1.1 厚木市中町 * = 1.0 横浜鶴見区鶴見 * = 0.9 横浜旭区上白根町 * = 0.9 横浜瀬谷区三ツ境 * = 0.9 川崎高津区下作延 * = 0.9 川崎宮前区野川 * = 0.9 相模原市相模大野 * = 0.9 相模原市相原 * = 0.9 箱根町湯本 * = 0.9 横浜都筑区池辺町 * = 0.8 川崎多摩区登戸 * = 0.8 座間市緑が丘 * = 0.8 綾瀬市深谷 * = 0.8 横浜西区みなとみらい * = 0.8 清川村煤ヶ谷 * = 0.8 横浜金沢区白帆 * = 0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎 * = 0.7 大和市下鶴間 * = 0.7 横浜旭区大池町 * = 0.7 相模原市中央 * = 0.7 中井町比奈窪 * = 0.6 神奈川山北町山北 * = 0.6 横須賀市光の丘 * = 0.6 横須賀市坂本町 * = 0.5 真鶴町真鶴 * = 0.5 城山町久保沢 * = 0.5 海老名市大谷 * = 0.5 南足柄市関本 * = 0.5 群馬県 1 邑楽町中野 * = 1.0 桐生市新里町 * = 0.9 太田市西本町 * = 0.8 桐生市元宿町 * = 0.6 沼田市利根町 * = 0.5 館林市美園町 * = 0.5 山梨県 1 富士河口湖町長浜 * = 0.9 富士河口湖町船津 * = 0.8 大月市御太刀 * = 0.6 静岡県 1 熱海市網代 * = 1.3 熱海市泉 * = 1.1 東伊豆町奈良本 * = 1.0				
37	9 23 48	オホーツク海南部 北海道 2 釧路市音別町直別 * = 1.9 別海町本別海 * = 1.9 釧路市黒金町 * = 1.7 根室市牧の内 * = 1.7 根室市瑠瑠瑠 * = 1.7 別海町常盤 * = 1.6 十勝大樹町生花 * = 1.6 根室市厚床 * = 1.5 根室市落石東 * = 1.5 標茶町塘路 * = 1.5 別海町西春別 * = 1.5 1 函館市新浜町 * = 1.4 浦幌町桜町 * = 1.3 釧路市幸町 * = 1.2 白糠町西 1 条 * = 1.1 厚岸町尾幌 * = 1.1 浜中町霧多布 * = 1.1 標津町北 2 条 * = 1.0 函館市泊町 * = 0.9 広尾町並木通 * = 0.8 様似町栄町 * = 0.8 釧路町別保 * = 0.8 根室市弥栄 * = 0.8 浦河町潮見 * = 0.8 厚岸町真栄町 * = 0.7 浦河町築地 * = 0.6 釧路市音別町尺別 * = 0.6 豊頃町茂岩本町 * = 0.5 新ひだか町静内とさわ町 * = 0.5 えりも町目黒 * = 0.5 青森県 2 東通村小田野沢 * = 1.6 1 階上町道仏 * = 1.3 青森南部町平 * = 1.0 八戸市南郷区 * = 1.0 野辺地町野辺地 * = 0.9 大間町大間 * = 0.9 五戸町古館 * = 0.8 むつ市大畑町中島 * = 0.8 外ヶ浜町蟹田 * = 0.8 五戸町倉石中市 * = 0.7 東通村砂子又 * = 0.7 八戸市内丸 * = 0.7 東北町上北南 * = 0.7 三沢市桜町 * = 0.6 八戸市湊町 * = 0.6 七戸町森ノ上 * = 0.6 おいらせ町中下田 * = 0.6 むつ市金曲 * = 0.6 岩手県 1 岩手洋野町大野 * = 1.2 盛岡市玉山区薮川 * = 0.9 軽米町軽米 * = 0.8 二戸市福岡 * = 0.7 二戸市浄法寺町 * = 0.5	46° 53.1' N	147° 29.5' E	438km	M: 5.9
38	10 05 47	千葉県東方沖 千葉県 1 勝浦市新官 * = 1.2 千葉一宮町一宮 * = 1.0 長生村本郷 * = 0.9 いすみ市国府台 * = 0.9 大網白里町大網 * = 0.8 市原市姉崎 * = 0.8 東金市日吉台 * = 0.6 大多喜町大多喜 * = 0.6 勝浦市墨名 * = 0.6 東金市東新宿 * = 0.5 茂原市道表 * = 0.5 睦沢町下之郷 * = 0.5	35° 23.8' N	140° 24.2' E	59km	M: 3.3
39	11 00 28	奄美大島北東沖 鹿児島県 3 南種子町中之上 * = 2.6 2 鹿児島十島村中之島 * = 2.0 鹿屋市新栄町 * = 1.8 鹿屋市串良町岡崎 * = 1.6 鹿児島十島村悪石島 * = 1.6 南さつま市大浦町 * = 1.5 1 指宿市山川新生町 * = 1.4 上屋久町小瀬田 * = 1.4 西之表市住吉 * = 1.3 鹿児島市東郡元 * = 1.3 西之表市西之表 * = 1.1 錦江町田代 * = 1.0 奄美市名瀬港町 * = 0.9 いちき串木野市昭和通 * = 0.7 志布志市志布志町志布志 * = 0.6 宮崎県 1 宮崎市松橋 * = 1.1 都城市菖蒲原 * = 1.1 都城市姫城町 * = 0.8	29° 43.5' N	130° 40.8' E	54km	M: 5.7
40	11 04 27	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅 * = 0.5	34° 04.6' N	135° 11.8' E	6km	M: 2.3
41	12 01 54	北海道北西沖 北海道 1 遠別町本町 * = 1.4	44° 44.6' N	141° 44.7' E	19km	M: 2.7
42	12 04 59	鹿児島県薩摩地方 熊本県 1 水俣市陣内 * = 1.1 鹿児島県 1 鹿児島出水市緑町 * = 1.3	32° 08.1' N	130° 22.8' E	7km	M: 2.8
43	12 22 04	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁 * = 0.5	34° 12.8' N	135° 10.0' E	6km	M: 2.1
44	13 06 44	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 3 鹿児島出水市高野町 * = 2.8 鹿児島出水市野田町 * = 2.6 鹿児島出水市緑町 * = 2.6 2 阿久根市赤瀬川 * = 2.2 鹿児島出水市桂島 * = 1.8 長島町指江 * = 1.7 薩摩川内市中郷 * = 1.7 いちき串木野市昭和通 * = 1.6 1 枕崎市高見町 * = 1.2 さつま町宮之城屋地 * = 1.0 大口市山野 * = 0.9 鹿児島市下福元 * = 0.5	32° 08.1' N	130° 22.7' E	7km	M: 3.8

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
45	13 07 09	熊本県 2 水俣市陣内 * =2.3 天草市牛深町=1.5 1 津奈木町小津奈木 * =1.4 芦北町芦北=1.3 人吉市城本町=0.8 天草市御所浦町 * =0.7 八代市坂本町 * =0.7 上天草市大矢野町=0.6 上天草市姫戸町 * =0.5 天草市倉岳町 * =0.5	35° 11.3' N	132° 55.6' E	6km	M: 2.9
		長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.8				
46	13 08 21	島根県東部 2 奥出雲町三成 * =1.9 1 雲南市木次町木次 * =1.4 雲南市掛合町掛合 * =1.3 雲南市三刀屋町三刀屋 * =0.9	38° 25.0' N	139° 14.6' E	18km	M: 3.5
		島根県 1 雲南市木次町木次 * =1.4 雲南市掛合町掛合 * =1.3 雲南市三刀屋町三刀屋 * =0.9				
47	13 09 09	新潟県下越沖 1 飯豊町中津川 * =0.5	26° 32.9' N	125° 55.7' E	6km	M: 5.2
		山形県 1 飯豊町中津川 * =0.5				
48	13 11 07	新潟県 1 新潟県北町寒川 * =0.5	34° 07.6' N	135° 05.1' E	9km	M: 2.2
		沖縄本島北西沖 1 久米島町謝名堂=0.5				
49	14 00 31	紀伊水道 1 有田市初島町 * =0.7	35° 28.6' N	139° 41.7' E	24km	M: 2.9
		和歌山県 1 有田市初島町 * =0.7				
50	14 19 13	東京湾 2 横浜中区山手町=1.8 横浜磯子区磯子 * =1.5 川崎川崎区宮前町 * =1.5 1 横浜神奈川区白幡上町 * =1.3 横浜緑区十日市場 * =1.3 横浜港南区丸山台東部 * =1.2 横浜緑区白山町 * =1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * =1.2 川崎中原区小杉町 * =1.2 横浜港北区日吉本町 * =1.1 横浜旭区今宿東町 * =1.0 横浜磯子区洋光台 * =1.0 横浜中区山下町 * =1.0 横浜都筑区茅ヶ崎 * =1.0 横浜中区山田町 * =1.0 川崎幸区戸手本町 * =0.9 横浜南区別所 * =0.9 横浜港北区太尾町 * =0.8 横浜港南区丸山台北部 * =0.7 横浜旭区大池町 * =0.7 横浜保土ヶ谷区神戸町 * =0.7 横浜旭区上白根町 * =0.6 横浜中区山吹町 * =0.6 横浜西区みなとみらい * =0.5 横浜金沢区白帆 * =0.5	36° 01.5' N	140° 05.4' E	64km	M: 3.8
		千葉県 1 木更津市貝淵 * =0.7 市原市姉崎 * =0.7				
51	14 21 55	東京都 1 東京千代田区大手町=0.8	35° 04.5' N	137° 12.0' E	41km	M: 3.8
		茨城県南部 2 取手市寺田 * =1.6 坂東市馬立 * =1.5 1 つくば市小笠 * =1.4 桜川市岩瀬 * =1.4 土浦市下高津 * =1.3 鉾田市当間 * =1.2 常陸大宮市上村田 * =1.2 茨城古河市下大野 * =1.1 坂東市役所 * =1.1 石岡市柿岡=1.1 桜川市真壁 * =1.1 つくば市谷田部 * =1.0 筑西市門井 * =1.0 下妻市本城町 * =1.0 常陸大宮市野口 * =0.9 石岡市八郷 * =0.9 小美玉市小川 * =0.9 筑西市海老ヶ島 * =0.9 桜川市羽田 * =0.8 土浦市大岩田=0.8 つくばみらい市福田 * =0.8 笠間市下郷 * =0.8 かすみがうら市上土田 * =0.8 笠間市石井 * =0.8 稲敷市江戸崎甲 * =0.8 小美玉市上玉里 * =0.7 坂東市山 * =0.7 城里町阿波山 * =0.7 筑西市舟生=0.7 水戸市内原町 * =0.7 土浦市藤沢 * =0.6 つくば市天王台 * =0.6 常総市水海道諏訪町 * =0.6 常総市新石下 * =0.6 坂東市岩井=0.6 守谷市大柏 * =0.5				
51	14 21 55	栃木県 2 栃木二宮町石島 * =1.8 栃木市旭町=1.6 1 宇都宮市明保野町=1.3 茂木町小井戸 * =1.2 鹿沼市晃望台 * =1.1 真岡市田町 * =1.1 鹿沼市今宮町 * =1.0 真岡市荒町 * =1.0 下野市小金井 * =1.0 足利市名草上町=1.0 上河内町中里 * =0.9 足利市大正町 * =0.9 小山市神鳥谷 * =0.8 大平町富田 * =0.8 岩舟町静 * =0.8 日光市中鉢石町 * =0.7 茂木町茂木 * =0.6 鹿沼市口栗野 * =0.6 日光市足尾町松原 * =0.6 小山市中央町 * =0.6 佐野市高砂町 * =0.5 西方町本城 * =0.5 佐野市葛生東 * =0.5	35° 04.5' N	137° 12.0' E	41km	M: 3.8
		群馬県 1 邑楽町中野 * =1.2 館林市美園町 * =0.7 桐生市新里町 * =0.5 太田市西本町 * =0.5 片品村鎌田 * =0.5 桐生市元宿町 * =0.5				
51	14 21 55	埼玉県 1 久喜市下早見=0.7 春日部市金崎 * =0.7 東松山市松葉町 * =0.6	35° 04.5' N	137° 12.0' E	41km	M: 3.8
		千葉県 1 柏市旭町=0.8				
51	14 21 55	愛知県西部 2 恵那市上矢作町 * =1.9 1 岐南町八剣 * =1.2 八百津町八百津 * =1.0 瑞浪市上平町 * =0.9 中津川市本町 * =0.8 大垣市丸の内 * =0.8 大垣市墨保町 * =0.8 岐阜山県市谷合 * =0.8 各務原市那加桜町 * =0.7 各務原市川島河田町 * =0.7 可児市広見 * =0.7 岐阜市加納二之丸=0.7 北方町北方 * =0.6 御嵩町御嵩 * =0.6 土岐市肥田 * =0.6 揖斐川町東杉原 * =0.6 美濃加茂市太田町=0.5 岐阜山県市大門 * =0.5 本巣市文殊 * =0.5 関市洞戸市場 * =0.5 揖斐川町谷汲 * =0.5 岐阜池田町六之井 * =0.5	35° 04.5' N	137° 12.0' E	41km	M: 3.8
		長野県 1 長野高森町下市田 * =1.0 中川村大草 * =0.9 王滝村鈴ヶ沢 * =0.8 売木村役場 * =0.7 天龍村天龍小学校 * =0.7 泰阜村役場 * =0.7 王滝村役場 * =0.6 飯田市高羽町=0.6 飯田市上郷栗田 * =0.5 清内路村役場 * =0.5				
51	14 21 55	静岡県 1 新居町浜名 * =0.9 浜松市雄踏町 * =0.9 湖西市吉美 * =0.9 浜松市引佐町 * =0.8 浜松市佐久間町 * =0.8 浜松市三ヶ日町=0.8 磐田市下野部 * =0.7 浜松市細江町 * =0.7 浜松市二俣町鹿島 * =0.6 浜松市西美園 * =0.6	35° 04.5' N	137° 12.0' E	41km	M: 3.8
		愛知県 1 豊橋市向山=1.1 高浜市稗田町 * =1.1 北名古屋西之保 * =1.1 新城市長篠 * =0.9 新城市東入船 * =0.9 一宮市木曾川町 * =0.9 豊田市小渡町 * =0.9 犬山市五郎丸 * =0.9 小牧市安田町 * =0.9 知多市緑町 * =0.9 岩倉市川井町 * =0.9 一宮市緑 * =0.8 半田市東洋町 * =0.8 阿久比町卯坂 * =0.8 新城市作手高里 * =0.8 安城市横山町 * =0.7 常滑市新開町=0.7 新城市乗本=0.7 豊山町豊場 * =0.7 甚目寺町甚目寺二伴田 * =0.7 東浦町緒川 * =0.7 一色町一色=0.7 清須市清洲 * =0.7 名古屋千種区日和町=0.7 日進市蟹甲町 * =0.6 春日町落合 * =0.6 碧南市松本町 * =0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
52	15 23 43	三重県 1 津市香良洲町 * = 1.0 津市安濃町東観音寺 * = 0.6 愛知県東部 34° 52.9' N 137° 18.1' E 39km M: 3.2 静岡県 1 湖西市吉美 * = 0.5 愛知県 1 豊田市長興寺 * = 1.2 豊田市小渡町 * = 1.2 幸田町菱池 * = 1.2 豊田市小原町 * = 1.0 豊橋市向山 = 0.9 豊川市一宮町 * = 0.9 豊田市大沼町 * = 0.8 岡崎市伝馬通 = 0.8 安城市横山町 * = 0.8 高浜市稗田町 * = 0.8 愛知美浜町河和 * = 0.8 豊田市大洞町 = 0.8 小坂井町小坂井 * = 0.7 豊田市小坂町 * = 0.7 蒲都市御幸町 * = 0.6 田原市赤羽根町 * = 0.5 知多市緑町 * = 0.5				
53	16 11 40	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町 * = 0.5 38° 56.2' N 141° 39.4' E 69km M: 2.7				
54	16 19 00	静岡県中部 静岡県 3 静岡清水区庵原町 * = 2.8 2 静岡葵区梅ヶ島 * = 2.4 富士川町岩淵 * = 2.1 静岡清水区千歳町 = 2.1 静岡清水区蒲原新栄 * = 2.0 静岡清水区旭町 * = 2.0 静岡清水区蒲原新田 * = 2.0 東伊豆町奈良本 * = 1.9 静岡駿河区曲金 = 1.8 芝川町長貫 * = 1.8 由比町北田 * = 1.8 富士宮市弓沢町 = 1.6 富士市永田町 * = 1.5 1 富士宮市猪之頭 * = 1.4 静岡葵区峰山 = 1.2 函南町平井 * = 1.1 伊豆市土肥 * = 1.1 伊豆の国市長岡 * = 1.1 伊豆の国市四日町 * = 1.1 伊豆の国市田京 * = 1.1 富士市本市場 * = 1.1 静岡駿河区有明町 * = 1.1 河津町田中 * = 1.0 三島市東本町 = 1.0 静岡清水町堂庭 * = 1.0 熱海市網代 = 1.0 静岡葵区駒形通 * = 1.0 沼津市戸田 * = 0.9 下田市中 * = 0.9 焼津市東小川 * = 0.9 西伊豆町宇久須 * = 0.8 静岡葵区追手町市役所 * = 0.8 小山町藤曲 * = 0.7 熱海市泉 * = 0.7 熱海市中央町 * = 0.7 伊豆市市山 * = 0.6 静岡葵区追手町県庁 * = 0.6 袋井市浅名 * = 0.6 焼津市本町 * = 0.5 岡部町岡部 * = 0.5 山梨県 2 山梨南部町栄小学校 * = 2.3 富士河口湖町長浜 * = 2.0 富士河口湖町船津 = 1.9 山梨南部町富士 * = 1.9 山梨南部町内船 * = 1.7 鳴沢村役場 * = 1.7 身延町梅平 * = 1.5 身延町役場 * = 1.5 1 山中湖村山中 * = 1.4 富士河口湖町本栖 * = 1.3 富士吉田市下吉田 * = 1.2 市川三郷町岩間 * = 1.2 大月市御太刀 * = 1.1 上野原市上野原 = 1.1 上野原市役所 * = 1.1 身延町常葉 * = 1.1 甲府市古閑町 * = 1.1 富士河口湖町勝山 * = 1.1 中央市大鳥居 * = 1.1 身延町大磯小磯 = 1.1 都留市上谷 * = 1.0 西桂町小沼 * = 1.0 忍野村忍草 * = 1.0 富士河口湖町役場 * = 0.9 中央市白井阿原 * = 0.9 富士吉田市上吉田 * = 0.9 南アルプス市寺部 * = 0.9 笛吹市役所 * = 0.9 甲府市役所 * = 0.9 甲府市飯田 = 0.9 早川町保 * = 0.8 早川町高住 * = 0.8 笛吹市八代町南 * = 0.8 甲州市大和町初鹿野 * = 0.7 甲府市相生 * = 0.7 中央市成島 * = 0.7 笛吹市芦川町中芦川 * = 0.7 甲斐市下今井 * = 0.7 増穂町天神中条 * = 0.5 甲州市塩山上於曾 * = 0.5 山梨市小原西 * = 0.5 埼玉県 1 秩父市中津川 * = 0.6 神奈川県 1 真鶴町真鶴 * = 0.7 南足柄市関本 * = 0.6 神奈川山北町山北 * = 0.6 長野県 1 長野高森町下市田 * = 0.8 中川村大草 * = 0.7 下條村睦沢 * = 0.6 泰阜村役場 * = 0.6				
55	16 20 34	茨城県沖 福島県 栃木県 1 田村市都路町 * = 0.7 白河市新白河 * = 0.6 1 茂木町小井戸 * = 1.1 36° 18.5' N 141° 40.2' E 59km M: 4.1				
56	17 02 23	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町 * = 0.6 36° 00.1' N 137° 31.3' E 9km M: 1.9				
57	17 08 22	福井県嶺南 福井県 2 福井若狭町市場 * = 1.8 小浜市四谷町 * = 1.6 1 福井おおい町名田庄久坂 * = 1.4 福井おおい町本郷 * = 1.2 小浜市大手町 * = 1.1 高浜町宮崎 = 0.8 福井若狭町中央 * = 0.7 滋賀県 1 高島市朽木柏 * = 0.8 35° 25.0' N 135° 46.0' E 8km M: 3.2				
58	17 23 45	愛知県西部 愛知県 2 愛知美浜町河和 * = 1.6 1 蒲都市御幸町 * = 1.1 吉良町荻原 * = 1.1 幸田町菱池 * = 1.1 蒲都市神ノ郷町 * = 1.0 一色町一色 = 1.0 安城市和泉町 * = 0.7 碧南市松本町 * = 0.7 高浜市稗田町 * = 0.6 34° 47.4' N 137° 05.1' E 10km M: 3.0				
59	18 00 17	愛知県西部 愛知県 2 愛知美浜町河和 * = 1.8 1 吉良町荻原 * = 1.1 幸田町菱池 * = 1.1 碧南市松本町 * = 1.0 一色町一色 = 1.0 蒲都市神ノ郷町 * = 0.9 高浜市稗田町 * = 0.8 蒲都市御幸町 * = 0.7 安城市和泉町 * = 0.7 武豊町長尾山 * = 0.6 南知多町豊浜 = 0.5 34° 47.4' N 137° 05.2' E 11km M: 3.0				
60	18 05 47	秋田県内陸北部 秋田県 1 北秋田市阿仁銀山 * = 0.7 39° 59.7' N 140° 29.4' E 7km M: 2.5				
61	18 16 27	茨城県沖 福島県 2 葛尾村落合閣下 * = 1.8 川内村上川内早渡 * = 1.7 玉川村小高 * = 1.7 須賀川市岩瀬支所 * = 1.6 田村市都路町 * = 1.6 南相馬市小高区 * = 1.6 浪江町幾世橋 = 1.5 白沢村糠沢 * = 1.5 葛尾村落合落合 * = 1.5 白河市新白河 * = 1.5 1 二本松市針道 * = 1.4 田村市滝根町 * = 1.4 田村市大越町 * = 1.4 田村市常葉町 * = 1.4 相馬市中村 * = 1.4 楢葉町北田 * = 1.4 小野町小野新町 * = 1.3 郡山市開成 * = 1.3 南相馬市鹿島区 * = 1.3 小野町中通 * = 1.2 二本松市油井 * = 1.2 大熊町下野上 * = 1.2 南相馬市原町区高見町 * = 1.2 天栄村下松本 * = 1.2 36° 46.2' N 141° 19.0' E 49km M: 4.3				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		猪苗代町千代田 *=1.2 川内村下川内=1.1 平田村永田 *=1.1 二本松市郭内 *=1.1 本宮町万世 *=1.1 白河市東 *=1.1 川内村上川内小山平 *=1.0 白河市郭内=1.0 飯館村伊丹沢 *=1.0 郡山市朝日=1.0 いわき市錦町 *=1.0 会津若松市古川町 *=1.0 須賀川市八幡山 *=1.0 田村市船引町=1.0 郡山市湖南町 *=1.0 猪苗代町城南=0.9 川俣町五百田 *=0.9 富岡町本岡 *=0.9 大熊町野上 *=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 二本松市金色 *=0.8 福島広野町下北迫大谷地原 *=0.8 鏡石町鏡田 *=0.8 浅川町浅川 *=0.7 新地町谷地小屋 *=0.6 大玉村玉井 *=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 いわき市小名浜=0.6 いわき市平四ツ波 *=0.6 福島市松木町=0.5 大玉村曲藤=0.5 宮城県 1 岩沼市桜 *=1.2 蔵王町円田 *=0.9 名取市増田 *=0.9 石巻市桃生町 *=0.8 宮城川崎町前川 *=0.7 山元町浅生原 *=0.6 角田市角田 *=0.5 茨城県 1 水戸市内原町 *=1.1 常陸太田市高柿町 *=1.1 日立市十王町友部 *=1.0 常陸大宮市野口 *=0.9 水戸市金町=0.8 高萩市安良川 *=0.8 日立市助川小学校 *=0.7 常陸大宮市上村田 *=0.7 北茨城市磯原町 *=0.6 栃木県 1 茂木町小井戸 *=1.0 益子町益子=0.5				
62	19 00 00	十勝沖 北海道	42° 35.2' N	143° 43.5' E	19km	M: 3.3
		1 十勝大樹町生花 *=1.0				
63	19 00 39	宮古島近海 沖縄県	24° 11.9' N	125° 14.8' E	0km	M: 3.6
		1 宮古島市城辺福里=0.5				
64	19 01 27	宮城県北部 岩手県	38° 53.2' N	141° 39.6' E	66km	M: 3.6
		2 一関市千厩町 *=1.7 大船渡市大船渡町=1.5 1 一関市室根町 *=1.3 大船渡市猪川町=1.0 陸前高田市高田町 *=0.8 釜石市中妻町 *=0.8 北上市二子町 *=0.8 平泉町平泉 *=0.7 一関市大東町=0.6 大船渡市盛町 *=0.6 一関市舞川=0.6 藤沢町藤沢 *=0.6 宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市笹が陣 *=1.0 栗原市栗駒=0.8 南三陸町歌津 *=0.8 気仙沼市唐桑町 *=0.5				
65	19 03 28	日向灘 宮崎県	31° 59.0' N	131° 34.9' E	40km	M: 4.0
		2 宮崎市霧島=2.0 小林市真方=1.9 西都市上の宮 *=1.7 高鍋町上江 *=1.6 宮崎市田野町体育館 *=1.6 国富町本庄 *=1.6 高千穂町三田井=1.6 宮崎市松橋 *=1.5 1 宮崎都農町役場 *=1.4 小林市中原 *=1.4 野尻町東麓 *=1.4 川南町川南 *=1.3 宮崎市橋通東 *=1.3 日南市吾田東 *=1.2 西都市聖陵町 *=1.2 宮崎市高岡町内山 *=1.2 北郷町郷之原 *=1.1 延岡市北方町卯 *=1.0 門川町本町 *=1.0 新富町上富田=0.9 延岡市古城町 *=0.9 椎葉村下福良 *=0.9 椎葉村総合運動公園 *=0.8 都城市姫城町 *=0.8 日南市油津=0.8 宮崎市佐土原町下田島 *=0.8 綾町南俣健康センター *=0.7 日向市東郷町山陰 *=0.7 小林市役所 *=0.6 高千穂町寺迫 *=0.5 都城市葛蒲原=0.5 熊本県 1 人吉市城本町=1.0 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.5				
66	19 05 14	和歌山県北部 和歌山県	34° 05.0' N	135° 13.1' E	6km	M: 2.9
		2 海南市下津 *=1.8 1 紀美野町下佐々 *=1.2 有田市初島町 *=1.0 湯浅町湯浅 *=0.9 有田市箕島=0.9 和歌山広川町広 *=0.6 有田川町下津野 *=0.6 海南市日方 *=0.5				
67	19 09 12	国後島付近 北海道	43° 22.4' N	145° 30.7' E	70km	M: 3.6
		1 根室市牧の内 *=0.9 根室市瑠瑠瑠 *=0.9 根室市厚床 *=0.5 別海町常盤=0.5				
68	19 18 33	愛知県西部 長野県	35° 15.7' N	137° 15.5' E	15km	M: 4.4
		3 清内路村役場 *=2.5 2 平谷村役場 *=2.2 木曾町開田高原西野 *=2.1 売木村役場 *=2.0 上松町駅前通り *=1.9 木曾町三岳 *=1.8 木曾町日義 *=1.8 王滝村役場 *=1.8 木曾町新開 *=1.7 王滝村鈴ヶ沢 *=1.7 南木曾町読書小学校 *=1.7 大桑村長野 *=1.7 南木曾町読書 *=1.6 飯田市高羽町=1.5 阿智村駒場 *=1.5 1 飯田市上郷黒田 *=1.3 長野高森町下市田 *=1.3 下條村睦沢 *=1.3 木曾町福島 *=1.2 中川村大草 *=1.2 茅野市葛井公園 *=1.2 塩尻市榎川小学校 *=1.2 泰阜村役場 *=1.1 伊那市長谷溝口 *=1.1 天龍村天龍小学校 *=1.0 諏訪市湖岸通り=0.9 塩尻市木曾平沢 *=0.9 飯島町飯島=0.8 阿南町東条 *=0.8 阿智村浪合 *=0.8 下諏訪町役場 *=0.6 山形村役場 *=0.6 伊那市高遠町荊口=0.6 諏訪市高島 *=0.6 松本市丸の内 *=0.5 辰野町中央=0.5 喬木村役場 *=0.5 大鹿村大河原 *=0.5 木祖村藪原 *=0.5 岐阜県 3 恵那市上矢作町 *=3.4 多治見市笠原町 *=3.0 土岐市肥田 *=2.9 恵那市明智町 *=2.9 土岐市泉町 *=2.9 八百津町八百津 *=2.7 瑞浪市上平町 *=2.6 御嵩町御嵩 *=2.5 2 多治見市三笠町 *=2.4 関市若草通り *=2.4 各務原市川島河田町 *=2.3 郡上市和良町 *=2.3 美濃加茂市西町 *=2.3 美濃加茂市太田町=2.3 岐阜川辺町中川辺 *=2.2 美濃市役所 *=2.2 富加町滝田 *=2.1 恵那市岩村町 *=2.0 関市洞戸市場 *=2.0 坂祝町取組 *=2.0 恵那市串原 *=2.0 岐阜山県市高木 *=2.0 恵那市長島小学校 *=1.9 可児市広見 *=1.9 可児市兼山 *=1.8 中津川市坂下 *=1.8 岐南町八剣 *=1.8 大野町大野 *=1.8 下呂市馬瀬 *=1.7 中津川市山口 *=1.7 中津川市本町 *=1.6 中津川市福岡 *=1.6 郡上市八幡町旭 *=1.6 各務原市那加桜町 *=1.5 中津川市かやの木町=1.5 関市武芸川町 *=1.5 中津川市加子母 *=1.5 1 下呂市金山町 *=1.4 中津川市蛭川 *=1.4 白川町河岐 *=1.4 大垣市墨俣町 *=1.3 揖斐川町東津汲 *=1.3 瑞穂市別府 *=1.3 海津市海津町 *=1.3 岐阜池田町六之井 *=1.2 下呂市下呂小学校 *=1.2 郡上市明宝 *=1.2 下呂市萩原町 *=1.2 中津川市付知町 *=1.2 岐阜市京町 *=1.2 大垣市丸の内 *=1.2 関市上之保 *=1.2 輪之内町四郷 *=1.2 高山市朝日町 *=1.1 岐阜市加納二之丸=1.1 郡上市八幡町島谷=1.1 岐阜市柳津町 *=1.1 瑞穂市宮田 *=1.0				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>岐阜山県市谷合 * =1.0 岐阜山県市大門 * =1.0 本巢市下真桑 * =1.0 七宗町上麻生 * =1.0                      養老町高田 * =1.0 垂井町役場 * =1.0 下呂市小坂町 * =1.0 揖斐川町東杉原 * =1.0                      飛騨市河合町元田郵便局 * =1.0 関市中之保 * =0.9 高山市高根町 * =0.9 安八町水取 * =0.9                      飛騨市宮川町 * =0.9 郡上市大和町 * =0.9 北方町北方 * =0.9 下呂市森 * =0.8 郡上市高鷲町 * =0.8                      揖斐川町谷汲 * =0.8 海津市南濃町 * =0.8 高山市消防署 * =0.8 本巢市文殊 * =0.8 飛騨市古川町 * =0.8                      本巢市三橋 * =0.8 郡上市美並町 * =0.7 揖斐川町三輪 * =0.7 高山市奥飛騨温泉郷柘尾 * =0.7                      本巢市根尾 * =0.7 羽島市竹鼻町 * =0.7 高山市国府町 * =0.7 白川村鳩谷 * =0.7 高山市荘川町 * =0.6                      高山市一之宮町 * =0.6 郡上市白鳥町白鳥 * =0.6 東白川村神土 * =0.6 関ヶ原町関ヶ原 * =0.6                      神戸町神戸 * =0.6 海津市平田町 * =0.6</p> <p>愛知県</p> <p>3 豊田市足助町 * =3.4 豊田市大洞町 =3.1 名古屋南区鳴尾 * =3.1 名古屋瑞穂区塩入町 * =3.0                      日進市蟹甲町 * =3.0 豊田市小坂町 * =2.9 愛知三好町三好 * =2.9 豊田市小坂本町 =2.8                      高浜市稗田町 * =2.8 名古屋東区筒井 * =2.7 名古屋天白区島田 * =2.6 豊田市小渡町 * =2.6                      豊田市藤岡飯野町 * =2.6 豊田市長興寺 * =2.6 新城市作手高里 * =2.5 豊田市小原町 * =2.5</p> <p>2 名古屋昭和区阿由知通 * =2.4 名古屋守山区下志段味 * =2.4 名古屋守山区西新 * =2.4                      名古屋緑区有松町 * =2.4 刈谷市寿町 * =2.4 知多市緑町 * =2.4 名古屋名東区名東本町 * =2.3                      名古屋千種区日和町 =2.2 名古屋中区県庁 * =2.2 岡崎市伝馬通 =2.2 安城市横山町 * =2.2                      大府市中央町 * =2.2 名古屋熱田区一番 * =2.2 豊明市沓掛町 * =2.2 東浦町緒川 * =2.2                      瀬戸市苗場町 * =2.1 半田市東洋町 * =2.1 知多市八幡 * =2.1 知立市弘法町 * =2.1                      蟹江町蟹江本町 * =2.1 阿久比町卯坂 * =2.0 名古屋中川区東春田 * =2.1 安城市和泉町 * =2.0                      名古屋北区萩野通 * =1.9 豊田市大沼町 * =1.9 名古屋西区八筋町 * =1.9 名古屋中村区大宮町 * =1.9                      吉良町荻原 * =1.9 幸田町菱池 * =1.9 愛西市石田町 * =1.9 弥富市神戸 * =1.9 弥富市前ヶ須町 * =1.9                      犬山市五郎丸 * =1.9 新城市東入船 * =1.9 名古屋港区春田野 * =1.7 武豊町長尾山 * =1.7                      名古屋港区善進本町 * =1.7 北名古屋西之保 * =1.7 東海市中央町 * =1.7 豊田市一宮町 * =1.7                      甚目寺町甚目寺二伴田 * =1.7 碧南市松本町 * =1.7 大口町下小口 * =1.6 七宝町桂 * =1.6                      常滑市新開町 =1.6 飛島村飛島新田 * =1.6 愛知江南市赤童子町 * =1.6 愛知津島市埋田町 * =1.6                      御津町西方 * =1.6 清須市須ヶ口 * =1.6 蒲都市御幸町 * =1.6 一宮市木曾川町 * =1.5                      小牧市安田町 * =1.5 愛知美浜町河和 * =1.5 豊田市稲武町 * =1.5 清須市清洲 * =1.5 春日町落合 * =1.5                      一宮市緑 * =1.5</p> <p>1 豊橋市向山 =1.4 名古屋中区市役所 * =1.4 岩倉市川井町 * =1.4 豊山町豊場 * =1.4 大治町馬島 * =1.4                      愛西市稲葉町 =1.4 清須市西枇杷島町花咲 * =1.4 蒲都市神ノ郷町 * =1.3 音羽町赤坂 * =1.3                      春日井市鳥居松町 * =1.3 稲沢市稲府町 * =1.3 一色町一色 =1.3 南知多町豊浜 =1.2 一宮市西五城 * =1.2                      豊川市諏訪 * =1.1 愛西市諏訪町 * =1.1 新城市長篠 * =1.0 小坂井町小坂井 * =1.0 岡崎市櫻山町 * =1.0                      新城市乗本 =0.9 愛西市江西町 * =0.9 北名古屋市熊之庄 * =0.9 美和町木田 * =0.9 設楽町田口 * =0.8                      豊根村下黒川 * =0.7 豊根村富山 * =0.7 田原市福江町 =0.6 田原市赤羽根町 * =0.6 田原市田原町 * =0.5                      豊橋市東松山町 * =0.5 東栄町本郷 * =0.5</p> <p>福井県</p> <p>2 福井市大手 * =1.5</p> <p>1 福井市豊島 =1.4 大野市川合 * =1.3 あわら市市姫 * =1.3 福井市板垣 * =1.2 越前町西田中 * =1.1                      大野市朝日 * =1.1 小浜市四谷町 * =1.1 越前町織田 * =1.0 福井坂井市坂井町下新庄 * =1.0                      福井若狭町市場 * =0.9 大野市天神町 * =0.8 越前町江波 * =0.8 勝山市旭町 =0.8 越前市粟田部 * =0.7                      あわら市国影 * =0.7 越前市村国 * =0.7 敦賀市松栄町 =0.5</p> <p>静岡県</p> <p>2 袋井市浅名 * =2.0 浜松市佐久間町 * =1.7</p> <p>1 浜松市三ヶ日町 =1.4 湖西市吉美 * =1.4 浜松市雄踏町 * =1.3 新居町浜名 * =1.3 掛川市長谷 * =1.2                      牧之原市静波 * =1.0 浜松市細江町 * =1.0 掛川市西大淵 * =1.0 袋井市新屋 =1.0 浜松市元城町 * =0.9                      磐田市森岡 * =0.9 川根町家山 =0.9 浜松市三組町 =0.8 浜松市二俣町二俣 * =0.8 磐田市岡 * =0.8                      掛川市三俣 * =0.8 浜松市引佐町 * =0.7 磐田市見付 * =0.7 磐田市国府台 * =0.7 吉田町住吉 * =0.7                      牧之原市鬼女新田 =0.7 静岡菊川市赤土 * =0.7 浜松市西美園 * =0.7 浜松市舞阪町 * =0.7                      磐田市下野部 * =0.6 静岡森町森 * =0.6 島田市中央町 =0.6 岡部町岡部 * =0.6 牧之原市相良 * =0.5                      焼津市東小川 * =0.5 大井川町宗高 * =0.5</p> <p>三重県</p> <p>2 三重朝日町小向 * =2.1 亀山市西丸町 * =2.1 四日市市諏訪町 * =2.0 いなべ市員弁町笠田新田 * =1.9                      木曾岬町西対海地 * =1.8 桑名市中央町 * =1.7 桑名市長島町松ヶ島 * =1.7 鈴鹿市西条 =1.7                      川越町豊田一色 * =1.7 四日市市日永 =1.5 四日市市新浜町 * =1.5 東員町山田 * =1.5                      亀山市本丸町 * =1.5</p> <p>1 菟野町潤田 * =1.4 四日市市楠町北五味塚 * =1.3 いなべ市大安町大井田 * =1.2                      津市安濃町東観音寺 * =1.1 伊賀市平田 * =1.1 桑名市多度町多度 * =1.1 いなべ市北勢町阿下喜 * =1.0                      いなべ市藤原町市場 * =1.0 津市香良洲町 * =1.0 津市久居東鷹跡町 * =0.9 津市芸濃町椋本 * =0.9                      伊賀市上野丸之内 * =0.9 津市河芸町浜田 * =0.8 伊賀市小田町 * =0.8 伊賀市下柘植 * =0.8                      伊勢市楠部町 * =0.8 伊勢市二見町江 * =0.8 津市白山町川口 * =0.7 松阪市殿町 * =0.7                      松阪市首原町 * =0.7 津市島崎町 =0.6 津市西丸之内 * =0.6 松阪市高町 =0.6 名張市鴻之台 * =0.6                      伊賀市緑ヶ丘本町 =0.6 伊賀市馬場 * =0.5 津市美里町三郷 * =0.5</p> <p>2 東近江市市子川原町 * =2.1 竜王町小口 * =1.9 東近江市下中野町 * =1.6</p> <p>1 近江八幡市桜宮町 =1.4 滋賀日野町河原 * =1.4 東近江市上二俣町 * =1.4 長浜市落合町 * =1.3                      守山市吉身 * =1.3 東近江市池庄町 * =1.3 虎姫町五村 * =1.2 西浅井町大浦 * =1.2                      湖南市中央図書館 * =1.2 湖北町速水 * =1.1 湖南市中央 * =1.1 甲賀市信楽町 * =1.1                      東近江市山上町 * =1.1 東近江市鉢光寺町 * =1.1 高島市勝野 * =1.0 米原市顔戸 * =1.0                      愛荘町安孫子 * =1.0 愛荘町愛知川 * =1.0 近江八幡市出町 * =1.0 野洲市西河原 * =1.0                      甲賀市甲賀町大久保 * =1.0 甲賀市土山町 * =1.0 高島市マキノ町 * =0.9 米原市春照 * =0.9                      湖南市石部中央 * =0.9 甲賀市甲南町 * =0.9 木之本町木之本 * =0.8 米原市長岡 * =0.8                      安土町小中 * =0.8 野洲市小篠原 * =0.8 甲賀市甲賀町相模 * =0.8 東近江市君ヶ畑町 =0.8                      東近江市八日市緑町 * =0.8 米原市下多良 * =0.7 甲賀市水口町 =0.7 彦根市城町 =0.7                      彦根市西今町 * =0.7 豊郷町石畑 * =0.7 東近江市五個荘竜田町 * =0.7 余呉町中之郷 * =0.7                      高島市今津町日置前 * =0.7 栗東市安養寺 * =0.6 大津市真野 * =0.6</p> <p>富山県</p> <p>1 南砺市利賀村利賀 * =0.8 南砺市下梨 * =0.6</p> <p>石川県</p> <p>1 加賀市直下町 =0.9 加賀市大聖寺南町 * =0.6 小松市小馬出町 =0.5</p>				



地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		山梨県 1 市川三郷町岩間 * =0.7 京都府 1 京都左京区花背大布施町 * =0.6 京都中京区西ノ京=0.5 京都右京区京北周山町 * =0.5 奈良県 1 奈良市針町 * =1.3 奈良市半田開町=0.8 高取町観覚寺 * =0.8 田原本町役場 * =0.7 曾爾村今井 * =0.6 宇陀市大宇陀区迫間 * =0.6 奈良市月ヶ瀬尾山 * =0.5 奈良市二条大路南 * =0.5 天理市川原城町 * =0.5 桜井市粟殿 * =0.5				
69	20 02 25	岐阜県美濃中西部 35° 20.9' N 岐阜県 1 関ヶ原町関ヶ原 * =0.6	136° 32.9' E	9km	M: 2.5	
70	20 11 46	青森県東方沖 41° 32.0' N 青森県 2 東通村砂子又 * =1.6 1 東通村小田野沢 * =1.2 北海道 1 函館市泊町 * =0.5	142° 04.1' E	69km	M: 3.8	
71	20 11 56	岩手県沿岸北部 40° 23.0' N 岩手県 2 岩手洋野町大野 * =1.6 1 普代村銅屋 * =0.6 岩手洋野町種市=0.6 久慈市川崎町=0.5 二戸市福岡=0.5 軽米町軽米 * =0.5 青森県 1 階上町道仏 * =1.2 八戸市内丸 * =0.8 青森南部町苫米地 * =0.8 八戸市湊町=0.8 東通村砂子又 * =0.7	141° 39.0' E	114km	M: 3.8	
72	20 22 15	沖縄本島近海 27° 00.4' N 沖縄県 1 久米島町謝名堂=0.5	127° 21.5' E	79km	M: 4.0	
73	21 02 02	島根県西部 34° 27.7' N 島根県 1 吉賀町柿木村柿木 * =0.5	131° 56.0' E	16km	M: 2.7	
74	21 07 57	山梨県東部・富士五湖 35° 27.2' N 山梨県 2 山中湖村山中 * =2.1 富士河口湖町船津=1.6 1 笛吹市八代町南 * =1.1 富士河口湖町長浜 * =1.1 甲府市古閑町 * =1.0 大月市御太刀 * =0.9 西桂町小沼 * =0.9 富士吉田市下吉田 * =0.9 甲州市役所 * =0.7 甲州市勝沼町勝沼 * =0.7 都留市上谷 * =0.6 忍野村忍草 * =0.6 鳴沢村役場 * =0.6 甲州市大和町初鹿野 * =0.6	138° 52.0' E	14km	M: 2.9	
75	21 10 51	長野県南部 35° 45.1' N 山梨県 2 富士河口湖町船津=2.3 1 北杜市高根町村山北割 * =1.4 甲斐市下今井 * =1.2 甲府市相生 * =1.2 富士河口湖町勝山 * =1.2 富士河口湖町役場 * =1.2 北杜市白州町白須 * =1.1 鳴沢村役場 * =1.0 富士河口湖町長浜 * =1.0 甲府市飯田=1.0 南アルプス市寺部 * =0.9 北杜市明野町上手 * =0.9 甲府市役所 * =0.9 北杜市大泉町谷戸 * =0.9 山梨昭和町押越 * =0.9 甲州市役所 * =0.9 山梨市牧丘町窪平 * =0.8 甲府市古閑町 * =0.8 南アルプス市野牛島 * =0.8 中央市成島 * =0.7 富士吉田市下吉田 * =0.7 北杜市健康ランド須玉 * =0.6 南アルプス市芦安芦倉 * =0.6 丹波山村丹波 * =0.6 増穂町天神中条 * =0.5 鯉沢町鯉沢小学校 * =0.5 甲斐市篠原 * =0.5 南アルプス市小笠原 * =0.5 笛吹市八代町南 * =0.5 北杜市小淵沢町 * =0.5 長野県 2 長野高森町下市田 * =2.2 伊那市高遠町荊口=1.9 中川村大草 * =1.9 塩尻市木曾平沢 * =1.9 大鹿村大河原 * =1.7 塩尻市榑川小学校 * =1.5 辰野町中央=1.5 1 喬木村役場 * =1.4 木曾町日義 * =1.4 飯田市上郷黒田 * =1.3 泰阜村役場 * =1.3 木曾町新開 * =1.2 箕輪町中箕輪 * =1.1 飯田市高羽町=1.1 南箕輪村役場 * =1.0 清内路村役場 * =1.0 茅野市葛井公園 * =1.0 飯田市南信濃 * =0.9 売木村役場 * =0.9 天龍村天龍小学校 * =0.8 伊那市長谷溝口 * =0.8 飯田市上村 * =0.8 木曾町開田高原西野 * =0.8 阿智村駒場 * =0.7 木祖村敷原 * =0.7 下條村陸沢 * =0.7 小海町豊里 * =0.7 天龍村平岡 * =0.7 伊那市高遠町西高遠 * =0.5 南木曾町読書小学校 * =0.5 塩尻市広丘高出 * =0.5 飯島町飯島=0.5 宮田村役場 * =0.5 山形村役場 * =0.5 長和町和田 * =0.5 岐阜県 2 恵那市上矢作町 * =1.9 1 高山市高根町 * =0.6 群馬県 1 群馬上野村川和 * =1.0 神流町神ヶ原 * =0.9 埼玉県 1 秩父市中津川 * =1.0 静岡県 1 浜松市佐久間町 * =0.7 愛知県 1 豊田市小渡町 * =0.9 豊根村富山 * =0.7 新城市作手高里 * =0.5	138° 06.9' E	21km	M: 3.9	
76	21 12 13	新島・神津島近海 34° 14.3' N 東京都 2 新島村式根島=1.7	139° 13.1' E	13km	M: 2.3	
77	21 21 10	茨城県沖 36° 25.1' N 茨城県 1 日立市助川小学校 * =0.8	141° 05.9' E	62km	M: 3.6	
78	22 00 50	八丈島東方沖 33° 43.3' N 東京都 1 八丈町三根=0.9	140° 35.6' E	57km	M: 3.6	
79	22 13 48	伊豆大島近海 34° 59.0' N 神奈川県 2 三浦市城山町 * =1.6 横須賀市光の丘=1.5 1 横浜金沢区寺前 * =0.7 千葉県 1 南房総市富浦町青木 * =1.1 館山市長須賀=0.7 東京都 1 伊豆大島町岡田 * =1.0 静岡県 1 熱海市網代=1.1	139° 33.3' E	27km	M: 4.0	

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
80	22 15 37	新潟県中越地方 新潟県 1 長岡市幸町=1.0 長岡市千手*=1.0	37°25.2' N	138°52.5' E	15km	M: 2.8
81	22 23 10	福島県沖 福島県 1 葛尾村落合閣下*=1.2 新地町谷地小屋*=0.5	37°32.1' N	141°19.1' E	82km	M: 3.5
82	23 04 19	国後島付近 北海道 2 別海町本別海*=1.6 根室市瑠瑠瑠*=1.5 1 浜中町霧多布*=1.1 根室市牧の内*=1.1 標津町北2条*=1.0 根室市厚床*=1.0 根室市落石東*=1.0 別海町常盤=0.9 標茶町塘路*=0.5	43°53.1' N	145°52.2' E	109km	M: 4.2
83	23 05 12	茨城県北部 茨城県 1 常陸大宮市上村田*=1.1 日立市助川小学校*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 ひたちなか市東石川*=0.7 石岡市柿岡=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.5 笠間市下郷*=0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*=0.9	36°26.7' N	140°26.1' E	95km	M: 3.5
84	23 06 16	岐阜県飛騨地方 長野県 2 木曾町開田高原西野*=1.7 1 木曾町新開*=0.6 木曾町日義*=0.5 王滝村鈴ヶ沢*=0.5 岐阜県 1 高山市高根町*=1.4	35°58.2' N	137°32.2' E	10km	M: 2.7
85	23 13 39	安芸灘 広島県 山口県 1 廿日市市大野*=1.1 1 光市中央*=1.2 上関町長島*=0.7 平生町平生*=0.7 周防大島町久賀*=0.7 防府市寿=0.6 防府市西浦*=0.5	33°55.9' N	132°13.7' E	52km	M: 3.4
86	24 02 28	台湾付近 沖縄県 1 与那国町祖納=0.6	24°49.7' N	122°10.5' E	38km	M: 5.3
87	24 05 19	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=0.7	36°02.6' N	137°33.3' E	6km	M: 2.0
88	24 11 25	茨城県南部 栃木県 2 栃木市旭町=1.6 1 茂木町小井戸*=1.3 栃木二宮町石島*=1.1 足利市名草上町=0.9 鹿沼市晃望台*=0.9 真岡市田町*=0.9 上河内町中里*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.7 鹿沼市口栗野*=0.7 日光市中鉢石町*=0.7 益子町益子=0.7 大平町富田*=0.7 小山市神鳥谷*=0.6 日光市中宮祠=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*=0.6 日光市足尾町松原*=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 日光市足尾町中才*=0.5 茨城県 1 つくば市小笠*=1.3 取手市寺田*=1.2 常陸大宮市上村田*=1.2 土浦市下高津*=1.2 鉾田市当間*=1.1 筑西市門井*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.0 土浦市大岩田=1.0 石岡市柿岡=1.0 石岡市八郷*=1.0 つくば市谷田部*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 茨城古河市下大野*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 小美玉市上玉里*=0.8 桜川市真壁*=0.8 阿見町中央*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.7 つくば市天王台*=0.7 小美玉市小川*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7 桜川市羽田*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 坂東市役所*=0.6 下妻市本城町*=0.6 美浦村受領*=0.6 筑西市舟生=0.5 城里町阿波山*=0.5 牛久市中央*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 坂東市山*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 群馬県 1 片品村鎌田*=0.5	35°59.3' N	140°09.3' E	61km	M: 3.6
89	24 12 53	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又*=2.1 1 東通村小田野沢*=1.4 青森南部町平*=1.2 階上町道仏*=1.0 野辺地町野辺地*=0.9 むつ市川内町*=0.9 むつ市金曲=0.8 むつ市金谷*=0.7 八戸市内丸*=0.7 六ヶ所村尾駸=0.7 外ヶ浜町蟹田*=0.6 五戸町古館=0.6 横浜町林ノ脇*=0.5 五戸町倉石中市*=0.5 東北町塔ノ沢山*=0.5 三沢市桜町*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.0 函館市新浜町*=0.7 岩手県 1 岩手洋野町大野*=1.0 軽米町軽米*=0.7 盛岡市玉山区薮川*=0.6 二戸市石切所*=0.6 八幡平市田頭*=0.5	41°24.1' N	142°07.6' E	34km	M: 4.1
90	25 02 49	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島=2.5 2 新島村本村*=2.1 1 東京利島村=0.6	34°23.1' N	139°12.9' E	6km	M: 2.7
91	25 02 51	新島・神津島近海 東京都 2 新島村本村*=2.1 新島村式根島=2.0	34°23.0' N	139°12.9' E	6km	M: 2.3
92	25 03 23	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.4 新島村本村*=2.1	34°22.9' N	139°13.2' E	5km	M: 2.8
93	26 05 17	佐渡付近 新潟県 4 佐渡市小木町*=3.8 佐渡市河原田本町*=3.7 佐渡市羽茂本郷*=3.7 3 佐渡市相川三町目=3.3 佐渡市真野新町*=3.1 佐渡市畑野*=2.9 佐渡市千種*=2.8 佐渡市新穂瓜生屋*=2.7 佐渡市徳和*=2.7 上越市五智*=2.6 上越市安塚区安塚*=2.5	37°52.3' N	138°09.5' E	14km	M: 4.9

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 上越市木田 * =2.4 上越市中郷区藤沢 * =2.4 上越市頸城区百間町 * =2.3 上越市大手町 =2.3 上越市清里区荒牧 * =2.3 小千谷市土川 * =2.3 上越市名立区名立大町 * =2.2 佐渡市湊 * =2.2 佐渡市相川下戸村 * =2.2 刈羽村割町新田 * =2.1 佐渡市松ヶ崎 * =2.1 長岡市中之島 * =2.1 糸魚川市能生 * =2.1 出雲崎町米田 =2.1 上越市牧区柳島 * =2.0 上越市三和区井ノ口 * =2.0 柏崎市高柳町岡野町 * =2.0 柏崎市西山町池浦 * =2.0 小千谷市城内 =2.0 佐渡市相川金山 =1.9 佐渡市岩谷口 * =1.9 上越市中ノ保 =1.9 妙高市田町 * =1.9 上越市大潟区土底浜 * =1.9 妙高市関川 * =1.8 長岡市上岩井 * =1.8 長岡市小国町法坂 * =1.8 妙高市関山 * =1.7 関川村下関 * =1.7 長岡市小島谷 * =1.6 南魚沼市六日町 =1.6 新潟市旗屋 * =1.6 燕市分水桜町 * =1.6 長岡市寺泊一里塚 * =1.6 十日町市水口沢 * =1.6 十日町市松代 * =1.6 妙高市栄町 * =1.6 出雲崎町川西 * =1.6 魚沼市堀之内 * =1.5 三条市西裏館 * =1.5 長岡市千手 * =1.5 見附市昭和町 * =1.5 糸魚川市大野 * =1.5 長岡市栃尾大町 * =1.5 長岡市浦 * =1.5 1 上越市浦川原区釜淵 * =1.4 上越市板倉区針 * =1.4 長岡市幸町 =1.4 長岡市与板町与板 * =1.4 三条市新堀 * =1.4 阿賀町鹿瀬中学校 * =1.4 阿賀町白崎 * =1.4 十日町市松之山 * =1.3 魚沼市須原 * =1.3 新潟市能登 * =1.3 上越市柿崎区柿崎 * =1.3 上越市吉川区原之町 * =1.3 長岡市寺泊上田町 * =1.3 南魚沼市塩沢庁舎 * =1.2 十日町市千歳町 * =1.2 十日町市上山 * =1.2 新潟市程島 =1.1 柏崎市中央町 * =1.1 十日町市高山 * =1.1 上越市大島区岡 * =1.1 南魚沼市塩沢小学校 * =1.1 新潟市新津東町 * =1.0 燕市秋葉町 * =1.0 南魚沼市浦佐 * =1.0 阿賀町津川 * =1.0 川口町川口 * =1.0 魚沼市穴沢 * =0.9 新潟山北町府屋 * =0.9 阿賀町豊川 * =0.9 魚沼市今泉 * =0.9 新潟市巻支所 =0.9 糸魚川市一の宮 =0.9 弥彦村矢作 * =0.8 新潟市幸西 =0.8 新潟市小須戸 * =0.8 新潟市味方 * =0.8 新潟市巻やすらぎ会館 * =0.8 新潟市一番堀通町 * =0.7 新潟市三方 * =0.7 新発田市中央町 * =0.7 燕市吉田日之出町 * =0.7 胎内市大川町 * =0.7 阿賀野市畑江 =0.6 阿賀野市保田 * =0.6 村上市片町 * =0.6 村上市三之町 * =0.6 新潟市船戸山 * =0.6 新潟山北町寒川 * =0.5 新潟市西中 * =0.5 長野県 3 飯綱町芋川 * =2.6 2 木島平村住郷 * =1.7 信濃町柏原東裏 * =1.6 栄村北信 * =1.5 飯綱町牟礼 * =1.5 1 飯山市飯山福寿町 * =1.4 長野市箱清水 =1.3 中野市豊津 * =1.2 野沢温泉村豊郷 * =1.1 麻績村麻 * =1.1 立科町芦田 * =0.9 上田市役所 * =0.7 長野南牧村海ノ口 * =0.7 小谷村中小谷 * =0.6 上田市大手 =0.6 佐久市白田 * =0.6 長野市鶴賀緑町 * =0.5 群馬県 2 六合村小雨 * =1.7 1 沼田市西倉内町 =1.4 片品村東小川 =1.3 沼田市白沢町 * =1.2 沼田市下久屋町 * =1.1 沼田市利根町 * =0.9 みなかみ町鹿野沢 * =0.6 桐生市元宿町 * =0.6 片品村鎌田 * =0.6 2 舟橋村仏生寺 * =1.9 富山市八尾町福島 =1.6 黒部市新天 * =1.6 滑川市寺家町 * =1.5 1 富山市新桜町 * =1.4 魚津市釈迦堂 =1.4 黒部市宇奈月町内山 * =1.4 上市町稗田 * =1.4 射水市加茂中部 * =1.3 入善町入膳 * =1.1 立山町吉峰 =1.0 富山朝日町道下 =1.0 立山町米沢 * =0.9 南砺市利賀村上百瀬 * =0.9 富山市今泉 * =0.8 富山朝日町境 * =0.8 魚津市本江 * =0.8 富山市石坂 =0.7 富山市上二杉 * =0.7 富山市花崎 * =0.7 富山市婦中町笹倉 * =0.7 黒部市宇奈月町浦山 * =0.7 砺波市庄川町 * =0.5 小矢部市泉町 =0.5 南砺市城端 * =0.5 立山町芦崎寺 * =0.5 石川県 2 輪島市鳳至町 =2.2 珠洲市正院町 * =2.1 穴水町大町 * =2.1 能登町松波 * =2.1 輪島市門前町走出 * =2.0 能登町宇出津 =2.0 七尾市田鶴浜町 * =1.6 1 輪島市河井町 * =1.4 珠洲市三崎町 =1.4 七尾市本府中町 =1.3 能登町柳田 * =1.3 志賀町富来領家町 =1.1 中能登町末坂 * =1.1 珠洲市大谷町 * =1.0 中能登町能登部下 * =1.0 輪島市舩倉島 =1.0 七尾市中島町中島 * =0.9 津幡町加賀爪 =0.7 羽咋市旭町 * =0.6 志賀町香能 * =0.5 山形県 1 飯豊町中津川 * =1.2 中山町長崎 * =0.9 西川町大井沢 * =0.9 山形小国町岩井沢 =0.7 鶴岡市道田町 * =0.5 福島県 1 会津若松市古川町 * =1.4 会津美里町新鶴庁舎 * =1.2 郡山市湖南町 * =1.1 只見町只見 * =1.1 西会津町野沢 =1.1 檜枝岐村上河原 * =1.0 西会津町登世島 * =1.0 栃木県 1 日光市湯元 * =0.7 福井県 1 福井坂井市三国町中央 =0.8 岐阜県 1 飛騨市河合町元田郵便局 * =1.4 飛騨市宮川町 * =0.7 94 26 07 21 佐渡付近 新潟県 2 佐渡市河原田本町 * =1.5 1 佐渡市小木町 * =0.9 佐渡市相川三丁目 =0.8 佐渡市真野新町 * =0.5 95 26 09 20 福島県中通り 福島県 1 田村市都路町 * =1.0 葛尾村落合閣下 * =0.8 96 26 13 39 茨城県南部 茨城県 2 常陸大宮市上村田 * =1.5 1 坂東市馬立 * =1.0 城里町阿波山 * =0.8 坂東市役所 * =0.8 桜川市岩瀬 * =0.7 石岡市柿岡 =0.6 桜川市羽田 * =0.6 筑西市海老ヶ島 * =0.6 常陸大宮市上小瀬 * =0.5 筑西市門井 * =0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町 =1.0 茂木町小井戸 * =1.0 栃木市旭町 =0.7 小山市神島谷 * =0.7 真岡市田町 * =0.6 鹿沼市晃望台 * =0.5 97 26 19 55 福島県沖 福島県 2 檜葉町北田 * =1.6 1 富岡町本岡 * =1.4 福島広野町下北迫大谷地原 * =1.3 田村市都路町 * =0.7 田村市滝根町 * =0.6 南相馬市原町区高見町 * =0.5 宮城県 1 石巻市桃生町 * =0.7 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.5 98 26 21 20 青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町 * =0.9				

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
99	26 21 26	青森県 1 東通村砂子又 * =0.7 東通村小田野沢 * =0.5				
100	26 21 34	台湾付近 沖縄県 1 竹富町波照間=1.0 竹富町黒島=0.8 竹富町大原=0.7 竹富町西表東祖納 * =0.6	21° 38.9' N	120° 45.1' E	0km	M: 6.9
101	27 02 37	台湾付近 沖縄県 1 竹富町黒島=1.2 与那国町祖納=1.1 竹富町波照間=1.1 石垣市登野城=0.8 竹富町西表東祖納 * =0.8 多良間村塩川=0.7 竹富町大原=0.6	21° 48.9' N	120° 41.1' E	0km	M: 7.2
102	27 02 42	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.6 1 神津島村金長=0.6 新島村本村 * =0.6	34° 14.4' N	139° 13.3' E	12km	M: 2.4
103	27 02 49	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.2 新島村本村 * =1.6 1 神津島村金長=0.9	34° 14.7' N	139° 13.0' E	12km	M: 3.0
104	27 03 16	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.1	34° 14.6' N	139° 13.1' E	11km	M: 3.0
105	27 03 34	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.3 1 新島村本村 * =1.2 神津島村金長=0.8	34° 14.7' N	139° 12.9' E	12km	M: 3.0
106	27 04 18	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 14.1' N	139° 13.3' E	13km	M: 2.6
107	27 04 33	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.9 1 神津島村金長=1.3 新島村本村 * =0.7	34° 14.5' N	139° 12.9' E	12km	M: 2.6
108	27 06 14	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.3	34° 14.2' N	139° 13.1' E	13km	M: 2.6
109	27 12 17	岩手県沖 青森県 岩手県 1 五戸町古館=0.5 八戸市内丸 * =0.5 1 盛岡市玉山区薮川 * =1.2 盛岡市玉山区洪民 * =1.1 北上市二子町 * =1.1 八幡平市田頭 * =0.9 遠野市松崎町 * =0.9 山田町大沢 * =0.8 岩手洋野町大野 * =0.8 二戸市福岡=0.8 二戸市浄法寺町 * =0.7 普代村銅屋 * =0.7 宮古市鎌ヶ崎=0.7 釜石市中妻町 * =0.7 宮古市五月町 * =0.6 一関市千厩町 * =0.6 奥州市胆沢区 * =0.6 盛岡市山王町=0.5 山田町八幡町=0.5 大船渡市大船渡町=0.5	40° 06.4' N	142° 25.8' E	35km	M: 4.3
110	27 12 45	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6	34° 14.9' N	139° 13.3' E	11km	M: 2.2
111	27 14 02	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=0.5	28° 42.2' N	130° 12.5' E	56km	M: 4.2
112	28 09 24	宮城県沖 岩手県 3 陸前高田市高田町 * =2.9 一関市室根町 * =2.6 2 藤沢町藤沢 * =2.4 一関市千厩町 * =2.3 大船渡市大船渡町=2.1 釜石市中妻町 * =2.0 奥州市衣川区 * =2.0 北上市二子町 * =2.0 大船渡市猪川町=2.0 平泉町平泉 * =1.9 住田町世田米 * =1.9 花巻市東和町 * =1.9 遠野市松崎町 * =1.8 一関市舞川=1.8 大船渡市盛町 * =1.7 金ヶ崎町西根 * =1.7 一関市川崎町 * =1.6 大槌町新町 * =1.6 北上市柳原町=1.6 花巻市大迫町=1.5 釜石市只越町=1.5 奥州市胆沢区 * =1.5 川井村田代 * =1.5 1 山田町大沢 * =1.4 遠野市宮守町 * =1.4 一関市大東町=1.4 一関市花泉町 * =1.4 奥州市前沢区 * =1.4 岩手洋野町大野 * =1.2 普代村銅屋 * =1.0 花巻市石鳥谷町 * =1.0 西和賀町沢内川舟 * =1.0 野田村野田 * =1.0 八幡平市田頭 * =0.9 奥州市水沢区佐倉河 * =0.9 川井村川井 * =0.9 花巻市大迫総合支所 * =0.9 一関市東山町 * =0.9 矢巾町南矢幅 * =0.8 盛岡市玉山区薮川 * =0.8 宮古市茂市 * =0.8 宮古市鎌ヶ崎=0.7 山田町八幡町=0.7 二戸市福岡=0.7 一関市山目 * =0.7 奥州市水沢区大鐘町=0.6 宮古市五月町 * =0.6 盛岡市馬場町 * =0.6 盛岡市山王町=0.5 宮古市田老 * =0.5 西和賀町沢内太田 * =0.5 宮城県 3 気仙沼市唐桑町 * =3.0 気仙沼市笹が陣 * =2.7 涌谷町新町=2.7 南三陸町歌津 * =2.6 2 東松島市矢本 * =2.2 気仙沼市赤岩=2.1 色麻町四蔵 * =2.1 登米市中田町=2.1 石巻市泉町=2.1 石巻市桃生町 * =2.1 登米市登米町 * =1.9 南三陸町志津川=1.9 石巻市門脇 * =1.9 沼市桜 * =1.8 仙台青葉区作並 * =1.8 栗原市志波姫 * =1.8 栗原市築館 * =1.8 大崎市古川三日町=1.7 大崎市鹿島台 * =1.7 大崎市田尻 * =1.7 栗原市栗駒=1.7 栗原市金成 * =1.7 石巻市北上町 * =1.7 宮城美里町北浦 * =1.7 宮城美里町木間塚 * =1.7 東松島市小野 * =1.7 栗原市高清水 * =1.6 宮城加美町中新田 * =1.6 石巻市前谷地 * =1.6 登米市迫町 * =1.6 塩竈市旭町 * =1.6 登米市南方町 * =1.6 登米市米山町 * =1.5 大崎市松山 * =1.5 大郷町柏川 * =1.5	38° 47.2' N	141° 37.5' E	71km	M: 4.4

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 宮城加美町小野田 * =1.4 栗原市一迫 * =1.4 栗原市瀬峰 * =1.4 大崎市鳴子 * =1.4 大崎市古川北町 * =1.4 名取市増田 * =1.4 宮城川崎町前川 * =1.4 仙台青葉区大倉 =1.4 仙台宮城野区苦竹 * =1.4 登米市東和町 * =1.3 登米市豊里町 * =1.3 角田市角田 * =1.3 栗原市花山 * =1.3 亘理町下小路 * =1.2 本吉町津谷 * =1.2 大崎市岩出山 * =1.2 石巻市相野谷 * =1.2 栗原市若柳 * =1.2 宮城加美町宮崎 * =1.2 柴田町船岡 =1.1 石巻市大瓜 =1.1 石巻市鮎川浜 * =1.1 栗原市篤沢 * =1.1 利府町利府 * =1.1 富谷町富谷 * =1.0 仙台泉区将監 * =1.0 山元町浅生原 * =0.9 大衡村大衡 * =0.9 蔵王町円田 * =0.9 登米市石越町 * =0.9 七ヶ浜町東宮浜 * =0.9 大河原町新南 * =0.8 女川町女川浜 * =0.7 村田町村田 * =0.7 仙台宮城野区五輪 =0.7 石巻市雄勝町 * =0.6 仙台青葉区雨宮 * =0.5 松島町松島 =0.5 福島県 2 葛尾村落合閣下 * =1.6 1 相馬市中村 * =1.4 南相馬市小高区 * =1.4 南相馬市鹿島区 * =1.3 川俣町五百田 * =1.2 二本松市針道 * =1.0 田村市大越町 * =1.0 田村市都路町 * =1.0 国見町藤田 * =0.9 南相馬市原町区高見町 * =0.9 新地町谷地小屋 * =0.8 南相馬市原町区三島町 =0.8 玉川村小高 * =0.8 浪江町幾世橋 =0.6 福島市松木町 =0.5 福島市桜木町 * =0.5 秋田県 1 大仙市刈和野 * =0.6 仙北市西木町上桧木内 * =0.6 山形県 1 尾花沢市若葉町 * =1.2 東根市中央 * =0.7 河北町谷地 =0.7 米沢市林泉寺 * =0.5				
113	28 18 07	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町 =0.8	30° 58.4' N	131° 12.1' E	37km	M: 3.9
114	28 21 00	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島 =1.0	34° 13.6' N	139° 14.8' E	13km	M: 2.4
115	29 10 57	宮城県沖 岩手県 1 陸前高田市高田町 * =0.6	38° 37.2' N	141° 54.1' E	47km	M: 3.4
116	29 13 28	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東 * =1.4 根室市瑛瑠瑠 * =1.0	43° 18.6' N	146° 52.3' E	43km	M: 4.3
117	29 15 28	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町 =1.2 錦江町田代 =1.0	30° 58.9' N	131° 12.6' E	37km	M: 3.9
118	29 16 23	宮城県南部 宮城県 1 宮城川崎町前川 * =1.3	38° 14.0' N	140° 30.7' E	12km	M: 2.7
119	29 16 42	宮城県南部 宮城県 1 宮城川崎町前川 * =0.8	38° 14.0' N	140° 30.6' E	12km	M: 2.5
120	29 21 15	愛知県西部 愛知県 三重県 1 愛西市石田町 * =0.9 名古屋中区県庁 * =0.7 知多市八幡 * =0.6 知多市緑町 * =0.6 1 桑名市長島町松ヶ島 * =0.8 桑名市中央町 * =0.7 木曾岬町西对海地 * =0.5	35° 04.4' N	136° 47.3' E	16km	M: 2.9
121	30 04 12	京都府南部 大阪府 1 能勢町今西 * =0.5	35° 02.3' N	135° 28.9' E	9km	M: 2.4
122	30 05 50	豊後水道 高知県 1 宿毛市桜町 * =0.8	32° 50.9' N	132° 30.4' E	31km	M: 2.9
123	30 18 07	十勝支庁南部 北海道 2 広尾町西4条 * =1.6 1 えりも町目黒 * =0.6 広尾町並木通 =0.6	42° 11.0' N	143° 16.4' E	38km	M: 3.5
124	31 02 28	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島 =2.5 2 神津島村金長 =1.9 新島村本村 * =1.8 1 三宅村神着 =0.8 東京利島村 =0.5	34° 14.7' N	139° 13.7' E	12km	M: 4.3
125	31 02 49	新島・神津島近海 東京都 4 新島村式根島 =3.9 3 新島村本村 * =3.1 神津島村金長 =2.9 2 東京利島村 =1.7 1 三宅村神着 =1.4 伊豆大島町元町 =0.5 千葉県 1 館山市長須賀 =0.7 静岡県 1 東伊豆町奈良本 * =0.9 河津町田中 * =0.6 牧之原市静波 * =0.6	34° 15.0' N	139° 13.0' E	12km	M: 4.7
126	31 02 50	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島 =3.2 2 神津島村金長 =2.4 三宅村神着 =1.5 1 東京利島村 =1.4 三宅村坪田 =0.7 千葉県 1 館山市長須賀 =0.5	34° 13.7' N	139° 14.4' E	13km	M: 3.8
127	31 02 52	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島 =1.3 神津島村金長 =0.6	34° 14.6' N	139° 12.1' E	14km	M: 3.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
128	31 03 42	<b>新島・神津島近海</b> 東京都 3 新島村式根島=3.4 神津島村金長=2.6 2 新島村本村 *=2.3 1 三宅村神着=1.1 東京利島村=0.9	34° 13.8' N	139° 15.6' E	14km	M: 4.3
129	31 06 31	<b>新島・神津島近海</b> 東京都 3 新島村式根島=3.1 2 新島村本村 *=2.2 1 神津島村金長=1.2	34° 15.6' N	139° 14.1' E	11km	M: 3.2
130	31 07 21	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6	34° 15.2' N	139° 15.7' E	7km	M: 2.1
131	31 07 34	<b>根室半島南東沖</b> 北海道 4 根室市瑠瑠瑠 *=4.1 根室市落石東 *=3.5 2 中標津町丸山 *=2.2 根室市厚床 *=2.2 浜中町霧多布 *=2.1 根室市牧の内 *=2.0 別海町常盤=1.9 標津町北2条 *=1.8 別海町本別海 *=1.8 標茶町塘路 *=1.7 根室市弥栄=1.7 別海町西春別 *=1.6 1 羅臼町岬町 *=1.4 厚岸町尾幌=1.3 厚岸町真栄町 *=1.1 中標津町養老牛=1.1 羅臼町緑町 *=1.1 弟子屈町弟子屈 *=1.1 清里町羽衣町 *=1.0 釧路市幸町=1.0 鶴居村鶴居東 *=1.0 釧路町別保 *=0.9 弟子屈町美里=0.9 白糠町西1条 *=0.9 十勝大樹町生花 *=0.8 釧路市阿寒町中央 *=0.8 標茶町川上 *=0.8 弟子屈町サウンチサブ *=0.8 斜里町本町=0.7 斜里町ウト口香川 *=0.7 函館市新浜町 *=0.7 標津町薫別 *=0.6 羅臼町春日=0.6 大空町東藻琴 *=0.5 新得町2条 *=0.5 青森県 1 東通村小田野沢 *=0.6	43° 15.6' N	146° 15.5' E	46km	M: 5.0
132	31 07 49	千葉県南東沖 千葉県 1 大多喜町大多喜 *=1.4 いすみ市国府台 *=1.1 南房総市和田町仁我浦 *=1.1 勝浦市新官 *=1.1 勝浦市墨名=0.9 千葉一宮町一宮=0.9 南房総市岩糸 *=0.9 睦沢町下之郷 *=0.8 大網白里町大網 *=0.7 南房総市千倉町瀬戸 *=0.6 東京都 1 伊豆大島町岡田 *=1.1 伊豆大島町波浮港 *=0.6 静岡県 1 熱海市網代=1.3 東伊豆町奈良本 *=0.9 伊豆市小立野 *=0.8 伊豆の国市長岡 *=0.8	34° 48.2' N	140° 34.1' E	42km	M: 4.1
133	31 07 54	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.8 1 新島村本村 *=0.7	34° 16.1' N	139° 13.8' E	11km	M: 2.5
134	31 08 21	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.7	34° 15.9' N	139° 14.6' E	9km	M: 2.7
135	31 08 30	<b>千葉県南東沖</b> 千葉県 3 南房総市和田町仁我浦 *=3.1 大多喜町大多喜 *=2.9 いすみ市国府台 *=2.7 南房総市岩糸 *=2.5 2 千葉一宮町一宮=2.4 睦沢町下之郷 *=2.4 勝浦市墨名=2.4 勝浦市新官 *=2.4 南房総市谷向 *=2.4 長南町長南 *=2.2 鴨川市八色=2.2 いすみ市岬町長者 *=2.2 大網白里町大網 *=2.2 鴨川市横清 *=2.1 いすみ市大原 *=2.0 長生村本郷 *=2.0 南房総市富浦町青木 *=2.0 館山市長須賀=2.0 南房総市白浜町白浜 *=2.0 白子町関 *=2.0 御宿町須賀 *=2.0 九十九里町片貝 *=1.9 館山市北条 *=1.9 成田市花崎町=1.9 多古町多古=1.8 南房総市千倉町瀬戸 *=1.8 市原市姉崎 *=1.8 東金市日吉台 *=1.8 鋸南町下佐久間 *=1.8 山武市殿台 *=1.7 山武市蓮沼八 *=1.7 東金市東岩崎 *=1.7 香取市佐原下川岸=1.7 君津市久留里市場 *=1.7 旭市南堀之内 *=1.6 横芝光町横芝 *=1.6 長柄町桜谷 *=1.5 茂原市道表 *=1.5 東金市東新宿=1.5 香取市仁良 *=1.5 1 長柄町大津倉=1.4 香取市役所 *=1.4 横芝光町宮川 *=1.4 山武市松尾町松尾 *=1.4 成田市役所 *=1.4 千葉佐倉市海隣寺町 *=1.4 八街市八街 *=1.4 浦安市猫実 *=1.3 香取市佐原諏訪台 *=1.3 匝瑳市今泉 *=1.3 千葉神崎町神崎本宿 *=1.2 千葉美浜区稲毛海岸 *=1.2 旭市高生 *=1.2 富里市七栄 *=1.2 木更津市貝淵 *=1.2 旭市萩園 *=1.1 成田市松子 *=1.1 市原市国分寺台中央 *=1.1 旭市二 *=1.1 匝瑳市八日市場八 *=1.1 印旛村瀬戸 *=1.1 成田市中台 *=1.1 富津市下飯野 *=1.1 印西市大森 *=1.0 千葉酒々井町中央台 *=1.0 香取市岩部 *=1.0 木更津市役所 *=1.0 君津市久保 *=1.0 千葉中央区中央港=1.0 四街道市鹿渡 *=1.0 木更津市太田=0.8 南房総市久枝 *=0.7 銚子市若宮町 *=0.7 静岡県 3 熱海市網代=3.0 伊豆の国市長岡 *=2.7 2 東伊豆町奈良本 *=2.2 伊豆の国市四日町 *=2.0 河津町田中 *=1.7 伊豆市小立野 *=1.6 伊豆の国市田京 *=1.6 函南町平井 *=1.5 1 沼津市戸田 *=1.3 東伊豆町稲取 *=1.2 熱海市泉 *=1.1 伊東市大原=1.1 西伊豆町宇久須 *=1.1 三島市東本町=1.1 南伊豆町下賀茂 *=1.0 伊豆市八幡 *=1.0 熱海市水口町 *=0.9 静岡清水町堂庭 *=0.9 下田市加増野=0.8 牧之原市相良 *=0.8 松崎町宮内 *=0.7 長泉町中土狩 *=0.7 下田市中 *=0.6 静岡清水区蒲原新田 *=0.6 牧之原市静波 *=0.5 茨城県 2 稲敷市結佐 *=1.7 潮来市辻 *=1.6 茨城鹿嶋市鉢形=1.6 1 稲敷市柴崎 *=1.4 稲敷市須賀津 *=1.4 銚田市汲上 *=1.1 稲敷市役所 *=1.1 土浦市下高津 *=1.0 つくば市谷田部 *=1.0 美浦村受領 *=1.0 坂東市岩井=1.0 稲敷市江戸崎甲 *=1.0 茨城鹿嶋市宮中 *=0.9 銚田市銚田=0.9 つくば市小笠 *=0.9 筑西市舟生=0.8 利根町布川=0.8 石岡市柿岡=0.7 土浦市大岩田=0.5 東京都 2 伊豆大島町岡田 *=2.1 伊豆大島町波浮港 *=1.7 三宅村神着=1.5 1 東京利島村=1.4 東京千代田区大手町=1.3 伊豆大島町元町=1.1 町田市中町 *=1.0 国分寺市本多 *=1.0 三宅村坪田=1.0 東京文京区本郷 *=0.8 新島村本村 *=0.8 東京江東区枝川 *=0.8 八丈町三根=0.8 東京江戸川区船堀 *=0.8 伊豆大島町差木地=0.8 東京江戸川区中央=0.7 八王子市堀之内 *=0.7 町田市忠生 *=0.7 町田市役所 *=0.6 東京北区赤羽南 *=0.6 東京荒川区東尾久 *=0.6	34° 48.7' N	140° 33.9' E	43km	M: 4.9

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京足立区神明南 * =0.6 東京葛飾区金町 * =0.6 東京中央区勝どき * =0.6 新島村式根島=0.6 東京港区白金 * =0.6 東京渋谷区宇田川町 * =0.6 三鷹市野崎 * =0.6 東京北区西ヶ原 * =0.6 武蔵野市吉祥寺東町 * =0.5 東京品川区北品川 * =0.5 東京品川区平塚 * =0.5 東京足立区伊興 * =0.5 東京大田区本羽田 * =0.5 東京世田谷区成城 * =0.5 東京世田谷区中町 * =0.5 神奈川県 2 真鶴町真鶴 * =1.8 三浦市城山町 * =1.7 1 横浜港南区丸山台東部 * =1.3 横須賀市光の丘=1.3 横浜港北区日吉本町 * =1.2 横浜緑区白山町 * =1.2 横浜緑区十日市場 * =1.2 厚木市中町 * =1.2 横浜中区山田町 * =1.1 清川村煤ヶ谷 * =1.1 横浜神奈川区白幡上町 * =1.0 横浜西区浜松町 * =1.0 横浜中区山手町=1.0 横浜南区別所 * =1.0 横浜港南区丸山台北部 * =1.0 横浜瀬谷区中屋敷 * =1.0 横浜都筑区茅ヶ崎 * =1.0 川崎川崎区宮前町 * =1.0 平塚市浅間町 * =1.0 秦野市曾屋=1.0 箱根町湯本 * =1.0 横浜旭区今宿東町 * =0.9 鎌倉市由比ヶ浜 * =0.9 横浜磯子区洋光台 * =0.9 南足柄市関本 * =0.9 中井町比奈窪 * =0.9 横浜金沢区白帆 * =0.8 松田町松田惣領 * =0.8 横浜旭区大池町 * =0.7 逗子市桜山 * =0.7 綾瀬市深谷 * =0.7 相模原市上溝 * =0.7 横浜青葉区榎が丘 * =0.7 藤野町小淵 * =0.7 葉山町堀内 * =0.6 相模原市津久井町中野 * =0.6 神奈川山北町山北 * =0.6 川崎中原区小杉陣屋=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 秦野市平沢 * =0.5 神奈川大井町金子 * =0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.7 益子町益子=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田 * =0.9 久喜市下早見=0.7 山梨県 1 富士河口湖町長浜 * =1.1 道志村役場 * =0.8 大月市御太刀 * =0.7 富士河口湖町船津=0.7 上野原市上野原=0.5				
136	31 09 10	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.9	34° 14.6' N	139° 12.3' E	13km	M: 2.2
137	31 10 21	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.3 神津島村金長=1.6 1 新島村本村 * =1.0	34° 13.9' N	139° 14.7' E	14km	M: 2.9
138	31 12 15	天草灘 長崎県 1 長崎市布巻町 * =1.4 長崎市長浦町=1.3 諫早市多良見町 * =1.2 長与町嬉里 * =1.2 長崎市高島町 * =1.0 長崎市南山手=1.0 時津町浦 * =1.0 長崎市神浦夏井町 * =0.8 長崎市香焼町 * =0.7 諫早市東小路町=0.7 熊本県 1 天草市五和町 * =1.4 天草市河浦町 * =1.3 天草市牛深町=1.2	32° 31.7' N	129° 49.2' E	13km	M: 3.7
139	31 13 10	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 14.1' N	139° 14.0' E	14km	M: 2.3
140	31 13 11	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 13.9' N	139° 14.0' E	15km	M: 2.5
141	31 13 12	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.0	34° 14.3' N	139° 14.4' E	13km	M: 2.5
142	31 13 49	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.9	28° 13.1' N	129° 34.2' E	34km	M: 3.3
143	31 17 21	<b>新島・神津島近海</b> 東京都 3 新島村式根島=2.9 2 神津島村金長=1.7 新島村本村 * =1.6	<b>34° 14.8' N</b>	<b>139° 13.4' E</b>	<b>12km</b>	<b>M: 3.1</b>
144	31 19 09	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.9	34° 14.7' N	139° 12.7' E	13km	M: 2.3
145	31 19 32	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.7	34° 14.6' N	139° 14.4' E	12km	M: 2.5

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成 17 年（2005 年）12 月～平成 18 年（2006 年）12 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2006年12月	82	46	14	3						145	新島・神津島近海（震度 4：1 回、震度 3：6 回、震度 2：12 回、震度 1：14 回）
2006年11月	98	22	11	4						135	新島・神津島近海（震度 3：2 回、震度 2：2 回、震度 1：8 回）
2006年10月	73	23	5	1						102	
2006年 9 月	64	21	11	1						97	
2006年 8 月	63	22	8	1						94	
2006年 7 月	82	24	12	3						121	新島・神津島近海（震度 4：2 回、震度 3：2 回、震度 2：5 回、震度 1：15 回）
2006年 6 月	59	34	6	2	1					102	12日 大分県西部（震度 5 弱）
2006年 5 月	81	20	6	2						109	
2006年 4 月	89	47	22	3	1					162	30日 伊豆半島東方沖（震度 5 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：4 回、震度 2：6 回、震度 1：33 回）
2006年 3 月	66	31	11		1					109	27日 日向灘（震度 5 弱）
2006年 2 月	44	30	3	4						81	
2006年 1 月	61	20	4	1						86	
2005年12月	58	28	10	3						99	
2006年計	862	340	113	25	3					1343	（平成 18 年 1 月～平成 18 年 12 月）

注) 「記事」欄の「\*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成 9 (1997) 年 11 月 10 日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成 10 (1998) 年 6 月 15 日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10 月 15 日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成 11 (1999) 年 7 月 21 日 東京都、長野県

平成 12 (2000) 年 1 月 12 日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3 月 28 日 滋賀県

7 月 18 日 富山県、香川県、大分県

平成 13 (2001) 年 3 月 22 日 佐賀県 5 月 10 日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7 月 19 日 高知県 12 月 12 日 福島県

平成 14 (2002) 年 3 月 20 日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7 月 29 日 北海道、長崎県

平成 15 (2003) 年 3 月 10 日 沖縄県

平成 16 (2004) 年 5 月 26 日 独立行政法人防災科学技術研究所



付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数  
 <平成 17 年 (2005 年) 12 月 ~ 平成 18 年 (2006 年) 12 月>

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2006年12月	274	107	26	2	1	410	136	8日：千島列島東方(M6.4) 26日：台湾付近(M6.9、M7.2)
2006年11月	254	76	42	3	1	376	122	15日：千島列島東方(M7.9、M6.6) 16日：千島列島東方(M6.1) 18日：奄美大島近海(M6.0)
2006年10月	254	75	19	7		355	101	1日：千島列島東方(M6.8、M6.6) 9日：台湾南方沖(M6.1) 11日：福島県沖(M6.0) 12日：与那国島近海(M6.2) 13日：千島列島東方(M6.3) 24日：島島近海(M6.8)
2006年9月	268	62	10	1		341	73	28日：千島列島東方(M6.0)
2006年8月	263	57	10	1		331	68	7日：父島近海(M6.2)
2006年7月	233	40	3	1		277	44	28日：台湾付近(M6.2)
2006年6月	268	59	10	1		338	70	12日：大分県西部(M6.2)
2006年5月	239	53	4			296	57	
2006年4月	270	90	13	2		375	105	1日：台湾付近(M6.4) 16日：台湾付近(M6.0)
2006年3月	287	66	9	1		363	76	28日：東海道沖(M6.0)
2006年2月	254	66	6	2		328	74	15日：マリアナ諸島近海(M6.6) 17日：父島近海(M6.0)
2006年1月	265	52	5			322	57	
2005年12月	363	81	11	3		458	95	2日：宮城県沖(M6.6) 4日：奄美大島近海(M6.1) 奄美大島近海の地震の余震 (M3.0~3.9:45回、M4.0~4.9:7回、 M5.0~5.9:3回) 17日：宮城県沖(M6.1) 三陸沖の地震の余震 (M3.0~3.9:64回、M4.0~4.9:4回)
2006年計	3129	803	157	21	2	4112	983	(平成18年1月~平成18年12月)

注)日本及びその周辺：原則、北緯20~49度、東経120~154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## 正誤表

平成 18 年 11 月 地震・火山月報（防災編）

p10 （下記の文章を追加）

11 月 15 日 20 時 14 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した。

p42 （下線部を修正）

（誤）

1910 年以降、この付近では津波を伴う地震が発生している。 最大は 1918 年 9 月 8 日に発生した地震で、ウルップ島東部で 12m、父島で 1.5m、ハワイのホノルルで 1.5m の津波（遡上高、NOAA による）が報告されている。

（正）

過去の津波の記録のある地震を図 1 - 7 に示す。 最大は 1918 年 9 月 8 日に発生した地震で、ウルップ島東部で 12m、父島で 1.4m、ハワイのヒロで 1.5m の津波（遡上高、NOAA による）が報告されている。

## 目次 2006 年の地震・火山活動

2006 年の日本の地震活動	58
東海地震の想定震源域及びその周辺における 2006 年の地震活動	69
2006 年の日本及びその周辺で発生した主な地震	73
2006 年の都道府県別の震度観測回数表	76
2006 年の観測点別の震度観測回数表	77
2006 年に主な観測点で震度 1 以上を観測した回数分布	84
1997 年～2006 年に震度 1 以上を観測した地震の 最大震度別の月別回数	85
2006 年の日本の主な火山活動	86
2006 年の世界の主な地震	105
2006 年の世界の主な火山活動	107

平成 18 年 10 月 2 日に気象庁は震央地名を一部見直した。これにより、「2006 年の地震・火山活動」については新震央地名で記載した(平成 18 年 10 月 地震・火山月報(防災編) p43 参照)。このため、平成 18 年 9 月号以前の地震・火山月報(防災編)で掲載した地震の震央地名の表記と一部異なる場合がある。

## 2006 年の日本の地震活動

### 【概況】

2006 年に国内で被害を伴った地震は 5 回（2005 年は 22 回）で、死者・行方不明者を伴う地震は発生しなかった（2005 年は 1 回）。

震度 1 以上を観測した地震は 1,343 回（2005 年は 1,712 回）である。なお 1995 年以降、順次震度観測点が増えたため、単純に過去と比較できない（図 4）。震度 4 以上を観測した地震は 28 回（2005 年は 49 回）で、震度 5 弱以上を観測した地震は 3 回だった（2005 年は 11 回）。2006 年中に観測した最大の震度は、3 月 27 日に日向灘で発生した地震（M5.5）と 4 月 30 日に伊豆半島東方沖で発生した地震（M4.5）、6 月 12 日に大分県西部で発生した地震（M6.2）で観測された震度 5 弱であった（図 1）。

M6.0 以上の地震は 23 回（2005 年は 22 回）で、過去 81 年間の平均が 17.1 回、標準偏差が 8.1 であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる（図 4）。2006 年中で最大の地震は、11 月 15 日に発生した千島列島東方の地震（M7.9、USGS による表面波マグニチュードは M7.8）であった（図 2）。

日本で津波を観測した地震（外国の地震を含む）は 4 回（2005 年は 3 回）で、過去 80 年間の平均が 2.4 回であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる。

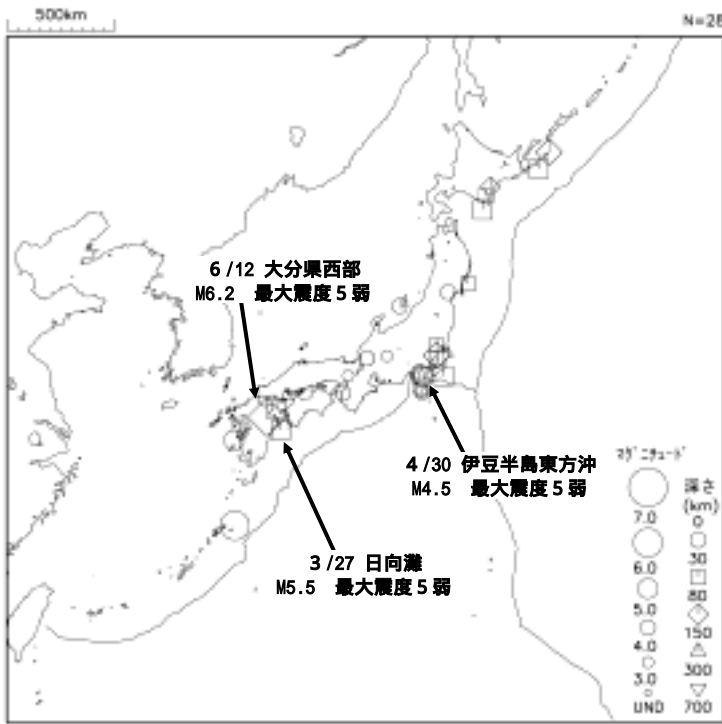


図 1 2006 年に震度 4 以上を観測した地震の震央分布

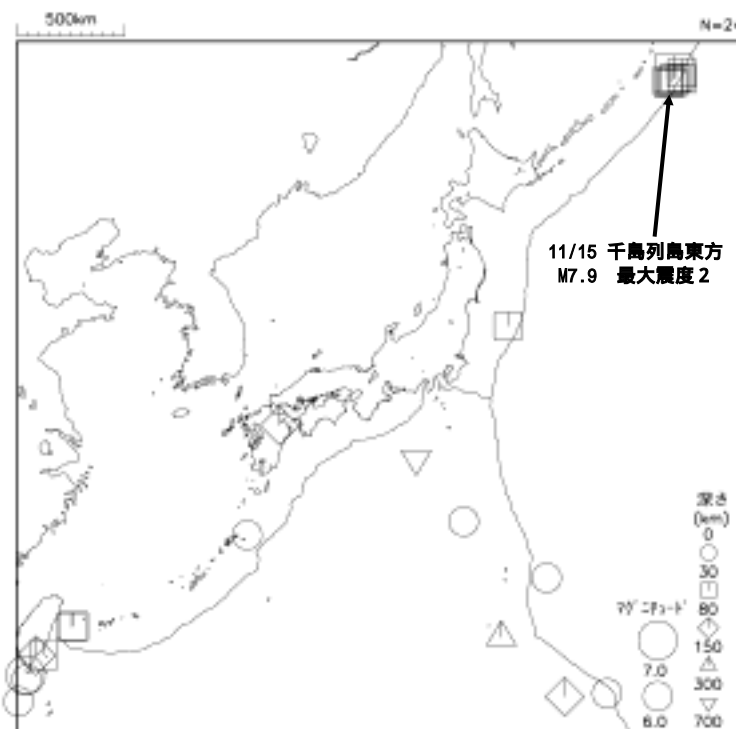


図 2 2006 年に発生した M6.0 以上の地震の震央分布

\* 地方公共団体等の震度計の運用開始時期については p53 参照

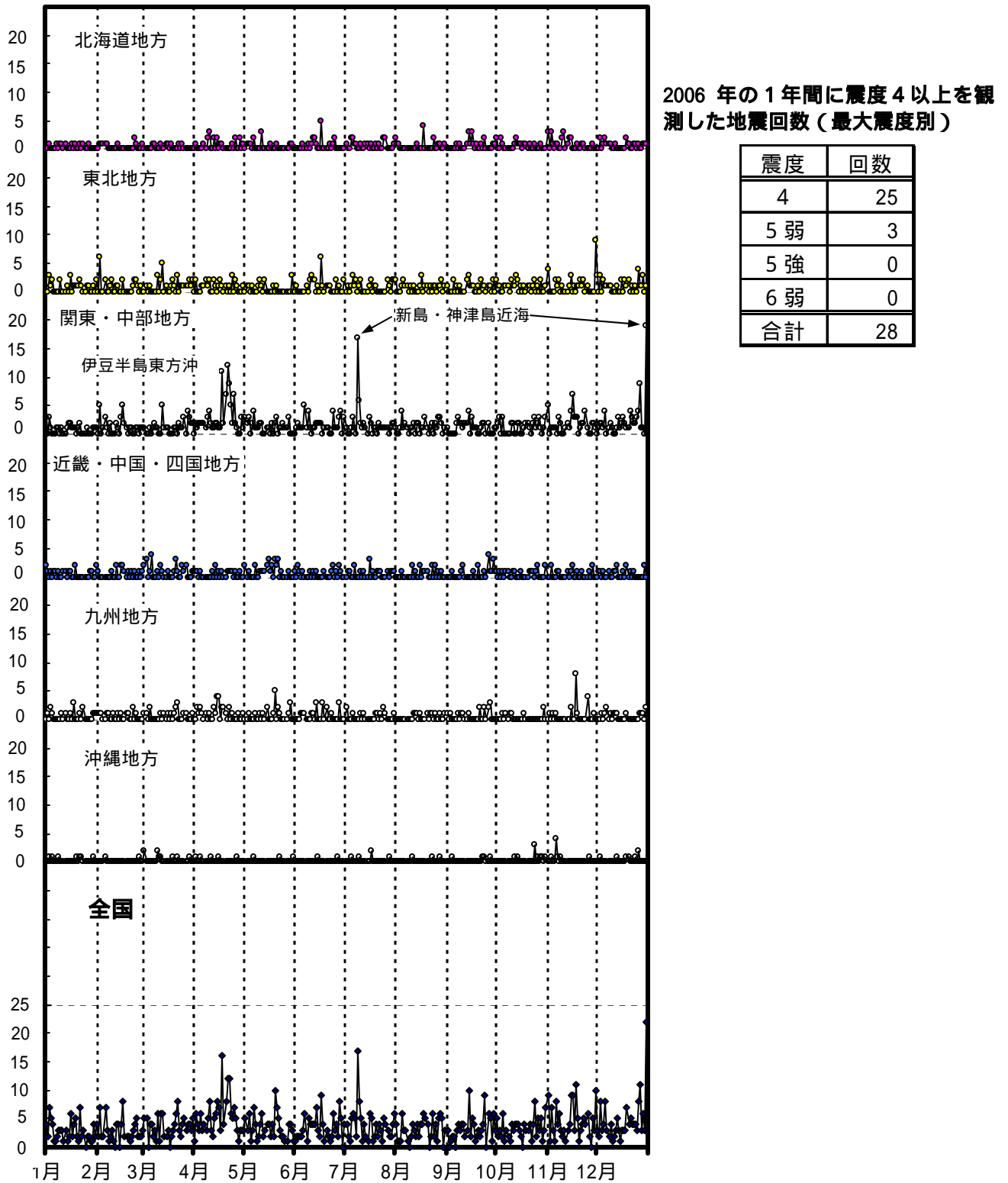
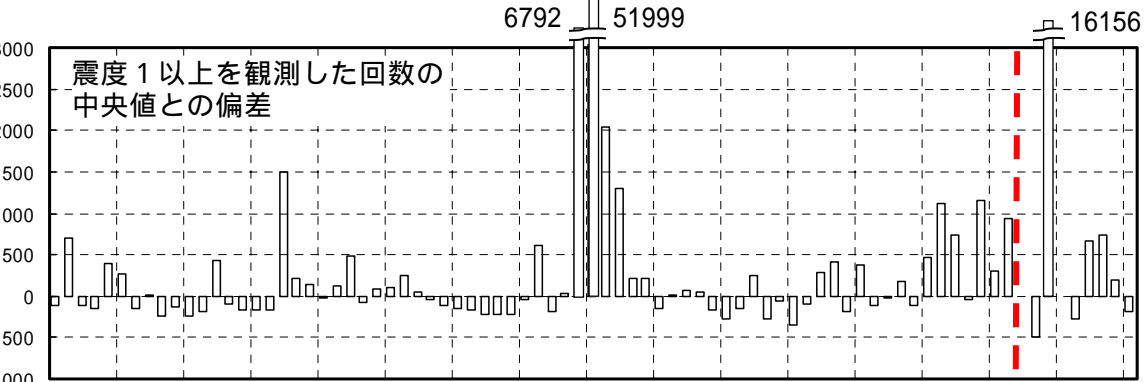
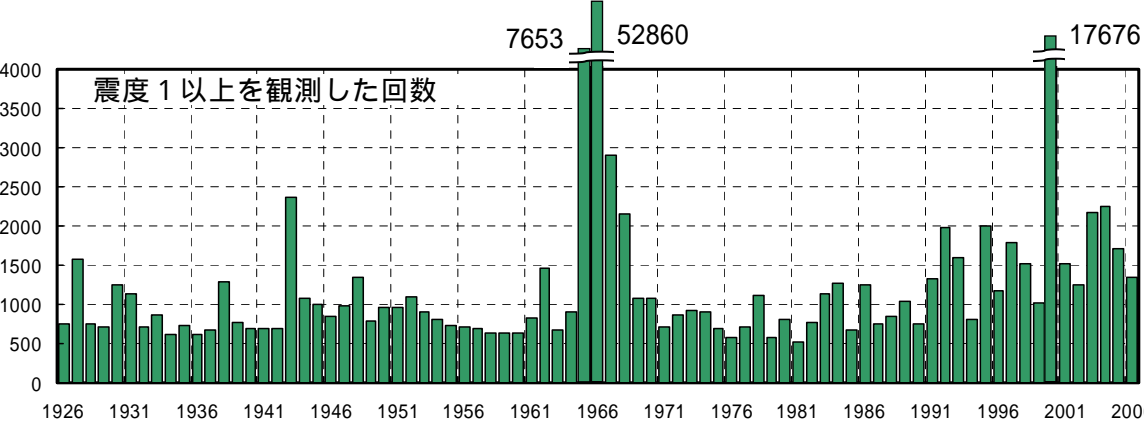
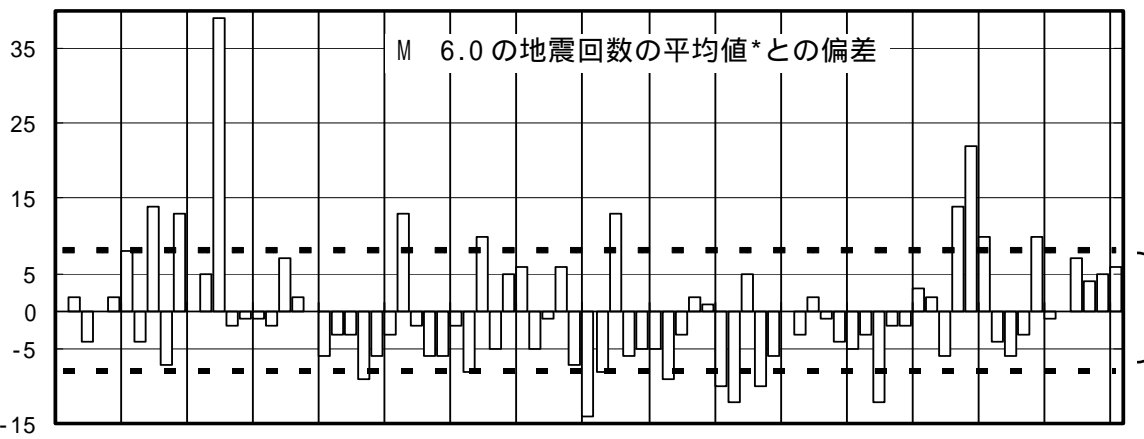
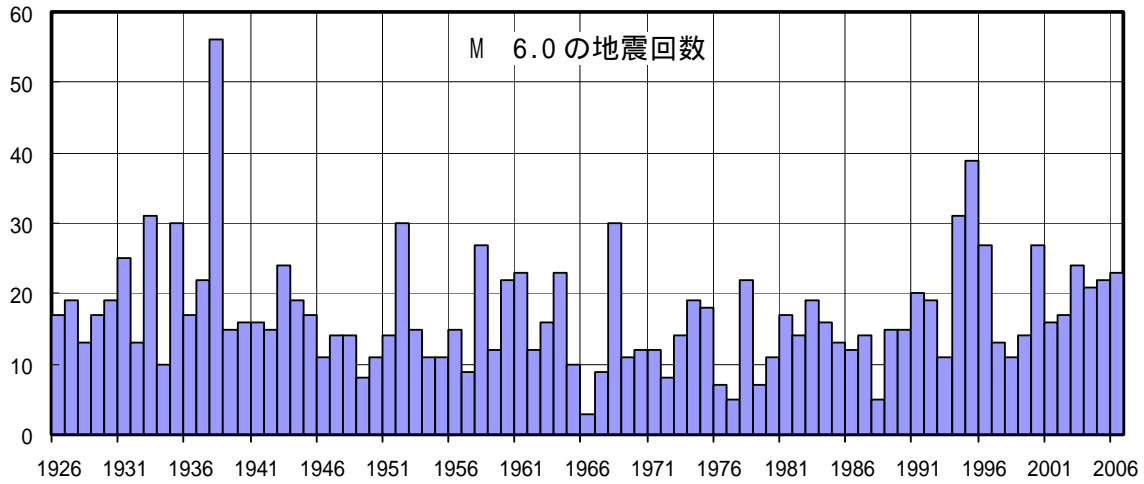


図 3 2006 年に全国及び各地方別の震度 1 以上を観測した日別回数

6つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。なお、三重県及び福井県は関東・中部地方に、滋賀県及び山口県は近畿・中国・四国地方に含めた。

1回の地震により、複数の地方で震度 1 以上となった場合は重複して計数してある。



縦点線以降、地方公共団体の震度計整備が始まる

図 4 全国の M 6.0 及び震度 1 以上を観測した年別地震回数（1926 - 2006 年）

\* M 6.0 の過去 81 年間の平均は、17.1 回 / 年、標準偏差は 8.11 回であった。

注) 震度 1 以上を観測した地震の年回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計が運用された年（1998 年）を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。1966 年前後で震度 1 以上を観測した地震の回数が増えたのは、松代群発地震の震度データ追加による。

## 北海道地方の地震活動

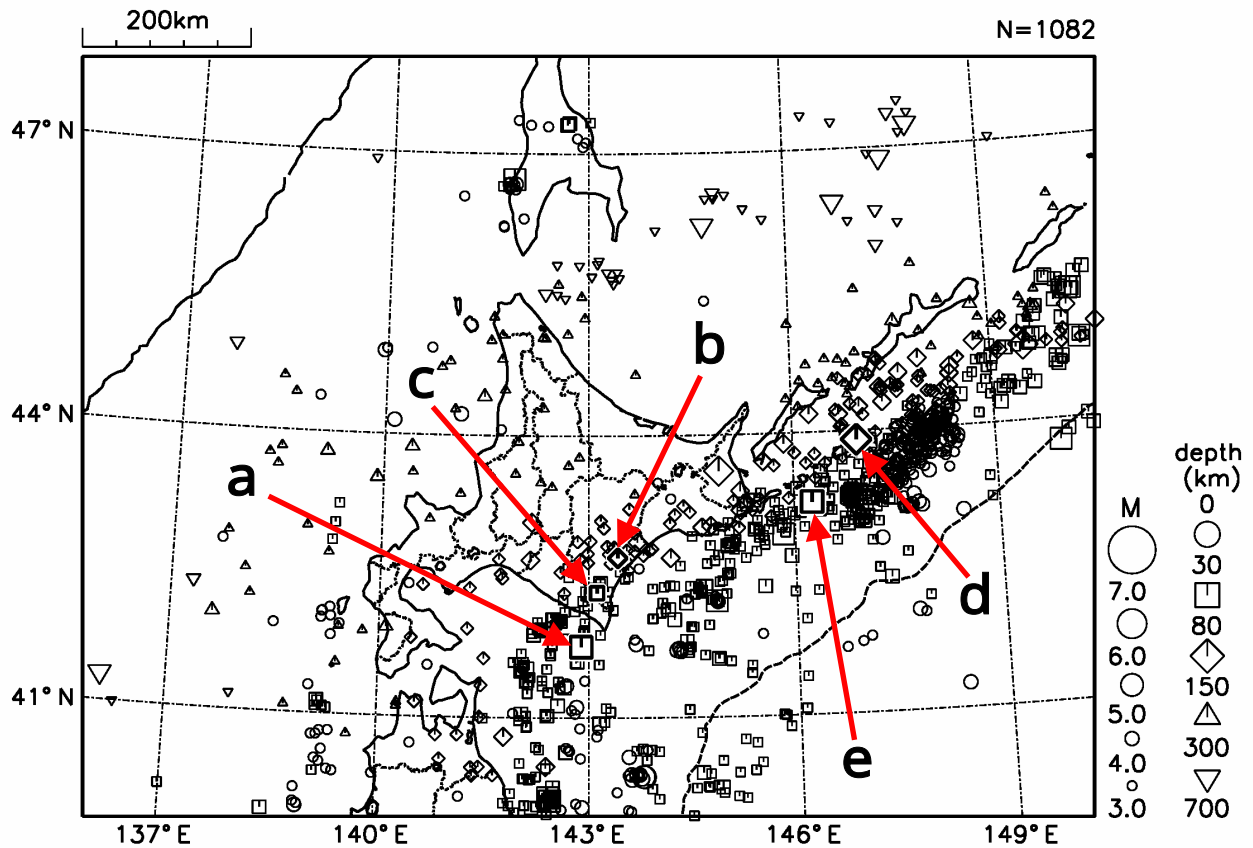


図5 北海道地方の震央分布図（2006年1月1日～2006年12月31日、M 3.0）

### [概況]

2006年に北海道地方で震度4以上を観測した地震は5回（2005年は5回）であった。2006年中の主な活動は次の通りである。

4月13日13時27分、浦河沖の深さ43kmでM5.3の地震（図5中のa）が発生し、浦河町で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

6月13日11時40分、十勝支庁中部の深さ86kmでM4.7の地震（図5中のb）が発生し、浦幌町と釧路市で震度4を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

11月1日23時21分、十勝支庁南部の深さ49kmでM4.8の地震（図5中のc）が発生し、浦河町で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11月22日20時15分、北海道東方沖の深さ96kmでM5.6の地震（図5中のd）が発生し、根室支庁で震度4を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

12月31日07時34分、根室半島南東沖の深さ46kmでM5.0の地震（図5中のe）が発生し、根室市で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

なお、11月15日20時14分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した（p71参照）。

## 東北地方の地震活動

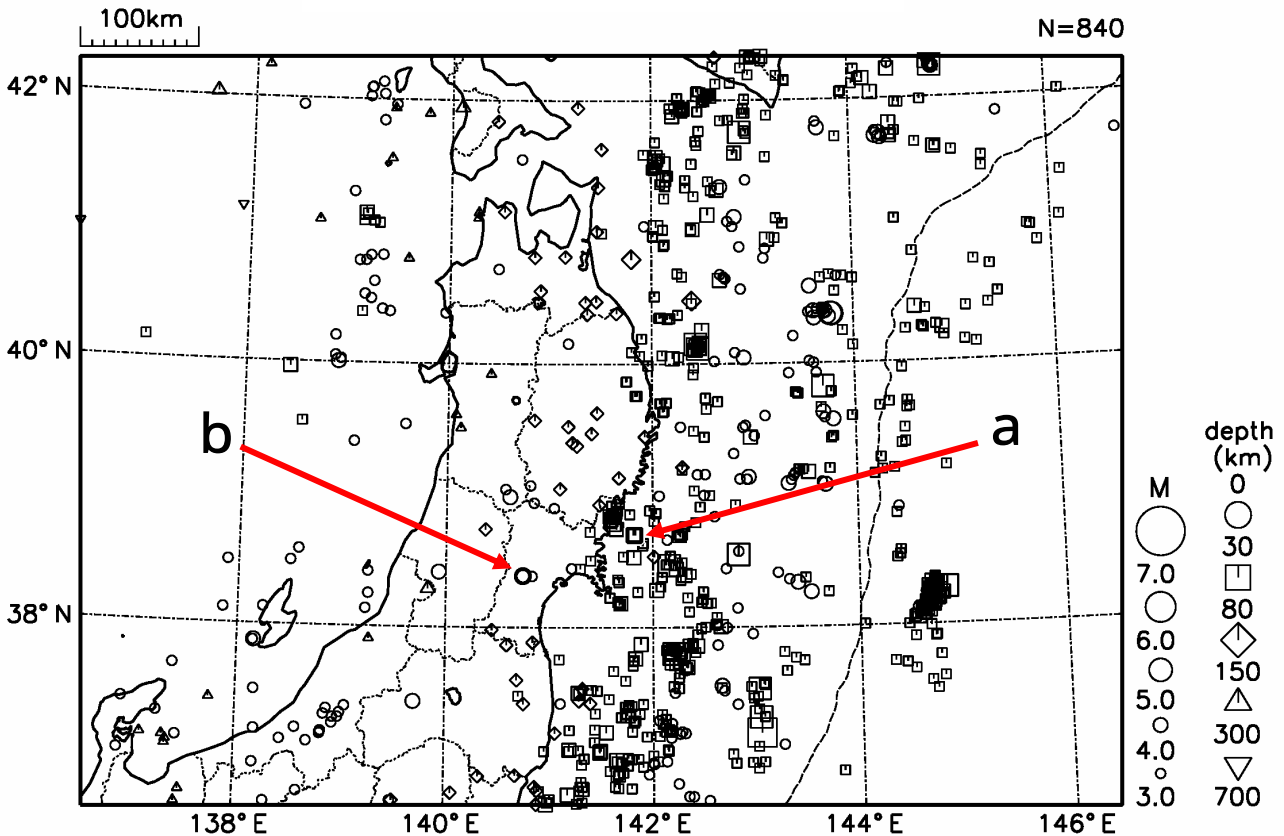


図 6 東北地方の震央分布図（2006 年 1 月 1 日～12 月 31 日 M 3.0）

### [ 概況 ]

2006 年に東北地方で震度 4 以上を観測した地震は 2 回（2005 年は 8 回）であった。  
2006 年中の主な地震は次の通りである（被害状況は総務省消防庁による）。

4 月 22 日 23 時 35 分、宮城県沖の深さ 66km で M4.6 の地震（図 6 中の a）があり、岩手県と宮城県で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した地震である。この地震により負傷者 1 名の被害が生じた（4 月 24 日 17 時 30 分現在）。

7 月 6 日 06 時 11 分、宮城県中部の深さ 11km で M4.3 の地震（図 6 中の b）があり、宮城県仙台市で震度 4 を観測した。この地震は地殻内で発生した地震である。

なお、5 月 4 日 00 時 26 分（日本時間）に発生したトンガ付近の地震により、日本の東北地方太平洋沿岸と父島で微弱な津波を観測した。

また、11 月 15 日 20 時 14 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した（p 71 参照）。



## 関東・中部地方の地震活動

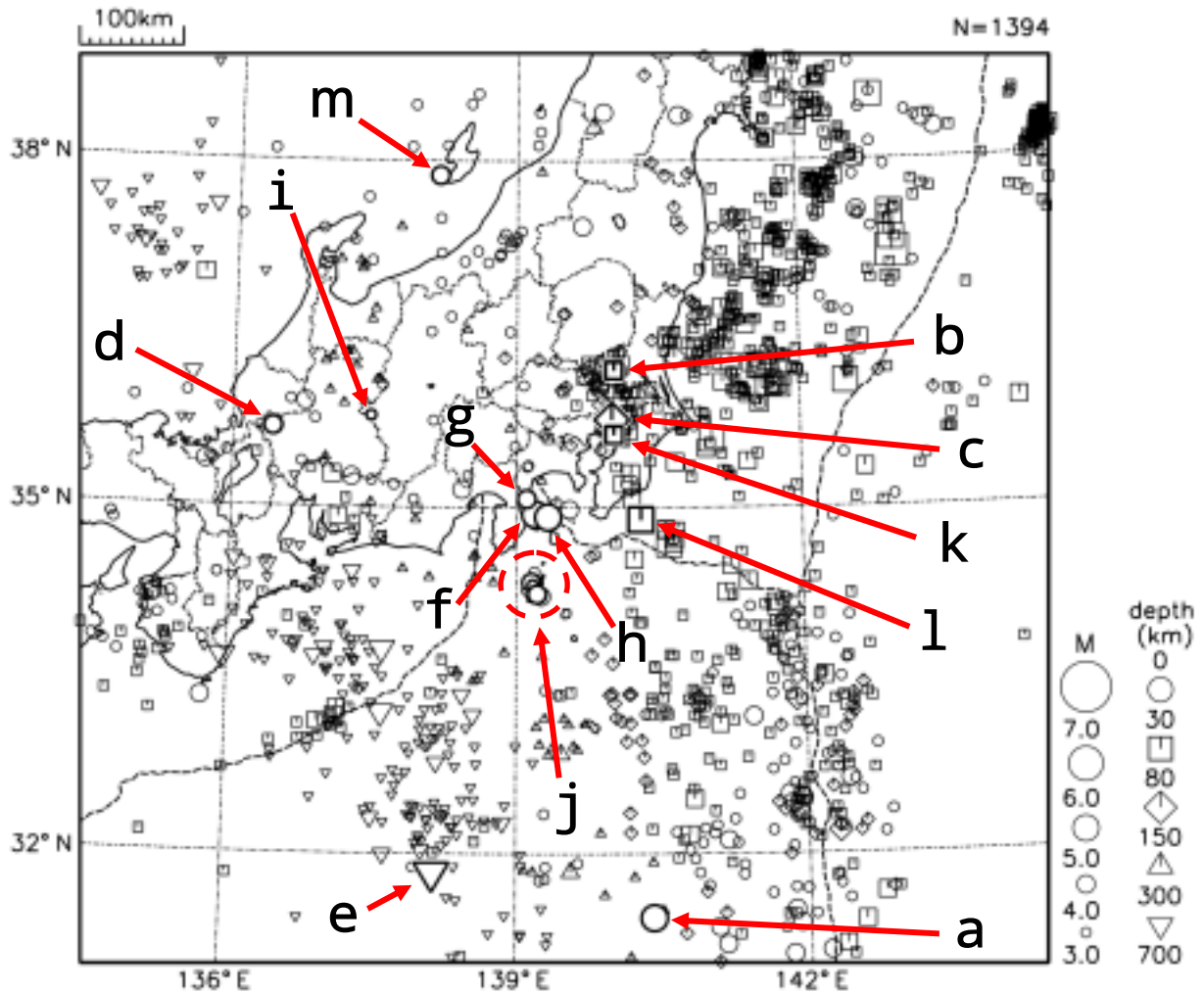


図7 関東・中部地方の震央分布図（2006年1月1日～12月31日、M 3.0）

### [概況]

2006年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は14回（2005年は29回）であった。2006年中の主な活動は次のとおりである（被害状況は総務省消防庁による）。

1月1日16時11分、鳥島近海でM5.9の地震（図7中のa）があり、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した。

1月14日15時30分、茨城県南部の深さ52kmでM4.3の地震（図7中のb）があり、栃木県二宮町で震度4を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2月1日20時35分、千葉県北西部の深さ101kmでM5.1の地震（図7中のc）があり、埼玉県美里町と神奈川県横浜市で震度4を観測した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

2月16日23時10分と2月18日16時21分、岐阜県美濃中西部でそれぞれM4.4（深さ14km）、M4.1（深さ13km）の地震（図7中のd）があり、岐阜県揖斐川町で共に震度4を観測した。

2月17日11時13分、硫黄島近海の深さ約200kmでM6.0の地震（図7の範囲外）があり、東京都小笠原村で震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

3月28日22時32分、鳥島近海の深さ439kmでM6.0の地震（図7中のe）があり、茨城県日立市で震度3を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

4月17日から伊豆半島東方沖で地震活動が始まり、東伊豆の体積歪計で縮み変化を観測した。最大の地震は21日02時50分に発生したM5.8の地震（深さ7km、図7中のf）で、静岡県、神奈川県、東京都で震度4を観測した。この地震活動により負傷者3名、水道管漏水等の被害が生じた。

4月30日13時10分、伊豆半島東方沖の深さ6kmでM4.5の地震（図7中のg）があり、静岡県熱海市で震度5弱を観測した。

5月2日18時24分、伊豆半島東方沖の深さ15kmでM5.1の地震（図7中のh）があり、神奈川県と静岡県で震度4を観測した。

6月24日23時10分、長野・岐阜県境付近〔長野県南部〕の深さ9kmでM3.9の地震（図7中のi）があり、長野県王滝村で震度4を観測した。

7月9日17時48分、新島・神津島近海の深さ11kmでM4.8の地震（図7中のj）があり、東京都新島村で震度4を観測した。7月9日18時11分にもM3.0の地震（深さ6km）により東京都新島村で震度4を観測するなど、同海域では7月10日までに震度1以上を観測した地震が21回発生した。新島・神津島近海では12月下旬にも地震活動が発生した。

8月7日03時16分、小笠原諸島東方沖でM6.2の地震（図7の範囲外）があり、東京都小笠原村で震度2を観測した。

8月31日17時18分、東京湾の深さ76kmでM4.8の地震（図7中のk）があり、神奈川県横浜市神奈川区、相模原市、厚木市で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界付近で発生した。

10月14日06時38分、千葉県南東沖の深さ64kmでM5.1の地震（図7中のl）があり、千葉県館山市、鴨川市、南房総市で震度4を観測した。

10月24日06時17分、鳥島近海でM6.8の浅い地震（図7の範囲外）があり、東京都小笠原村で震度2を観測した。この地震に伴い、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した。

12月26日05時17分、佐渡付近の深さ14kmでM4.9の地震（図7中のm）があり、新潟県佐渡市で震度4を観測した。

12月30日より新島・神津島近海で地震活動が発生した。最大の地震は、31日02時49分に発生したM4.7の地震（深さ12km、図7中のj）であり、東京都新島村で震度4を観測したほか、東京都、静岡県、千葉県で震度3～1を観測した。この地震の他にも、同海域では12月31日までに震度3を観測した地震が5回発生した。

なお、5月4日00時26分（日本時間）に発生したトンガ付近の地震により、日本の東北地方太平洋沿岸と父島で微弱な津波を観測した。

また、11月15日20時14分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した（p71参照）。

## 近畿・中国・四国地方の地震活動

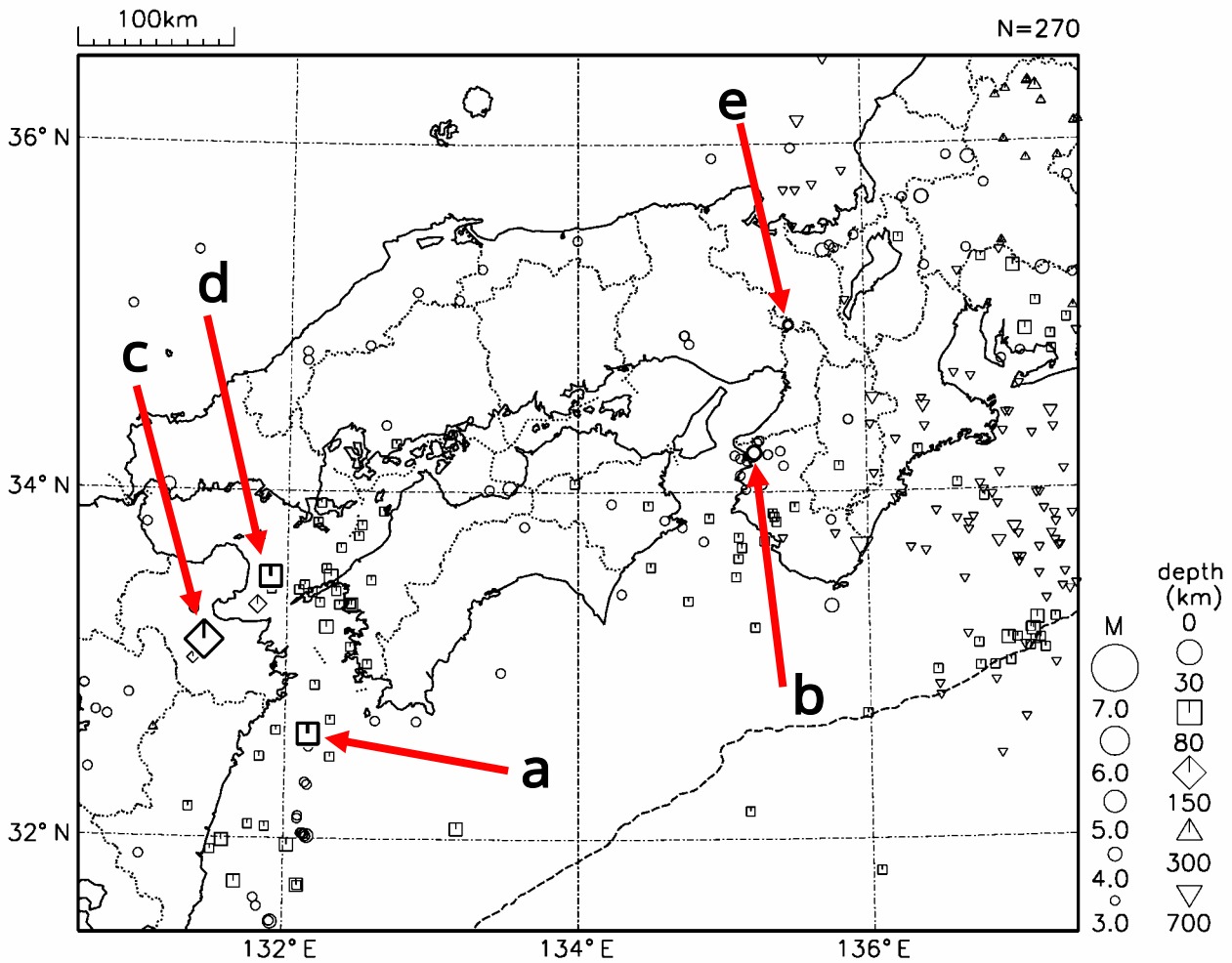


図 8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2006年1月1日～12月31日、M 3.0）

### [概況]

2006年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は5回（2005年は3回）であった。2006年中の主な地震活動は、次のとおりである（被害状況は総務省消防庁による）。

3月27日11時50分、日向灘の深さ35kmでM5.5の地震（図8中のa）があり、高知県宿毛市で震度4（最大震度は大分県佐伯市で震度5弱）を観測した。

5月15日01時42分、和歌山県北部の深さ3kmでM4.5の地震（図8中のb）があり、和歌山県和歌山市で震度4を観測した。この地震による負傷者は、和歌山市で1名である（5月17日17時00分現在）。

6月12日05時01分、大分県西部〔大分県中部〕の深さ145kmでM6.2の地震（図8中のc）があり、広島県、愛媛県、大分県で震度5弱を観測した。この地震は、沈み込むフィリピン海プレート内部で発生した。この地震により負傷者8名、住家一部破損5棟の被害が生じた（6月15日17時00分現在）。

9月26日07時03分、伊予灘の深さ70kmでM5.3の地震（図8中のd）があり、愛媛県、山口県、大分県で震度4を観測した。この地震は、沈み込むフィリピン海プレート内部で発生した。

11月3日06時24分、大阪府北部の深さ8kmでM3.7の地震（図8中のe）があり、大阪府能勢町で震度4を観測した。

なお、11月15日20時14分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した（p 71参照）。

## 九州地方の地震活動

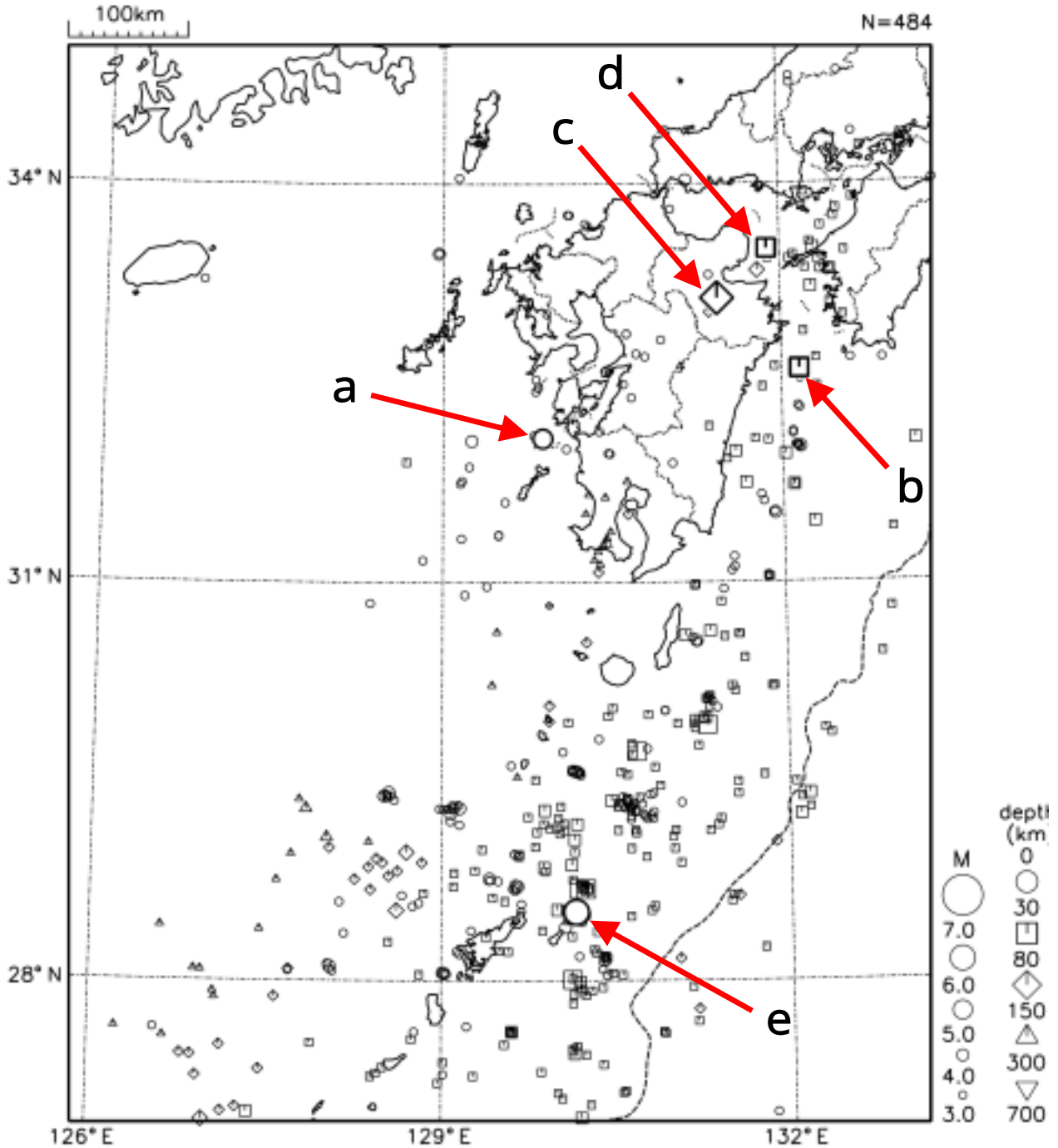


図9 九州地方の震央分布図（2006年1月1日～12月31日、M 3.0）

### [ 概況 ]

2006年に九州地方で震度4以上を観測した地震は5回（2005年は12回）であった。2006年中の主な活動（震度4以上を観測した地震、M6.0以上の地震）は次のとおりである（被害状況は総務省消防庁による）。

2月4日00時11分、天草灘の深さ12kmでM5.1の地震(図9中のa)があり、熊本県天草市で震度4を観測した。

3月27日11時50分、日向灘の深さ35kmでM5.5の地震(図9中のb)があり、大分県佐伯市で震度5弱を観測した。

6月12日05時01分、大分県西部[大分県中部]の深さ145kmでM6.2の地震(図9中のc)があり、大分県、広島県、愛媛県で震度5弱を観測した。この地震は沈み込むフィリピン海プレート内部で発生した。この地震により負傷者8名、住家一部破損5棟の被害が生じた(6月15日17時00分現在)。

9月26日07時03分、伊予灘の深さ70kmでM5.3の地震(図9中のd)があり、愛媛県、山口県、大分県で震度4を観測した。この地震は、沈み込むフィリピン海プレート内部で発生した。

11月18日03時03分、奄美大島近海(喜界島の北東沖)でM6.0の地震(図9中のe)があり、鹿児島県の奄美市と喜界町で震度4を観測した。余震活動はやや活発で、震度2～1を観測した余震が6回発生した。

なお、11月15日20時14分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した(p71参照)。

## 沖縄地方の地震活動

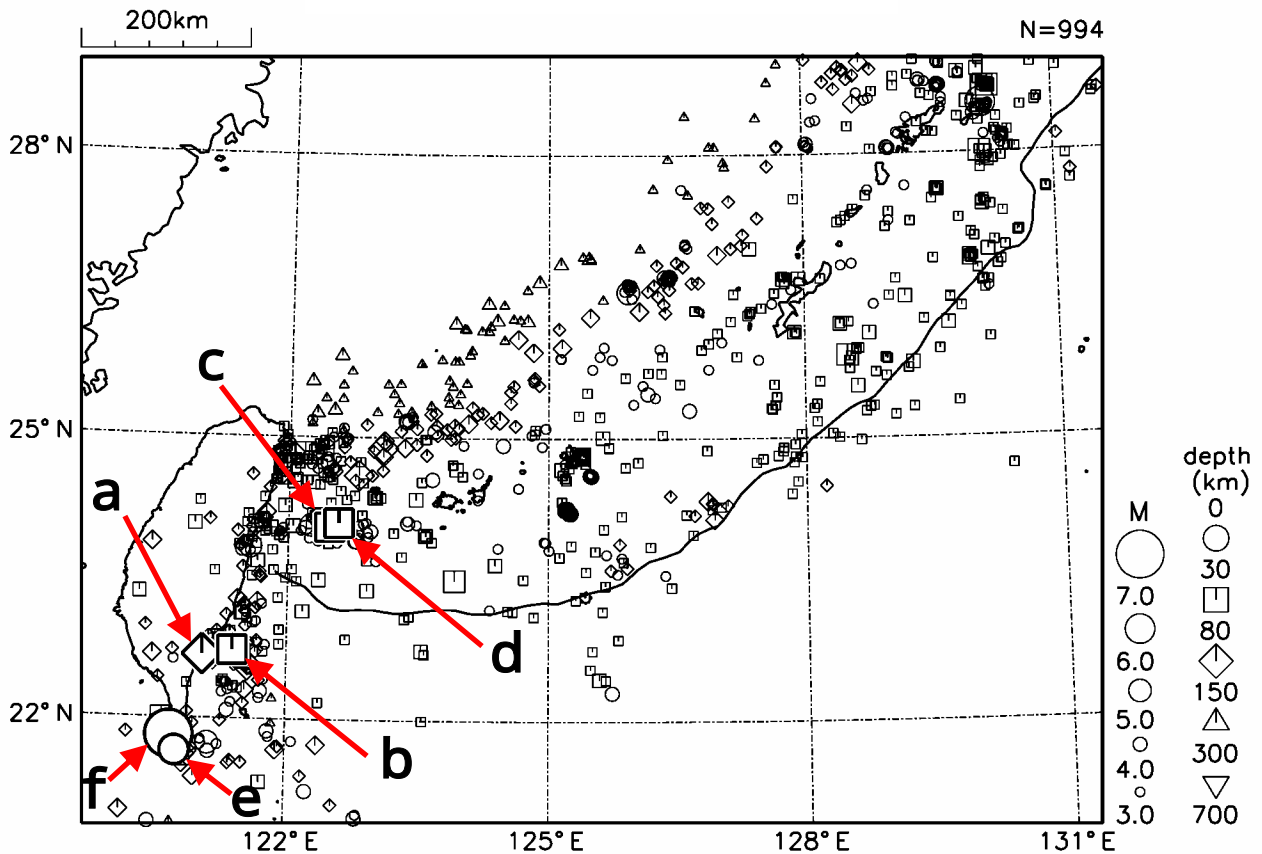


図 10 沖縄地方の震央分布図（2006 年 1 月 1 日～12 月 31 日、M 3.0）

### [ 概況 ]

2006 年に沖縄地方で震度 4 以上を観測した地震はなかった（2005 年はなし）。  
2006 年中の主な活動は次のとおりである。

4 月 1 日 19 時 02 分、台湾付近で M6.4 の地震（図 10 中の a）があった。

4 月 16 日 07 時 40 分、台湾付近で M6.0 の地震（図 10 中の b）があり、与那国町で震度 1 を観測した。

7 月 28 日 16 時 40 分、与那国島近海の深さ 40km で M6.2 の地震（図 10 中の c）があり、与那国町で震度 3 を観測した。

10 月 12 日 23 時 46 分、与那国島近海の深さ 46km で M6.2 の地震（図 10 中の d）があり、与那国町、石垣市、竹富町で震度 2 を観測した。

12 月 26 日 21 時 26 分、21 時 34 分に台湾付近で M6.9、M7.2 の地震（図 10 中の e、f）があり、八重山諸島で震度 1 を観測した。

なお、11 月 15 日 20 時 14 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などの広い範囲で津波を観測した（p71 参照）。

## 東海地震の想定震源域及びその周辺における 2006 年の地震活動

### [概況]

2006 年は伊豆半島東方沖で目立った地震活動があった。最大は 4 月 21 日に発生した M5.8 の地震であり、4 月 30 日に発生した M4.5 の地震では最大震度 5 弱を観測した。伊豆半島東方沖で M5.0 以上の地震が発生したのは、1998 年の活動以来であった。

新島・神津島近海では 7 月にまとまった活動があり、最大は 7 月 9 日の M4.8 であった。

東海地震の想定震源域内では、12 月 16 日に静岡県中部のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で M4.0 の地震が発生した。また、愛知県では 3 月と 7 月に M4.0 のフィリピン海プレート内の地震が発生した他、12 月 19 日には愛知県西部で M4.4 の地殻内の地震が発生した。2004 年 9 月 5 日に発生した紀伊半島南東沖[東海道沖]の地震の余震は、順調に減衰している。

プレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる歪変化と低周波地震活動は、1 月 16 日～1 月 22 日および 8 月 27 日～9 月 1 日にかけて観測された。

国土地理院の G P S 観測によると、東海地域及びその周辺において 2001 年初め頃から継続していた長期的な地殻変動は、すでに停止しているように見える。

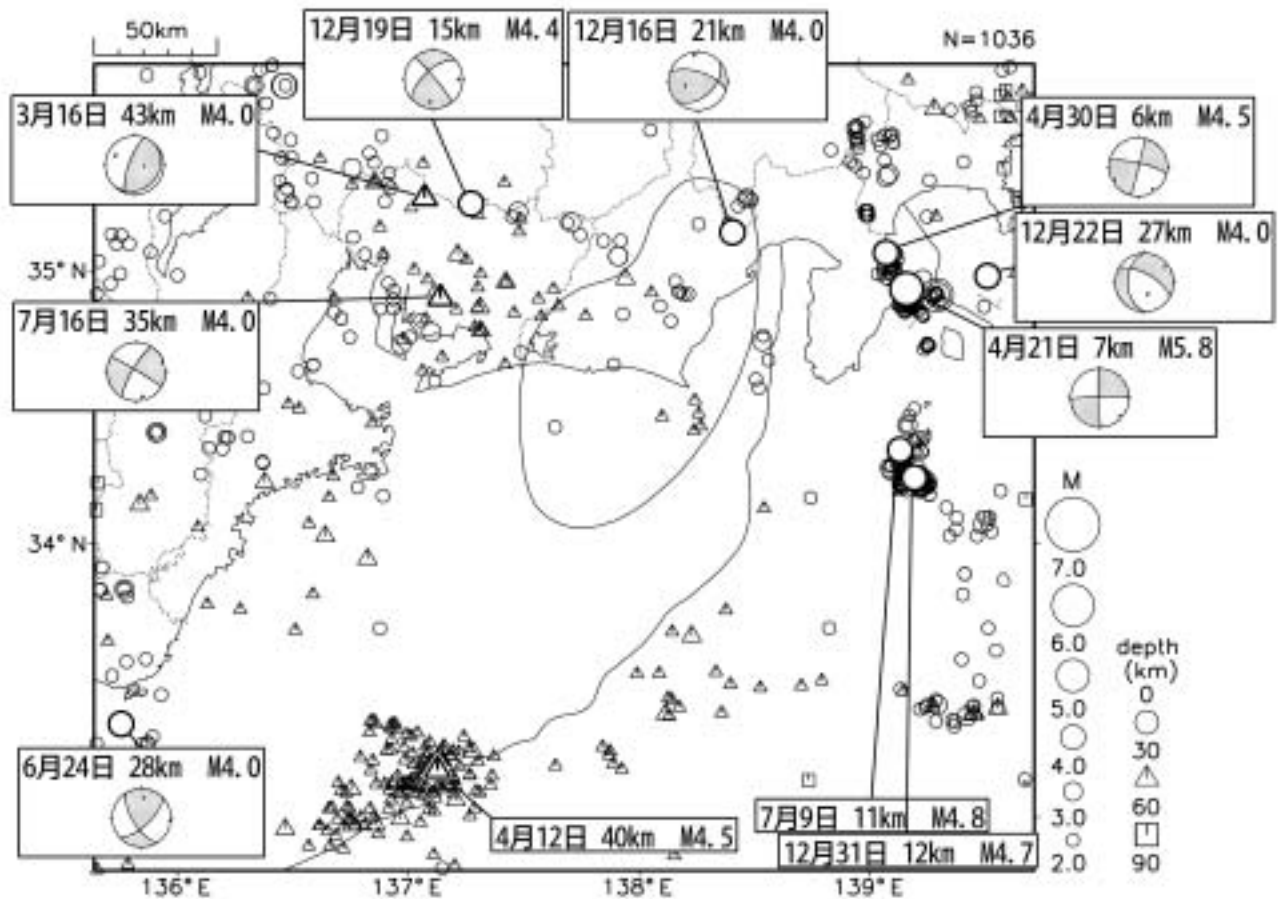


図1 震央分布図（2006年1月1日～2006年12月31日：深さ90km以浅、M2.0以上。主な地震に「月日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構（下半球投影）。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

1 月 16 日～1 月 22 日（愛知県東部）および 8 月 27 日～9 月 1 日（愛知・長野県境付近）にかけて、プレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる歪変化と低周波地震活動が観測された。

3 月 16 日、愛知県西部の深さ 43km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

2004 年 9 月 5 日に発生した紀伊半島南東沖 [東海道沖]の地震の余震は、順調に減衰している。2006 年中に発生した余震の最大は、4 月 12 日に発生した M4.5 の地震であり、最大震度 1 を観測した。

2006 年 4 月 17 日から伊豆半島東方沖で活発な地震活動が始まった。最大の地震は 4 月 21 日に深さ 7 km で発生した M5.8 の地震であり、最大震度 4 を観測した。発震機構は北東 - 南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。伊豆半島東方沖で M5.0 以上の地震が発生したのは 1998 年以來であった。この地震活動中に、活動域から北に離れたところで M4.5 の地震（参照）が発生し、最大震度 5 弱を観測した。

4 月 30 日、伊豆半島東方沖の深さ 6 km で M4.5 の地震があり、最大震度 5 弱を観測した。発震機構は西南西 - 東北東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。

6 月 24 日、和歌山県南方沖の深さ 28km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。フィリピン海プレート内部で発生した地震であると考えられる。

新島・神津島近海では 7 月と 12 月に地震活動が活発になった。最大は 7 月 9 日に深さ

11km で発生した M4.8 の地震であり、最大震度 4 を観測した。

7 月 16 日、愛知県西部の深さ 35km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は東北東 - 西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

12 月 16 日、静岡県中部の深さ 21km で M4.0 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は、南北方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。

12 月 19 日、愛知県西部の深さ 15km で M4.4 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

12 月 22 日、伊豆大島近海の深さ 27km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は、北東 - 南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

注:本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。



# 11 月 15 日 千島列島東方（シムシル島東方沖）の地震

< 2006 年 11 月 15 日 20 時 14 分（日本時間）北緯 46° 42.1′ 東経 154° 2.8′ 深さ 30km M7.9 mb6.6 Ms7.8 Mw8.3 >  
震源要素、マグニチュードは気象庁による。また、mb、Ms は米国地質調査所（USGS）、Mw はハーバード大学によるモーメントマグニチュードである。

2006 年 11 月 15 日 20 時 14 分頃（日本時間）千島列島東方（シムシル島東方沖）で M7.8（USGS による表面波マグニチュード。気象庁によるマグニチュードは M7.9、深さ 30km、最大震度 2）の地震が発生した。本震の発震機構（ハーバード大学による CMT 解）はほぼ北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生した地震と考えられる。

この地震の後、M6.0 以上の地震が複数回発生するなど、余震活動は活発であったが、減衰傾向にある。なお、千島・カムチャツカ海溝の東側で発生した余震の発震機構（ハーバード大学による CMT 解）

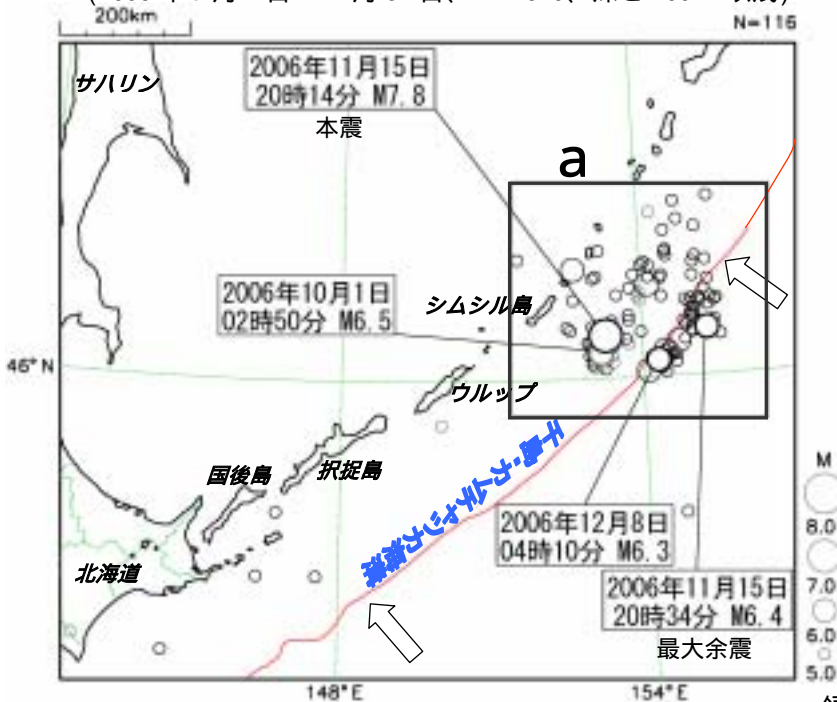
は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ正断層型のものが多い。

今回の千島列島東方の地震発生前の 9 月下旬から 10 月はじめにかけて地震活動が一時活発となり、10 月 1 日には M6.5（USGS による表面波マグニチュード。気象庁によるマグニチュードは 6.8）の地震を観測した。千島列島東方ではこれまでも前震活動を伴う例が見られている。

今回の地震により、北海道日本海沿岸北部とオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。観測された津波の高さの最大は、三宅島坪田で 84cm であった。津波は南米西海岸まで到達し、太平洋沿岸の広い範囲で津波を観測した。

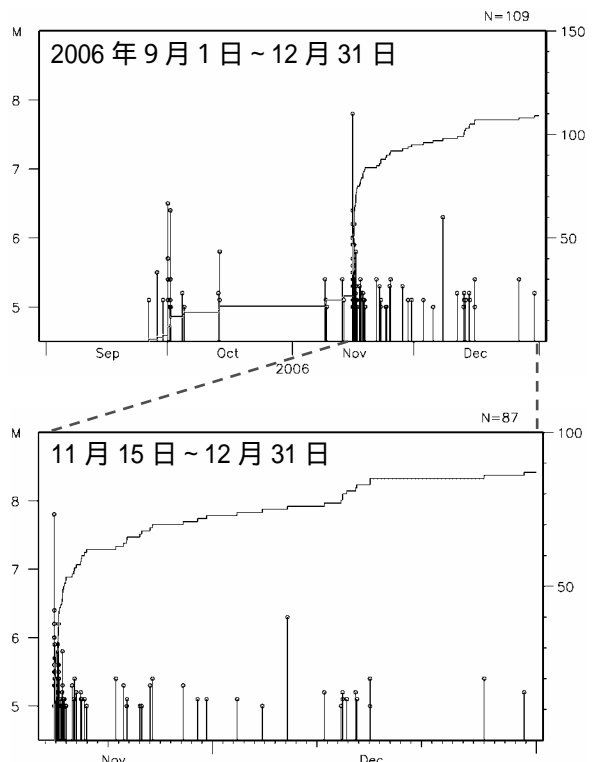
震央分布図

(2006 年 9 月 1 日 ~ 12 月 31 日、M 5.0、深さ 100km 以浅)



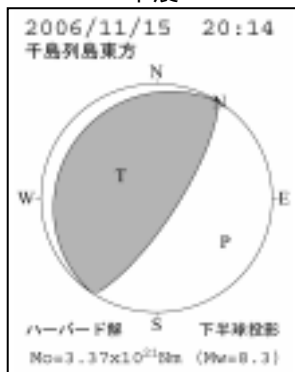
震源は USGS（但しマグニチュードは mb(実体波マグニチュード)または Ms(表面波マグニチュード)のいずれか大きい値を使用)による。白抜きの矢印は太平洋プレートのおおよその進行方向を示す。11 月 15 日以降の活動を濃く表示した。

領域 a 内の M - T 図および回数積算図

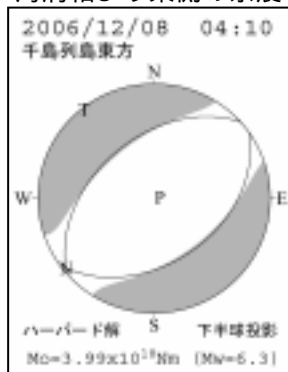


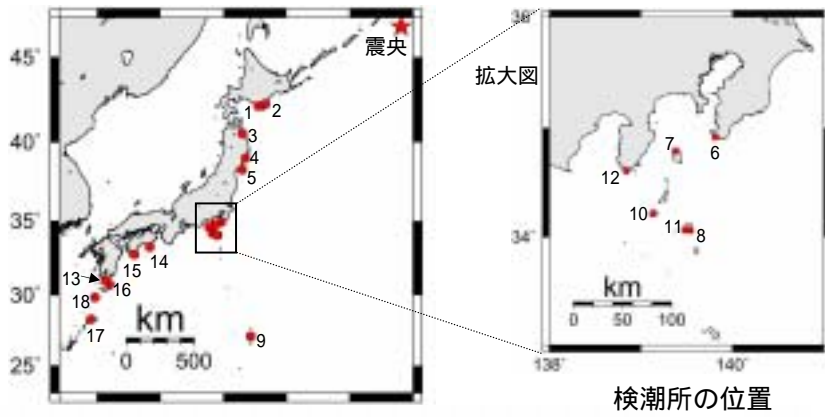
発震機構（ハーバード大学による CMT 解）

本震

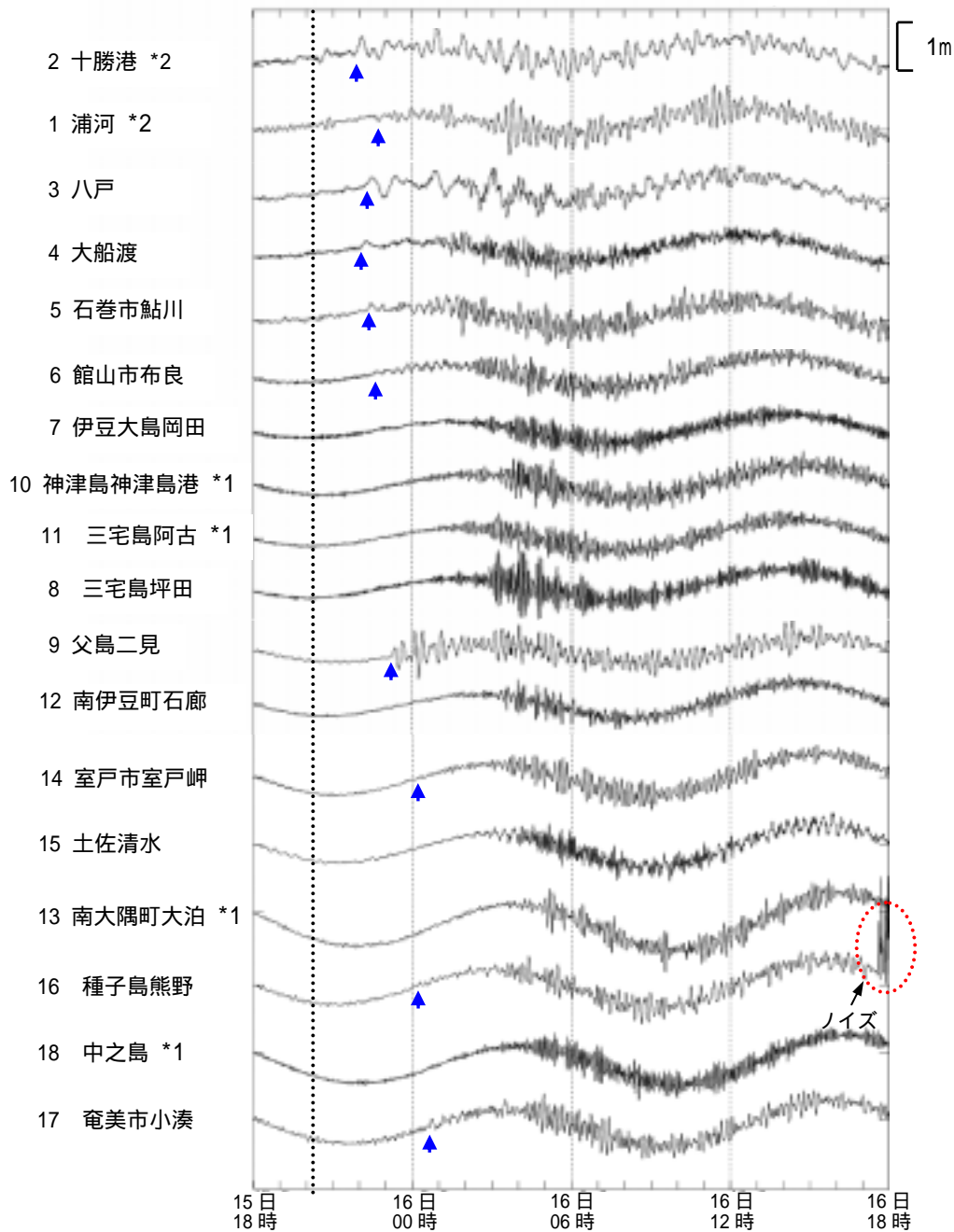


海溝軸より東側の余震






検潮所の位置



検潮所で観測した津波の波形

点線は本震の発生時刻、矢印は第一波の到着時刻、 は最大の高さの発現時刻を示す。津波の最大の高さを 0.4m 以上観測した検潮所の波形を掲載した。なお、矢印が無い観測点は、第 1 波到達時刻が決定できないことを示す。16 日 17 時 30 分頃から種子島熊野の検潮データにはノイズが含まれている。観測点名欄の\*1 は海上保安庁、\*2 は国土交通省北海道開発局、無印は気象庁の所属であることを示す。

## 2006 年の日本及びその周辺で発生した主な地震

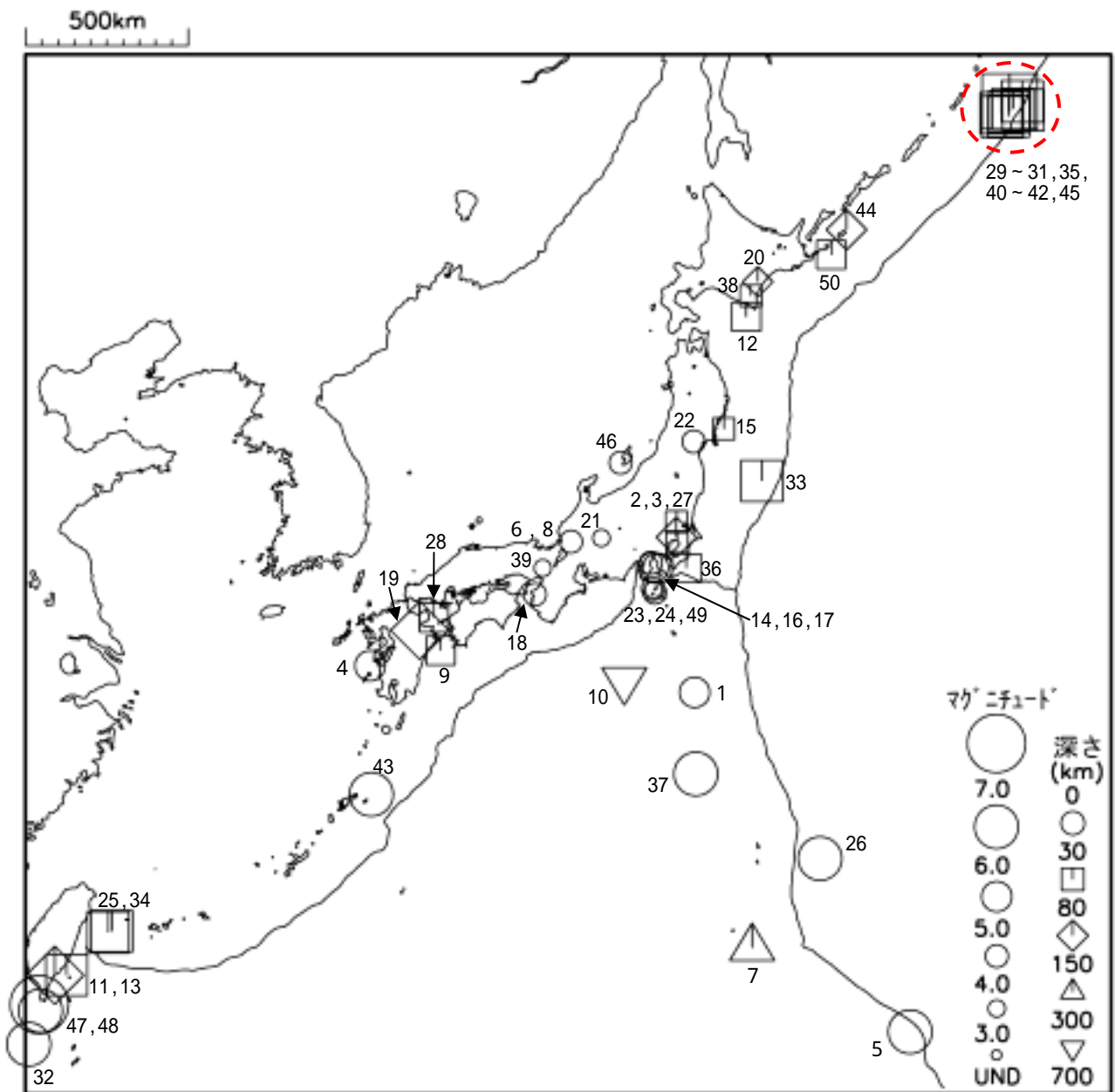


図 1 2006 年の日本及びその周辺で発生した主な地震の震央分布図

数字は表 1 の番号に対応する。

- 掲載基準
- ・「マグニチュード 6.0 以上」
  - ・「被害を伴った」
  - ・「震度 4 以上を観測した」
  - ・「津波を観測した」

表1 図1中の「マグニチュード6.0以上」、「被害を伴った」、「震度4以上を観測した」、「津波を観測した」のいずれかに該当する地震の表

番号	震源時				震央地名	震源要素（注1）						M H S T （注2）	最大震度・被害状況など （注3）
	緯度		経度			深さ (km)	マグニ チュード						
	度	分	度	分				度	分	度	分		
1	1	1	16	11	鳥島近海	31	26.6	140	24.6	0	5.9	・・・T	震度1以上を観測した地点なし 津波観測結果：神津島神津島港、三宅島阿古で高さ17cmの津波を観測するなど、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した。
2	1	14	15	30	茨城県南部	36	11.2	140	1.6	52	4.3	・・・S	4：栃木県 栃木二宮町石島*
3	2	1	20	35	千葉県北西部	35	45.6	140	0.2	101	5.1	・・・S	4：埼玉県 埼玉美里町木部* 神奈川県 横浜保土ヶ谷区上菅田町*
4	2	4	0	11	天草灘	32	5.0	129	52.7	12	5.1	・・・S	4：熊本県 天草市牛深町 など 1県 3地点
5	2	15	0	27	マリアナ諸島	21	39.0	146	24.7	0	6.6	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
6	2	16	23	10	岐阜県美濃中西部	35	41.3	136	25.3	14	4.4	・・・S	4：岐阜県 揖斐川町東杉原*
7	2	17	11	13	硫黄島近海	24	16.8	141	52.1	196	6.0	M・・・	1：東京都 小笠原村父島
8	2	18	16	21	岐阜県美濃中西部	35	41.3	136	25.1	13	4.1	・・・S	4：岐阜県 揖斐川町東杉原*
9	3	27	11	50	日向灘	32	36.1	132	9.4	35	5.5	・・・S	5弱：大分県 佐伯市蒲江 佐伯市鶴見*
10	3	28	22	32	鳥島近海	31	50.1	138	9.0	439	6.0	M・・・	3：茨城県 日立市役所*
11	4	1	19	2	台湾付近	22	40.5	121	2.4	96	6.4	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
12	4	13	13	27	浦河沖	41	45.3	142	53.6	43	5.3	・・・S	4：北海道 浦河町潮見
13	4	16	7	40	台湾付近	22	43.5	121	22.9	75	6.0	M・・・	1：沖縄県 与那国町祖納
14	4	21	2	50	伊豆半島東方沖	34	56.4	139	11.7	7	5.8	・H S・	4：静岡県 伊東市大原 など 1都2県 16地点 被害：負傷者3名など
15	4	22	23	35	宮城県沖	38	42.1	141	49.2	66	4.6	・H S・	4：岩手県 大船渡市猪川町 など 2県 4地点 被害：負傷者3名
16	4	30	13	10	伊豆半島東方沖	35	4.4	139	6.4	6	4.5	・・・S	5弱：静岡県 熱海市網代
17	5	2	18	24	伊豆半島東方沖	34	55.0	139	19.8	15	5.1	・・・S	4：神奈川県 横浜南区別所* など2県 12地点
18	5	15	1	42	和歌山県北部	34	13.4	135	13.2	3	4.5	・H S・	4：和歌山県 和歌山市一番丁* 被害：負傷者1名など
19	6	12	5	1	大分県西部	33	8.1	131	26.1	145	6.2	M H S・	5弱：愛媛県 八幡浜市保内町* など3県 6地点 被害：負傷者8名、住家一部破損5棟
20	6	13	11	40	十勝支庁中部	42	42.1	143	25.2	86	4.7	・・・S	4：北海道 浦幌町桜町* など1道 2地点
21	6	24	23	10	長野県南部	35	47.5	137	27.3	9	3.9	・・・S	4：長野県 王滝村役場*
22	7	6	6	11	宮城県中部	38	23.4	140	44.5	11	4.3	・・・S	4：宮城県 仙台青葉区大倉
23	7	9	17	48	新島・神津島近海	34	21.1	139	9.3	11	4.8	・・・S	4：東京都 新島村式根島
24	7	9	18	11	新島・神津島近海	34	19.8	139	10.2	6	3.0	・・・S	4：東京都 新島村式根島
25	7	28	16	40	与那国島近海	24	2.5	122	28.3	40	6.2	M・・・	3：沖縄県 与那国町祖納
26	8	7	3	16	小笠原諸島東方沖	26	38.5	144	4.8	24	6.2	M・・・	2：東京都 小笠原村三日月山
27	8	31	17	18	東京湾	35	37.9	140	1.4	76	4.8	・・・S	4：神奈川県 相模原市相模大野* など1県 3地点
28	9	26	7	3	伊予灘	33	30.3	131	53.0	70	5.3	・H S・	4：大分県 白杵市白杵* など3県 18地点 被害：住家一部破損2棟、落石2箇所
29	9	28	10	36	千島列島東方	46	25.8	153	57.3	30	6.0	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
30	10	1	2	50	千島列島東方	46	18.5	153	52.8	30	6.8	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
31	10	1	18	5	千島列島東方	46	26.2	153	36.8	30	6.6	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
32	10	9	19	1	フィリピン付近	20	41.6	120	31.1	0	6.1	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
33	10	11	8	58	福島県沖	37	11.6	143	1.8	50	6.0	M・・・	3：宮城県 登米市迫町* 丸森町鳥屋*
34	10	12	23	46	与那国島近海	24	5.3	122	34.6	46	6.2	M・・・	2：沖縄県 与那国町祖納 など1県 7地点
35	10	13	22	47	千島列島東方	46	18.9	153	38.3	30	6.3	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
36	10	14	6	38	千葉県南東沖	34	53.6	140	18.2	64	5.1	・・・S	4：千葉県 館山市市長須賀 など1県 5地点
37	10	24	6	17	鳥島近海	29	10.4	140	21.0	3	6.8	M・・・T	2：東京都 小笠原村三日月山 小笠原村父島 津波観測結果：神津島神津島港で高さ22cmの津波を観測する など、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した
38	11	1	23	21	十勝支庁南部	42	19.8	143	7.2	49	4.8	・・・S	4：北海道 浦河町築地*
39	11	3	6	24	大阪府北部	34	57.5	135	28.1	8	3.7	・・・S	4：大阪府 能勢町今西*
40	11	15	20	14	千島列島東方	46	42.1	154	2.8	30	7.9	M・・・T	2：北海道 浦幌町桜町* など1道 8地点 津波予報：気象庁は20時29分に、北海道太平洋沿岸東部とオ ホーツク海沿岸に津波警報、北海道日本海沿岸北部と北海道太 平洋沿岸中部から静岡県にかけてと伊豆諸島に津波注意報を 発表した。22時43分には小笠原諸島にも津波注意報を発表した。 その後、23時30分に津波警報が出されていた領域を津波注意報 に切り替えた。翌16日00時32分に津波注意報を一部解除し、01 時30分に津波注意報をすべて解除した。 津波観測結果：三宅島坪田で16日04時04分高さ84cmの津波 を観測するなど、北海道日本海沿岸北部とオホーツク海沿岸、 日本の太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を 観測した。
41	11	15	20	40	千島列島東方	46	38.1	154	32.2	30	6.6	M・・・	1：北海道 釧路町別保* など1道 3地点
42	11	16	15	20	千島列島東方	46	24.0	154	30.2	30	6.1	M・・・	震度1以上を観測した地点なし
43	11	18	3	3	奄美大島近海	28	31.0	130	9.2	30	6.0	M・・・	4：鹿児島県 喜界町滝川 など1県 3地点
44	11	22	20	15	北海道東方沖	43	54.1	146	56.7	96	5.6	・・・S	4：北海道 別海町常盤 など1道 3地点

番号	震源時				震央地名	震源要素（注1）						M H S T (注2)	最大震度・被害状況など (注3)
	月	日	時	分		緯度		経度		深さ (km)	マグニ チュード		
						度	分	度	分				
45	12	8	4	10	千島列島東方	46	28.8	154	6.9	30	6.4	M . . .	1 : 北海道 函館市新浜町 * など1道1県 4地点
46	12	26	5	17	佐渡付近	37	52.3	138	9.5	14	4.9	. . S .	4 : 新潟県 佐渡市小木町 * など1県 3地点
47	12	26	21	26	台湾付近	21	38.9	120	45.1	0	6.9	M . . .	1 : 沖縄県 竹富町波照間 など1県 4地点
48	12	26	21	34	台湾付近	21	48.9	120	41.1	0	7.2	M . . .	1 : 沖縄県 竹富町黒島 など1県 7地点
49	12	31	2	49	新島・神津島近海	34	15.0	139	13.0	12	4.7	. . S .	4 : 東京都 新島村式根島
50	12	31	7	34	根室半島南東沖	43	15.6	146	15.5	46	5.0	. . S .	4 : 北海道 根室市根室市瑛瑠瑠 * 根室市落石東 *

注1)震源要素は再調査された後、修正されることがある。

注2)M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注3)最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報である。被害の報告は総務省消防庁による。

## 2006 年の都道府県別の震度観測回数表

都道府県名	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
北海道	118	41	18	5	0	0	0	0	0	182
青森県	60	27	3	0	0	0	0	0	0	90
岩手県	102	32	10	1	0	0	0	0	0	145
宮城県	78	25	11	2	0	0	0	0	0	116
秋田県	26	7	0	0	0	0	0	0	0	33
山形県	13	8	1	0	0	0	0	0	0	22
福島県	58	47	6	0	0	0	0	0	0	111
茨城県	59	44	15	0	0	0	0	0	0	118
栃木県	68	32	11	1	0	0	0	0	0	112
群馬県	45	21	1	0	0	0	0	0	0	67
埼玉県	38	22	4	1	0	0	0	0	0	65
千葉県	51	26	11	1	0	0	0	0	0	89
東京都	136	49	18	4	0	0	0	0	0	207
神奈川県	47	24	6	4	0	0	0	0	0	81
新潟県	41	17	5	1	0	0	0	0	0	64
富山県	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
石川県	6	5	2	0	0	0	0	0	0	13
福井県	17	5	3	0	0	0	0	0	0	25
山梨県	34	10	2	0	0	0	0	0	0	46
長野県	53	14	2	1	0	0	0	0	0	70
岐阜県	41	10	4	2	0	0	0	0	0	57
静岡県	89	18	11	2	1	0	0	0	0	121
愛知県	16	13	2	0	0	0	0	0	0	31
三重県	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18
滋賀県	11	5	1	0	0	0	0	0	0	17
京都府	9	3	1	0	0	0	0	0	0	13
大阪府	15	2	1	1	0	0	0	0	0	19
兵庫県	13	5	2	0	0	0	0	0	0	20
奈良県	21	6	1	0	0	0	0	0	0	28
和歌山県	79	11	3	1	0	0	0	0	0	94
鳥取県	12	2	1	0	0	0	0	0	0	15
島根県	13	8	1	1	0	0	0	0	0	23
岡山県	10	2	0	1	0	0	0	0	0	13
広島県	12	7	1	0	1	0	0	0	0	21
徳島県	9	5	2	0	0	0	0	0	0	16
香川県	6	3	0	1	0	0	0	0	0	10
愛媛県	15	8	4	1	1	0	0	0	0	29
高知県	20	5	2	2	0	0	0	0	0	29
山口県	15	5	1	2	0	0	0	0	0	23
福岡県	13	9	3	0	0	0	0	0	0	25
佐賀県	5	2	3	0	0	0	0	0	0	10
長崎県	20	6	0	0	0	0	0	0	0	26
熊本県	27	13	2	2	0	0	0	0	0	44
大分県	18	11	1	1	2	0	0	0	0	33
宮崎県	20	8	2	2	0	0	0	0	0	32
鹿児島県	53	24	13	1	0	0	0	0	0	91
沖縄県	44	16	4	0	0	0	0	0	0	64
全国	862	340	113	25	3	0	0	0	0	1343

## 2006 年の観測点別の震度観測回数表

- ： 気象庁の震度観測点について記載した。
- ： 表の「観測点」欄の「注」は、計数期間注意（欄外記載）。

### 北海道地方

支庁	観測点	震度							合計			
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7	
石狩	石狩市花川	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	札幌中央区北2条	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	江別市高砂町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	千歳市北栄	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	恵庭市漁平	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	八雲町上の湯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	函館市美原	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	函館市尾札部町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	七飯町桜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	渡島	渡島森町御幸町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	渡島松前町福山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知内町小谷石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
檜山	檜山江差町姥神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小樽市勝納町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	積丹町日司町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	余市町朝日町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	倶知安町南1条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国牧村江ノ島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	寿都町新栄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
後志	岩内町清住	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	奥尻町松江	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	空	北竜町竜西	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		芦別市旭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知	滝川市大町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	夕張市若菜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	岩見沢市5条	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	美唄市西5条	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	士別市東6条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	士別市朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	名寄市大通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	旭川市宮前通東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	上川支庁上川町越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	富良野市若松町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上富良野町大町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南富良野町幾寅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
留萌	羽幌町南3条	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	羽幌町焼尻	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	初山別村有明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	留萌市大町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	稚内市開運	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	稚内市恵北	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	宗谷	宗谷枝幸町岬町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	宗谷枝幸町本町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	利尻富士町鬼脇	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	

支庁	観測点	震度							合計			
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7	
網走	網走市台町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	美幌町東3条	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	斜里町本町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
	北見市公園町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北見市留辺蘂町上町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	紋別市南が丘町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	遠軽町丸瀬布金湧山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	雄武町雄武	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	胆振	胆振伊達市梅本	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		室蘭市山手町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
振	苫小牧市未広町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	登別市鉾山	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	白老町大町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	日高	平取町仁世宇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		新ひだか町静内ときわ町	27	9	0	0	0	0	0	0	0	36
十勝	浦河町潮見	25	5	2	1	0	0	0	0	0	33	
	えりも町本町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	足寄町上螺湾	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
	帯広市東4条	17	1	1	0	0	0	0	0	0	19	
	十勝清水町南4条	13	4	0	0	0	0	0	0	0	17	
	幕別町忠類明和	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	本別町北2丁目	25	2	0	0	0	0	0	0	0	27	
	広尾町並木通	20	6	0	0	0	0	0	0	0	26	
	釧路	弟子屈町美里	19	4	0	0	0	0	0	0	0	23
		釧路市幸町	18	7	0	0	0	0	0	0	0	25
根室	釧路市音別町尺別	16	2	0	0	0	0	0	0	0	18	
	厚岸町尾幌	11	10	1	0	0	0	0	0	0	22	
	中標津町養老牛	21	2	0	0	0	0	0	0	0	23	
	羅臼町春日	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	別海町常盤	33	11	4	1	0	0	0	0	0	49	
	根室市弥栄	15	3	0	0	0	0	0	0	0	18	

東北地方

都道府県	観測点	震度									合計	
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		
青森県	青森市花園	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	
	五所川原市栄町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	五所川原市太田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平内町小湊	19	6	0	0	0	0	0	0	0	25	
	弘前市和田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	鱒ヶ沢町本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	深浦町深浦	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	深浦町長慶平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	八戸市湊町	21	5	0	0	0	0	0	0	0	26	
	八戸市島守	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
森県	七戸町天間館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	六ヶ所村尾駈	15	2	0	0	0	0	0	0	0	17	
	五戸町古館	28	10	0	0	0	0	0	0	0	38	
	むつ市金曲	20	3	0	0	0	0	0	0	0	23	
	むつ市大畑町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	岩手県	宮古市鍛ヶ崎	17	3	0	0	0	0	0	0	0	20
		久慈市川崎町	13	4	0	0	0	0	0	0	0	17
		山田町八幡町	12	4	0	0	0	0	0	0	0	16
		田野畑村田野畑	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		岩手洋野町種市	14	3	0	0	0	0	0	0	0	17
大船渡市大船渡町		19	13	3	0	0	0	0	0	0	35	
大船渡市猪川町		20	8	1	1	0	0	0	0	0	30	
釜石市只越町		19	6	0	0	0	0	0	0	0	25	
盛岡市山王町		17	6	0	0	0	0	0	0	0	23	
二戸市福岡		33	10	1	0	0	0	0	0	0	44	
岩手県	雫石町千刈田	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	葛巻町葛巻元木	11	1	1	0	0	0	0	0	0	13	
	八幡平市大更	9	4	0	0	0	0	0	0	0	13	
	花巻市大迫町	12	6	1	0	0	0	0	0	0	19	
	北上市柳原町	16	5	0	0	0	0	0	0	0	21	
	一関市舞川	15	8	1	0	0	0	0	0	0	24	
	一関市大東町	13	2	1	0	0	0	0	0	0	16	
	奥州市水沢区大鐘町	10	3	0	0	0	0	0	0	0	13	
	宮城県	気仙沼市赤岩	25	10	3	0	0	0	0	0	0	38
		涌谷町新町	24	13	5	0	0	0	0	0	0	42
栗原市栗駒		24	10	2	0	0	0	0	0	0	36	
登米市中田町		22	12	3	0	0	0	0	0	0	37	
南三陸町志津川		29	8	3	0	0	0	0	0	0	40	
大崎市古川三日町		23	9	2	0	0	0	0	0	0	34	
柴田町船岡		12	5	0	0	0	0	0	0	0	17	
丸森町上滝		7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	
仙台青葉区大倉		16	4	0	1	0	0	0	0	0	21	
仙台宮城野区五輪		11	6	0	0	0	0	0	0	0	17	
宮城県	石巻市泉町	19	6	2	0	0	0	0	0	0	27	
	石巻市大瓜	8	3	0	0	0	0	0	0	0	11	
	松島町松島	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10	

都道府県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
秋田県	能代市緑町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男鹿市男鹿中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	五城目町西磯ノ目	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	秋田市山王	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	秋田市雄和女米木	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	由利本荘市石脇	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	大館市比内町味噌内	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	北秋田市花園町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	横手市雄物川町今宿	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	湯沢市沖鶴	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
秋田県	秋田美郷町六郷東根	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	仙北市角館町東勝楽丁	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
山形県	鶴岡市馬場町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	鶴岡市温海川	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	酒田市亀ヶ崎	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	酒田市飛鳥	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	遊佐町遊佐	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	新庄市東谷地田町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	山形市金山町中田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山形市緑町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	河北町谷地	11	3	0	0	0	0	0	0	0	14
	米沢市駅前	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
山形県	山形小国町岩井沢	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	白鷹町黒鴨	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
福島県	福島市松木町	18	5	1	0	0	0	0	0	0	24
	郡山市朝日	30	3	1	0	0	0	0	0	0	34
	白河市郭内	24	4	0	0	0	0	0	0	0	28
	大玉村曲藤	10	3	0	0	0	0	0	0	0	13
	棚倉町棚倉中居野	37	9	0	0	0	0	0	0	0	46
	田村市船引町	28	6	0	0	0	0	0	0	0	34
	いわき市小名浜	25	4	1	0	0	0	0	0	0	30
	川内村下川内	21	5	0	0	0	0	0	0	0	26
	浪江町幾世橋	36	11	2	0	0	0	0	0	0	49
	南相馬市原町区三島町	21	4	0	0	0	0	0	0	0	25
福島県	会津若松市材木町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	西会津町野沢	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	猪苗代町城南	13	2	1	0	0	0	0	0	0	16
	柳津町大成沢	13	3	1	0	0	0	0	0	0	17
	南会津町田島	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8



関東地方

都道府県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
茨城県	水戸市金町	40	24	0	0	0	0	0	0	0	64	
	常陸太田市町屋町	27	7	0	0	0	0	0	0	0	34	
	常陸大宮市中富町	27	3	0	0	0	0	0	0	0	30	
	土浦市大岩田	47	14	0	0	0	0	0	0	0	61	
	石岡市柿岡	62	16	4	0	0	0	0	0	0	82	
	茨城鹿嶋市鉢形	29	16	1	0	0	0	0	0	0	46	
	利根町布川	31	4	0	0	0	0	0	0	0	35	
	坂東市岩井	38	11	2	0	0	0	0	0	0	51	
	筑西市舟生	47	15	5	0	0	0	0	0	0	67	
	鉾田市鉾田	30	10	0	0	0	0	0	0	0	40	
栃木県	日光市中宮祠	36	10	0	0	0	0	0	0	0	46	
	日光市瀬川	15	2	0	0	0	0	0	0	0	17	
	大田原市黒羽田町	11	3	0	0	0	0	0	0	0	14	
	那須塩原市暮沼	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	宇都宮市明保野町	56	15	5	0	0	0	0	0	0	76	
	足利市名草上町	32	7	1	0	0	0	0	0	0	40	
	栃木市旭町	35	12	2	0	0	0	0	0	0	49	
	益子町益子	46	14	2	0	0	0	0	0	0	62	
	那須烏山市中央	36	8	0	0	0	0	0	0	0	44	
	沼田市西倉内町	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15	
群馬県	六合村日影	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	片品村東小川	26	2	0	0	0	0	0	0	0	28	
	東吾妻町原町	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	
	前橋市昭和町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	桐生市織姫町	14	1	0	0	0	0	0	0	0	15	
	富岡市七日市	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	板倉町板倉	15	6	0	0	0	0	0	0	0	21	
	埼玉県	熊谷市桜町	12	2	0	0	0	0	0	0	0	14
		本庄市児玉町	20	1	1	0	0	0	0	0	0	22
		久喜市下早見	40	9	4	0	0	0	0	0	0	53
鳩山町大豆戸		7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
川越市旭町		7	4	0	0	0	0	0	0	0	11	
飯能市苅生		4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
さいたま浦和区高砂		16	5	2	0	0	0	0	0	0	23	
秩父市上町		9	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
小鹿野町両神薄		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
銚子市川口町		12	3	0	0	0	0	0	0	0	15	
千葉県	東金市東新宿	21	6	0	0	0	0	0	0	0	27	
	多古町多古	25	7	2	0	0	0	0	0	0	34	
	千葉一宮町一宮	20	5	1	0	0	0	0	0	0	26	
	長柄町大津倉	18	3	0	0	0	0	0	0	0	21	
	香取市佐原下川岸	7	18	1	0	0	0	0	0	0	26	
	千葉中央区中央港	19	8	1	0	0	0	0	0	0	28	
	成田市花崎町	20	15	2	0	0	0	0	0	0	37	
	柏市旭町	17	9	1	0	0	0	0	0	0	27	
	館山市長須賀	24	8	4	1	0	0	0	0	0	37	
	木更津市潮見 <sup>(注)</sup>	18	7	0	0	0	0	0	0	0	25	
千葉県	木更津市太田 <sup>(注)</sup>	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	勝浦市墨名	16	8	2	0	0	0	0	0	0	26	
	鴨川市八色	15	6	1	1	0	0	0	0	0	23	

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
東京都	東京千代田区大手町	42	10	3	0	0	0	0	0	0	55
	東京杉並区阿佐谷(旧) <sup>(注)</sup>	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	東京杉並区阿佐谷 <sup>(注)</sup>	6	3	0	0	0	0	0	0	0	9
	東京江戸川区中央	29	10	1	0	0	0	0	0	0	40
	八王子市大横町	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
	国分寺市戸倉	10	5	2	0	0	0	0	0	0	17
	青梅市東青梅	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	神津島村金長	25	9	3	0	0	0	0	0	0	37
	伊豆大島町元町	25	6	1	1	0	0	0	0	0	33
	伊豆大島町差木地	11	2	1	0	0	0	0	0	0	14
東京都	東京利島村	17	4	1	1	0	0	0	0	0	23
	新島村式根島	54	30	14	3	0	0	0	0	0	101
	三宅村神着	26	5	1	0	0	0	0	0	0	32
	三宅村阿古	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三宅村坪田	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12
	御蔵島村	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	八丈町三根	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	八丈町大賀郷西見	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	青ヶ島村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	小笠原村父島	11	1	0	0	0	0	0	0	0	12
神奈川県	小笠原村三日月山	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	横浜中区山手町	30	6	6	1	0	0	0	0	0	43
	川崎中原区小杉陣屋	12	7	1	0	0	0	0	0	0	20
	横須賀市光の丘	14	6	3	0	0	0	0	0	0	23
	茅ヶ崎市茅ヶ崎	14	7	1	0	0	0	0	0	0	22
	小田原市久野	9	3	0	0	0	0	0	0	0	12
	相模原市中央	8	5	2	0	0	0	0	0	0	15
	秦野市曾屋	15	4	1	0	0	0	0	0	0	20
	湯河原町宮上	9	1	1	0	0	0	0	0	0	11

注)  
 「木更津市潮見」 2006年10月2日12時まで  
 「木更津市太田」 2006年10月2日12時から  
 「東京杉並区阿佐谷(旧)」2006年4月3日12時まで  
 「東京杉並区阿佐谷」 2006年4月3日12時から

中部地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
新潟県	糸魚川市一の宮	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	上越市大手町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	上越市中ノ保	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	長岡市幸町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	小千谷市城内	12	5	1	0	0	0	0	0	0	18
	出雲崎町米田	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10
	魚沼市米沢	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	南魚沼市六日町	8	3	0	0	0	0	0	0	0	11
	新潟市幸西	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	新潟市程島	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	新潟市巻支所	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	村上市塩町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	五泉市村松乙	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	粟島浦村笹畑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	阿賀野市畑江	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	胎内市新和町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	佐渡市相川三町目	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	佐渡市相川金山	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	富山県	富山市石坂	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	富山市八尾町福島	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	魚津市釈迦堂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	立山町吉峰	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	富山朝日町道下	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高岡市伏木	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小矢部市泉町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	南砺市天神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川県	七尾市本府中町	3	0	1	0	0	0	0	0	4
	輪島市鳳至町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	輪島市舳倉島	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	珠洲市三崎町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	羽咋市柳田町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
志賀町富来領家町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
能登町宇出津	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5	
金沢市西念	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
小松市小馬出町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
加賀市直下町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
津幡町加賀爪	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
福井県	福井市豊島	3	1	1	0	0	0	0	0	5	
勝山市旭町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
越前市高瀬	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
福井坂井市三国町中央	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
敦賀市松栄町	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
福井美浜町新庄	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
高浜町宮崎	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
山梨県	富士河口湖町船津(旧)注)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甲府市飯田	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10	
身延町大磯小磯	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
甲州市塩山下於曾	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
大月市大月	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
上野原市上野原	7	4	0	0	0	0	0	0	0	11	
富士河口湖町船津注)	19	9	0	0	0	0	0	0	0	28	
長野県	長野市箱清水	3	1	0	0	0	0	0	0	4	
長野市松代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
大町市大町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
山ノ内町平穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松本市沢村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上田市大手	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
諏訪市湖岸通り	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
佐久市下小田切	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
軽井沢町追分	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
安曇野市穂高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
長野県	筑北村坂井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯田市高羽町	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	伊那市高遠町荊口	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	辰野町中央	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	飯島町飯島	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	泰阜村梨久保	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高山市桐生町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高山市丹生川町森部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飛騨市神岡町(旧)注)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	飛騨市神岡町注)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下呂市森	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	中津川市かやの木町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	美濃加茂市太田町	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	白川町黒川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岐阜市加納二之丸	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10
	揖斐川町三輪	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	岐阜山県市神崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	郡上市八幡町島谷	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	静岡県	熱海市綱代	39	12	7	2	1	0	0	0	61
伊東市大原	11	9	4	1	0	0	0	0	0	25	
下田市加増野	10	1	1	0	0	0	0	0	0	12	
南伊豆町石廊崎	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
三島市東本町	8	4	2	0	0	0	0	0	0	14	
富士宮市弓沢町	8	3	2	0	0	0	0	0	0	13	
御殿場市萩原	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
島田市中央町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
岡崎町家山	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
静岡県	駿河区曲金	5	2	0	0	0	0	0	0	7	
静岡葵区峰山	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
静岡清水区千歳町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
牧之原市鬼女新田	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
浜松市三組町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
浜松市三ヶ日町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
袋井市新屋	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
御前崎市御前崎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
愛知県	豊橋市向山	10	1	0	0	0	0	0	0	11	
新城市乗本	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
田原市福江町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
田原市石神町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名古屋千種区日和町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
岡崎市伝馬通	6	3	0	0	0	0	0	0	0	9	
豊田市小坂本町	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	
豊田市大洞町	8	0	1	0	0	0	0	0	0	9	
常滑市新開町	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	
南知多町豊浜	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
一色町一色	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
愛西市稲葉町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
三重県	四日市市日永	4	1	0	0	0	0	0	0	5	
鈴鹿市西条	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
津市島崎町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
津市片田薬王寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松阪市高町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
伊賀市緑ヶ丘本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
尾鷲市南陽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重紀北町十須	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊勢市矢持町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
志摩市志摩町和具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注)  
 「富士河口湖町船津(旧)」 2006年1月5日12時まで  
 「富士河口湖町船津」 2006年1月5日12時から  
 「飛騨市神岡町(旧)」 2006年1月5日12時まで  
 「飛騨市神岡町」 2006年1月5日12時から

近畿地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
滋賀県	彦根市城町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	大津市御陵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大津市木戸	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	近江八幡市桜宮町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	甲賀市水口町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	東近江市君ヶ畑町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
京都府	福知山市内記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	舞鶴市下福井	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	京丹後市弥栄町吉沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	京都市中区西ノ京	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	宇治市宇治琵琶	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	亀岡市安町	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	京丹波町坂原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	大阪東淀川区下新庄※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪中央区大手前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高槻市桃園町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	箕面市箕面	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	岸和田市岸城町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	富林市本町	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
大阪府	大阪堺市中区深井清水町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	豊岡市桜町	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
兵庫県	兵庫香美町香住区三川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香美町村岡区川会※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝来市和田山町枚田	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	神戸東灘区魚崎北町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	神戸灘区神ノ木	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	神戸兵庫区荒田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	神戸長田区神楽町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	神戸須磨区緑ヶ丘	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	神戸垂水区日向	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	神戸北区南五葉町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	神戸中央区脇浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神戸西区神出町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	明石市中崎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	西宮市宮前町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	加古川市加古川町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	三木市細川町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	三田市下深田	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	加西市下万願寺町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	篠山市北新町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	加東市社	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	姫路市今宿	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	相生市旭	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	宍粟市山崎町鹿沢	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
洲本市小路谷	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
南あわじ市福良	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
兵庫県	淡路市中田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	淡路市富島	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
奈良県	奈良市半田開町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	桜井市池之内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	平群町鳴川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大淀町桧垣本	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
和歌山県	和歌山市男野芝丁	10	6	2	0	0	0	0	0	0	18
	有田市箕島	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	御坊市園	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	和歌山高野町高野山中学校	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	みなべ町土井	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	紀の川市粉河	10	4	1	0	0	0	0	0	0	15
	新宮市新宮	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	和歌山白浜町湯崎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
和歌山県	串本町潮岬	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	古座川町峯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

注)  
「大阪東淀川区下新庄」  
「香美町村岡区川会」

2006年1月5日12時まで  
2006年1月5日12時まで

中国地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
鳥取県	鳥取市吉方	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	岩美町浦富	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	智頭町智頭	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	倉吉市岩倉長峯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	米子市博労町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	境港市東本町	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	島根県	松江市西津田	1	1	0	0	0	0	0	0	2
松江市西生馬町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
出雲市今市町	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
雲南市大東町大東	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
浜田市大辻町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
益田市匹見町石谷	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
江津市波積町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
隠岐の島町西町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
岡山県	津山市林田	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	新見市新見	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
	真庭市西河内	1	1	1	0	0	0	0	0	3	
	美作市尾谷	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	岡山市桑田町	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
	倉敷市新田	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	備前市伊部	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
	赤磐市上市	5	0	1	0	0	0	0	0	6	
	浅口市天草公園	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
	広島県	広島三次市十日市中	1	0	1	0	0	0	0	0	2
庄原市西城町熊野	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
北広島町有田	6	1	0	1	0	0	0	0	8		
北広島町都志見	3	1	1	0	0	0	0	0	5		
三原市円一町	2	0	1	1	0	0	0	0	4		
福山市松永町	4	1	0	1	0	0	0	0	6		
広島府中市上下町矢多	2	0	1	0	0	0	0	0	3		
広島中区上八丁堀	2	0	2	0	0	0	0	0	4		
呉市宝町	4	1	1	1	0	0	0	0	7		
呉市倉橋町鷹ヶ巣	8	1	1	0	0	0	0	0	10		
東広島市黒瀬町	5	1	1	1	0	0	0	0	8		
山口県	萩市堀内 <sup>注)</sup>	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	萩市土原 <sup>注)</sup>	1	0	1	0	0	0	0	0	2	
	山口市周布	3	2	1	0	0	0	0	0	6	
	防府市寿	5	1	1	0	0	0	0	0	7	
	下松市瀬戸	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
	岩国市今津	2	0	1	1	0	0	0	0	4	
	田布施町下田布施	4	0	1	1	0	0	0	0	6	
	下関市竹崎	2	1	2	0	0	0	0	0	5	
	下関市豊田町一ノ俣	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
	下関市豊浦町川棚	1	2	1	0	0	0	0	0	4	
宇部市野中	0	3	0	0	0	0	0	0	3		

四国地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
徳島県	徳島市大和町(旧) <sup>注)</sup>	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	徳島市大和町 <sup>注)</sup>	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	鳴門市撫養町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	吉野川市鴨島町	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
	美馬市脇町	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	徳島三好市池田町ウエノ	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	阿南市富岡町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	那賀町横石	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	高松市伏石町	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	東かがわ市三本松	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
香川県	土庄町甲	4	1	1	0	0	0	0	0	6	
	坂出市王越町	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
	観音寺市坂本町	4	3	1	0	0	0	0	0	8	
	多度津町家中	2	2	0	1	0	0	0	0	5	
	愛媛県	今治市南宝来町二丁目	0	2	1	1	0	0	0	0	4
		新居浜市一宮町	2	1	1	0	0	0	0	0	4
		西条市丹原町鞍瀬	8	3	0	1	0	0	0	0	12
		松山市北持田町	3	2	1	1	0	0	0	0	7
		宇和島市住吉町	4	3	2	1	0	0	0	0	10
		八幡浜市広瀬	6	2	1	0	0	0	0	0	9
大洲市豊茂		2	1	1	0	0	0	0	0	4	
西予市野村町		7	3	1	1	0	0	0	0	12	
室戸市室戸岬町		1	1	0	0	0	0	0	0	2	
安芸市西浜		3	1	1	0	0	0	0	0	5	
高知県	高知市本町	1	1	1	0	0	0	0	0	3	
	須崎市山手町	2	1	0	0	0	0	0	0	3	
	香美市土佐山田町宝町	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	香美市物部町神池	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
	宿毛市片島	5	2	1	1	0	0	0	0	9	
	土佐清水市足摺岬	1	2	1	0	0	0	0	0	4	
	土佐清水市有永	2	2	0	0	0	0	0	0	4	
	四万十町窪川中津川	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
	黒潮町入野	6	4	0	1	0	0	0	0	11	

注)  
 「萩市堀内」 2006年6月20日12時まで  
 「萩市土原」 2006年6月20日12時から  
 「徳島市大和町(旧)」 2006年8月1日12時まで  
 「徳島市大和町」 2006年8月1日12時から

九州地方

Table with columns for Prefecture (都道府県), Observation Point (観測点), and Magnitude (震度) levels 1 through 7, plus a total count (合計).

Table for Kyushu region showing data for Fukuoka, Saga, Nagasaki, and Kumamoto prefectures, with columns for Prefecture, Observation Point, and Magnitude levels.

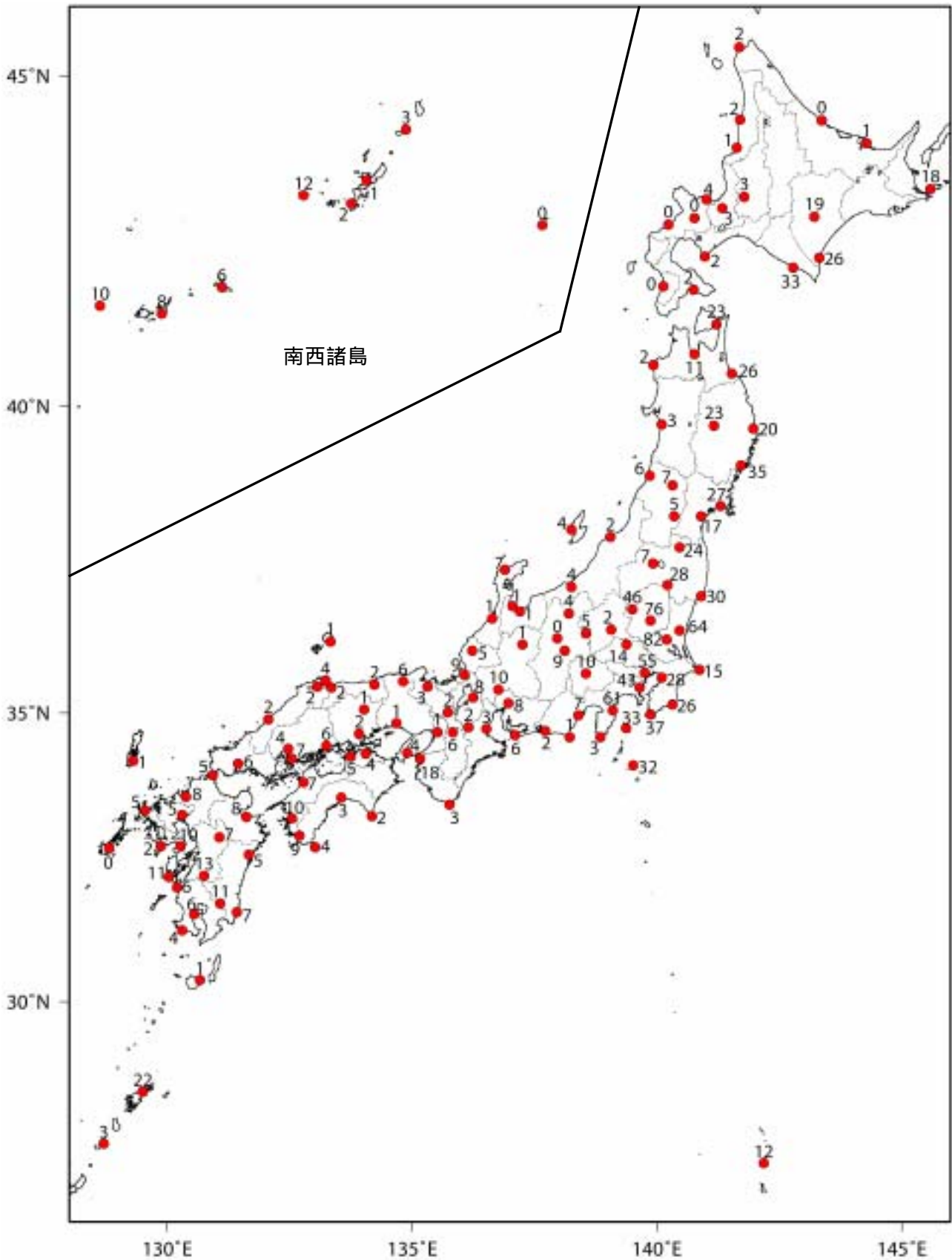
沖縄地方

Table for Okinawa region showing data for Naha City and various municipalities, with columns for Prefecture, Observation Point, and Magnitude levels.

注) 「飯塚市川島(旧)」 2006年3月1日12時まで 「飯塚市川島」 2006年3月1日12時から 「熊本市京町(旧)」 2006年8月1日12時まで 「熊本市京町」 2006年8月1日12時から 「日田市三本松(旧)」 2006年3月1日12時まで 「日田市三本松」 2006年3月1日12時から

## 2006 年に主な観測点で震度 1 以上を観測した回数分布

（主な観測点：過去 20 年以上にわたり震度観測を行っている地点）



1997～2006年に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
1997年1月	53	19	7	1	0	0	0	0	0	80
2月	57	20	5	2	1	0	0	0	0	85
3月	425	168	45	10	3	2	0	0	0	653
4月	122	41	14	3	1	1	0	0	0	182
5月	113	42	8	4	0	0	1	0	0	168
6月	75	22	5	2	0	1	0	0	0	105
7月	66	26	6	1	0	0	0	0	0	99
8月	42	14	4	1	0	0	0	0	0	61
9月	48	12	8	2	0	0	0	0	0	70
10月	65	28	6	0	0	0	0	0	0	99
11月	66	27	10	2	0	0	0	0	0	105
12月	56	15	11	2	0	0	0	0	0	84
計	1188	434	129	30	5	4	1	0	0	1791
1998年1月	62	28	14	2	0	0	0	0	0	106
2月	51	14	8	1	0	0	0	0	0	74
3月	40	12	6	2	0	0	0	0	0	60
4月	149	66	18	5	0	0	0	0	0	238
5月	112	27	14	3	0	0	0	0	0	156
6月	59	24	6	3	0	0	0	0	0	92
7月	69	22	5	1	0	0	0	0	0	97
8月	202	67	20	5	1	0	0	0	0	295
9月	94	42	11	1	0	0	1	0	0	149
10月	56	19	1	0	0	0	0	0	0	76
11月	58	23	9	3	0	0	0	0	0	93
12月	47	30	6	1	0	0	0	0	0	84
計	999	374	118	27	1	0	1	0	0	1520
1999年1月	42	26	3	2	0	0	0	0	0	73
2月	47	32	10	1	1	0	0	0	0	91
3月	85	28	12	5	1	0	0	0	0	131
4月	51	15	5	1	0	0	0	0	0	72
5月	42	19	5	3	0	0	0	0	0	69
6月	50	20	5	0	0	0	0	0	0	75
7月	60	33	9	1	0	0	0	0	0	103
8月	55	19	4	0	1	0	0	0	0	79
9月	35	12	2	1	0	0	0	0	0	50
10月	55	12	5	2	0	0	0	0	0	74
11月	42	27	7	3	0	0	0	0	0	79
12月	77	35	14	1	0	0	0	0	0	127
計	641	278	81	20	3	0	0	0	0	1023
2000年1月	53	26	8	2	0	0	0	0	0	89
2月	45	22	9	2	0	0	0	0	0	78
3月	645	368	153	45	2	0	0	0	0	1213
4月	113	55	11	5	1	0	0	0	0	185
5月	60	26	4	1	0	0	0	0	0	91
6月	1405	513	124	31	4	0	0	0	0	2077
7月	6171	1660	431	118	8	5	4	0	0	8397
8月	2676	837	257	79	8	2	2	0	0	3861
9月	138	53	11	3	1	0	0	0	0	206
10月	664	311	107	16	5	1	0	1	0	1105
11月	126	67	10	6	1	0	0	0	0	210
12月	115	37	8	4	0	0	0	0	0	164
計	12211	3975	1133	312	30	8	6	1	0	17676
2001年1月	193	65	19	5	2	0	0	0	0	284
2月	77	32	9	3	1	0	0	0	0	122
3月	87	41	9	2	0	1	1	0	0	141
4月	65	27	11	3	0	1	0	0	0	107
5月	92	23	7	2	0	0	0	0	0	124
6月	77	27	11	1	0	0	0	0	0	116
7月	61	22	4	1	0	0	0	0	0	88
8月	63	17	10	3	0	0	0	0	0	93
9月	59	18	7	3	0	0	0	0	0	87
10月	67	25	4	1	0	0	0	0	0	97
11月	56	19	7	0	0	0	0	0	0	82
12月	117	36	12	4	2	1	0	0	0	172
計	1014	352	110	28	5	3	1	0	0	1513

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
2002年1月	106	33	14	3	0	0	0	0	0	156
2月	58	17	6	1	1	0	0	0	0	83
3月	69	29	13	3	0	0	0	0	0	114
4月	55	24	7	1	0	0	0	0	0	87
5月	74	20	7	5	0	0	0	0	0	106
6月	73	20	3	2	0	0	0	0	0	98
7月	68	24	9	2	0	0	0	0	0	103
8月	87	20	6	2	0	0	0	0	0	115
9月	71	32	10	2	0	0	0	0	0	115
10月	68	34	9	1	1	0	0	0	0	113
11月	49	26	5	1	2	0	0	0	0	83
12月	43	30	6	1	0	0	0	0	0	80
計	821	309	95	24	4	0	0	0	0	1253
2003年1月	72	25	13	0	0	0	0	0	0	110
2月	61	22	9	1	0	0	0	0	0	93
3月	58	22	10	2	0	0	0	0	0	92
4月	57	29	4	4	0	0	0	0	0	94
5月	171	58	22	5	0	0	1	0	0	257
6月	112	40	7	2	0	0	0	0	0	161
7月	304	147	58	17	2	0	2	1	0	531
8月	127	67	16	6	0	0	0	0	0	216
9月	96	42	18	6	0	0	2	0	0	164
10月	104	47	14	7	0	0	0	0	0	172
11月	74	35	9	6	0	0	0	0	0	124
12月	108	39	11	7	0	0	0	0	0	165
計	1344	573	191	63	2	0	5	1	0	2179
2004年1月	65	23	8	3	0	0	0	0	0	99
2月	72	20	6	1	0	0	0	0	0	99
3月	58	32	5	1	0	0	0	0	0	96
4月	70	28	12	3	0	0	0	0	0	113
5月	70	46	6	2	0	0	0	0	0	124
6月	79	26	8	1	0	0	0	0	0	114
7月	65	23	11	4	0	0	0	0	0	103
8月	69	16	3	2	1	0	0	0	0	91
9月	87	31	12	2	2	0	0	0	0	134
10月	359	214	96	41	7	6	2	2	1	728
11月	206	106	32	15	1	3	0	0	0	363
12月	116	54	18	2	1	2	0	0	0	193
計	1316	619	217	77	12	11	2	2	1	2257
2005年1月	86	38	6	5	0	1	0	0	0	136
2月	65	26	8	2	1	0	0	0	0	102
3月	231	129	25	3	0	0	1	0	0	389
4月	119	53	13	7	0	2	0	0	0	194
5月	82	34	13	5	0	0	0	0	0	134
6月	81	44	8	3	2	0	0	0	0	138
7月	81	31	11	4	0	1	0	0	0	128
8月	89	29	8	1	0	1	1	0	0	129
9月	59	27	5	1	0	0	0	0	0	92
10月	57	24	7	2	1	0	0	0	0	91
11月	47	23	8	2	0	0	0	0	0	80
12月	58	28	10	3	0	0	0	0	0	99
計	1055	486	122	38	4	5	2	0	0	1712
2006年1月	61	20	4	1	0	0	0	0	0	86
2月	44	30	3	4	0	0	0	0	0	81
3月	66	31	11	0	1	0	0	0	0	109
4月	89	47	22	3	1	0	0	0	0	162
5月	81	20	6	2	0	0	0	0	0	109
6月	59	34	6	2	1	0	0	0	0	102
7月	82	24	12	3	0	0	0	0	0	121
8月	63	22	8	1	0	0	0	0	0	94
9月	64	21	11	1	0	0	0	0	0	97
10月	73	23	5	1	0	0	0	0	0	102
11月	98	22	11	4	0	0	0	0	0	135
12月	82	46	14	3	0	0	0	0	0	145
計	862	340	113	25	3	0	0	0	0	1343

震度観測点数の変遷は以下の通り。

~ 1995年 4月12日 : 約150点  
 1995年 4月13日 ~ : 約300点  
 1996年10月 1日 ~ : 約600点  
 1997年11月 1日 ~ : 約1,200点  
 1998年 6月15日 ~ : 約1,500点  
 1998年10月15日 ~ : 約2,100点  
 2000年 1月12日 ~ : 約2,480点

2000年 3月28日 ~ : 約2,530点  
 2000年11月30日 ~ : 約2,650点  
 2001年 3月22日 ~ : 約2,700点  
 2001年 5月10日 ~ : 約2,800点  
 2001年 7月19日 ~ : 約2,890点  
 2001年12月12日 ~ : 約3,000点  
 2002年 3月20日 ~ : 約3,250点

2002年 7月29日 ~ : 約3,400点  
 2003年 3月10日 ~ : 約3,440点  
 2004年 5月26日 ~ : 約3,520点  
 2004年11月 1日 ~ : 約3,760点  
 2006年 3月 1日 ~ : 約3,920点  
 2006年 6月20日 ~ : 約4,120点

## 2006 年の日本の主な火山活動

2006 年に噴火が発生した火山は、雌阿寒岳、三宅島、桜島及び諏訪之瀬島であった。また、活動が活発ないしやや活発な状態が見られた火山は十勝岳、樽前山、浅間山、福徳岡ノ場、阿蘇山、霧島山（新燃岳・御鉢）、薩摩硫黄島、口之永良部島であった。

### 【噴火した火山】

**雌阿寒岳** [活発な状況(3月～6月) やや活発な状況(2月、7月～8月) 静穏な状況(1月、9月～12月)]

2月中旬および3月上旬に一時的な地震の多発が見られるなど火山活動がやや活発な状態となった後、3月21日に赤沼火口およびポンマチネシリ北西斜面で小規模な噴火が発生し、雌阿寒岳南東側に降灰をもたらした。その後、地震活動や噴煙活動は消長を繰り返しながら次第に少ない低下し、8月以降は静穏な状況で経過した。

**三宅島** [やや活発な状況]

2月と8月にごく小規模な噴火が発生し、山麓でごく微量な降灰を観測した。山頂火口からの火山ガス放出量は依然として多い状態が続いた。

**桜島** [活発な状況(レベル3)(6月～8月) 比較的静穏な噴火活動(レベル2)(1月～5月、9月～12月)]

6月4日に南岳東斜面の昭和火口から噴火が発生した。南岳山頂以外からの噴火は58年ぶりであった。南岳山頂火口では従来から続いている噴火活動が継続した。

**諏訪之瀬島** [活発な状況(レベル3)]

爆発的噴火や小規模な噴火が時々発生するなど、噴火活動は活発な状態で経過した。

### 【活動が活発もしくはやや活発な状態であった火山】

**十勝岳** [やや活発な状況]

62-2 火口では昨年から火口内温度に低下傾向が見られ、また、2006年1月以降、噴煙活動も低下傾向にあるが、熱活動は依然としてやや活発な状態で経過した。

**樽前山** [やや活発な状況]

A 火口や B 噴気孔群は高温の状態が続き、

熱活動はやや活発な状態で経過した。

**浅間山** [1～9月 やや活発な状況(レベル2) 10月～12月 静穏な状況(レベル1)]  
火山活動はやや活発な状態で経過していたが、7月以降火山性地震及び火山ガス放出量が少なくなり、また、山頂火口の熱活動も低下し、10月以降は静穏な状況で経過した。

**福徳岡ノ場** [やや活発な状況]

火山活動によると見られる変色水が毎月観測された。

**阿蘇山** [やや活発な状況(レベル2)(1月、3月～8月) 静穏な状況(レベル1)(2月、9月～12月)]

中岳第一火口では3月下旬から7月上旬まで熱活動のやや活発な状態が続いた。

**霧島山(新燃岳)** [やや活発な状況(レベル2)(2月～5月、12月) 静穏な状況(レベル1)(1月、6月～11月)]

2月に振幅のやや大きな火山性微動が発生し、12月にも火山性地震が一時的に多発するなど、時々地震活動がやや活発な状態になった。

**霧島山(御鉢)** [やや活発な状況(レベル2)(1月～5月) 静穏な状況(レベル1)(6月～12月)]

噴気活動はやや活発な状態が続いていたが、消長を繰り返しながら低下し、5月以降は静穏な状態で経過した。

**薩摩硫黄島** [やや活発な状況]

噴煙活動はやや活発で火山性地震のやや多い状態で経過した。

**口永良部島** [やや活発な状況]

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態で経過した。また、8月から新岳山頂付近で、山体の膨張を示す地殻変動や熱活動の高まりが観測され、これとほぼ同期して火山性地震及び微動が増加した。

#### 注1 レベル

本資料で示すレベルは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

#### 注2 記号の意味

：噴火した火山      ：活発もしくはやや活発な状況の火山      ：その他記事を掲載した火山  
等の丸付き数字：レベル



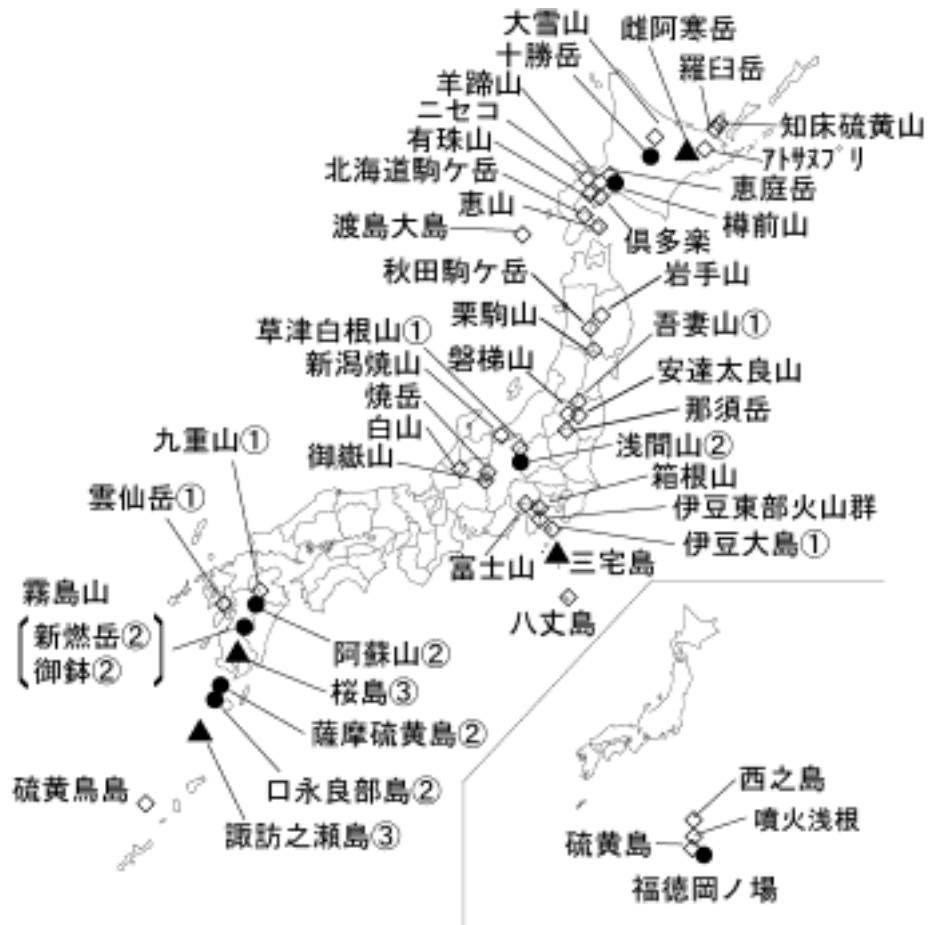


図 1 解説を掲載した火山とその活動状況

各火山の活動を示す記号およびレベルは、2006 年中に最も活発な状況であった時のものである。

資料 1 2006 年に火山活動評価を変更した火山

火 山 名	平成18年(2006年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雌阿寒岳	噴火											
浅間山	噴火											
三宅島	噴火											
阿蘇山	噴火											
雲仙岳	噴火											
霧島山(新燃岳)	噴火											
霧島山(御鉢)	噴火											
桜島	噴火											

(注) 表中で、活動とは火山活動評価を示す。また、記号は以下のとおり

- : 火山活動評価が静穏な状況もしくはレベル 1
- : 火山活動評価がやや活発な状況もしくはレベル 2
- : 火山活動評価が活発な状況もしくはレベル 3
- : 噴火

## 資料 2 2006 年の火山情報発表状況 (月別発表数)

火山名	情報種別	平成18年(2006年)												年計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
雌阿寒岳	臨時			1										1
	観測		2	18	5	6	2		1					34
浅間山	観測	4	4	5	4	4	5	4	4	4				38
三宅島	観測	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	28	362
阿蘇山	観測	3		1					1		1			6
雲仙岳	観測											2		2
霧島山	観測		5			1							2	8
桜島	臨時						1							1
	観測						18	9	3					30
口永良部島	観測			1							1	1		3
諏訪之瀬島	観測		4	2										6

(注)表中の臨時は臨時火山情報、観測は火山観測情報を示す。

## 各火山の活動解説

## 【北海道地方】

## 知床硫黄山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

10月に行った上空からの観測(北海道開発局の協力による)では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

## 羅臼岳 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

10月に行った上空からの観測(北海道開発局の協力による)では、噴気は認められず、火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

## アトサヌプリ [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

7月に行った現地調査及び10月に行った上空からの観測(北海道開発局の協力による)では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

## 雌阿寒岳

[活発な状況(3月~6月) やや活発な状況(2月、7月~8月) 静穏な状況(1月、9月~12月)]

3月21日、山頂赤沼火口と山頂北西側斜面で小規模な噴火が発生し、南東山麓で微量の降灰が観測され、山頂北西側斜面ではごく小規模な泥流が発生した。

3月21日ポンマチネシリ山頂の赤沼火口及び北西側斜面で小規模な噴火が発生した(1998年11月9日の小規模な噴火以来)。噴火当時、噴煙の様子は雲のため確認できなかったが、06時28分頃から振幅の大きな火山性微動が発生しており、赤沼火口における噴火はこの頃に始まったと考えられる。一方、北西側斜面の噴火は、北海道の監視カメラ(山頂火口の西約3.5km)により06時37分頃に始まったことが確認された。噴火に伴う空振は観測されなかった。火山性微動は徐々に振幅が小さくなりながら同日10時30分まで続いた。

3月21日~22日に釧路地方気象台及び北海道大学が行った降灰調査の結果、釧路市の国道240号線の温根内橋付近(雌阿寒岳の南東約10km)や釧路市飽別(同南東約14km)等で微量の降灰が確認された。北海道大学によると採取した火山灰に新しいマグマ物質は認められず、今回の噴火は小規模な水蒸気爆発であったと推定された。

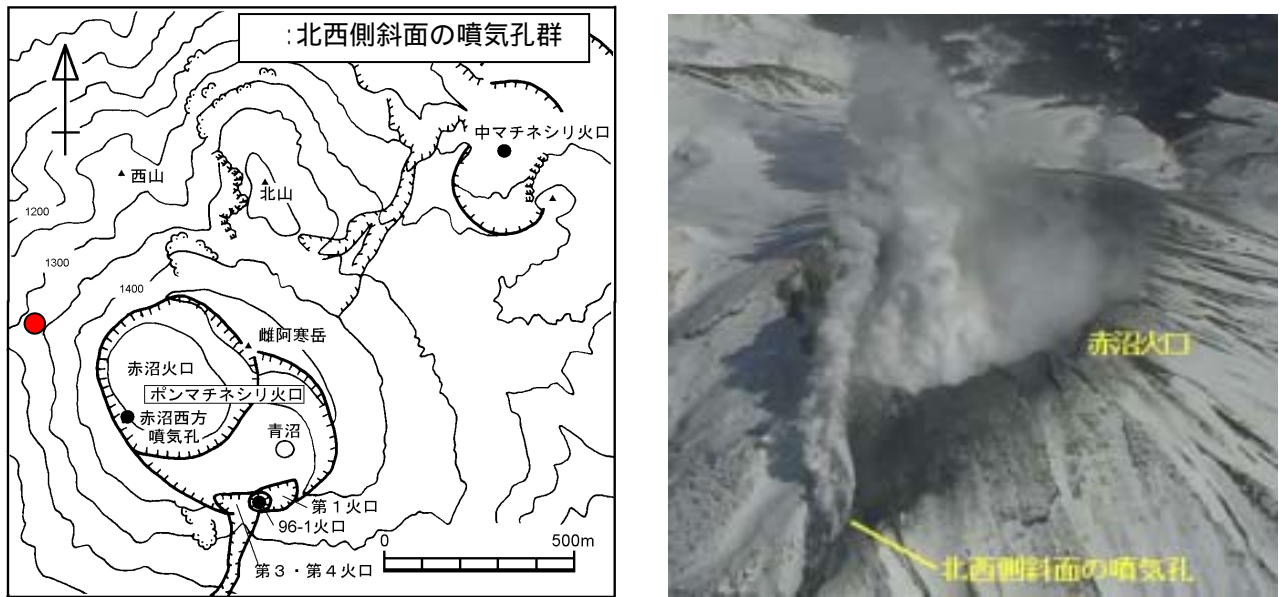


図2 雌阿寒岳 山頂周辺図(左) 噴火翌日の山頂付近の状況(右)(2006年3月22日北海道の協力により北西上空から撮影)。  
赤沼火口及び新たに形成された北西側斜面の噴気孔から活発な噴煙活動が継続しており、白色の噴煙が東へ流れていた。

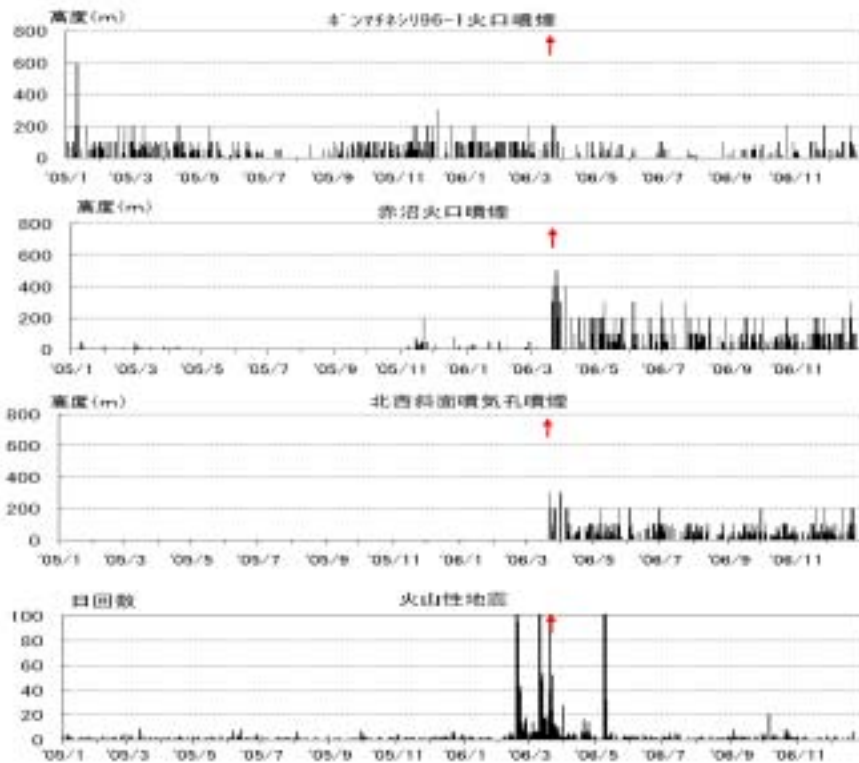


図3 雌阿寒岳 最近2年間の噴煙高度及び地震回数(2005年~2006年)

3月21日に陸上自衛隊の協力により行った上空からの観測では、北西側斜面(標高1,300m付近)に形成された複数の小さな噴気孔(北西斜面06噴気孔列)と2つの沢を流れる幅数m程度のごく小規模な泥流が認められた。翌22日に北海道の協力により行った上空からの観測では、2筋の泥

流のうち一方は標高1,000m付近まで達しているのが認められた(図2)。また、ポンマチネシリ火口周辺では、赤沼火口から南東方向約700~800mの範囲にかけて明瞭な火山灰の痕跡がみられた。赤沼火口には噴煙が充満しており内部を観察することはできなかったが、火山灰の分布状況及

び活発な噴煙活動の状況から、今回の噴火は赤沼火口内におけるものが主体であったと推定された。

4月26日に北海道の協力により行った上空からの観測では、赤沼火口の噴煙活動は噴火直後に比べ低下しているものの、火口底北西部の複数の箇所（赤沼06火口群）から白色の噴煙が比較的強い勢いで噴出していた。また、北西斜面06噴気孔列でも、依然活発な噴気活動を確認した。

5月に札幌管区气象台、北海道大学及び北海道立地質研究所が山頂部において合同で行った噴出物調査では、火山灰は赤沼火口の南東側を主軸として分布し、赤沼火口南東縁の最大層厚が5cm程度、その他ポンマチネシリ火口内で1～2cm程度であった。噴石はポンマチネシリ火口内に長径10cm程度のものが点在し、赤沼火口縁付近では長径20～30cmのものも認められた。これら噴出物の状況から、今回の噴火は1996年の小規模な噴火と同程度かやや小さい規模の噴火であったとみられる。

3月21日の噴火直後から数週間は、赤沼火口や北西側斜面では活発な噴煙活動がみられ、白色の噴煙が火口縁上300～400mで経過した。一方、地震活動は概ね低調に推移し、5月9日に小規模な火山性微動が発生し、翌10日にかけて火山性地震が一時多発したが、それが収まって以降は非常に低調となった。GPSによる地殻変動観測では、5月下旬に山体東側に増設した観測点によるデータを含め、特段の変化は観測されなかった。

5月以降は赤沼火口及び北西側斜面の噴煙活動に低下傾向が認められ、白色噴煙が火口縁上100～200mで経過するなど、火山活動は低下して、やや活発な状態となった。その後も噴煙活動は全体として低下傾向をたどり、また地震活動は低調でその他の観測データにも特段の変化はなく、8月以降火山活動は静穏な状況で推移した（図3）。なお、ポンマチネシリ96-1火口及び中マチネシリ火口の噴煙活動は、2月の地震活動活発化以降、赤沼火口及び北西側斜面での噴火から火山活動低下の一連の火山活動の間で特に変化はなく、噴煙高度は100～200mで推移した。

ポンマチネシリ山頂部で行ったGPS観測では、今回の噴火の前に山頂部が膨張し、噴火後はそれが収縮していることを示すと考えられる変化が観測された。また、ポンマチネシリ山頂部で行った地磁気全磁力観測では、96-1火口付近の地下の温度低下を示す長期的な変化が継続しており、2005年頃よりその変化量がやや小さくなっていることが確認された。

2月18日～20日に振幅の小さな火山性地震が多発し、その後もやや多い状態が続き、3月11日～12日に再び多発した。振幅の小さい火山性微動も2月の地震多発以降5回観測された。

これらの地震多発及び火山性微動の発生に伴い、噴煙活動等その他の観測データに特段の変化はみられなかった。

だいせつざん

### 大雪山 [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

10月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

とくちだけ

### 十勝岳 [やや活発な状況]

**1月以降、62-2火口の噴煙や温度に低下傾向が認められるものの、熱活動は依然として活発な状態が続き、火山活動はやや活発な状態で経過した。**

6月及び9月に行った現地調査では、62-2火口の温度は依然高い状態にあるものの、2005年に比べて低下傾向がみられた。また、2006年1月以降、噴煙活動にも低下傾向がみられており、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。

2月に62-2火口周辺が発生源と推定される火山性微動が観測されたが、微動の発生前後でその他の観測データに特段の変化はなく、その後の調査で火口付近に降灰は認められなかった。火山性地震は少ない状態で経過し、火山活動によるとみられる地殻変動はなかった。

なるまきざん

### 樽前山 [やや活発な状況]

**A火口やB噴気孔群では高温の状態が続き、火山活動はやや活発な状態で経過した。**

6月から10月にかけて毎月行った現地調査では、山頂溶岩ドーム周辺のA火口やB噴気孔群で500前後の高温状態が続いていた。6月及び7月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）でも、同様の状況が確認された。

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。各火口の噴煙活動に特に変化はみられず、噴煙高度は火口縁上概ね100m以下で推移した。火山活動によるとみられる地殻変動はなかった。

以上のように、火山活動はやや活発な状況で経過した。

えにわだけ

### 恵庭岳 [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

6月及び7月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂東側の爆裂火口内で従来から見られていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動は静穏な状況であった。

くつたら

### 倶多楽 [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

倶多楽付近を震源とする地震は少ない状態で経過し、地震活動は静穏な状態で経過した。

6 月及び 7 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、日和山、地獄谷、大湯沼及び奥湯沼の噴気や火口の状況に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 有珠山 うすざん 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。噴煙活動は低調な状態で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

9 月に行った現地調査、1 月に第一管区海上保安本部が、また、6 月及び 7 月に気象台が行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、各火口の状況に特段の変化はなかった。

#### 羊蹄山 ようていざん 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

7 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気や地熱域はみられず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### ニセコ にせこ 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

7 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気は認められず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### 北海道駒ヶ岳 ほっかいどうこまがたけ 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

GPS による地殻変動観測ではわずかな山体膨張が引き続き観測されている。また、昭和 4 年火口からは弱い噴気が観測された。火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。

5 月及び 10 月に行った現地調査、並びに 6 月及び 7 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、昭和 4 年火口の状況等に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 恵山 えざん 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。

11 月に行った現地調査、並びに 3 月に第一管区海上保安本部が、6 月及び 10 月に気象台が行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気や地熱域はみられず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

る）では、山頂溶岩ドームの西側にある爆裂火口の噴気の状況等に変化はなかった。

#### 渡島大島 おしまおおしま 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

5 月及び 11 月に第一管区海上保安本部が、10 月に気象台が行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気は認められず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状態であった。

#### 岩手山 いわてざん 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。黒倉山山頂付近の噴気は少ない状態で経過し、噴煙高度は火口縁上 50～80m で経過した。

10 月に行った現地調査及び 12 月に行った上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）でも、噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなかった。

#### 秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。

9 月に行った現地調査では、女岳山頂周辺の噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなかった。

#### 栗駒山 くりこまやま 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

栗駒山周辺を震源とする地震は少ない状態で経過し、地震活動は静穏な状態で経過した。

10 月に行った現地調査では、噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなかった。

#### 吾妻山 あづまやま 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

7 月頃から火山性地震が増加し、増減を繰り返しながらやや多い状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

大穴火口の噴気は少なく、噴気活動は静穏な状態で経過した。また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

#### 安達太良山 あだたらやま 【静穏な状況】

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。沼の平付近の噴気は少ない状態で経過し、また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

6月に行った現地調査でも、沼ノ平付近の噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなかった。

### 磐梯山 ばんだいきん [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

8月に火山性地震が一時的に多発したが、その他の期間は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。北側の火口壁周辺の噴気は少ない状態で経過し、また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

5月、6月及び10月に行った現地調査でも、噴気、地熱の状況に特段の変化はなかった。

## 【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

### 那須岳 なすだけ [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。

茶臼岳付近の噴煙は少ない状態で経過し、噴煙高度は火口縁上おおむね100mで経過した。また、10月に行った現地観測では、噴気地帯の状況に特段の変化はなかった。

火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

### 草津白根山 くさつしらねさん [静穏な状況（レベル1）]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏な状態で経過した。

6月及び10月に行った現地調査では、湯釜火口及び周辺で従来から認められている弱い噴気が観測された程度で噴気温度や高温領域に特段の変化はなく、熱活動に特段の変化はなかった。9月に行った地磁気全磁力繰り返し観測では、引き続き湯釜火口付近の地下の温度低下を示す変化が認められた。

GPS連続観測では火山活動によるとみられる変化はなかった。

### 浅間山 あさまやま [1～9月 やや活発な状況（レベル2） 10月～12月 静穏な状況（レベル1）]

やや活発な状態で経過していたが、7月以降、火山性地震や火山性微動、火山ガス放出量の低下が認められ、火山活動が静穏な状態となったことから、9月22日に火山活動度レベルを2から1に引き下げた。

1月下旬から2月上旬にかけて、2005年後半に比べ火口内の熱活動や地震活動がやや活発な状態となり、微弱な火映が時々観測され、火山ガ

ス放出量が、二酸化硫黄の放出量が一日あたり1000～3000tとやや多く、また、火山性地震や火山性微動もやや多い状態で経過した（図4）。

5月にも微弱な火映は観測されたものの、3月以降、火山ガス放出量が一日あたり300～1,000tと次第に減少し、8月に行った上空からの観測（群馬県の協力による）および9月に行った現地調査でも、2005年8月や2006年4月に比べて火口内の温度の低下や高温領域の縮小が認められる<sup>1)</sup>（図5）など、火口内の熱活動は次第に低下した。また、7月以降、火山性地震や火山性微動が減少するなど、火山活動は次第に静穏な状況となった。10月以降も、火山ガス放出量は一日あたり50～200tとやや少なく、火山性地震及び火山性微動も少ない状態で経過した。

噴煙活動はやや活発な状態が続き、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。

山体周辺のGPS観測にはマグマの注入を示す変化は認められなかった。また、傾斜計や光波測距観測でも、火山活動によると見られる変化は観測されなかった。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

### 新潟焼山 にいがたやけやま [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

新潟焼山付近を震源とする地震は少なく、地震活動は静穏に経過した。

山麓からの観測および新潟県土木部砂防課の焼山温泉観測局監視カメラでは、山頂部の弱い噴気が時々認められる程度で、噴煙活動は静穏に経過した。

### 御嶽山 おんたけさん [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

12月中旬から御嶽山山体付近を震源とする火山性地震が増加し、29日以降一時的に多発した。火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。

噴煙や、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

### 白山 はくさん [静穏な状況]

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。

国土交通省金沢河川国道事務所の監視カメラでは噴気は観測されなかった。

富士山 [静穏な状況]  
火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。

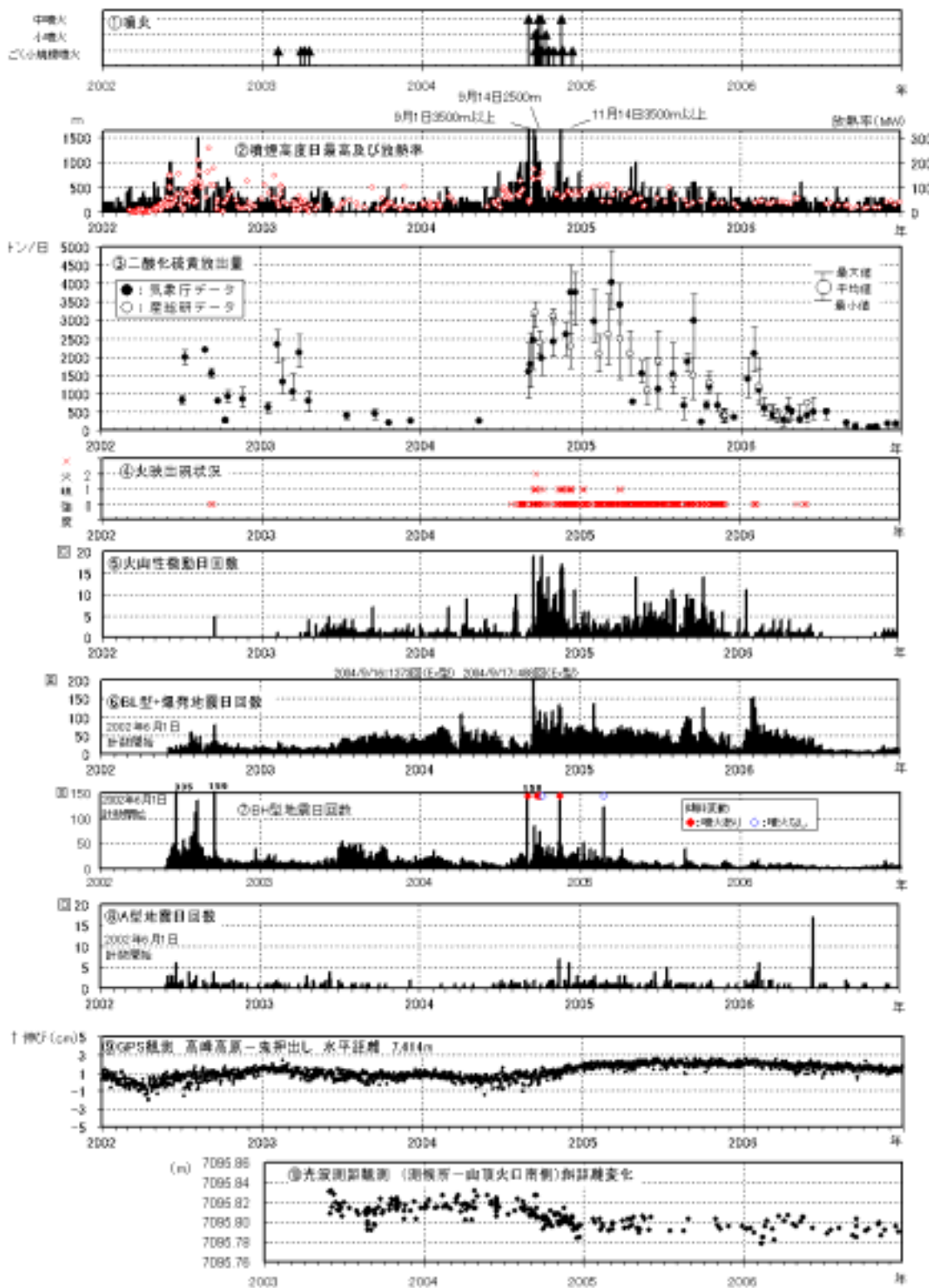


図4 浅間山 最近の火山活動の推移（2002年1月～2006年12月）  
地震の種類別（図5参照）に計数を開始した2002年6月1日からのデータを掲載。

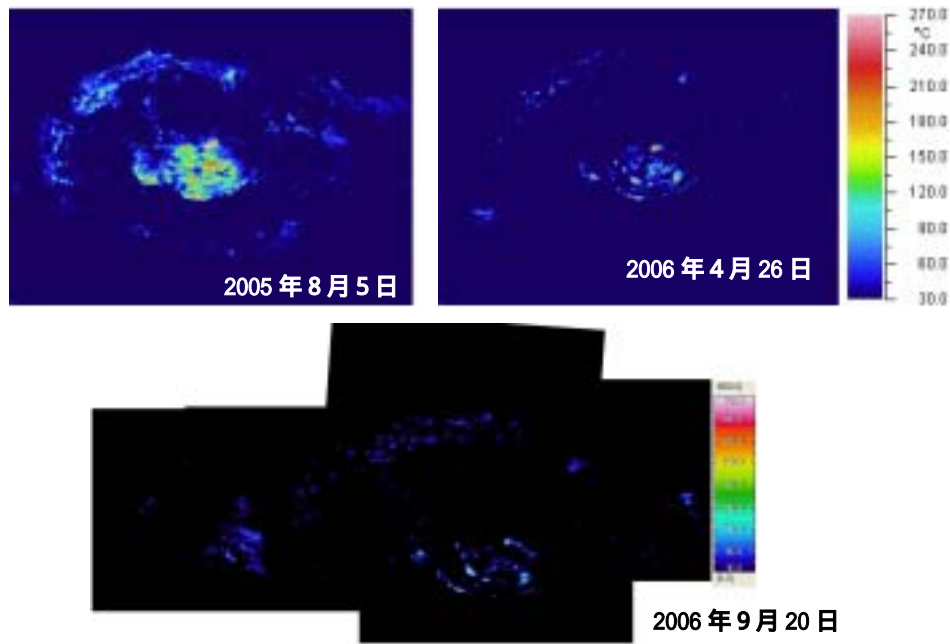


図5 浅間山 赤外熱映像装置<sup>2)</sup>による火口内の温度分布（火口南西縁から撮影）

箱根山 [静穏な状況]

9月から11月にかけて時々地震が多発したが、火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

9月下旬、10月上旬及び11月中旬に、駒ヶ岳付近の浅いところを震源とする地震が一時的に多発した。また、10月上旬から中旬にかけて、大湧谷付近の浅いところを震源とする地震が多発した。これらの地震に伴って、現地では時々身体に感じる揺れを観測した模様である。

地震の多発に際して、神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計<sup>2)</sup>や気象庁が設置している体積歪計<sup>3)</sup>には特段の変化は観測されなかった。また、9月および10月に神奈川県温泉地学研究所および気象庁が行った現地調査では、大湧谷や駒ヶ岳周辺の噴気や地熱地帯の状況に特段の変化はなかった。なお、国土地理院のGPS観測では、8月から11月にかけて山体の膨張を示す緩やかな変化が観測された。

箱根山周辺では2001年6月から12月にかけて、駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動があり、その後も年に1回程度の割合で一時的な地震の多発が繰り返されているが、火山活動に特段の変化は見られていない。

- 2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがある。
- 3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがある。

伊豆東部火山群 [静穏な状況]

1月から4月にかけてと11月に時々地震が多発したが、火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

1月下旬、3月下旬、4月中旬～5月上旬および11月上旬に、川奈崎沖の深さ5～10kmを震源とする地震が多発した。また、2月下旬には伊東市付近の深さ5～10kmを震源とする地震が多発した。このうち、4月中旬～5月上旬の活動が最も地震回数が多く、最大地震はマグニチュード<sup>4)</sup>5.8であった。これらの地震の多発に伴って、気象庁の体積歪計<sup>3)</sup>や防災科学技術研究所の傾斜計<sup>2)</sup>にマグマの注入を示すごくわずかな変化が観測された。また、国土地理院のGPS観測では、さらに地下深部でのマグマの注入に伴うと推定される緩やかな変化が観測された。地震多発時に、しかし、浅部へのマグマ上昇の際にみられる低周波地震や火山性微動は観測されなかった。

この地域ではこれまでもしばしばマグマの注入とそれに伴う地震の多発が繰り返されているが、2006年の活動は比較的規模の小さいものであった。

- 4) マグニチュードは地震の規模を表す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。

伊豆大島 [静穏な状況(レベル1)]

7月、11月及び12月に一時的な地震の増加が



## あったが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

三原山周辺の浅いところを震源とする地震は少ない状態で経過した。1月上旬および6月上旬に島の西方沖海域の深さ2～6kmを震源とする地震が一時的に多発した。これらの一時的な地震増加の際には、他の観測データには特段の変化はみられなかった。島の西～北西沖ではこれまでにしばしば一時的な地震増加がみられている。また、また、2月上旬には島東部の深さ2～3kmを震源とする地震が一時的に多発した。島東部で地震の多発が見られたのは2004年7月以来であった。火山性微動は観測されなかった。

GPS および光波距離計<sup>5)</sup>による連続観測では、山頂カルデラを挟む基線で山体の膨張を示すわずかな伸びの傾向が続いている。一方、島の北西側の基線では、2000年頃から長期的な伸びの傾向が停滞している。

従来から見られている剣ガ峰付近の弱い噴気がしばしば観測されたほか、三原山山頂火口及び三原新山付近の噴気が11月以降時々観測された程度で噴煙活動は静穏に経過した。

3月に海上保安庁が行った上空からの観測や、3月から12月まで毎月行った現地調査では、三原山火口底及び火口周辺の熱的な状況に特段の変化はなかった。

5) 光波距離計を用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定し、山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。

### 三宅島 [やや活発な状況]

2月と8月にごく小規模な噴火が発生した。また、依然として多量の火山ガス放出が続くなど、火山活動はやや活発な状態で経過した。

2月17日と8月23日にごく小規模な噴火が発生した。いずれの噴火も空振を伴う低周波地震<sup>6)</sup>の発生に伴って有色噴煙が確認され、噴火後の現地調査により、ごく微量の降灰があったことが確認された。噴火に伴って一時的に火山性地震の多発が見られたが、噴火前後で火山活動に特段の変化は見られなかった。

山頂火口からは多量の火山ガス放出が続き、二酸化硫黄放出量は前半には一日あたり1000～3000tで推移した。また、三宅村が設置した火山ガス検出器でも高濃度の二酸化硫黄がたびたび観測されている(図6)。

噴煙活動は活発な状態で、噴煙高度は火口縁上300mで推移した。また、1月、2月、4月、6月、7月、11月および12月に行った上空からの観測(海上保安庁、東京消防庁、海上自衛隊及び航空自衛隊の協力による)および9月に行った現地調査では、火口内の地形等に特段の変化は無く、また、火口内は依然として高温の状態が続いた。地磁気全磁力観測でも山体内部の熱の状態に特段の変化は無かった。

火山性地震は増減を繰り返しながら概ねやや多い状態で経過した。発生した地震のほとんどは山頂直下の海面下3km付近を震源とするやや低周波地震であった。また、空振を伴う低周波地震<sup>6)</sup>が時々観測されたが、噴火が発生した2月17日および8月23日以外は、地震発生時の噴煙の状況に特段の変化は無く、またその後の現地調査でも降灰は確認されなかった。

GPS 連続観測では山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながらも継続した。

6) 三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した時に山頂火口から火山灰噴出を伴うことがある。

### 八丈島 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

八丈島付近に発生する火山性地震は少なく、地震活動は静穏に経過した。

### 西之島 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

3月に海上保安庁が上空から行った観測によると、噴気等は確認されなかった。また、島の西岸及び東岸に黄緑色の変色水が確認されたが、火山活動の高まりを示すものではないと考えられる。

### 噴火浅根 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

3月に海上保安庁が上空から行った観測によると、付近の海面に火山活動によると見られる少量のガス(泡)が噴出しているのが確認されたが、火山活動の高まりを示すものではないと考えられる。

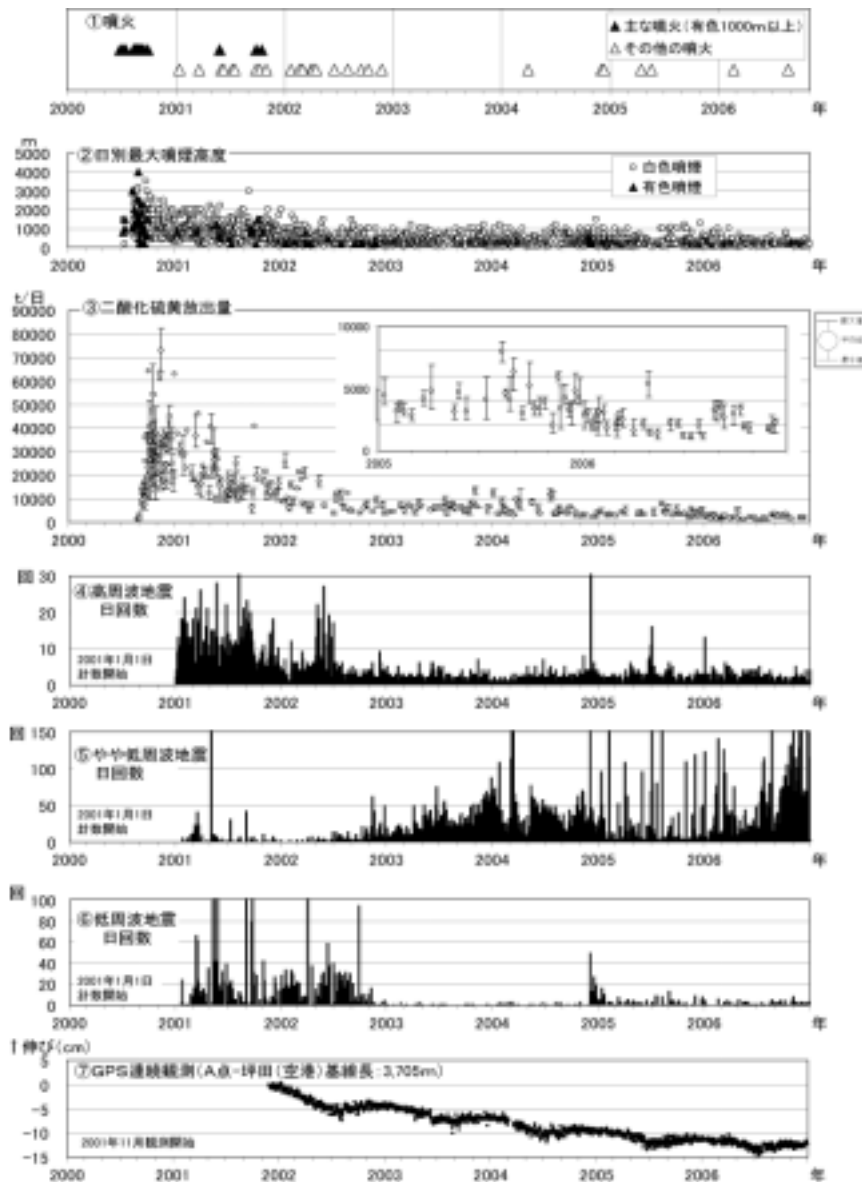


図6 三宅島 最近の火山活動の推移（2000年1月～2006年12月）

いおうしま

**硫黄島** 【静穏な状況】

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

3月に海上保安庁が上空から行った観測によると、島の北東部、日の出浜の離岩温泉跡付近から少量の噴気が確認された。また、島の周囲全域でうすい緑色から黄緑色の変色水が確認された。

国土地理院のGPS連続観測では、それまで収縮傾向にあった島の中心部である元山が8月頃から隆起に転じ、その後、11月および12月には大きな隆起が観測された。また、これとほぼ同期して防災科学技術研究所による地震観測でも島内の地震活動が次第に活発化する傾向が観測された。12月に行った現地調査では噴気や地熱地帯

の状況など表面現象に特段の変化はなかった。

ふくとくおかのば

**福徳岡ノ場** 【やや活発な状況】

期間を通して火山活動によると見られる変色水が確認され、火山活動はやや活発な状態で経過した。

第三管区海上保安本部及び海上自衛隊が行った上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近で火山活動によると考えられる変色水が毎月確認された。

福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が確認されており、2005年7月2～3日には小規模な海底噴火が発生している。

## 【九州地方、南西諸島】

### 九重山<sup>くじゅうざん</sup> [静穏な状況（レベル1）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。噴煙は少ない状態が続いている。また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

11 月に行った現地調査では、噴気や火口の状況に特段の変化はなかった。

### 阿蘇山<sup>あそざん</sup> [やや活発な状況（レベル2）（1月、3月～8月） 静穏な状況（レベル1）（2月、9月～12月）]

中岳第一火口では3月下旬から7月上旬まで熱活動のやや活発な状態が続いた。

中岳第一火口では、3月から7月にかけて湯だまり<sup>7)</sup>の表面温度が70<sup>1)</sup>以上となり、また湯だまり量も減少するなど、熱活動がやや活発になった。湯だまり量の減少に対応して、火口内でごく小規模な土砂噴出が観測された。6月下旬以降、降雨の影響で湯だまりの表面温度が60<sup>1)</sup>以下と低くなり、また湯だまりの量も増加するなど、熱活動は次第に静穏な状態となった。

孤立型微動は5月まではやや多い状態で経過したが、6月以降は減少し、やや少ない状態となった。また、火山性地震もやや少なく、地震活動は静穏な状態で経過した。

噴煙は少ない状態が続き、噴煙活動は静穏に経過した。地磁気全磁力には特段の変化はなかった。また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

なお、従来から噴気が認められていた南阿蘇村吉岡の噴気地帯では、10月に噴気が一時的に強まり、10月15～16日と21日に少量の泥などを噴出した。噴気活動はその後もやや活発な状態が続いた。

7)湯だまり：活動静穏期中岳第一火口内には、地下水などを起源とする約50～60の緑色のお湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少がみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られている。

### 雲仙岳<sup>うんぜんだけ</sup> [静穏な状況（レベル1）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

火山性地震は少ない状態で、火山性微動は観測されず、地震活動は静穏に経過した。溶岩ドーム周辺の噴煙は少ない状態が続いている。また、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

9月及び10月に行った現地調査でも噴気や溶岩ドームの状況に特段の変化はなかった。

なお、11月6日夜、平成新山南側中腹で赤く発光しているところがあるとの通報があった。11月7日に行った上空からの観測（九州地方整備局の協力による）及び8日に行った現地調査では、発光が見られるとされた場所で、火山ガスの噴出など火山活動による現象は認められなかった。

### 霧島山（新燃岳）<sup>きりしまやま しんもろだけ</sup> [やや活発な状況（レベル2）（2月～5月、12月） 静穏な状況（レベル1）（1月、6月～11月）]

2月に振幅のやや大きな火山性微動が発生し、12月にも火山性地震が一時的に多発するなど、時々地震活動がやや活発な状態になった。

2月1日に継続時間のやや長く振幅のやや大きな火山性微動を観測した。微動発生時の噴気の状態等に特段の変化はなかった。2月は火山性微動のやや多い状態となったが、3月以降は観測されなかった。火山性地震は1月中旬から4月にかけて消長を繰り返しながらやや多い状態で経過した。また、12月3日に一時的に多発した。

10月及び12月に行った現地調査では、火口内に従来から見られていた弱い噴気が確認された程度で、噴気や火口内の状況に特段の変化はなかった。また、地磁気全磁力にも特段の変化はなかった。

火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

### 霧島山（御鉢）<sup>きりしまやま みはち</sup> [やや活発な状況（レベル2）（1月～5月） 静穏な状況（レベル1）（6月～12月）]

噴気活動はやや活発な状態が続いていたが、消長を繰り返しながら低下し、5月以降は静穏な状態で経過した。

御鉢火口内の噴気活動は、3月まで遠望カメラ（御鉢火口の南西約5kmに設置）によりしばしば火口縁を越える噴気が観測されるなどやや活発な状態であったが、4月以降は次第に弱くなった。10月に行った現地調査では、新たな噴気や高温領域の拡大はなく、火口内の熱活動は静穏な状態で経過した。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は6月まで時折観測されたが、いずれも振幅のやや小さなものであった。

火山活動によるとみられる地殻変動は観測されなかった。

### 若尊<sup>わかみこ</sup> [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。

3月28日に地震が一時的に多発した。震源は浅く、最大の地震はマグニチュード<sup>4)</sup>1.9であったが、変色水等火山活動について特段の変化は報

告されなかった。その他の期間は、若尊付近を震源とする地震は少ない状態で地震活動は静穏に経過した。

若尊は、桜島の北東沖、鹿児島湾の奥にある海底カルデラである。カルデラ底では噴気活動が活発で、海面に泡が湧出する現象「たぎり」が観察されることがある。この付近ではこれまでも時々地震の増加が見られている。

**桜島** 【活発な状況（レベル3）（6月～8月）  
比較的静穏な噴火活動（レベル2）（1月～5月、9月～12月）】

**6月4日に昭和火口で噴火が発生するなど、火山活動が活発な状態となった。南岳山頂火口では従来から発生している爆発的噴火が時々発生した。**

桜島では長期的には爆発的噴火や火山性地震の少ない状態が続いている（図7）。

6月4日に、これまで噴火していた南岳山頂火口とは異なり、南岳東斜面にある昭和火口<sup>8)</sup>で噴火が始まった（図8）。山頂火口以外で噴火が発生したのは1948年以来であった。噴火は次第に活発化し、爆発的噴火は発生しなかったが、噴煙高度が火口縁上1000m程度まで上がる噴火を繰り返すなど、6月21日まで活発な噴火活動が続いた。6月に行った上空からの観測（九州地方整備局や鹿児島県の協力による）および現地調査では、噴火後、昭和火口の火口が拡大し、直径約100mの本格的な火口が形成され、周囲には火山噴出物が堆積しているのが確認された（図9）。また、昭和火口付近では周辺に比べて高温領域<sup>1)</sup>が認められた（図10）。7月以降、昭和火口からは弱い噴気が時折観測された。

南岳山頂火口では爆発的噴火が時々あったほか、小規模な噴火も発生した。10月21日21時39分に発生した爆発的噴火では、噴煙高度が火口縁上2000mに達したほか、噴石が6合目まで飛散した。

山頂火口直下の浅いところを震源とする火山性地震（B型地震<sup>9)</sup>）が3月頃から、また、火山性微動が5月頃から増加するなどやや多い状態で経過した。9月頃から、振幅のやや大きな火山性地震および火山性微動が増加し、また、火山性微動の継続時間も長くなる傾向が認められた。なお、地下深部のマグマの貫入を示すと考えられる火山性地震（A型地震<sup>9)</sup>）は少ない状態が続いた（図11）。

GPSによる地殻変動観測では、長期的な始良カルデラ深部にあるマグマ溜まりの膨張によるとみられる東西方向のわずかな伸びが続いているが、桜島直下へ大量にマグマの移動を示す変動は観測されなかった。

- 8) 昭和火口: 昭和14年10月26日に南岳東側斜面( 海拔750m 付近 ) から小規模噴火が発生し、同月29日には小規模な火砕流も発生した。噴火はその後もしばしば繰り返され、昭和21年1月以降活発化して3月には南岳東側斜面( 海拔800m 付近 ) から溶岩を流出した。最後の噴火は昭和23年7月27日の小規模噴火。
- 9) 桜島で発生する火山性地震には、マグマの貫入に伴う火道周辺の岩盤破壊によって発生する、高周波でP・S波が明瞭なA型地震や、マグマが火道を上昇するときの柔らかい部分の破壊やマグマの発泡現象によって発生する、低周波のB型地震などがある。

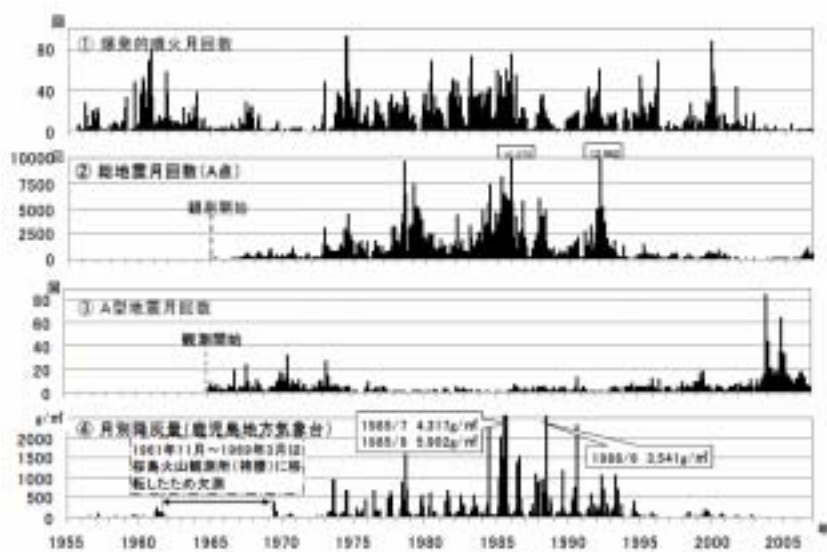


図7 桜島 長期的な火山活動の状況（1955年1月～2006年12月）



図 8 桜島 昭和火口での噴火の状況  
左：6月14日12時13分頃、右6月16日12時19分頃 黒神河原から撮影  
昭和火口ではごく小規模な噴火活動が断続的に発生していた。

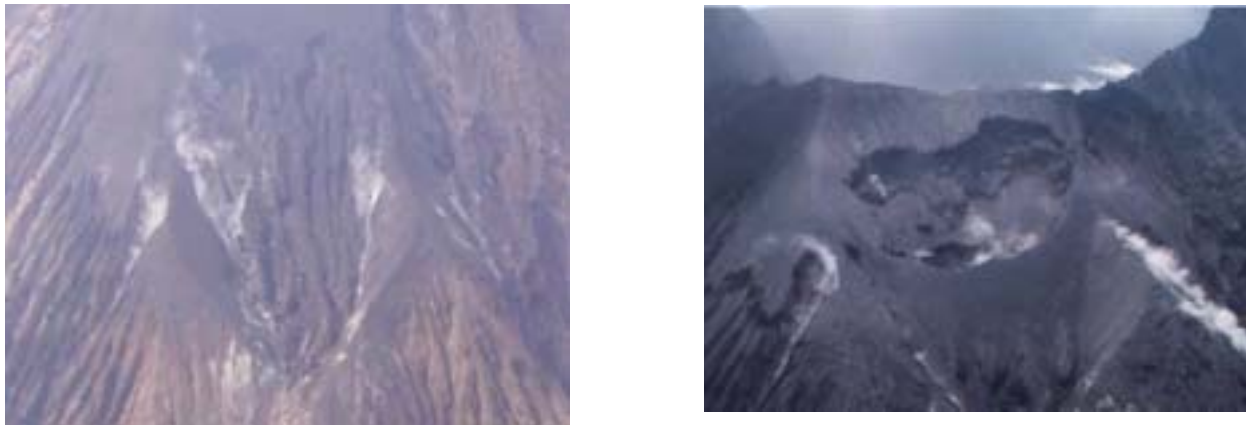


図 9 桜島 昭和火口の状況  
左 3月3日 海上保安庁の協力により東上空から撮影  
右 6月19日 鹿児島県の協力により東上空から撮影  
6月4日の噴火後、昭和火口では直径50～80mの本格的な火口が形成された。

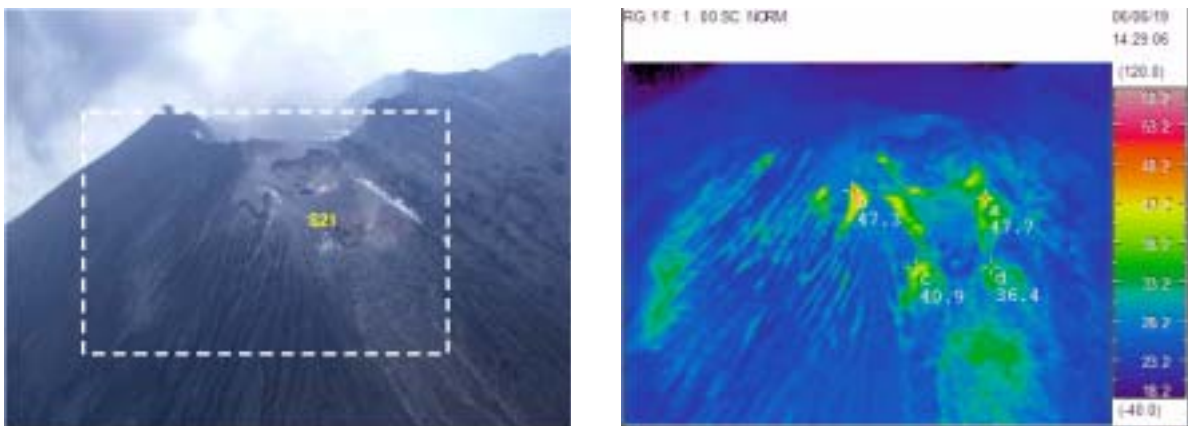


図 10 桜島 昭和火口付近の熱分布  
6月19日 鹿児島県の協力により東上空から赤外熱映像装置<sup>1)</sup>により観測  
昭和火口付近には周囲よりも高温の領域が認められる。

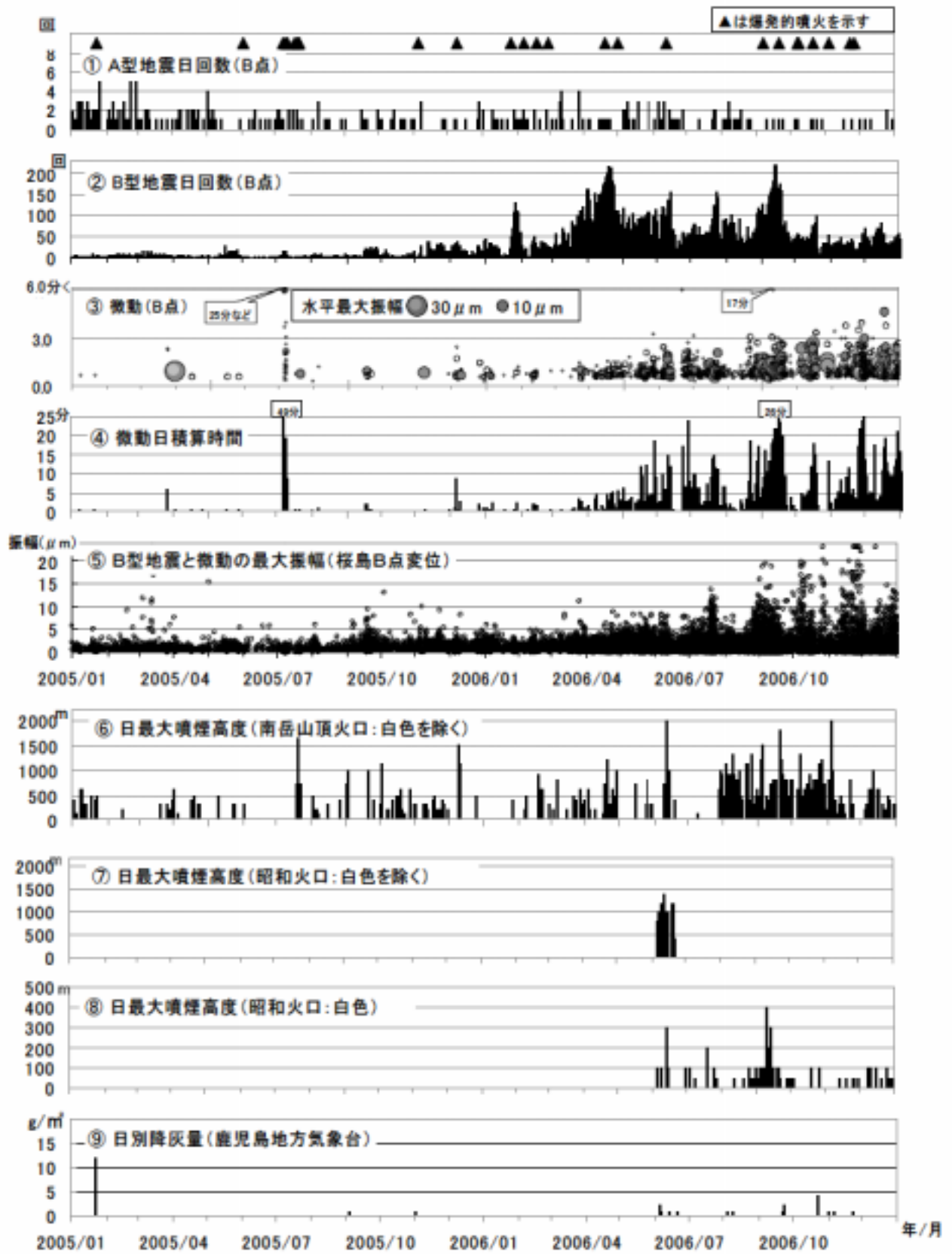


図 11 桜島 最近 2 年間の火山活動経過図（2005 年 1 月～2006 年 12 月）

さつまいおうじま

**薩摩硫黄島 [やや活発な状況(レベル2)]**

噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続き、火山活動はやや活発な状況で経過した。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続き、噴煙高度は火口縁上 400～600mで推移した。

火山性地震はやや多い状態で経過した。火山性微動が時々観測されたが、いずれも継続時間が短く振幅の小さいものであった。

くちのえらぶじま

**口永良部島 [やや活発な状況(レベル2)]**

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。夏以降、新岳火口付近の膨張や熱的な高まりがみられた。

2005年7月以降、火山性地震はやや多い状態が続いており、9月頃からさらに増加する傾向が認められた。また、火山性微動は3月に振幅のやや大きなものが観測されたほか、10月以降、回数がやや多い状態となった(図12)。

京都大学防災研究所附属火山活動研究センタ

ーおよび産業技術総合研究所のGPSによる地殻変動観測では、8月頃から新岳火口付近の膨張を示す変化が観測された。また、11月に行った稠密な地殻変動観測でも新岳火口周辺が膨張する変化を観測した。

10月および11月に行った現地調査、並びに10月、11月に行った上空からの観測(鹿児島県、第十管区海上保安本部および海上自衛隊の協力による)では、新岳火口周辺で3月に比べ高温領域<sup>1)</sup>の拡大が見られるなど、熱活動の高まりが認められた。また、12月に行った上空からの観測(海上自衛隊の協力による)では10月に比べて、新岳火口の南西側斜面で若干の温度の上昇が認められた。また、5月及び8月に行った全磁力の繰り返し観測では、新岳火口周辺の温度上昇に伴うとみられる変化が認められた。遠望カメラ(火口から南西約3kmに設置)による観測では、新岳付近で高さ10m程度の噴気が時々観測される程度で、噴気活動に特段の変化はなかった。

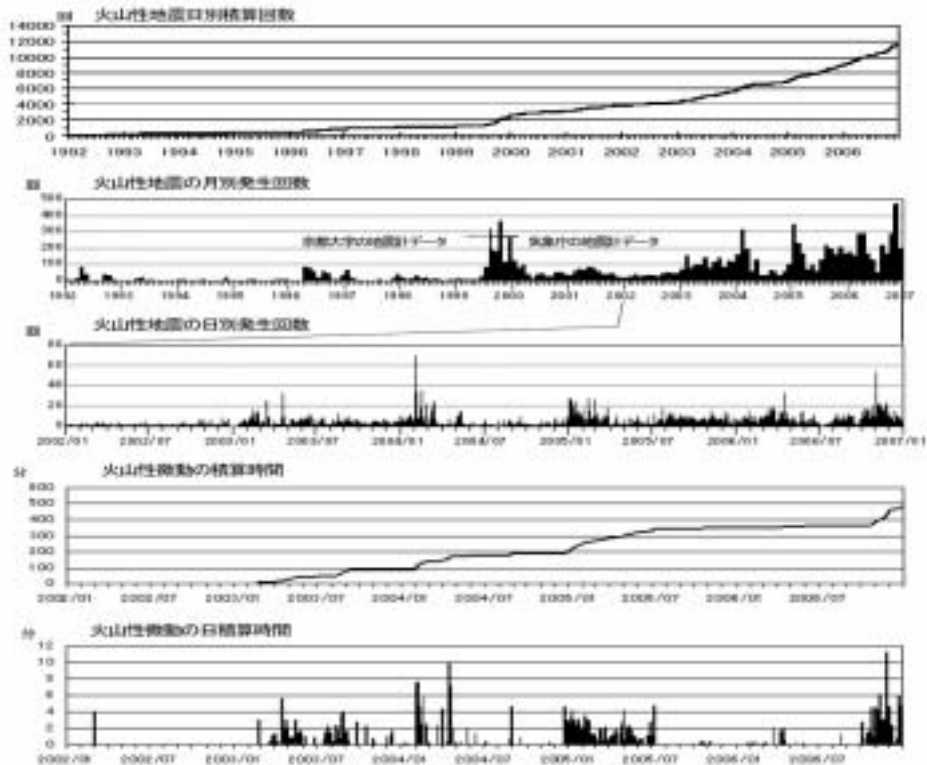


図 12 口永良部島 火山性地震及び火山性微動の発生状況

すねのせじま

**諏訪之瀬島 [活発な状況(レベル3)]**

噴火や爆発的噴火を繰り返し、年間を通して火山活動はやや活発な状態が続いた。

爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火が発生するなど、噴火活動は活発な状態で経過し

た。特に2月6日から9日にかけてと3月3日および5日から7日には爆発的噴火が多発した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、期間を通じて時々集落(御岳の南南西約4km)で降灰があったほか、2月には鳴動<sup>10)</sup>が確認された。

噴火活動に伴い、火山性連続微動がしばしば観

測された。また、噴火活動の活発化に伴い、2月  
から3月にかけては火山性地震が多発し、4月以  
降も火山性地震及び火山性微動は増減を繰り返  
しながら多い状態で経過した。

12月に行った上空からの観測（海上自衛隊の  
協力による）では、御岳火口の状況に特段の変化  
はなかった。

- 10)火口またはその付近に音源を持つ連続的な音響で、  
特に火山活動に関連して起きるもの。時には震動を  
伴うこともある。

いおうとりしま

#### **硫黄島 [ 静穏な状況 ]**

**火山活動に特段の変化はなく静穏に経過した。**

1月～4月、6月、7月、9月に行った観測（海

上保安庁、海上自衛隊、東京大学地震研究所、気  
象研究所および長崎海洋気象台による）では、硫  
黄岳火口及びグスク火山火口で従来から見られ  
ていた弱い噴気が確認された程度で、火山活動の  
活発化を示す様子はみられなかった。

3月、4月および12月には沖永良部測候所（硫  
黄島の南東約65km）において、かすかに感じ  
る程度の臭気を一時的に確認した。当時の気象条  
件から判断し、硫黄島の噴気に含まれる火山ガ  
スによるものと考えられる。沖永良部島では、こ  
れまでも同様な臭気が年に1～2回程度の頻  
度で確認されている。



## 資料 3 全国の火山活動評価結果

最近の活動経過は、火山活動度レベル導入火山（ ）についてはレベル導入以降の、その他の火山（ ）については第 101 回火山噴火予知連絡会（平成 17 年 6 月 21 日開催）以降で最初に評価を明記した火山噴火予知連絡会開催日からの活動経過を示している。

	火山名	火山活動評価	
		12月31日現在	最近の活動経過
北海道地方	雌阿寒岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 18 年 2 月 18 日 やや活発 3 月 21 日 【噴火】活発 6 月 12 日 やや活発 8 月 25 日 静穏
	十勝岳	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	樽前山	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	倶多楽	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	有珠山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	北海道駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	恵山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
東北地方	岩手山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	秋田駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	吾妻山	静穏な状況	
	安達太良山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	磐梯山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
関東・中部地方及び伊豆小笠原諸島	那須岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	草津白根山	静穏な状況（レベル 1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル 1）
	浅間山	静穏な状況（レベル 1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル 2） 平成 16 年 7 月 20 日 静穏（レベル 1） 7 月 31 日 やや活発（レベル 2） 9 月 1 日 【噴火】活発（レベル 3） 平成 17 年 6 月 21 日 やや活発（レベル 2） 平成 18 年 9 月 22 日 静穏（レベル 1）
	新潟焼山	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	焼岳	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	御嶽山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	白山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
	富士山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	箱根山	静穏な状況	平成 18 年 11 月 14 日 静穏
	伊豆東部火山群	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	伊豆大島	静穏な状況（レベル 1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル 1）
	三宅島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	八丈島	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	福徳岡ノ場	やや活発な状況	平成 17 年 11 月 2 日 やや活発

	火山名	火山活動評価	
		現在	最近の活動経過
九州地方・南西諸島	九重山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	阿蘇山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 1 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 2 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 17 年 4 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 5 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 1 月 20 日 静穏（レベル1） 3 月 24 日 やや活発（レベル2） 8 月 4 日 静穏（レベル1）
	雲仙岳	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	霧島山 （新燃岳）	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 5 月 22 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 12 月 3 日 やや活発（レベル2）
	（御鉢）	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 5 月 22 日 静穏（レベル1）
	桜島	比較的静穏な噴火活動 （レベル2）	平成 15 年 11 月 4 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2） 平成 18 年 6 月 12 日 【昭和火口から噴火】 活発（レベル3） 8 月 18 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2）
	薩摩硫黄島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	口永良部島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	諏訪之瀬島	活発な状況（レベル3）	平成 17 年 2 月 1 日 【噴火継続】 活発（レベル3）

## 2006 年の世界の主な地震

2006 年に人的被害<sup>注</sup>を伴った地震は 38 回であり、Ms (USGS の表面波マグニチュード) もしくは Mw (USGS のモーメントマグニチュード) 7.0 以上の地震は 11 回 (2005 年 13 回) であった。また、Ms もしくは Mw 8.0 以上の地震は発生しなかった (2005 年 1 回) (図 1 及び表 1 参照)。2006 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、5 月 4 日にトンガ諸島で発生した Ms 7.8 (ハーバード大学のモーメントマグニチュードは Mw 8.0) の地震と、11 月 15 日に千島列島東方で発生した Ms 7.8 (ハーバード大学のモーメントマグニチュードは Mw 8.3) の地震であった。

USGS の統計と比較すると、2006 年の M 8.0 以上の地震の数は平均的な回数 (1 回) より少なく、M 7.0 ~ M 7.9 の地震の数も平均的な回数 (17 回) と比べ少なめだったといえる。

以下、死者 10 名以上の地震について記述する (以下、日本時間を基準とする)。

3 月 31 日 イラン西部で Ms 6.0 (深さ 7km) の地震が発生し、イランのボルジェルド市からドルード市にかけての

地域で死者 70 名以上、負傷者 1,300 名以上の被害を生じ、40 の村が壊滅状態となった。

5 月 27 日、インドネシアのジャワで Ms 6.2 (深さ 13km) の地震が発生し、ジャワ島中部のバントウルからジョグジャカルタ地域では、死者 5,749 名以上、負傷者 38,568 名以上、住家倒壊 127,000 棟、住家被害 451,000 棟など甚大な被害を生じた。

7 月 17 日、インドネシアのジャワ南方で Ms 7.2 (深さ 34km) の地震が発生した。この地震に伴い津波が発生し、ジャワ島南部で死者・行方不明者 730 名、負傷者 9275 名、建物被害 1623 棟以上等の甚大な被害を生じた。検潮所で観測された津波の高さは、インドネシアのペノアで 17cm、モーリシャスのロドリゲスで 43cm であった。

7 月 22 日、中国のユンナン (雲南省) で Ms 4.6 (深さ 56km) の地震が発生し、塩津県で発生した地すべりにより、死者 22 名、負傷者 106 名以上の被害を生じた。

注：被害については、USGS の地震リスト (表 1 脚注参照) に記載があるものを対象とした (ただし、日本付近の地震については総務省消防庁による)。

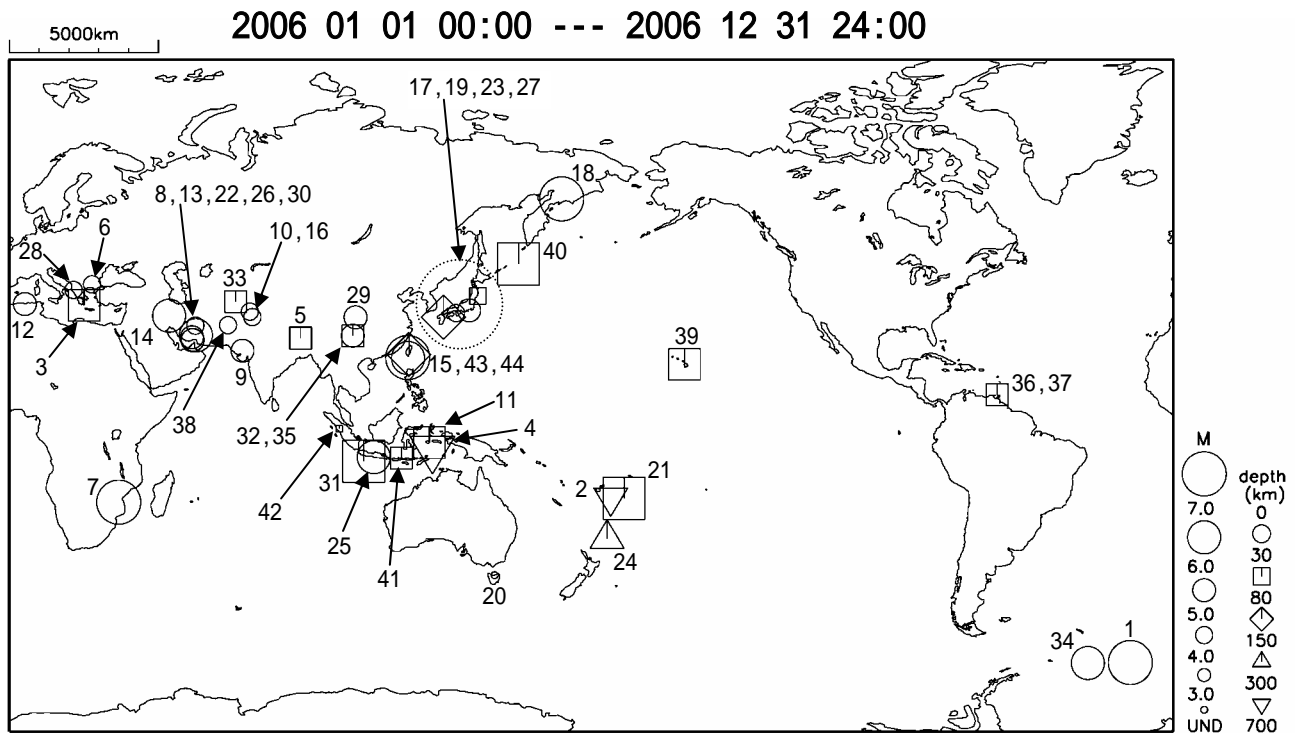


図 1 2006 年に世界で発生した M7.0 以上または人的被害を伴った地震の震央分布

・震源要素は、1 月 1 日 ~ 11 月 23 日は米国地質調査所 (USGS) 発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、11 月 24 日 ~ 12 月 31 日は同所発行の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による (2007 年 1 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については気象庁による。

\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

\* \* : マグニチュードは mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード) のいずれか大きい値を表示している。

表 1 2006 年に世界で発生したマグニチュード 7.0 以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度 経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震源地名	被害状況等	北 西	印 洋	遠 地
1	01月02日15時10分	S60° 56.0'W 21° 34.5'	10*	6.4	7.3	7.1	サウスサンドウィッチ諸島東方				
2	01月03日07時13分	S19° 55.7'W 178° 09.8'	583	6.5		7.1	フィジー諸島				
3	01月08日20時34分	N36° 18.6'E 23° 12.7'	66*	6.5		6.7	ギリシア南部	軽傷者3名、住家被害80棟、 キティラ島の空港施設に被害			
4	01月28日01時58分	S 5° 28.3'E 128° 07.8'	397*	7.0		7.5	バンドラ海				
5	02月14日09時55分	N27° 22.9'E 88° 23.2'	30	5.4	4.8		インド、シッキム州	死者2名、負傷者2名、建物被害			
6	02月21日02時20分	N41° 42.4'E 25° 32.6'	10*	4.6			ギリシア-ブルガリア国境	負傷者2名、建物小被害175棟以上			
7	02月23日07時19分	S21° 19.4'E 33° 34.9'	11*	6.5	7.5	7.0	モザンビーク	死者4名、負傷者36名、 建物被害294棟以上			
8	02月28日16時31分	N28° 07.2'E 56° 51.9'	18*	5.8	6.2	6.0	イラン南部	負傷者6名、建物倒壊・被害多数			
9	03月08日03時20分	N23° 46.6'E 70° 53.9'	10*	5.2	5.1	5.5	インド南部	負傷者7名以上、建物被害数棟			
10	03月10日16時50分	N33° 07.7'E 73° 53.2'	10*	4.9			パキスタン	死者1名、負傷者22名			
11	03月14日15時57分	S 3° 35.7'E 127° 12.8'	30	6.4	6.7	6.7	インドネシア、セラム	死者・行方不明者4名以上、 住家倒壊・被害225棟、津波発生			
12	03月21日04時44分	N36° 37.3'E 5° 19.6'	10*	5.0	4.9		アルジェリア北部	死者4名、負傷者9名、 住家倒壊30棟、住家被害32棟			
13	03月25日16時28分	N27° 34.4'E 55° 41.1'	18*	5.7	5.5	5.8	イラン南部	死者1名、負傷者1名、住家被害			
14	03月31日10時17分	N33° 30.0'E 48° 46.8'	7*	5.7	6.0	5.9	イラン西部	死者70名以上、負傷者1300名以上			
15	04月01日19時02分	N22° 40.5'E 121° 02.4'	96	6.0	(6.4)	6.1	台湾	負傷者42名、建物被害数棟			
16	04月04日18時12分	N34° 36.0'E 73° 08.1'	10*	4.8			パキスタン	負傷者28名、住家倒壊・被害数棟			
17	04月21日02時50分	N34° 56.4'E 139° 11.7'	7	5.3	(5.8)	5.6	伊豆半島東方沖	負傷者3名			
18	04月21日08時25分	N60° 56.9'E 167° 05.3'	22*	6.8	7.6	7.3	ロシア北・中部	負傷者約40名、建物被害数棟			
19	04月22日23時35分	N38° 42.1'E 141° 49.2'	66	4.6	(4.6)		宮城県沖	負傷者1名			
20	04月25日20時26分	S41° 09.8'E 146° 51.7'	4				オーストラリア、タスマニア付近	死者1名			
21	05月04日00時26分	S20° 11.2'W 174° 07.3'	55*	7.2	7.8	7.9	トンガ諸島	負傷者1名、建物被害、津波発生			
22	05月07日15時20分	N30° 47.4'E 56° 42.0'	14*	4.8	4.1		イラン北・中部	軽傷者70名以上、建物被害数棟			
23	05月15日01時42分	N34° 13.4'E 135° 13.2'	3	4.5	(4.5)		和歌山県北部	負傷者1名			
24	05月16日19時39分	S31° 35.7'W 179° 15.6'	152	6.7		7.4	ケルマテック諸島				
25	05月27日07時53分	S 7° 57.6'E 110° 26.7'	13	6.0	6.2	6.3	インドネシア、ジャワ	死者5749名以上、負傷者38568名以上、 住家倒壊127000棟以上、 住家被害451000棟以上			
26	06月03日16時15分	N26° 45.5'E 55° 50.5'	12	5.4			イラン南部	死者2名、負傷者4名、建物被害数棟			
27	06月12日05時01分	N33° 08.1'E 131° 26.1'	145	5.9	(6.2)	6.3	大分県西部	負傷者8名、住家一部破壊5棟			
28	06月13日23時15分	N40° 16.2'E 19° 57.6'	10	4.5			アルバニア	軽傷者1名、住家被害12棟以上			
29	06月21日01時52分	N33° 04.0'E 104° 57.0'	24	5.1	4.5		中国、カンシュー省	負傷者5名、住家被害25棟、 建物被害6棟以上			
30	06月29日06時02分	N26° 49.2'E 55° 54.0'	10	5.8	5.5	5.7	イラン南部	負傷者9名			
31	07月17日17時19分	S 9° 15.2'E 107° 24.6'	34*	6.1	7.2	7.2	インドネシア、ジャワ南方	死者・行方不明者730名、負傷者9275名、 建物被害1623棟以上、津波発生			
32	07月22日10時10分	N27° 59.7'E 104° 08.2'	56	5.0	4.6		中国、ユンナン(雲南)省	死者22名、負傷者106名以上			
33	07月29日09時11分	N37° 15.3'E 68° 49.6'	34	4.8	5.2	5.4	アフガニスタン-タジキスタン国境	死者3名、負傷者19名、 住家倒壊721棟、住家被害1205棟			
34	08月20日12時41分	S61° 00.4'W 34° 22.9'	10*	6.3	6.8	7.0	スコシア海				
35	08月25日14時51分	N28° 00.7'E 104° 09.0'	22	5.2	4.6		中国、スーチョワン(四川)省	死者1名以上、負傷者31名以上、 建物倒壊数棟			
36	09月29日22時08分	N10° 52.5'W 61° 45.3'	53	5.9	5.4	6.0	トリニダード・トバゴ	負傷者3名、建物倒壊・被害数棟			
37	09月30日03時23分	N10° 48.8'W 61° 45.4'	52	5.3	4.8	5.5	トリニダード・トバゴ	死者1名			
38	10月09日14時12分	N30° 56.4'E 66° 32.4'	10*	4.4			パキスタン	負傷者3名以上			
39	10月16日02時07分	N19° 52.6'W 155° 56.1'	39	6.2	6.6	6.7	ハワイ諸島	軽傷者多数、建物被害1,173棟以上、 津波発生			
40	11月15日20時14分	N46° 42.1'E 154° 02.8'	30	6.6	(7.9)	7.9	千島列島	負傷者1名、津波発生			
41	12月01日23時01分	S 8° 14.1'E 118° 47.9'	40	5.9	5.8	6.2	インドネシア、スンバワ	死者1名、負傷者14名、 住家倒壊20棟以上、住家被害多数			
42	12月18日06時39分	N 0° 38.2'E 100° 02.4'	30*				インドネシア、スマトラ北部	死者7名、負傷者100名、 住家倒壊・被害680棟以上			
43	12月26日21時26分	N21° 38.9'E 120° 45.1'	0	6.4	(6.9)	7.1	台湾	死者1名以上、負傷者3名以上、 建物倒壊・被害数棟			
44	12月26日21時34分	N21° 48.9'E 120° 41.1'	0		(7.2)		台湾				

- ・ 震源要素、被害状況等は、1月1日～11月11日は米国地質調査所(USGS)発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、11月12日～12月31日は同所発行の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による(2007年1月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源及びマグニチュード(Ms)の欄に括弧を付して記載)は気象庁、被害状況は総務省消防庁(2007年1月4日現在)による。震源時は、日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・ Mw は USGS の「マグニチュード」である。また、震源の深さに「\*」が付いているのは、USGS が推定した深さである。
- ・ 「北西」、「印洋」、「遠地」は、それぞれ気象庁が発表する北西太平洋津波情報とインド洋津波監視情報、遠地地震に関する情報を示し、発表した地震は「」印を付けた。

## 2006 年の世界の主な火山活動

2006 年に噴火の報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

このうち顕著な活動がみられた火山は以下のとおりである。

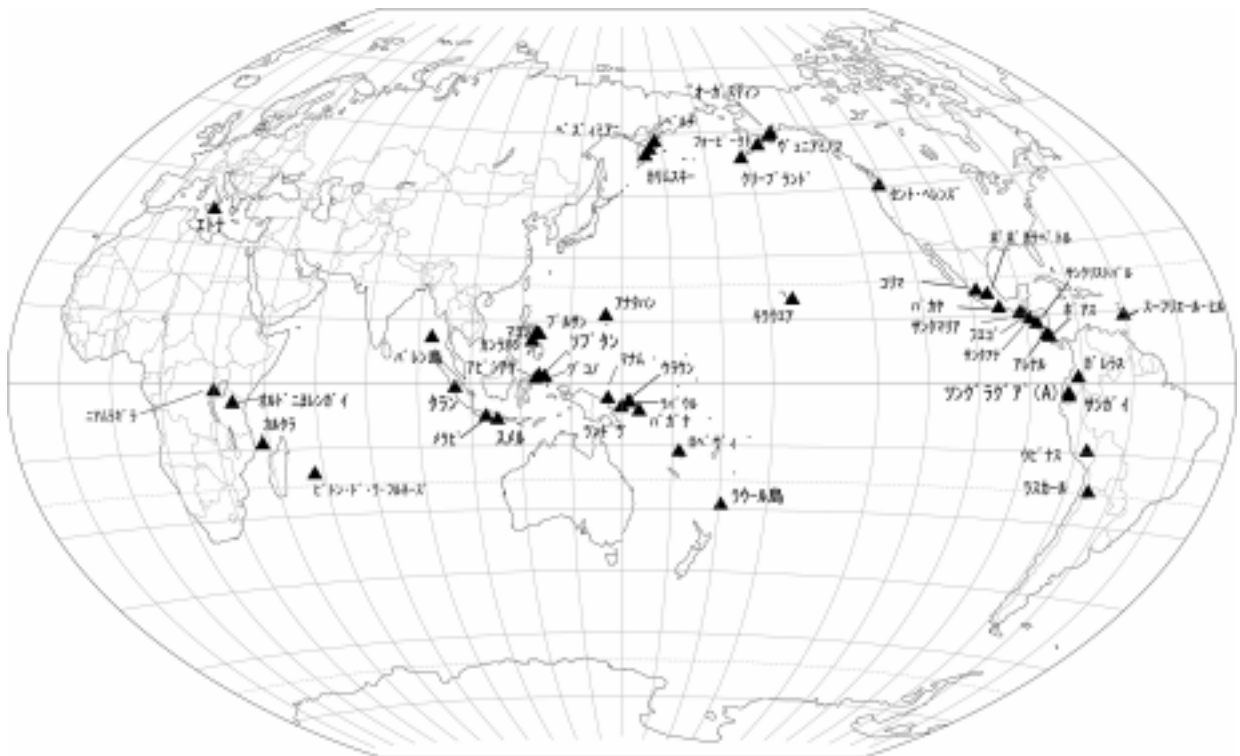
### ツングラグア火山（エクアドル）（図中A）

5 月から活発な火山活動が続いていたが、7 月に入り地震活動や噴火活動がさらに活発化した。7 月上旬には噴石が火口から 1 km まで飛散するのが確認された。7 月 14 日に発生した噴火では、噴煙が火口縁上約 15,000m に達し、山頂の西約 7 km にある Pillate では 1.5cm の降灰を観測した。また、この噴火では少なくとも 5 つの火砕流と 4 つの溶岩流が確認された。その後、7 月 15 日から 16 日にかけても、複数の火砕流が山頂の北西約 7 km まで達するのが確認され、火砕流に伴う噴煙が火口縁上 6,000m まで達した。7 月下旬も活発な噴火活動が継続し、小規模な火砕流が発生したほか、噴煙がしばしば確認された。

8 月に入っても噴火活動は活発な状態が続き、8 月 16 日 19 時頃から 17 日 02 時頃にかけて大規模な噴火が発生した。噴煙の高さは火口縁上約 10,000m に達し、噴煙がエクアドルの中央部をほぼ全て覆った。また、山体の北北西～北西斜面では火砕流が発生した。8 月 23 日には 2 本の溶岩流が北西斜面を流下するのが確認された。

この噴火活動により、7 月以降、少なくとも 5 人が死亡または行方不明となり、多数のけが人が出た。また、避難者数は最大で 13,000 人に上った。噴火に伴う降灰等により、5 つの村で家屋の火災や倒壊等が発生したほか、少なくとも 20,000 ヘクタールの農地が被害を受けた。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の G V P（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



2006 年に噴火の報告された主な火山（日本を除く）

# 付録 1 . 気象庁震度階級関連解説表

平成 8 年 2 月

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、震度計を用いて観測します。この「気象庁震度階級関連解説表」は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すものです。この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

(1) 気象庁が発表する震度は、震度計による観測値であり、この表に記述される現象から決定するものではありません。

(2) 震度が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や地震動の性質によって、被害が異なる場合があります。この表では、ある震度が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

(3) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は、震度計が置かれている地点での観測値ですが、同じ市町村であっても場所によっては震度が異なることがあります。また、震度は通常地表で観測していますが、中高層建物の上層階では一般にこれより揺れが大きくなります。

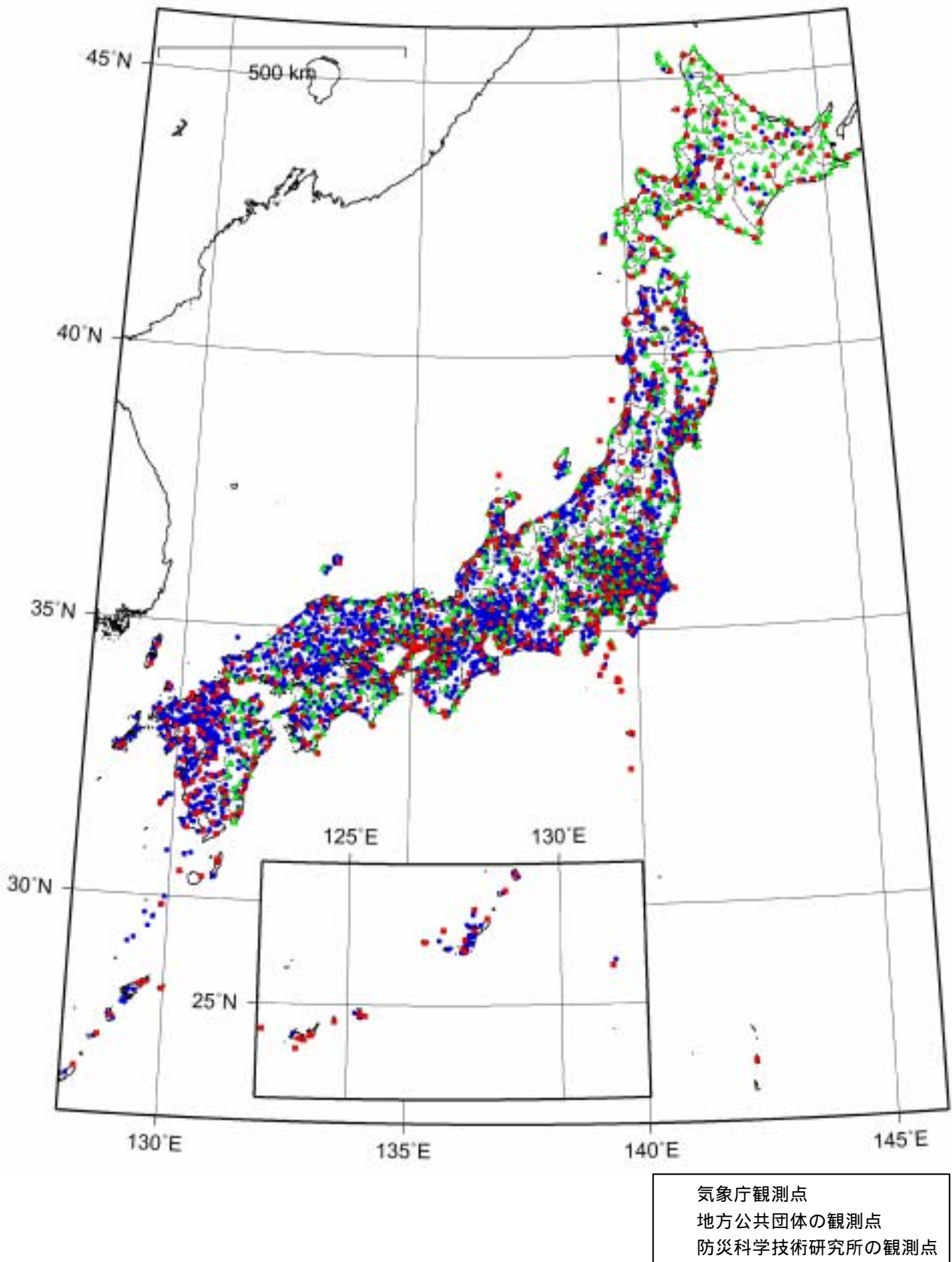
(4) 大規模な地震では長周期の地震波が発生するため、遠方において比較的低い震度であっても、エレベーターの障害、石油タンクのスロッシングなどの長周期の揺れに特有な現象が発生することがあります。

(5) この表は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、新しい事例が得られたり、建物、構造物の耐震性の向上などで実状と合わなくなった場合には、内容を変更することがあります。

計測震度	震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況	木 造 建 物	鉄筋コンクリート造建物	ライフライン	地盤・斜面
	0	人は揺れを感じない。						
-0.5	1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。						
-1.5	2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。					
-2.5	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。				
-3.5	4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。				
-4.5	5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破壊するものがある。	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	安全装置が作動し、ガスが遮断される家庭がある。まれに水道管の被害が発生し、断水することがある。[停電する家庭もある。]	軟弱な地盤で、亀裂が生じることがある。山地で落石、小さな崩壊が生じることがある。
-5.0	5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちることがある。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生することがある。[一部の地域でガス、水道の供給が停止することがある。]	
-5.5	6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生する。[一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。]	地割れや山崩れなどが発生することがある。
-6.0	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁や柱が破壊するものがある。	ガスを地域に送るための導管、水道の配水施設に被害が発生することがある。[一部の地域で停電する。広い地域でガス、水道の供給が停止することがある。]	
-6.5	7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	[広い地域で電気、ガス、水道の供給が停止する。]	大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

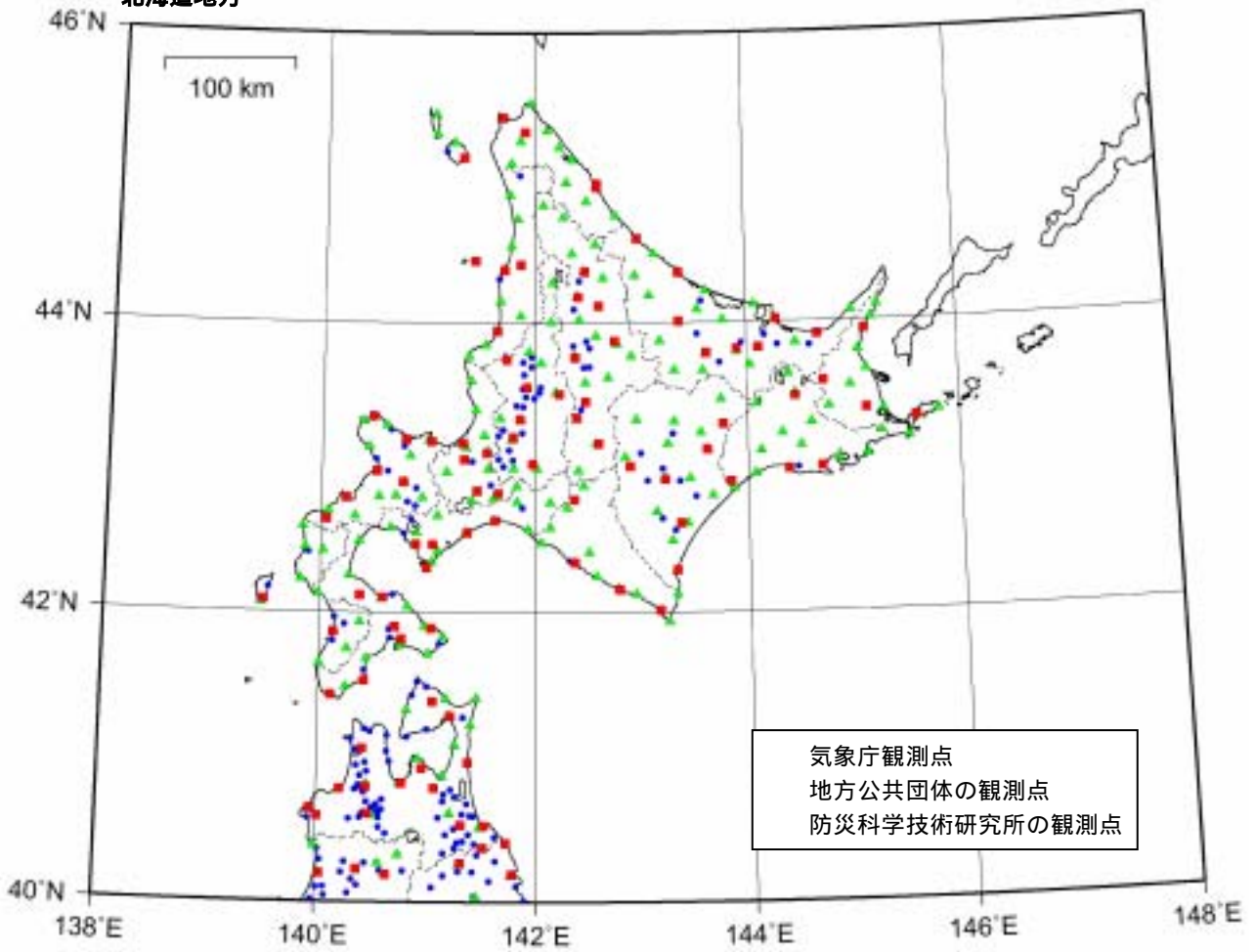
\* ライフラインの [ ] 内の事項は、電気、ガス、水道の供給状況を参考として記載したものである。

## 付録 2 震度観測点（2007 年 01 月 04 日現在）

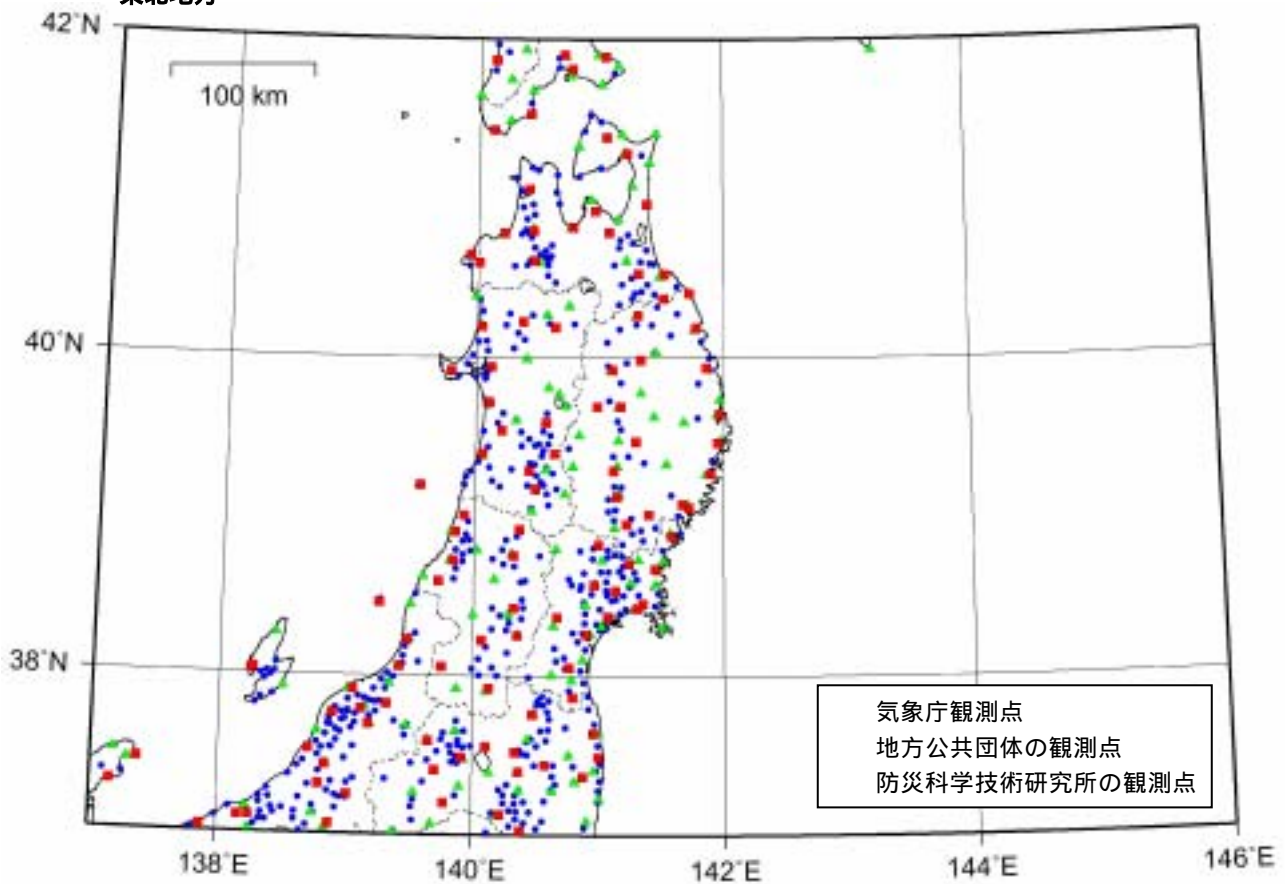


2007 年 1 月 4 日現在、気象庁の観測点（印）は 600 点、地方公共団体の観測点（印）は 2,850 点、独立行政法人防災科学技術研究所の観測点（印）は 667 点である。

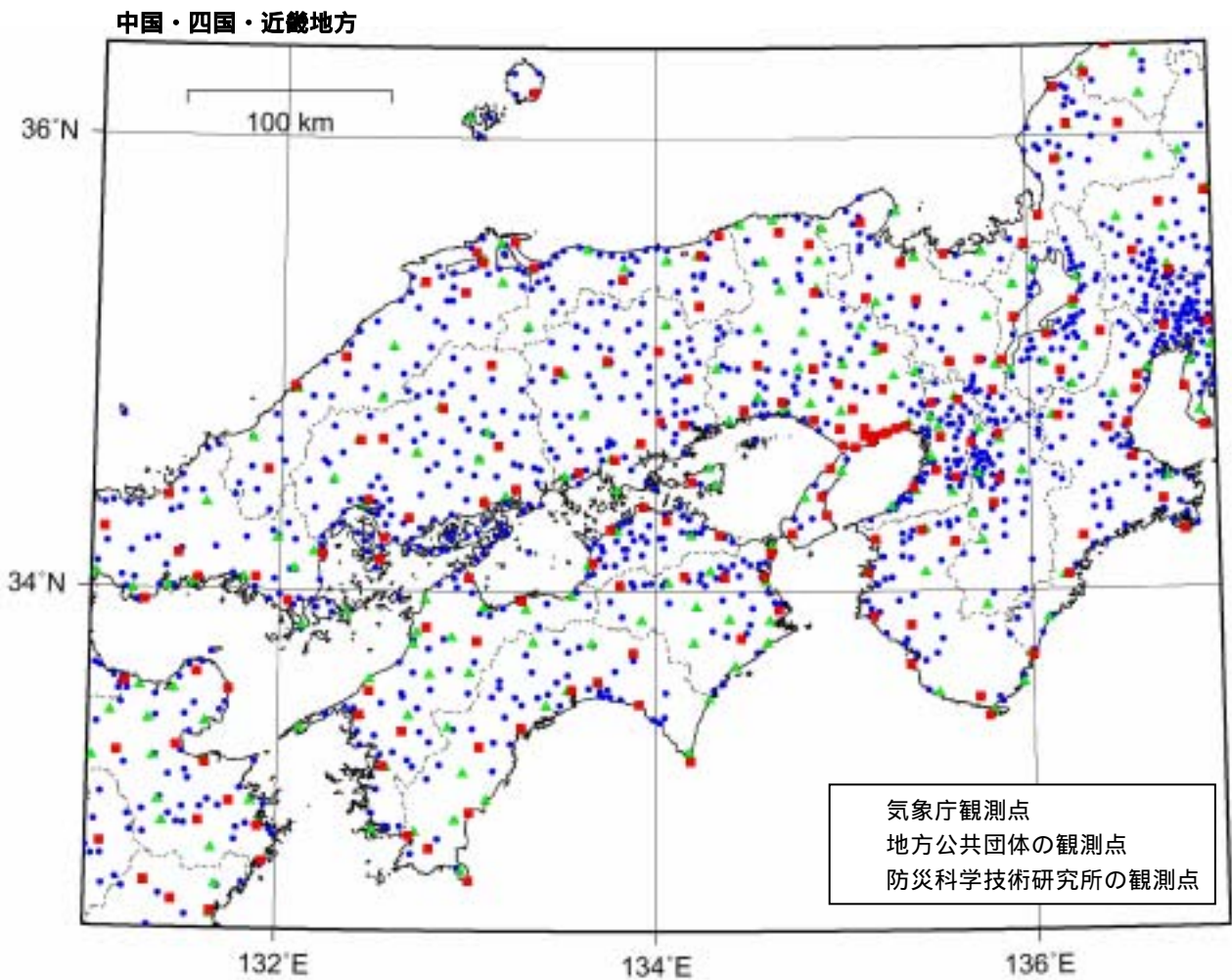
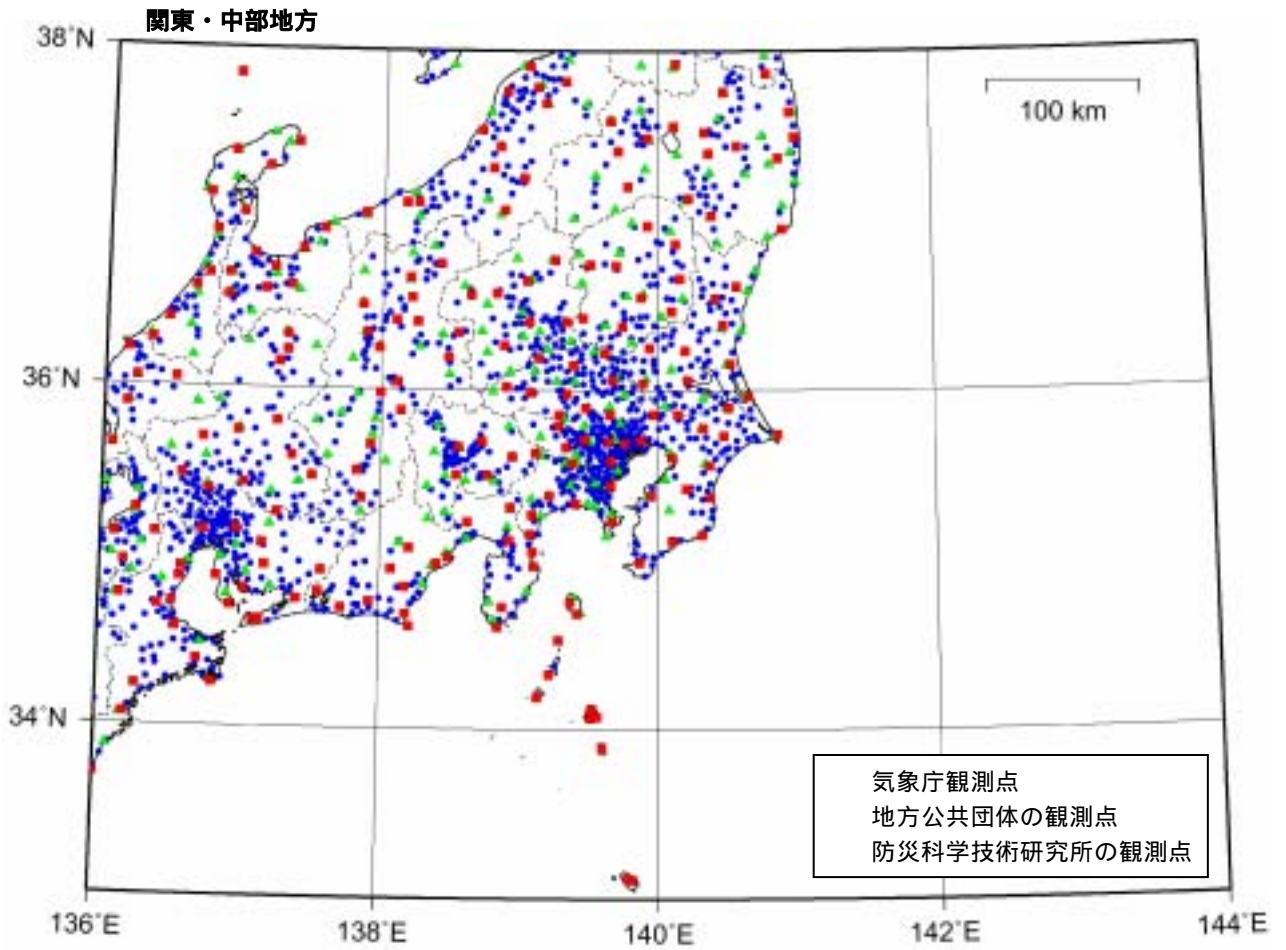
北海道地方



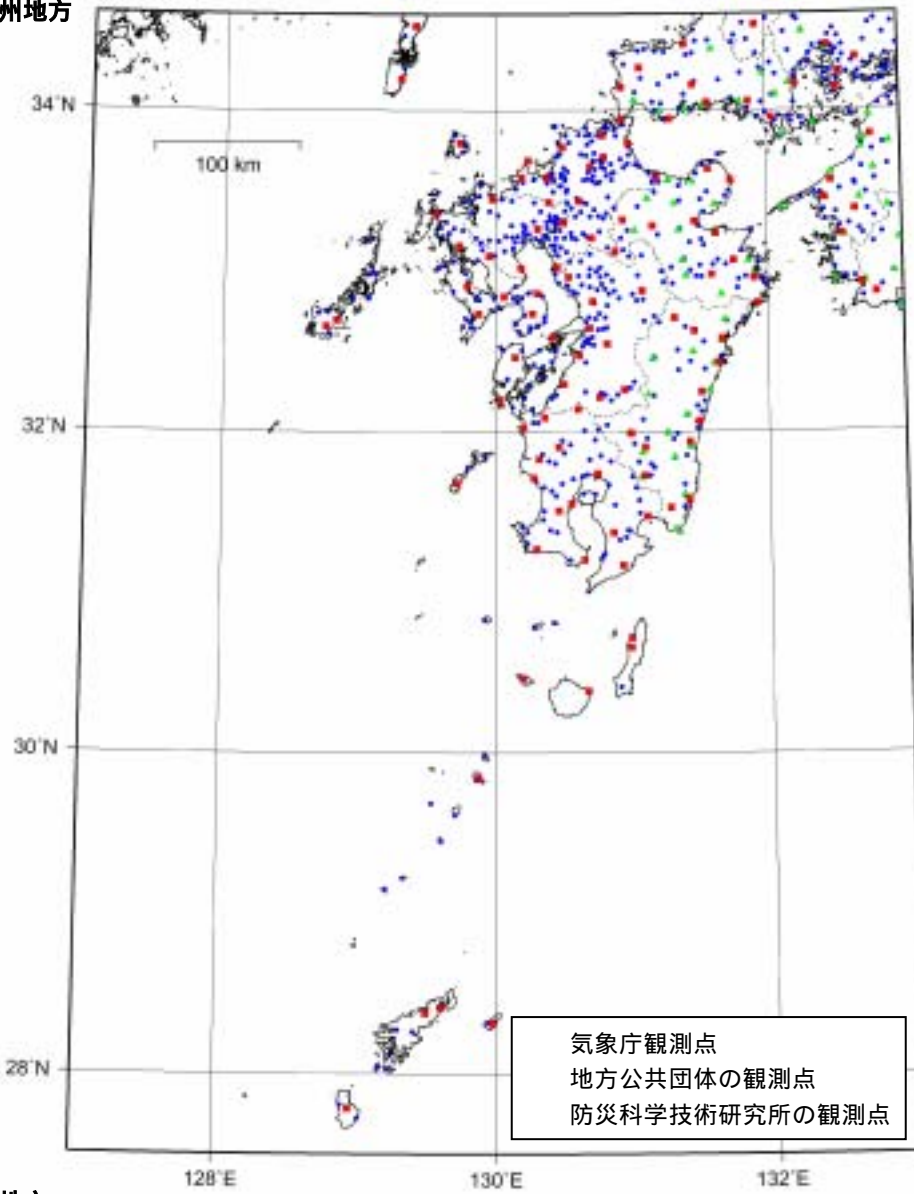
東北地方



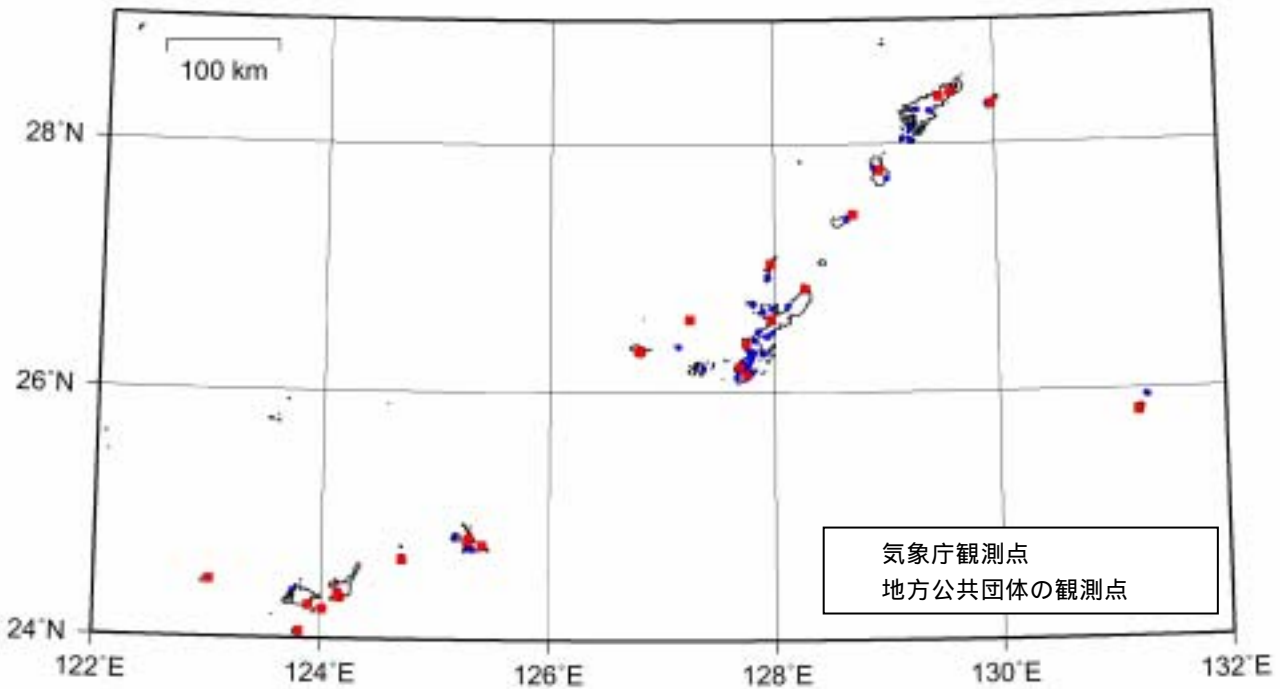




九州地方



沖縄地方



### 付録 3

## 震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表（1926年 1 月～2006年12月）

\*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。  
 最大震度 6 または 6 弱以上を観測した地震とその地震において震度 5 または震度 5 弱以上を観測した観測点について掲載した。  
 各観測点の末尾に計測震度を記す（ただし、計測震度計で観測した期間のみ）  
 観測点名称は2007年 1 月現在、情報発表に用いているものである。なお、地震番号 1～13 に記載してある観測点名称は、原則気象官署名とし、括弧内にその情報発表名称を記載した。

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
1	1927 3 7 18 27 兵庫県	京都府北部 6 豊岡測候所（豊岡市桜町） 5 洲本測候所（洲本市小路谷） 京都府 6 宮津測候所 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京） 福井県 5 福井地方気象台（福井市豊島） 5 敦賀測候所（敦賀市松栄町） 奈良県 5 奈良地方気象台（奈良市半田開町） 広島県 5 福山特別地域気象観測所（福山市松永町）	35°37.9' N	134°55.8' E	18km	M: 7.3	（北丹後地震） 死者 2,925名 津波あり
2	1930 11 26 04 02 静岡県	静岡県伊豆地方 6 三島測候所（三島市東本町（旧）） 5 沼津測候所 神奈川県 5 横浜地方気象台（横浜中区山手町） 横須賀観測所	35°02.5' N	138°58.4' E	1km	M: 7.3	（北伊豆地震） 死者 272名
3	1935 7 11 17 24 静岡県	静岡県中部 6 静岡地方気象台（静岡駿河区曲金）	35°01.4' N	138°23.6' E	10km	M: 6.4	（静岡地震） 死者 9名
4	1941 7 15 23 45 長野県	長野県北部 6 長野地方気象台（長野市箱清水）	36°39.4' N	138°11.6' E	5km	M: 6.1	死者 5名
5	1943 9 10 17 36 鳥取県 岡山県 山口県	鳥取県東部 6 鳥取地方気象台（鳥取市吉方） 5 岡山地方気象台（岡山市桑田町） 5 萩特別地域気象観測所（萩市堀内）	35°28.3' N	134°11.0' E	0km	M: 7.2	（鳥取地震） 死者 1,083名
6	1944 12 7 13 35 静岡県 三重県 福井県 山梨県 岐阜県 愛知県 滋賀県 奈良県	三重県南東沖 6 御前崎測候所（御前崎市御前崎） 5 浜松測候所（浜松市三組町） 6 津地方気象台（津市島崎町） 5 亀山測候所 尾鷲測候所（尾鷲市南陽町） 福井県 5 福井地方気象台（福井市豊島） 5 敦賀測候所（敦賀市松栄町） 山梨県 5 甲府地方気象台（甲府市飯田） 岐阜県 5 岐阜地方気象台（岐阜市加納二之丸） 愛知県 5 名古屋地方気象台（名古屋千種区日和町） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町） 奈良県 5 奈良地方気象台（奈良市半田開町）	33°34.4' N	136°10.5' E	40km	M: 7.9	（東南海地震） 死者 998名 津波あり
7	1948 6 28 16 13 福井県	福井県嶺北 6 福井地方気象台（福井市豊島）	36°10.3' N	136°17.4' E	0km	M: 7.1	（福井地震） 死者 3,769名
8	1972 12 4 19 16 東京都	八丈島東方沖 6 八丈島測候所（八丈町大賀郷（旧））	33°12' N	141°05' E	50km	M: 7.2	1972年12月4日 八丈島東方沖地震 津波あり
9	1982 3 21 11 32 北海道	浦河沖 6 浦河測候所（浦河町潮見）	42°04' N	142°36' E	40km	M: 7.1	昭和57年（1982年） 浦河沖地震
10	1993 1 15 20 06 北海道 青森県	釧路沖 6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 5 浦河測候所（浦河町潮見） 帯広測候所（帯広市東4条） 5 広尾特別地域気象観測所（広尾町並木通） 5 八戸測候所（八戸市湊町）	42°55.2' N	144°21.2' E	101km	M: 7.5	平成 5 年（1993年） 釧路沖地震 死者 2名
11	1994 10 4 22 22 北海道	北海道東方沖 6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 厚岸町尾幌 5 浦河測候所（浦河町潮見） 足寄町上螺湾 5 広尾特別地域気象観測所（広尾町並木通） 中標津町養老牛 羅白町春日 根室測候所（根室市弥栄）	43°22.5' N	147°40.4' E	28km	M: 8.2	平成 6 年（1994年） 北海道東方沖地震 択捉島で死者10名以上 津波あり
12	1994 12 28 21 19 青森県 岩手県	三陸沖 6 八戸測候所（八戸市湊町） 5 青森地方気象台（青森市花園） むつ測候所（むつ市金曲） 5 盛岡地方気象台（盛岡市山王町）	40°25.8' N	143°44.7' E	0km	M: 7.6	平成 6 年（1994年） 三陸はるか沖地震 死者 3名 津波あり

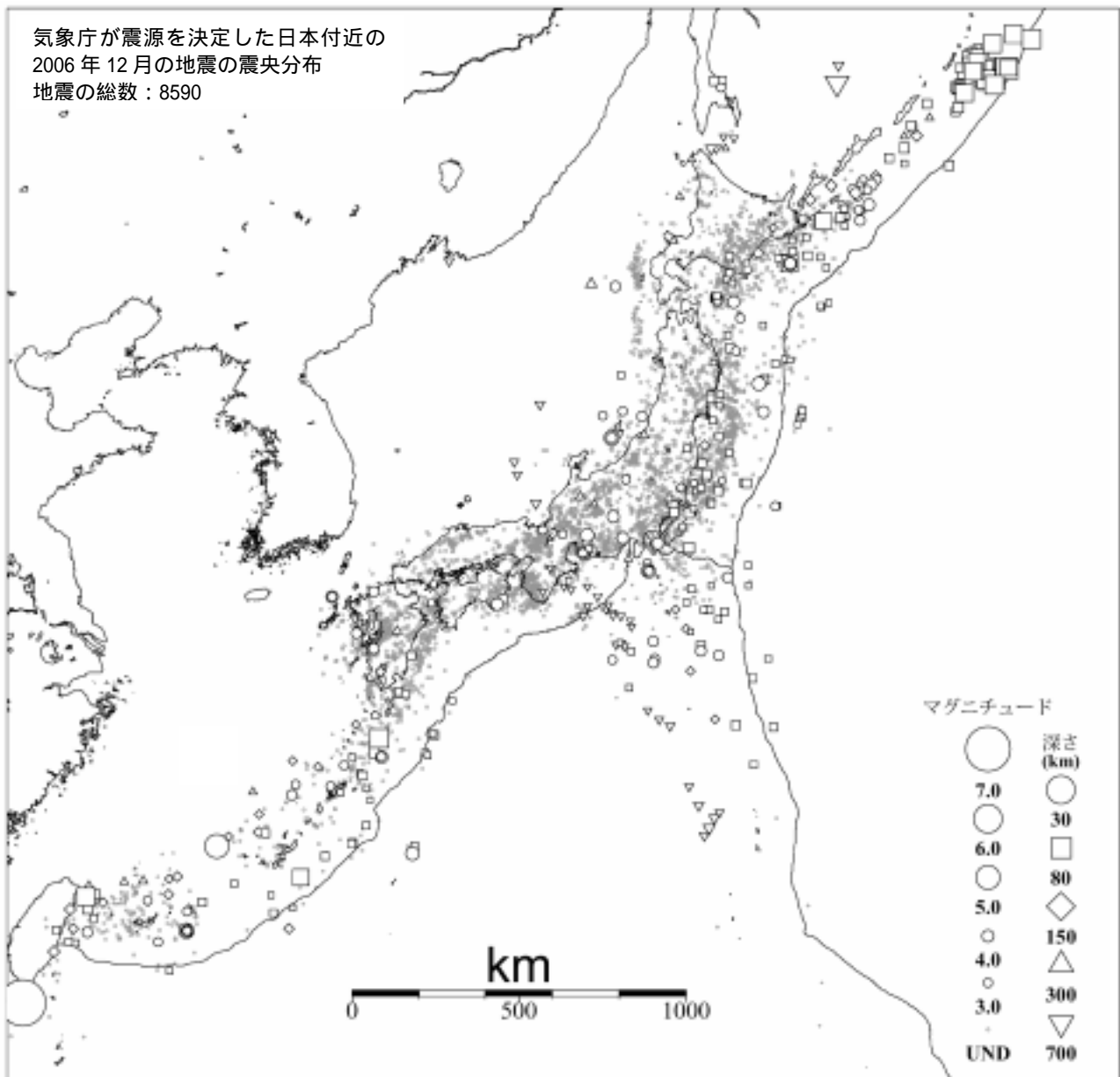
地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
13	1995 1 17 05 46	大阪湾 兵庫県 7（現地調査により、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市及び淡路島北部の一部で震度7を観測） 6 神戸海洋気象台（神戸中央区脇浜） 洲本測候所（洲本市小路谷） 5 豊岡測候所（豊岡市桜町） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町） 京都府 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京）	34°35.9' N	135°02.1' E	16km	M: 7.3	平成7年（1995年） 兵庫県南部地震 死者 6,434名 行方不明3名 津波あり
14	1997 5 13 14 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 6 弱 薩摩川内市中郷=5.6 5 強 さつま町宮之城屋地=5.4 5 弱 阿久根市赤瀬川=4.8	31°56.9' N	130°18.1' E	9km	M: 6.4	
15	1998 9 3 16 58	岩手県内陸北部 岩手県 6 弱 雫石町長山=5.9	39°48.3' N	140°54.0' E	8km	M: 6.2	
16	2000 7 1 16 01	新島・神津島近海 東京都 6 弱 神津島村金長=5.9 神津島村役場*=5.6 5 弱 新島村本村*=4.8	34°11.4' N	139°11.6' E	16km	M: 6.5	死者 1名
17	2000 7 9 03 57	新島・神津島近海 東京都 6 弱 神津島村役場*=5.5 5 強 神津島村金長=5.1	34°12.7' N	139°13.8' E	15km	M: 6.1	
18	2000 7 15 10 30	新島・神津島近海 東京都 6 弱 新島村本村*=5.6 5 弱 伊豆大島町差木地（旧）=4.9	34°25.4' N	139°14.5' E	10km	M: 6.3	
19	2000 7 30 21 25	三宅島近海 東京都 6 弱 三宅村阿古2=5.6 5 弱 三宅村神着=4.9 神津島村金長=4.5	33°58.2' N	139°24.6' E	17km	M: 6.5	
20	2000 8 18 10 52	新島・神津島近海 東京都 6 弱 新島村式根島=5.5 5 強 神津島村役場*=5.0 5 弱 神津島村金長=4.9	34°12.0' N	139°14.4' E	12km	M: 6.1	
21	2000 8 18 12 49	新島・神津島近海 東京都 6 弱 新島村式根島=5.7	34°17.6' N	139°10.4' E	7km	M: 5.1	
22	2000 10 6 13 30	鳥取県西部 鳥取県 6 強 鳥取日野町根雨*=6.3 境港市東本町=6.0 6 弱 鳥取南部阿法勝寺*=5.9 鳥取南部町天萬*=5.9 伯耆町溝口*=5.7 境港市上道町*=5.6 伯耆町吉長*=5.6 米子市淀江町*=5.6 日吉津村日吉津*=5.5 米子市博労町=5.1 5 強 大山町国信*=4.7 北栄町由良宿*=4.7 倉吉市関金町大鳥居*=4.6 湯梨浜町龍島*=4.6 北栄町土下*=4.6 大山町御来屋*=4.5 大山町赤坂*=4.5 琴浦町徳万*=4.5 島根県 5 強 奥出雲町三成*=5.4 安来市安来町*=5.3 松江市宍道町昭和*=5.0 5 弱 松江市八束町波入*=4.9 東出雲町揖屋*=4.9 松江市玉湯町湯町*=4.8 松江市西津田=4.8 松江市鹿島町佐陀本郷*=4.8 仁摩町仁万（旧）*=4.8 雲南市大東町大東=4.7 雲南市加茂町加茂中*=4.7 八雲村西岩坂（旧）*=4.6 出雲市湖陵町二部*=4.5 雲南市三刀屋町三刀屋*=4.5 江津市桜江町川戸（旧）*=4.5 島根斐川町莊原町*=4.5 岡山県 5 強 新見市哲多町*=5.2 真庭市西河内=5.2 新見市大佐小阪部*=5.0 新見市新見=5.0 真庭市美甘*=5.0 5 弱 新庄村役場*=4.9 真庭市久世*=4.9 玉野市宇野*=4.9 真庭市下皆部*=4.8 真庭市蒜山上福田*=4.8 真庭市蒜山上長田*=4.7 真庭市蒜山下和*=4.7 神郷町下神代（旧）*=4.7 倉敷市真備町*=4.6 早島町前潟*=4.6 岡山市大供*=4.6 岡山市御津金川*=4.6 真庭市勝山*=4.5 笠岡市笠岡*=4.5 高梁市有漢町（旧）*=4.5 岡山瀬戸町瀬戸*=4.5 賀陽町豊野（旧）*=4.5 岡山市灘崎町*=4.5 倉敷市船穂町*=4.5 香川県 5 強 土庄町甲=5.0 5 弱 東かがわ市湊*=4.7 小豆島町池田*=4.7 高松市庵治町*=4.6 高松市国分寺町*=4.5 観音寺市坂本町=4.5 豊中町本山（旧）*=4.5 三豊市三野町*=4.5 兵庫県 5 弱 淡路市志筑*=4.7 広島県 5 弱 庄原市高野町*=4.9 福山市駅家町*=4.8 大崎上島町中野*=4.8 呉市川尻町*=4.6 府中町大通り*=4.6 福山市新市町*=4.5 徳島県 5 弱 徳島市大和町（旧）=4.5 徳島市新蔵町*=4.5	35°16.4' N	133°20.9' E	9km	M: 7.3	平成12年（2000年） 鳥取県西部地震
23	2001 3 24 15 27	安芸灘 広島県 6 弱 東広島市河内町*=5.9 熊野町役場（旧）*=5.5 大崎上島町中野*=5.5 5 強 呉市川尻町*=5.4 呉市倉橋町支所*=5.4 広島安佐南区緑井*=5.3 呉市下蒲刈町*=5.3 府中町大通り*=5.3 江田島市能美町*=5.3 三原市円一町=5.2 廿日市市下平良*=5.2 呉市広*=5.2 海田町上市*=5.2 音戸町鱒浜（旧）*=5.2 三原市久井町*=5.2 広島西区己斐*=5.2 東広島市安芸津町*=5.1 尾道市向島町*=5.1 江田島市沖美町*=5.1 江田島市大柿町*=5.1 広島豊浜町豊島（旧）*=5.1 呉市豊町*=5.1 呉市宝町=5.0 呉市安浦町*=5.0 三原市本郷町*=5.0 東広島市黒瀬町=5.0 東広島市豊栄町*=5.0 北広島町有田=5.0 広島安佐北区可部南*=5.0	34°07.9' N	132°41.6' E	46km	M: 6.7	平成13年（2001年） 芸予地震 死者 2名

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
		5 弱 三原市大和町 *4.9 尾道市瀬戸田町 *4.9 大崎上島町東野（旧） *4.9 呉市倉橋町鷺ヶ巣 *4.9 呉市焼山 *4.9 呉市浦刈町 *4.9 廿日市市津田 *4.9 世羅町西上原 *4.8 大崎上島町木江 *4.8 広島中区大手町 *4.8 広島安芸区中野 *4.8 廿日市市宮島町 *4.7 江田島市江田島町 *4.7 広島南区宇品海岸 *4.7 福山市内海町 *4.7 広島福富町久芳（旧） *4.7 広島三次市吉舎町 *4.7 安芸高田市吉田町（旧） *4.7 福山市松永町 *4.7 安芸高田市八千代町 *4.6 広島三次市三良坂町 *4.6 世羅町西小国（旧） *4.6 広島中区上八丁堀 *4.6 坂町役場 *4.6 北広島町都志見 *4.5 福山市新市町 *4.5 尾道市久保 *4.5 尾道市御調町 *4.5					
		愛媛県 5 強 今治市南宝来町二丁目 *5.4 今治市上浦町 *5.4 今治市大三島町 *5.4 西条市丹原町鞍瀬 *5.3 松山市北持田町 *5.3 今治市波方町 *5.2 今治市菊間町 *5.2 今治市吉海町 *5.2 愛媛松前町筒井 *5.2 久万高原町久万 *5.2 西予市三瓶町 *5.2 今治市大西町 *5.1 砥部町宮内 *5.1 愛媛吉田町東小路（旧） *5.1 西予市宇和町 *5.1 上島町弓削 *5.1 西条市丹原町池田 *5.0 上島町生名 *5.0 上島町岩城（旧） *5.0					
		山口県 5 弱 今治市朝倉北 *4.9 今治市玉川町 *4.9 西条市新田 *4.9 西条市小松町 *4.9 内子町平岡 *4.9 西予市明浜町 *4.9 今治市宮窪町 *4.8 松山市中島大浦 *4.8 伊予市中山町 *4.8 八幡浜市保内町 *4.8 大洲市大洲 *4.8 宇和島市住吉町 *4.7 西予市野村町 *4.7 今治市関前岡村 *4.7 東温市見奈良 *4.6 伊方町湊浦（旧） *4.6 宇和島市三間町 *4.5 新居浜市一宮町 *4.5					
		山口県 5 強 和木町和木 *5.4 阿東町徳佐（旧） *5.3 周防大島町森 *5.3 周防大島町久賀 *5.2 周防大島町小松 *5.2 岩国市今津 *5.1 柳井市南町（旧） *5.1 柳井市大畠 *5.1 平生町平生 *5.1 田布施町下田布施 2 *5.0 周防大島町西安下庄 *5.0					
		島根県 5 弱 下松市大手町 *4.8 岩国市由宇町 *4.8 岩国市玖珂総合支所 *4.8 岩国市美和町生見 *4.7 上関町長島 *4.7 田布施町下田布施 *4.7 周南市岐山通 1 *4.6 光市中央 *4.6 山口市小郡下郷 *4.5 岩国市周東町下久原 *4.5 光市岩田 *4.5					
		高知県 5 弱 邑南町下口羽 *4.5 浜田市三隅町三隅 *4.5 江津市桜江町川戸（旧） *4.5					
		大分県 5 弱 高知市本町 *4.6 佐伯市上浦 *4.5					
24	2003 5 26 18 24	宮城県沖	38° 49.2' N	141° 39.0' E	72km	M: 7.1	
		岩手県 6 弱 大船渡市大船渡町 *5.8 一関市室根町 *5.7 平泉町平泉 *5.6 奥州市衣川区 *5.6 奥州市江刺区 *5.5					
		5 強 岩手洋野町大野 *5.4 大船渡市猪川町 *5.4 矢巾町南矢幅 *5.4 金ケ崎町西根 *5.4 藤沢町藤沢 *5.3 一関市舞川 *5.3 釜石市只越町 *5.2 陸前高田市高田町 *5.2 花巻市大迫町 *5.2 花巻市東和町 *5.2 遠野市宮守町 *5.2 奥州市胆沢区 *5.1 一関市川崎町 *5.1 住田町世田米 *5.1 二戸市福岡 *5.0 花巻市材木町 *5.0 盛岡市玉山区洪民 *5.0					
		宮城県 5 弱 山田町八幡町 *4.9 普代村銅屋 *4.9 大槌町新町 *4.9 一関市大東町 *4.9 奥州市水沢区大鐘町 *4.9 奥州市前沢区 *4.9 北上市柳原町 *4.8 盛岡市山王町 *4.8 紫波町日詰 *4.8 宮古市茂市 *4.7 一関市東山町 *4.7 八幡平市大更 *4.7 野田村野田 *4.7 滝沢村鶴飼 *4.6 久慈市川崎町 *4.6 岩泉町岩泉 *4.6 大迫町役場 *4.5 西和賀町沢内太田 *4.5					
		宮城県 6 弱 石巻市桃生町（旧） *5.6 栗原市高清水 *5.6 涌谷町新町 *5.5 栗原市栗駒 *5.5 栗原市金成 *5.5 石巻市泉町 *5.5					
		5 強 気仙沼市赤岩 *5.4 栗原市志波姫 *5.4 登米市米山町 *5.4 宮城美里町木間塚 *5.4 栗原市一迫 *5.3 登米市中田町 *5.3 登米市登米町 *5.3 鹿島台町平渡（旧） *5.3 鳴瀬町小野（旧） *5.2 栗原市若柳 *5.2 栗原市瀬峰 *5.2 登米市迫町 *5.2 気仙沼市唐桑町 *5.2 大崎市田尻 *5.2 石巻市前谷地 *5.2 東松島市矢本 *5.2 南三陸町志津川 *5.1 宮城加美町小野田 *5.1 大崎市松山 *5.1 色麻町四竈（旧） *5.1 栗原市花山 *5.1 大崎市岩出山 *5.0 栗原市鶯沢 *5.0 大崎市古川三日町 *5.0					
		宮城県 5 弱 宮城川崎町前川 *4.9 南方町八の森 *4.8 宮城美里町北浦 *4.8 亘理町下小路 *4.8 仙台泉区将監 *4.8 名取市増田 *4.7 大河原町新南 *4.7 仙台青葉区大倉 *4.7 石巻市相野谷 *4.7 宮城加美町宮崎 *4.7 本吉町津谷 *4.7 大郷町粕川 *4.6 大衡村大衡 *4.6 蔵王町円田 *4.6 石巻市雄勝町 *4.6 石巻市大瓜 *4.5					
		青森県 5 強 階上町道仏 *5.1					
		秋田県 5 弱 八戸市南郷区 *4.7 五戸町古館 *4.5 青森南部町苔米地 *4.5					
		5 強 大仙市刈和野 *5.0					
		5 弱 横手市大雄 *4.9 大仙市大曲花園町 *4.7 大仙市高梨 *4.7 秋田市雄和妙法 *4.6 羽後町西馬音内 *4.6 湯沢市川連町 *4.5					
		山形県 5 強 山形市中山町長崎（旧） *5.1					
		5 弱 村山市中央 *4.8 最上町向町 *4.5					
		福島県 5 弱 南相馬市鹿島区 *4.8 相馬市中村 *4.6 田村市都路町 *4.5 富岡町本岡 *4.5 南相馬市原町区三島町 *4.5 南相馬市小高区 *4.5					
25	2003 7 26 00 13	宮城県中部	38° 26.0' N	141° 09.8' E	12km	M: 5.6	
		宮城県 6 弱 鳴瀬町小野（旧） *5.9 東松島市矢本 *5.5					
		5 強 鹿島台町平渡（旧） *5.4 宮城美里町木間塚 *5.1					
		5 弱 大崎市松山 *4.8 石巻市泉町 *4.8 大崎市田尻 *4.7 涌谷町新町 *4.6 石巻市前谷地 *4.5 大郷町粕川 *4.5					
26	2003 7 26 07 13	宮城県中部	38° 24.3' N	141° 10.2' E	12km	M: 6.4	
		宮城県 6 強 東松島市矢本 *6.2 宮城美里町木間塚 *6.0 鳴瀬町小野（旧） *6.0					
		6 弱 鹿島台町平渡（旧） *5.9 涌谷町新町 *5.8 石巻市前谷地 *5.7 宮城美里町北浦 *5.5 石巻市桃生町（旧） *5.5					
		5 強 大崎市松山 *5.4 石巻市泉町 *5.2 大崎市田尻 *5.1 大崎市古川三日町 *5.0 登米市米山町 *5.0					
		5 弱 栗原市志波姫 *4.9 石巻市相野谷 *4.9 栗原市一迫 *4.8 栗原市瀬峰 *4.8 大郷町粕川 *4.8 仙台泉区将監 *4.7 栗原市高清水 *4.7 登米市迫町 *4.7 登米市中田町 *4.6 大崎市三本木 *4.5 栗原市金成 *4.5					

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
27	2003 7 26 16 56 宮城県	宮城県中部 6弱 石巻市前谷地*5.7 5強 宮城美里町木間塚*5.4 涌谷町新町=5.2 5弱 石巻市桃生町（旧）*4.7	38°30.0' N	141°11.3' E	12km	M: 5.5	
28	2003 9 26 04 50 北海道	十勝沖 6弱 幕別町本町*5.8 釧路町別保*5.8 新冠町北星町*5.7 浦河町潮見=5.6 新ひだか町静内ときわ町=5.5 幕別町忠類錦町*5.5 豊頃町茂岩本町*5.5 鹿追町東町*5.5 厚岸町尾幌=5.5 5強 釧路市幸町=5.4 別海町常盤=5.4 更別村更別*5.3 広尾町並木通=5.2 本別町北2丁目=5.2 厚真町京町*5.2 釧路市音別町尺別=5.1 足寄町上螺湾=5.1 弟子屈町美里=5.0 帯広市東4条=5.0 5弱 南幌町栄町*4.9 音更町元町*4.9 十勝清水町南4条=4.9 幕別町忠類明和=4.9 北見市公園町=4.8 芽室町東2条*4.8 長沼町中央*4.8 苫小牧市しらかば=4.7 上士幌町上士幌*4.7 清里町羽衣町*4.7 新篠津村第47線*4.6 栗山町松風*4.5 訓子府町東町*4.5 中富良野町市街地*4.5 岩見沢市栗沢町東本町*4.5	41°46.7' N	144°04.7' E	45km	M: 8.0	平成15年（2003年） 十勝沖地震 死者 1名 行方不明1名 津波あり
29	2003 9 26 06 08 北海道 青森県	十勝沖 6弱 浦河町潮見=5.8 5強 新冠町北星町*5.2 5弱 新ひだか町静内ときわ町=4.8 厚真町京町*4.6 5弱 むつ市金曲=4.7 東通村砂子又（旧）*4.6 野辺地町野辺地*4.5	41°42.5' N	143°41.4' E	21km	M: 7.1	
30	2004 10 23 17 56 新潟県	新潟県中越地方 7 川口町川口*6.5 6強 長岡市古志竹沢*6.3 小千谷市城内=6.3 長岡市小国町法坂*6.0 死者 67名（総務省消防庁第73報） 6弱 十日町市千歳町*5.9 十日町市上山*5.9 魚沼市堀之内*5.9 十日町市水口沢*5.7 魚沼市須原*5.7 長岡市浦*5.6 刈羽村割町新田*5.6 長岡市幸町=5.5 長岡市上岩井*5.5 魚沼市今泉*5.5 長岡市栃尾大町*5.5 魚沼市穴沢*5.5 5強 長岡市中之島*5.4 上越市安塚区安塚*5.3 長岡市与板町与板*5.3 見附市昭和町*5.3 長岡市小島谷*5.2 出雲崎町米田=5.2 魚沼市小出島*5.2 南魚沼市六日町=5.2 南魚沼市浦佐*5.2 南魚沼市塩沢庁舎*5.2 津南町下船渡*5.1 十日町市松之山*5.0 十日町市松代*5.0 5弱 三条市西裏館*4.9 三条市新堀*4.9 柏崎市中央町*4.9 柏崎市西山町池浦*4.9 弥彦村矢作*4.8 柏崎市高柳町岡野町*4.7 上越市吉川区原之町*4.7 出雲崎町川西*4.7 魚沼市米沢=4.7 新潟市中之口*4.7 燕市秋葉町*4.7 燕市分水桜町*4.7 新潟市月潟*4.6 加茂市幸町*4.6 上越市三和区井ノ口*4.6 魚沼市大沢*4.6 上越市頸城区百間町*4.5 新潟市巻支所=4.5 上越市大手町=4.5 上越市木田*4.5 上越市蒲川原区釜淵*4.5 燕市吉田日之出町*4.5 上越市牧区柳島*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 福島県 5弱 只見町只見*4.7 西会津町野沢=4.5 柳津町柳津*4.5 群馬県 5弱 渋川市北橋町*4.7 高崎市高松町*4.6 片品村東小川=4.5 埼玉県 5弱 久喜市下早見=4.7 長野県 5弱 飯綱町芋川*4.6	37°17.5' N	138°52.0' E	13km	M: 6.8	平成16年（2004年） 新潟県中越地震
31	2004 10 23 18 11 新潟県	新潟県中越地方 6強 小千谷市城内=6.0 6弱 長岡市浦*5.7 長岡市小国町法坂*5.7 5弱 出雲崎町米田=4.9 魚沼市堀之内*4.9 柏崎市西山町池浦*4.8 長岡市与板町与板*4.8 長岡市小島谷*4.8 長岡市栃尾大町*4.7 長岡市幸町=4.7 長岡市中之島*4.6 十日町市水口沢*4.6 魚沼市今泉*4.5	37°15.1' N	138°49.7' E	12km	M: 6.0	
32	2004 10 23 18 34 新潟県	新潟県中越地方 6強 川口町川口*6.2 十日町市千歳町*6.1 長岡市小国町法坂*6.1 6弱 十日町市水口沢*5.9 小千谷市城内=5.7 南魚沼市六日町=5.7 魚沼市堀之内*5.6 魚沼市今泉*5.6 十日町市松代*5.6 南魚沼市浦佐*5.6 魚沼市穴沢*5.5 十日町市上山*5.5 上越市安塚区安塚*5.5 5強 魚沼市須原*5.4 長岡市上岩井*5.3 出雲崎町米田=5.3 上越市蒲川原区釜淵*5.3 南魚沼市塩沢庁舎*5.3 魚沼市小出島*5.2 柏崎市高柳町岡野町*5.2 長岡市浦*5.2 長岡市幸町=5.1 柏崎市西山町池浦*5.1 長岡市小島谷*5.1 長岡市与板町与板*5.0 上越市大手町=5.0 魚沼市大沢*5.0 上越市牧区柳島*5.0 上越市三和区井ノ口*5.0 5弱 上越市清里区荒牧*4.9 十日町市松之山*4.9 見附市昭和町*4.8 長岡市栃尾大町*4.7 長岡市中之島*4.7 津南町下船渡*4.7 魚沼市米沢=4.7 上越市木田*4.6 上越市吉川区原之町*4.6 上越市頸城区百間町*4.5 三条市新堀*4.5 柏崎市中央町*4.5 上越市板倉区針*4.5 出雲崎町川西*4.5 上越市大島区上達*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 群馬県 5弱 片品村東小川=4.8 渋川市北橋町*4.7 沼田市白沢町*4.6 群馬昭和村糸井*4.5	37°18.3' N	138°55.8' E	14km	M: 6.5	
33	2004 10 23 19 45 新潟県	新潟県中越地方 6弱 小千谷市城内=5.7 5強 長岡市小国町法坂*5.0 5弱 魚沼市堀之内*4.7 長岡市浦*4.5	37°17.7' N	138°52.5' E	12km	M: 5.7	
34	2004 10 27 10 40 新潟県	新潟県中越地方 6弱 魚沼市今泉*5.6 魚沼市須原*5.5 魚沼市穴沢*5.5 5強 魚沼市堀之内*5.4 魚沼市米沢=5.3 南魚沼市六日町=5.3 魚沼市大沢*5.2 長岡市幸町=5.1 長岡市上岩井*5.1 魚沼市小出島*5.1 長岡市栃尾大町*5.1 小千谷市城内=5.1	37°17.5' N	139°02.0' E	12km	M: 6.1	

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
35	2005 3 20 10 53	福岡県北西沖	33° 44.3' N	130° 10.5' E	9km	M: 7.0	死者 1 名 (総務省消防庁第34報)
		福岡県	長岡市小国町法坂 * =5.0 長岡市浦 * =5.0 5 弱 長岡市中之島 * =4.9 見附市昭和町 * =4.9 南魚沼市浦佐 * =4.9 長岡市小島谷 * =4.7 三条市新堀 * =4.6 長岡市与板町与板 * =4.6 出雲崎町米田 * =4.6 燕市秋葉町 * =4.6 上越市安塚区安塚 * =4.5 刈羽村割町新田 * =4.5 上越市大手町 * =4.5 福岡県 5 弱 只見町只見 * =4.6 群馬県 5 弱 渋川市北橋町 * =4.7 沼田市西倉内町 * =4.5				
36	2005 8 16 11 46	宮城県沖	38° 08.9' N	142° 16.6' E	42km	M: 7.2	
		宮城県	6 弱 宮城川崎町前川 * =5.6 5 強 石巻市桃生町(旧) * =5.3 東松島市矢本 * =5.2 栗原市築館 * =5.2 蔵王町円田 * =5.2 涌谷町新町 * =5.1 宮城美里町北浦 * =5.1 仙台泉区将監 * =5.0 石巻市門脇 * =5.0 大崎市田尻 * =5.0 名取市増田 * =5.0 登米市迫町 * =5.0 仙台宮城野区苦竹 * =5.0 5 弱 栗原市金成 * =4.9 登米市南方町 * =4.9 南三陸町志津川 * =4.9 南三陸町歌津 * =4.9 岩沼市桜 * =4.9 山元町浅生原 * =4.9 石巻市泉町 * =4.9 塩竈市旭町 * =4.9 東松島市小野 * =4.9 宮城美里町木間塚 * =4.8 登米市中田町 * =4.8 登米市米山町 * =4.8 石巻市北上町 * =4.8 石巻市鮎川浜 * =4.8 石巻市相野谷 * =4.8 石巻市前谷地 * =4.8 仙台宮城野区五輪 * =4.7 仙台若林区遠見塚 * =4.7 栗原市若柳 * =4.7 栗原市高清水 * =4.7 栗原市志波姫 * =4.7 大崎市古川三日町 * =4.7 大崎市鹿島台 * =4.7 大衡村大衡 * =4.7 登米市登米町 * =4.7 栗原市瀬峰 * =4.6 大崎市松山 * =4.6 角田市角田 * =4.6 大河原町新南 * =4.6 女川町女川浜 * =4.6 亶理町下小路 * =4.6 栗原市栗駒 * =4.6 村田町村田 * =4.5 柴田町船岡 * =4.5 大郷町粕川 * =4.5 気仙沼市赤岩 * =4.5 宮城加美町中新田 * =4.5 登米市東和町 * =4.5 白石市亶理町 * =4.5 栗原市一迫 * =4.5 石巻市雄勝町 * =4.5 岩手県 5 強 藤沢町藤沢 * =5.0 5 弱 一関市室根町 * =4.9 奥州市前沢区 * =4.8 奥州市衣川区 * =4.8 一関市千厩町 * =4.8 一関市花泉町 * =4.7 平泉町平泉 * =4.7 矢巾町南矢幅 * =4.7 一関市山目 * =4.6 奥州市江刺区 * =4.6 二戸市福岡 * =4.6 奥州市胆沢区 * =4.6 陸前高田市高田町 * =4.6 花巻市東和町 * =4.6 北上市柳原町 * =4.5 一関市舞川 * =4.5 花巻市材木町 * =4.5 金ヶ崎町西根 * =4.5 福島県 5 強 新地町谷地小屋 * =5.4 相馬市中村 * =5.3 国見町藤田 * =5.1 川俣町五百田 * =5.1 南相馬市鹿島区 * =5.0 5 弱 二本松市針道 * =4.8 桑折町東大隅 * =4.8 南相馬市小高区 * =4.7 福島市五老内町 * =4.6 田村市大越町 * =4.6 福島伊達市梁川町 * =4.6 飯館村伊丹沢 * =4.6 中島村滑津 * =4.5 田村市都路町 * =4.5 福島伊達市保原町 * =4.5 福島伊達市靈山町 * =4.5 南相馬市原町区三島町 * =4.5 茨城県 5 弱 日立市役所 * =4.5				
(2006年はなし)							

気象庁が震源を決定した日本付近の  
2006年12月の地震の震央分布  
地震の総数：8590



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。